平

林

遺

跡

# 平林遺跡

中部横断自動車道建設事業および(仮称)身延山IC道路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

三 〇 五 三

山梨県土整山梨県教育委

土整備部分量

2015年3月

山梨県教育委員会 国土交通省 山梨県県土整備部

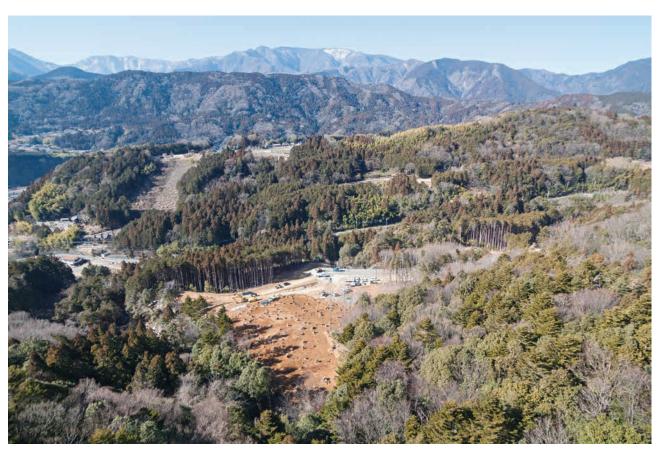
# 平林遺跡

中部横断自動車道建設事業および(仮称)身延山 I C道路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2015年3月 山梨県教育委員会 国土交通省 山梨県県土整備部



平林遺跡調査区 北東側上空からの空中写真



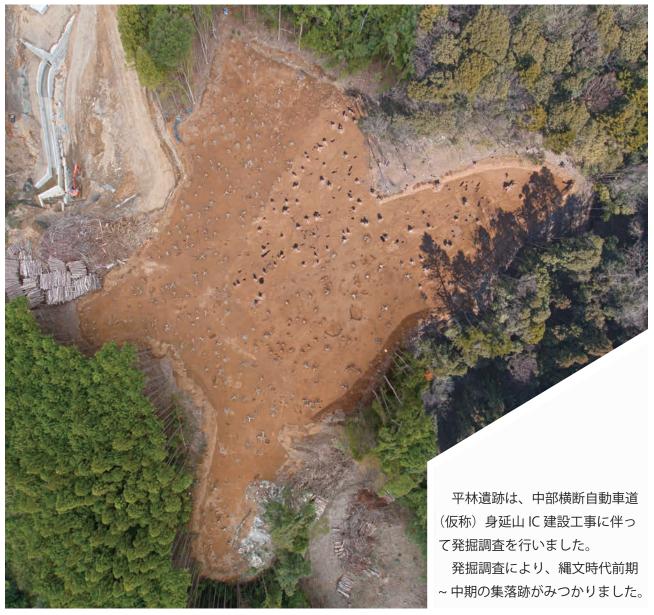
平林遺跡調査区 東側上空からの空中写真



平林遺跡調査区 南側上空からの空中写真



平林遺跡調査区近景



平林遺跡調査区全景

平林遺跡からは約6千点にも のぼる土器片や石鏃(矢じり) などの石器がみつかりました。

なかには、縄文時代初めころ (約1万3千年前)の有舌尖頭 器や石をみがいてつくった装飾 品などもみつかっています。



縄文時代の土器片出土状況



有舌尖頭器



石製装飾品



1号竪穴状遺構 遺物出土状況

住居跡と考えられる竪穴状遺構が4 基みつかっています。このうち縄文時 代中期の1号竪穴状遺構からは、大き な石とともに浅鉢形土器とよばれる土 器が中央部からみつかりました。



1号竪穴状遺構 土器出土状況



1号配石遺構出土尖頭器



1号配石遺構

人頭大の石を並べた 1 号配石遺構は祭祀やお墓などの施設と考えられます。周辺からは泥岩とよばれる石からつくられた尖頭器などの石器や剥片がまとまってみつかっています。



U16G-1 号焼土遺構

U16G-1 号焼土(左)からは焼土とともに人頭大の石がまとまって出土しました。これも縄文時代のお墓と思われます。

平林遺跡からは、縄文時代前期後半から中期初頭(およそ 6,000 から 5,500 年前)の集落跡のほかに、縄文時代草創期(およそ 1 万 5,000 年前)や早期(およそ 8,000年前)の土器片や石器がみつかっており、縄文時代の初めころから中ごろにかけて、断続的に生活していたことがわかります。

# 序文

本書は中部横断自動車道および(仮称)身延山インターチェンジ道路事業に伴い、2013年度(平成25年度)に実施した平林遺跡の発掘調査成果をまとめた報告書です。

平林遺跡は山梨県南巨摩郡身延町和田に所在し、西側を田の沢川、南北を西へ流れる小沢に囲まれた緩や かな斜面をもつ台地上にあります。

調査の結果、竪穴状遺構や土坑、ピット、集石遺構、配石遺構などの縄文時代前期後半から中期初頭を中心とする遺構群を検出しました。

住居と想定される竪穴状遺構は縄文時代前期後半、縄文時代前期末、中期初頭の各時期のものが確認するとともに、近畿地方の土器である北白川下層式土器などの山梨県外で製作された土器も出土しており、当時の平林遺跡で活動していた人々が他地域と交流していたことがうかがえます。配石遺構周辺からは泥岩製の尖頭器のほか、泥岩製の大型剥片などが出土しており、狩猟や石器製作に関係した祭祀行為が行われていた可能性が考えられます。また、遺構外からは縄文時代前期後半から中期初頭の土器のほか、縄文時代早期の土器片や、縄文時代草創期の有舌尖頭器が出土するなど、縄文時代の各時期において平林遺跡で様々な活動が行われていたことが明らかとなりました。

山梨県においては縄文時代の遺跡の調査は数多く実施されていますが、平林遺跡が所在する山梨県南巨摩郡身延町を含む富士川流域地域においては、調査事例が少ない状況にあり、この度、縄文時代の様々な活動痕跡が明らかとなり、周辺地域の歴史を考えるうえで、貴重な資料が提供されたことになります。本報告書が遺跡周辺および本県の歴史・文化財に関する学習や研究において、貢献できれば幸いに思います。

最後に、国土交通省関東地方整備局、山梨県県土整備部をはじめとする調査にあたってご協力いただいた 関係者、関係機関に厚く御礼を申し上げます。

2015年3月

山梨県埋蔵文化財センター 所 長 八 巻 與 志 夫

# 例 言

- 1 本書は、山梨県南巨摩郡身延町和田字平林地内に存在する平林遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本書は、中部横断自動車道建設事業および(仮称)身延山 I C 道路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査であり、 国土交通省および山梨県県土整備部より山梨県教育委員会が委託を受け、山梨県埋蔵文化財センターが発掘 調査および発掘調査報告書作成を実施した。
- 3 発掘調査は平成 25 年 (2013 年) 8 月 1 日から平成 26 年 (2014 年) 1 月 30 日まで実施した。また、発掘調査終了後の整理・報告書作成については平成 26 年 2 月 3 日から平成 27 年 3 月 31 日まで実施した。
- 4 本書の執筆・編集は正木季洋がおこなった。
- 5 遺跡における遺構、遺物写真の撮影は今福利恵、正木季洋、塩谷風季が行った。
- 6 発掘調査に係る国土座標測量・グリッドポイント設定・基準標高測量は株式会社ケイ・データエンジニアに 委託した。
- 7 発掘調査に係る遺跡空中写真撮影は株式会社テクノプランニングに委託した。
- 8 発掘調査時の遺構・遺物出土点の測量および整理・報告書作成時のデータ管理・出力は株式会社テクノプランニングの遺構くんを使用した。
- 9 出土遺物(石器の一部)の実測図作成および写真撮影は株式会社テクノプランニングに委託した。
- 10 発掘調査および報告書作成にあたり、下記の方々や機関からのご助言、ご協力をいただいた。記して謝意を表する。
  - 身延町教育委員会、鈴木高吉(身延町教育委員会教育長)、佐野勇夫、坂口広太(身延町教育委員会)、深澤太郎(國學院大學助教)、渋谷賢太郎(NPO法人茅ヶ岳歴史文化研究所)
- 11 本書にかかる記録図面、写真、出土遺物等は山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。

# 凡例

- 1 調査区内は世界測地系座標に基づく 5 m四方のグリッドを示している。グリッドは世界測地系平面直角座標第 س系の X=-72245.000、Y=-4385.000 を基点に、南方向へ A,B,C・・・、東方向へ 1,2,3・・・と付した ライン名称の交点をもって、A 17、M 30 の様に呼称した。グリッドの呼称については、4 点の基準 杭で囲まれたグリッドの南西端の杭名称を充て、A 17 グリッド、M 30 グリッドのように呼称した。また全体図における X・Y 軸延長線上の数値は座標線の数値で、南北のグリッド線及び図中の北印は真北を指す。
- 2 遺構番号については、ピットおよび焼土遺構以外の遺構は遺構確認時に遺構種別かつ発掘調査区内における 確認順に番号を付し、ピットおよび焼土遺構は遺構種別かつ各グリッドにおける確認順に番号を付したもの である。なお、発掘調査および報告書作成段階で、遺構として判断できないとされたものについては欠番 とした。また、発掘調査時に「仮1号住居」、「仮2号住居」、「仮3号住居」、「仮4号住居」と付した遺構 はそれぞれ報告書作成段階で「1号竪穴状遺構」、「2号竪穴状遺構」、「3号竪穴状遺構」、「4号竪穴状遺構」

とした。

- 3 本書で使用した遺構・遺物の分類記号は次のとおりである。
  - SI・・・竪穴状遺構 SK・・・・土坑 SP・・・・ピット SL・・・・焼土遺構
  - S S · · · 配石遺構 S X · · · 集石土坑
- 4 遺構・遺物図面の縮尺は図中に示した。
- 5 遺構図版中のドットマークや出土遺物に付した番号は、遺物図版の番号に対応する。
- 6 遺構断面図の左側基点に付した数字は標高(m)を表す。
- 7 図版中に示したスクリーントーンは以下の内容を示す。

#### 【遺構図】

■焼土、■炭化材

#### 【出土遺物実測図】

- (赤色) 朱塗り、■繊維
- 8 石器実測図中の矢印は磨り面範囲を示す。
- 9 本報告書中で使用した地図は国土地理院発行の 1/25,000 地図を利用した。

# 目 次

巻頭写真図版
あらまし
序文
例言•凡例

目次

第1章	調査の経	¥緯と経過·····	1
	第1節	調査に至る経緯	1
	第2節	調査の目的と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	第3節	発掘調査の経過	1
	第4節	室内調査の経過	1
	発掘調査	至にかかる手続き等	2
	調査組織	我······	2
第2章	遺跡の位	位置と環境	3
	第1節	地理的環境	3
	第2節	歷史的環境	3
第3章	調査の方	7法と成果	6
	第1節	発掘調査の方法	6
	第2節	基本層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	第3節	発見された遺構と遺物	11
		(1) 竪穴状遺構	11
		(2) 1 号配石遺構	13
		(3) 集石土坑	13
		(4) 土坑	14
		(5) 焼土遺構	15
		(6) ピット	16
		(7) 遺構外出土遺物	75
		遺物観察表・・・・・・	76
第4章	自然科学	≥分析	24
第5章	総括		41
写真図版	反		

# 図版目次

第1図	遺跡の位置と周辺の遺跡		第56図	pit (28) ·····	72
第2図	平林遺跡周辺の地形・調査区位置図		第57図	pit (29) ·····	
第3図	平林遺跡基本土層図	8	第58図	pit (30)	
第4図	平林遺跡グリッド配置図・全体図 9~	10	第59図	1号竪穴状遺構出土遺物(1)	80
第5図	1号竪穴状遺構(1)	21	第60図	1号竪穴状遺構(2)・2・4号竪穴状遺構(1)出土	遺物
第6図	1号竪穴状遺構 (2)				81
第7図	1号竪穴状遺構(3)	23	第61図	2・4号竪穴状遺構出土遺物(2)	82
第8図	2 ・ 4 号竪穴状遺構 (1)	24	第62図	2・4号竪穴状遺構出土遺物(3)	
第9図	2・4号竪穴状遺構(2)		第63図	2・4号竪穴状遺構出土遺物(4)	
第10図	2 ・ 4 号竪穴状遺構 (3)	26	第64図	3号竪穴状遺構出土遺物(1)	85
第11図	2 ・ 4 号竪穴状遺構 (4)		第65図	3号竪穴状遺構出土遺物(2)	
第12図	2 ・ 4 号竪穴状遺構 (5)		第66図	3号竪穴状遺構出土遺物(3)	
第13図	2 ・ 4 号竪穴状遺構 (6)		第67図	3号竪穴状遺構出土遺物(4)	
第14図	2・4号竪穴状遺構 (7)		第68図	3号竪穴状遺構出土遺物(5)	
第15図	3号竪穴状遺構(1)		第69図	1 号配石遺構出土遺物(1)	
第16図	3号竪穴状遺構(2)		第70図	1 号配石遺構出土遺物 (2)	
第17図	3号竪穴状遺構(3)		第71図	焼土遺構・pit(1)出土遺物	
第18図	3号竪穴状遺構(4)		第72図	pit 出土遺物 (2)····································	93
第19図	3号竪穴状遺構(5)		第73図	遺構外出土遺物(1)	
第20図	3号竪穴状遺構(6)		第74図	遺構外出土遺物(2)	
第21図	3号竪穴状遺構(7)		第75図	遺構外出土遺物(3)	
第22図	3号竪穴状遺構(8)		第76図	遺構外出土遺物(4)	
第23図	3号竪穴状遺構(9)		第77図	遺構外出土遺物(4)	
第24図	1号配石遺構·······	40	第78図	遺構外出土遺物(6)	
第25図	集石土坑(1)		第79図	遺構外出土遺物(7)	
	集石土坑(2)			遺構外出土遺物(8)	
第26図	集石土坑(3)		第80図	遺構外出土遺物(8)	
第27図	1・2・5・6号土坑		第81図	遺構外出土遺物 (9) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
第28図	f · 2 · 5 · 6 写 上		第82図	遺構外出土遺物 (10) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
第29図			第83図	遺構外出土遺物 (11) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
第30図	焼土遺構 (2)・pit (2) ···································		第84図	遺構外出土遺物 (12) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
第31図	焼土遺構 (3)・pit (3) ···································		第85図		
第32図	3 · 4号土坑・焼土遺構 (4)・pit (4) · ·································		第86図	遺構外出土遺物(14)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
第33図	焼土遺構 (5)・pit (5) ···································	49	第87図	遺構外遺物出土状況(1)	
第34図	pit (6)		第88図	遺構外遺物出土状況(2)	
第35図	pit (7)		第89図	遺構外遺物出土状況(3)	
第36図	pit (8)		第90図	遺構外遺物出土状況(4)	
第37図	pit (9)		第91図	遺構外遺物出土状況(5)	
hh	pit (10)			遺構外遺物出土状況(6)	
第39凶	pit (11)		第93図	遺構外遺物出土状況(7)	
第40図	pit (12)		第94図	遺構外遺物出土状況(8)	
第41図	pit (13)		第95図	遺構外遺物出土状況(9)	
第42図	pit (14)		第96図	遺構外遺物出土状況(10)	
第43図	pit (15)		第97図	遺構外遺物出土状況(11)	
第44図	pit (16)		第98図	遺構外遺物出土状況(12)	
第45図	pit (17) ·····		第99図	遺構外遺物出土状況(13)	
第46図	pit (18) ·····		第100図		
第47図	pit (19) ·····		第101図		
第48図	pit (20) ·····		第102図		
第49図	pit (21) ·····		第103図		
第50図	pit (22) ·····		第104図		
第51図	pit (23) ·····		第105図		
第52図	pit (24) ·····		第106図		
第53図	pit (25) ·····	69	第107図		
第54図	pit (26)	70	第108図	黒曜石原産地分析判別図	139
第55図	pit (27)	71			

### 第1章 調査の経緯と経過

#### 第1節 調査に至る経緯

平林遺跡の埋蔵文化財発掘調査は国土交通省による中部横断自動車道(富沢 IC ~六郷 IC)建設事業および山梨県県土整備部による(仮称)身延山 IC 道路事業に伴うものである。中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点として富士川沿いを北上し、長野県佐久市を終点とする全長 132km の高速道路である。山梨県内においては、現在のところ、中央自動車道と重複する区間を除いて、増穂 IC -双葉 JCT 間が開通しており、増穂 IC 以南については、有料道路方式と新直轄方式による整備が進められている。また、新直轄方式で整備される区間にあたる身延 IC の約 8.6km 南側の地点で(仮称)身延山 IC、身延 IC の約 4.9km 北側の地点で(仮称)中富 IC の整備が山梨県により進められている。

今回の調査地点は、身延 IC の約 8.6km 南側の地点、中部横断自動車道本線と(仮称)身延山 IC の接続地点である。建設事業に先立ち埋蔵文化財確認のために平成 25 年 3 月 4 日から 8 日の間に実施した試掘調査により縄文時代の土器片や土坑、ピットなどの遺構が確認され、平林遺跡として埋蔵文化財包蔵地に登録した。この結果を受け、今回の本格的発掘調査が実施されることとなった。

#### 第2節 調査の目的と課題

本格的調査に先立って実施された試掘調査において、縄文時代の土器片や土坑、ピットなどの遺構が確認されていることから、これら遺構・遺物を記録保存することを目的とする。また、田の沢川などの河川に囲まれた台地上に位置する平林遺跡における生活や土地利用等の変遷過程を解明していくための資料として、各時期の遺構・遺物の分布をとらえていくことを課題とする。

#### 第3節 発掘調査の経過

平成25年3月の試掘調査の結果を受けて発掘調査を実施するにあたり、平成25年4月24日に 山梨県県土整備部中部横断道推進事務所、山梨県教育庁学術文化財課、山梨県埋蔵文化財センターに よる現地協議、平成25年5月22日・6月12日に国土交通省甲府河川国道事務所、山梨県県土整 備部道路整備課・中部横断道推進事務所、山梨県教育庁学術文化財課、山梨県埋蔵文化財センターに よる協議により、調査範囲・工程、施設設置などの調査計画についての協議を行った。

本発掘調査は工事工程や発生土置き場等の関係から、調査対象範囲を 4 つ(1 ~ 4 区)に分け、それぞれ重機による表土除去(1・2 区: 8 月 1 日~ 30 日、3・4 区: 10 月 24 日~ 11 月 20 日)後、基準杭とベンチマークの設置(1・2 区: 9 月 12 日~ 18 日、3・4 区: 11 月 26・27 日)を行った上で、人力による掘削、精査を行いながら、光波測量による遺物の記録、取り上げ、土層の堆積を確認・記録し、各区の調査終了時にラジコンへリコプターによる航空写真撮影を行い(1 区: 10 月 18 日、2 区: 12 月 11 日、3・4 区: 平成 26 年 1 月 23 日)、10 月 18 日には 1 区を、1 月 27 日には 2 ~ 4 区の調査を完了し、1 月 30 日までには機材・施設の撤去を終えた。

#### 第4節 室内調査の経過

平林遺跡での遺物出土量はプラスチック収納箱にして 18 箱である。室内における図面整理・出土品の洗浄などの基礎的整理を平成 26 年 2 月 3 日から 3 月 20 日まで実施した。また注記、実測作業を中心とした本格的整理作業を平成 26 年 7 月 14 日から開始した。作業内容は 7 月 14 日から出土遺物注記、9 月 3 日から接合・復元、10 月 8 日から出土品の実測図・トレース図作成、版組、出土

品観察表作成、1月29日から出土品収納・写真整理を実施し、3月までに完了した。並行して遺構・遺物図版の作成、原稿執筆、併せて編集作業を進め、報告書刊行をおこなった。

#### 発掘調査にかかる手続き等

- ・平成25年6月27日付けにて(仮称)身延山IC道路事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する覚書を山梨県県土整備部道路整備課長と山梨県教育委員会学術文化財課長とで交換。
- ・平成25年9月9日付けにて中部横断自動車道(富沢IC~六郷IC)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査について発掘調査受委託契約書を国土交通省関東地方整備局長と山梨県教育委員会教育長とで締結。
- ・平成25年8月1日付け、教埋文第209号にて埋蔵文化財発掘調査の報告を文化財保護法第99条 第2項に基づいて山梨県教育委員会教育長へ提出。
- ・平成26年2月3日付け、教埋文第209号-1にて文化財の発見について文化財保護法第100条第2項により山梨県教育委員会教育長へ南部警察署への通知を依頼。
- ・平成26年2月6日付け、教埋文第209号-2にて山梨県教育委員会へ発掘調査の終了を報告。

#### (調査組織)

平成25年度(発掘調查・基礎的整理作業)

調査主体 山梨県教育委員会

調査機関 山梨県埋蔵文化財センター

所長 八巻與志夫

次長 福島一雄

調査研究課長 保坂康夫

調査担当者 調査研究課第一担当 リーダー 今福利恵、非常勤嘱託 塩谷風季 調査研究課第二担当 主任・文化財主事 正木季洋、青木真一

作業員

発掘調査 赤池あつ子、穴山清、新谷博朋、乾登美子、今村美和子、遠藤昭男、遠藤輝昭、遠藤洋子、片田徹治、片田義男、木内雅人、北澤宏明、川口孝道、久保田圭子、熊谷敏廣、黒沼了、近藤正孝、佐野欣二、佐野尚美、佐野誠、佐野学、志村修、鈴木計弥、鈴木志穂、諏訪敏、田中修、田中さとし、中村央訓、新津茂、早川一三、樋口直秋、深澤祐子、堀水和子、松木周二、望月秋夫、望月強志、望月富雄、望月みね子、吉澤花織、依田克巳

整理作業 菊池美千代、越山敏子、進藤美紀、吉村光江

平成26年度(本格的整理作業・報告書作成)

調査主体 山梨県教育委員会

調査機関 山梨県埋蔵文化財センター

所長 八巻與志夫

次長 出月洋文

史跡資料活用課長 山本茂樹

史跡資料活用課第一担当 リーダー 宮里学

調查担当者 史跡資料活用第一担当 主任·文化財主事 正木季洋

作業員

整理作業 垣内律子、宮下真樹子、依田和美、渡辺麗子

# 第2章 遺跡の位置と環境

#### 第1節 地理的環境

平林遺跡は山梨県の南部、南巨摩郡身延町和田地内に所在する。身延町は、町域中央を南流する富士川を軸として両岸には山々が連なった急峻な地形となっている。富士川右岸側には早川・波木井川が東流して富士川に注ぎ、粟倉山 704 m、身延山 1148 m、鷹取山 1036 m、七面山 1982 mが連なっている。左岸側は入ヶ岳、五宗山 1634 m、三石山 1169 m、大島峠 931 mが南北に並ぶ。これら山地から富士川にむかって大小の河川が流れ込み、深い谷を刻んでいる。

遺跡は、JR 身延駅南側の標高約 245 ~ 260 mの西向きの緩やかな斜面をもつ台地上にあり、台地中央部には東西方向に低い尾根状地形が形成されている。台地西側には南流する田の沢川が深く入り込み、田の沢川の西方には通称「わだっぱら」と呼ばれる台地が富士川左岸に張り出している。台地東側は三石山などの山々が連なり、台地の南北は、東側の山より発する沢が西流し、田の沢川に流れ込んでいる。

#### 第2節 歷史的環境

平林遺跡の周辺には縄文時代から中・近世に至る遺跡がいくつか知られている(第1図)。しかし、 発掘調査が実施された遺跡はごくわずかであり、耕作中等の偶然の機会に発見された資料によってそ の内容を知るほかなく、詳細が明らかでないことが多い。

身延町内においては縄文時代以前の遺跡は発見されていないが、南に隣接する南部町万沢で約2万年前の旧石器時代の天神堂遺跡が発掘調査されている。

縄文時代の遺跡は、寺平遺跡(第1図2)、西塩沢遺跡(同図3)、桜井遺跡(同図4)、塩之沢遺跡(同図5)、上小田遺跡(同図9)、お宮横遺跡(同図11)、横溝遺跡(同図12)、柳沢遺跡(同図13)、清子丸山付近遺跡(同図14)、新地B遺跡(同図16)、大久保遺跡(同図18)などが知られている。

富士川右岸の身延山久遠寺東側の山頂から南西側への尾根上にある寺平遺跡(同図2)は、身延町指定史跡になっており、縄文時代中期後半の加曽利E式土器のほか、打製石斧、石匙、石錘、石鏃などが発見されている。寺平遺跡の東側の斜面に位置している西塩沢遺跡(同図3)は、縄文土器が採取されている以外はあきらかでない。身延町指定史跡桜井遺跡(同図4)は、富士川左岸の台地上にあり、縄文時代前期・中期の土器、石器が採取されている。富士川右岸側の波木井川沿いにある上小田遺跡(同図9)は、沢の切り通しから縄文時代中期後半の曽利II~III式土器片が採取されている。

本遺跡西側約500m、田の沢川の対岸の「わだっぱら」に所在するお宮横遺跡(同図11)は、平成17年度に県営中山間地域総合整備事業(身延地区)和田ほ場整備に伴い発掘調査が身延町教育委員会により実施されている。発掘調査の結果、縄文時代前期初頭および中期前半の竪穴住居跡各1軒、集石土坑・陥穴などの土坑が発見されている。

富士川右岸の清子地区にある横溝遺跡(同図 12)からは縄文時代の打製石斧が、同地区の身延町指定史跡清子丸山付近遺跡(同図 14)からは、土器、打製石斧、石鏃の出土している。富士川右岸段丘上に存在している身延町指定史跡大久保遺跡(同図 18)は、縄文時代中期五領ヶ台式土器、勝坂式土器、加曽利 E 式土器、また打製石斧、石錘、石匙、石鏃などが出土している。発掘調査は行われていないが中期全般にわたる集落が営まれていたものと思われる。

弥生時代から古墳時代にかけての遺跡は現在のところ、確認されていない。

奈良・平安時代の遺跡は、寺平遺跡(同図2)、梅平本田遺跡(同図7)、お宮横遺跡(同図11)など数少ない状況である。富士川右岸にある梅平本田遺跡(同図7)は、国道52号線改築工事に伴い、山梨県教育委員会による発掘調査が実施され、平安時代ないし中世の竪穴状遺構1基、建物跡2棟な

どが発見されたほか、個人住宅建設に伴い、身延町教育委員会が実施した試掘調査により、平安時代 の竪穴住居跡が確認されている。

中世以降の遺跡は、富士川右岸の波木井川沿いにある梅平本田遺跡(同図7)や南部氏館跡(同図 8)、富士川左岸に和田遺跡(同図 10)、新地 A 遺跡(同図 15)、大島古戦場跡(同図 17)などがある。 南部氏館跡(同図8)は昭和58・59年に身延町教育委員会による発掘調査が実施され、掘立建物跡 が発見されている。

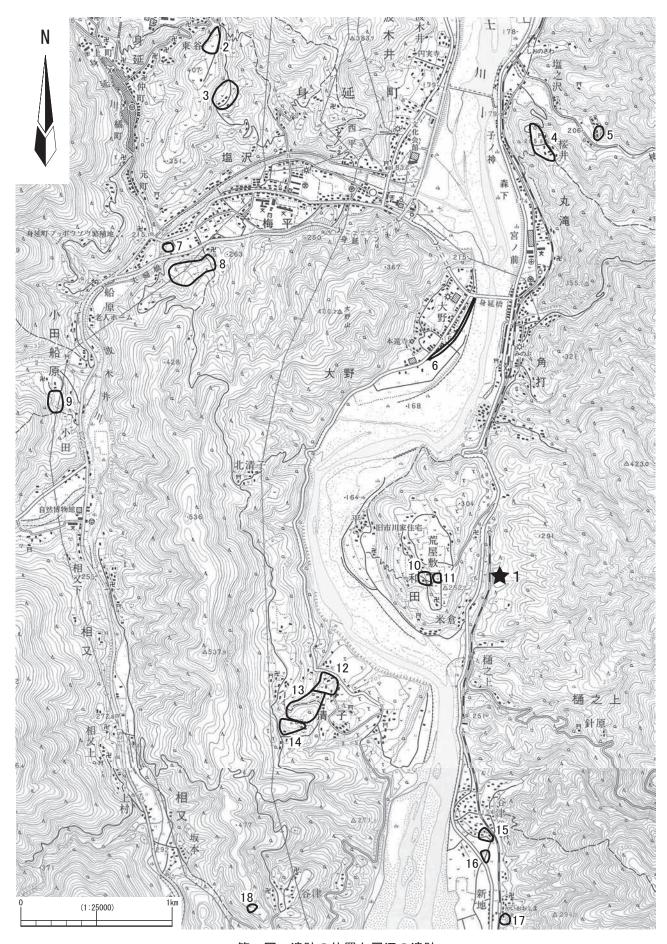
身延町内においては中世の遺跡はこれ以外にも多く、下山城跡、穴山氏館跡、常葉氏館跡、本城山、 煙硝蔵跡、粟倉山の烽火台など甲斐源氏ゆかりの遺跡や身延山御草庵跡や久遠寺を含む身延山周辺の 寺院跡など日蓮宗に関係する遺跡が多く存在し、これは身延町域が中世以降において甲斐と駿河を結 ぶ要衝であったことを示している。

近世では登録されている遺跡が少なく、富士川右岸に大野堤防遺跡(同図6)があるほか、身延町 内においては、戦国期から江戸期前半まで操業された鉱山遺跡であり、平成元年より学術調査が行わ れた国指定史跡湯之奥の中山金山遺跡や、徳川家康の側室であるお万の方の墓所である山梨県指定史 跡徳川家康側室養珠院墓所などがある。大野堤防遺跡(同図6)は一般県道光子沢大野線道路改良工 事に伴い発掘調査が実施され、石出しをもつ堤防が確認されている。

#### 遺跡名一覧

- 1 平林遺跡(縄文)
- 寺平遺跡(縄文・平安)
- 3 西塩沢遺跡(縄文)
- 4 桜井遺跡(縄文)
- 5 塩之沢遺跡(縄文)
- 6 大野堤防遺跡(近世以降) 12 横溝遺跡(縄文)
- 7 梅平本田遺跡(平安・中世) 13 柳沢遺跡(縄文)
- 8 南部氏館跡(中世)
  - 9 上小田遺跡(縄文)
- 10 和田遺跡(中世・近世)
- 11 お宮横遺跡(縄文・平安・ 17 大島古戦場跡(中世) 折世)

- 14 清子丸山付近遺跡(縄文)
- 15 新地 A 遺跡(中世・近世)
- 16 新地 B 遺跡(縄文)
- 18 大久保遺跡(縄文)



第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡

# 第3章 調査の方法と成果

#### 第1節 発掘調査の方法

発掘調査は、南北約 145 m、東西約 145 m、調査面積約 7,910㎡の不整形範囲を対象に実施した。 調査の方法は工事着手の優先範囲や発生土置き場等の関係から、調査対象範囲を 4区(1~4区)に分け、切り返して行った。調査区内には世界測地系座標に基づく 5 m四方のグリッドを設定した。 基準杭については、X=-72245.000、Y=-4385.000 を基点に、南方向へ A,B,C・・・、東方向へ 1,2,3・・・ と付したライン名称の交点をもって、A-17、M-30 の様に呼称した。また、グリッドの呼称については、4 点の基準杭で囲まれたグリッドの南西端の杭名称を充て、A-17 グリッド、M-30 グリッドのように呼称した(第 4 図)。

表土層の除去は試掘調査の結果をふまえて、重機によって地表下約 40cmにみられる褐色土層上面の遺構確認面直上まで行った。以下、人力による掘り下げおよび遺構確認を行い、平面プランを確認できた遺構については、遺構の規模に応じて土層観察ベルトを設定するか、半裁する方法で検出し、遺構断面図・土層堆積状況図・遺構平面図・遺物出土状況図を適宜作成し、同時に記録写真撮影を行った。記録図類については立面図および詳細図などの平面図の一部は方眼紙への計測図化、平面図は光波測量機とコンピュータによる測量で作成した。また、記録写真については小型一眼レフカメラによる35mm モノクロネガ・カラーポジを主体に撮影し、補足的にデジタルカメラも使用した。出土した遺物については、光波測量機とコンピュータを用いて出土点を記録した。ただし、小片や原位置を損なった遺物は各グリッドあるいは各遺構の一括遺物として取り上げた。また、遺物の出土状態については、必要におうじて微細図を作成した。

#### 第2節 基本層序

西側を田の沢川、南北を西へ流れる小沢、東を峰に囲まれた標高約 245 ~ 260 mの緩やかな斜面をもつ台地上にある。

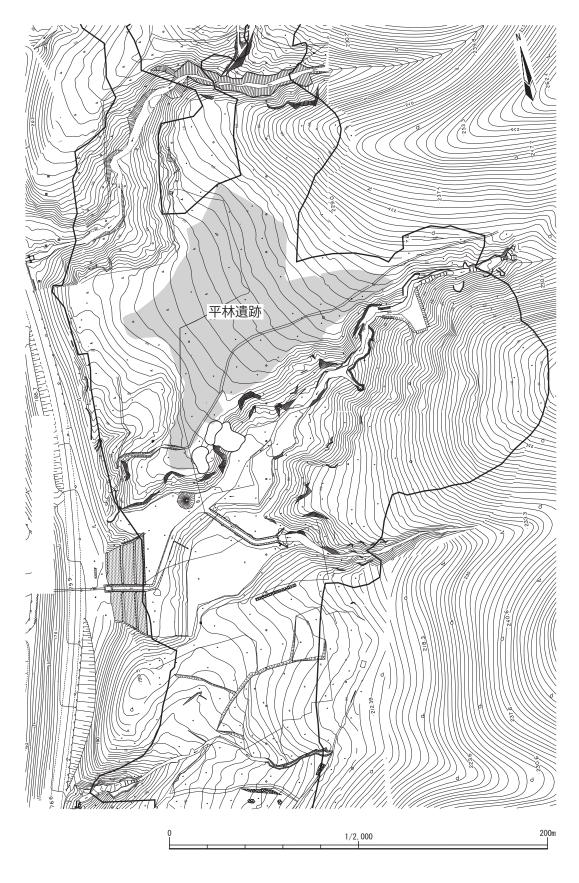
基本層序は調査区が広大な為、調査区南側に隣接する沢沿い最も標高が高い O-32 グリッド付近  $(O32G \ F)$  、同沢沿いの V-15 グリッド付近  $(V15G \ F)$  、調査区中央部の緩やかな尾根上の最も標高が高い H-22 グリッド付近  $(H22G \ F)$  の土層堆積が良好な 3 地点を選定し、深く掘り下げ観察を行った。

土層は各地点とも A 層:表土層、B 層:遺物包含層、C 層:B 層下に堆積する自然堆積土層、D 層: C 層下の河川堆積層と思われる砂質土層および岩盤由来層の 4 つに大別されるが、各地点によって様相が異なっている(第3図)。

急斜面から緩斜面への地形変化点に位置するO32G・H22Gトレンチにおいては、A層とB層上部に、20cm大の円礫が含まれている。同様に地形変化点となる調査区北端から東端においてもこの状況は認められており、急斜面上部から流れ込んだものと思われる。今回の調査によって確認された遺構のほとんどはB層直下、C層上面において確認されている。

V15G および H22G トレンチ付近では、C 層が約 1 m堆積し、それぞれ 4 つに区分できるが、各トレンチで色調・含有粒子に差異が認められる。C 層下の D 層は旧富士川由来のものと考えられる円礫を多く含む砂質土層が堆積している。

一方 032G トレンチにおいては C 層下に V15G および H22G トレンチのような河川由来の砂質土は認められず、岩盤並びに岩盤風化層が地表した約  $50 \sim 80$ cm以下で確認され、C 層も堆積も約  $10 \sim 60$ cmと薄くなっている。



第2図 平林遺跡周辺の地形・調査区位置図

#### 032Gトレンチ東面

北.

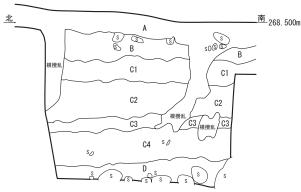
Α В S В so(s) sO Os SO S 5 6 § ₿ C2 3 S 岩 (3)

·南263. 400m

#### 032Gトレンチ

- 83/26 ドレンチ A 黒褐色土 (7.5 YR3/2) 表土層 約1cm以下円礫多量含む。 B 暗褐色土 (7.5 YR3/4) 遺物包含層 約5cm以下円礫多量含む。 C1 褐色土 (10 YR4/6) 遺構確認面 約10cm以下円礫・約30cm以下風化礫多量、約5cm以下白色粒少量含む。
- C2 褐色土 (10YR4/4) 約10cm以下円礫・角礫、約1cm以下白色粒多量含む。 D オリーブ褐色砂質土 (2.5YR4/4) 岩盤風化層 約50cm以下角礫多
- 量含む。

#### H22Gトレンチ東面

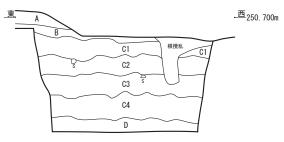


#### H22Gトレンチ

- A 暗褐色土 (7.5YR3/3) 表土層 約20cm以下円礫多量含む。 B 暗褐色土 (7.5YR3/4) 遺物包含層 約15cm以下円礫多量含む。 C1 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 遺構確認面 約1cm以下角礫、約2mm以下白色粒少量含む。

- C2 褐色土 (10YR4/6) 約1cm以下角礫少量、約5mm以下白色粒多量含む。 C3 褐色土 (10YR4/4) 約2cm以下角礫少量、約5mm以下橙色粒多量含む。 C4 オリーブ褐色土 (2.5YR4/6) 約5cm以下円礫、約5mm以下白色粒・橙色粒少量
- 含む。 D オリーブ褐色砂質土 (2.5YR4/4) 約30cm以下円礫多量含む。

#### V15Gトレンチ南面

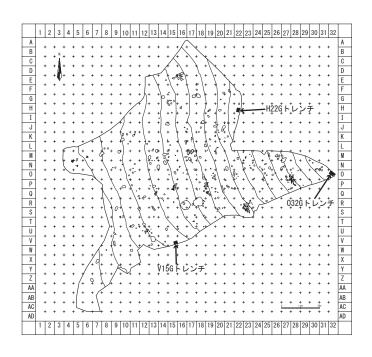


#### V15Gトレンチ

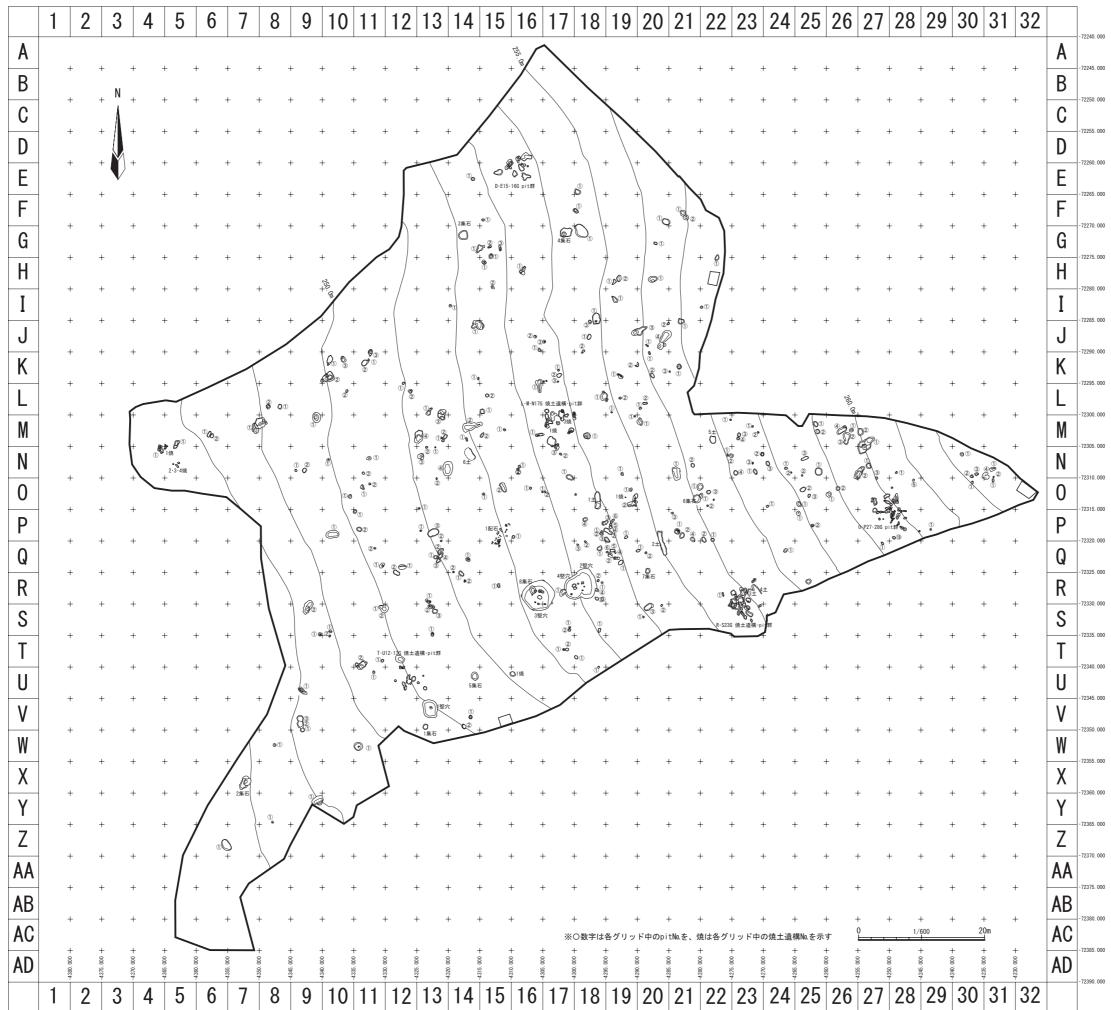
- A 暗褐色土 (10YR3/4) 表土層 B 暗褐色土 (7.5YR4/3) 遺物包含層 約5mm以下炭化材、約3mm以下橙色粒少量含 田 (1.5) 17(4/3) 追称さら音 対 3 mm以下 (水) 4 によい (水) 4 (水) 4 (ル) 4

- D にぶい黄褐色土砂質土 (10YR5/4) 約10cm以下円礫多量含む。





第3図 平林遺跡基本土層図



#### 第3節 発見された遺構と遺物

発見された遺構は、縄文時代の竪穴状遺構4基、配石遺構1基、集石土坑8基、土坑6基、焼土遺 構 12 基、ピット 330 基である。遺物は縄文時代前期後半から中期初頭を主としており、土器や石器 類が出土している。土坑のうち2基は、長楕円形で深く、陥穴の機能を推定できるものである。なお、 縄文土器は『山梨県史資料編2』の名称及び特徴にしたがって記述する。

#### (1) 竪穴状遺構

**1号竪穴状遺構**(第5~7、59~60図)

[**位置**] V - 13 グリッドに位置する。

[形状・規模(長軸×短軸)] 楕円形。2.86m(南北)×2.21m。

[**覆土**] レンズ状に堆積しており、自然堆積と思われる。1層は暗褐色土、2層はやや暗い暗褐色 土で、床面上の3層は褐色土となる。

は最大 45cm程となる。

[**ピット**] 中央部で1基検出された。深さ15cmとなる。

[炉] 確認されていない。中央部で確認されたピットが炉の可能性もあるが、覆土中に焼土は含ま れていない。

#### [**その他の施設**] なし。

「遺物出土状況 | 土器片は全体として散在し、床面より 10cm以上上方より出土する傾向が看取され る(第5図)。分類ごとにみると、縄文時代中期初頭の五領ヶ台Ⅱ式が最も多く、中央部付近にまとまっ ている(第6図)。中央部にあるピット上方には浅鉢形土器(12)が出土し、その周辺からは打製石 斧(13)や磨石とともに人頭大の礫が大量に確認されている(第7回)。

「時期 】 土器の特徴から縄文時代中期初頭の五領ヶ台 Ⅱ 式段階に位置付けることができる。

#### **2 · 4 号竪穴状遺構** (第 8 ~ 14、60 ~ 63 図)

[位置] 2号竪穴状遺構:Q・R - 18 グリッド 4号竪穴状遺構:R - 17・18 グリッド

[**重複**] 2・4号竪穴状遺構が重複し、2号竪穴状遺構はR18Gpit4と、4号竪穴状遺構はR17Gpit 1と重複する。2・4号竪穴状遺構では4号竪穴状遺構が新しく、4号竪穴状遺構とR17Gpit 1に おいても 4 号竪穴状遺構が新しい。 2 号竪穴状遺構と R18Gpit4 の新旧関係は不明である。

[形状・規模(長軸×短軸)] 2号竪穴状遺構:楕円形か。長軸 4.75m(南北)×短軸不明。 4号竪 穴状遺構:楕円形か。長軸 3.67m(南北)×短軸不明。

「**覆土** 」 4 号竪穴状遺構は中央部に根攪乱層(13 層)や風倒木痕と思われる 10・11'層が見られる が、それ以外はレンズ状に堆積しており、自然堆積と思われる。2号竪穴状遺構も西側は4号竪穴 状遺構に切られているものの、それ以外は自然堆積と思われるレンズ状に堆積が認められる。また、 覆土上層にあたる 1・2 層は 2・4 号竪穴状遺構埋没後に堆積したと思われ、下部には焼土層(1"層) が認められる。

[壁・周溝] 2・4号竪穴状遺構ともに壁は床面から傾斜して立ち上がり、周溝はみられない。確 認面から床面までの深さは2号竪穴状遺構では最大68cm程、4号竪穴状遺構では最大37cm程となる。 [ピット] 2・4号竪穴状遺構あわせて7基検出された。2号竪穴状遺構 pit 1・2・3としたピッ

トは2号竪穴状遺構南東部にあり、深さは pit 1 が約 30cm、pit 2 は約 22cm、pit 3 は約 10cmとなる。 いずれも4号竪穴状遺構と重複している範囲にあり、4号竪穴状遺構に属する可能性もある。4号竪 穴状遺構 pit 1・2 は 4 号竪穴状遺構中央部にあり、深さは pit 1 が約 7 cm、pit 2 は約 20cmとなる。

4号竪穴状遺構 pit 3は4号竪穴状遺構南西部にあり、深さは約15cmとなる。

[炉] 2号竪穴状遺構では中央やや西よりに地床炉がある。4号竪穴状遺構では確認されていない。中央部で確認された4号竪穴状遺構 pit 1・2が炉の可能性もあるが、覆土中に焼土は含まれていない。

[その他の施設] 2号竪穴状遺構中央部および東部の1・2層下に焼土が堆積している(第10図)。 東側に堆積する焼土層直下より縄文時代中期中葉の土器片(22)が出土している(第8図東西土層図) ことから、2・4号竪穴状遺構埋没後の窪地において、中期中葉段階に焼土が形成されたと思われる。 [遺物出土状況] 土器片は2号竪穴状遺構範囲内に多く散在し、4号竪穴状遺構においては中央部 より南西側にまとまって出土する傾向が看取される(第11・12図)。分類ごとにみると、2号竪穴

より南西側にまとまって出土する傾向が看取される(第 11・12 図)。分類ごとにみると、2 号竪穴 状遺構範囲では縄文時代前期後半諸磯 b 式が多く分布しており、北東部壁際の床面直上からは比較的 大型の土器片(8・12)が出土している(第 10・11 図)。縄文時代前期末葉の十三菩提式は数はす くないものの、4 号竪穴状遺構の中心部にまとまってみられる。縄文時代中期中葉のものは、東側の 上層部分より出土している。

石器は2号竪穴状遺構北部と4号竪穴状遺構中央部に少数ではあるが、まとまって出土している(第13図)。礫は2号竪穴状遺構範囲内全体に散在してみられる(第14図)。

[時期] 2号竪穴状遺構は土器の特徴から縄文時代前期後半の諸磯 b 式段階五領ヶ台 II 式段階に位置付けることができる。4号竪穴状遺構は土器の出土量が少なく判別しがたいが、縄文時代前期末の十三菩提式段階に位置づけられる可能性がある。

#### **3号竪穴状遺構**(第 15 ~ 23、64 ~ 68 図)

[**位置**]  $R \cdot S - 16 \cdot 17$  グリッドに位置する。

[重複] 北西部覆土上層に8号集石土坑が重複しており、8号集石土坑が新しい。

[形状・規模(長軸×短軸)] 楕円形。5.23m(東西)× 4.69m。

[**覆土**] レンズ状に堆積しており、自然堆積と思われる。最終埋没土の1層は暗褐色土で、2層は 黒褐色土となり、その下の3層は暗褐色土となる。3層下の4層は再び黒褐色土が堆積し、以下は暗 褐色土層が堆積している。

[壁・周溝] 南壁はやや傾くがほぼ垂直に近く直線状に立ち上がり、以北は床面から傾斜して立ち上がっている。周溝はみられない。確認面から床面までの深さは最大83cm程となる。

[ピット] 中央の炉を取り囲むように北側に 3 基、南側に 3 基の計 6 基検出された。深さは pit 1 が約 23cm、pit 2 は約 22cm、pit 3 は約 20cm、pit 4 は約 49cm、pit 5 は約 20cm、pit 6 は約 17cmとなる。

[炉] 住居中央より地床炉が検出された。地床炉は  $64 \times 48$ cmの不整楕円形を呈し、焼土が最大 10 cm堆積している。

#### **「その他の施設** 」 なし。

[遺物出土状況] 土器片は全体として散在して出土する傾向が看取される(第 17 図)。分類ごとにみると、縄文時代前期後半諸磯 b 式が最も多く、遺構全域において覆土上層から下層の間で出土している(第 18 図)。また、近畿地方の縄文時代前期後半の土器である北白川下層式も諸磯 b 式と同様の分布状況がみられる。縄文時代前期末葉十三菩提式は遺構中央部と南西部の覆土下層から床面直上の間から出土しており(第 19 図)、地床炉直上からも小型深鉢形土器(15)が出土している(第 16 図)。縄文時代中期初頭五領ヶ台 II 式と中期中葉は遺構北西部の南東部の覆土上層から出土しており(第 19 図)、中央部よりやや南東部付近からは中期中葉藤内式の台付土器(23)が出土している。

石器は住居全域からまんべんなく出土しており、種類も剥片や石核、石鏃、石匙、打製石斧、石皿など多岐にわたる(第20・21図)。礫は、全域からまんべんなく出土している。北西部上層では重複する8号集石土坑の礫が集中してみられる。

#### (2) 1号配石遺構(第24・69・70図)

調査区中央部の $P \cdot Q - 15$  グリッド、東西方向の低い尾根上に位置する。南部では環状に人頭大の礫を並べ、その北東約3 mの位置に祭壇上に礫を配置し、環状配石と祭壇状配石間を直線的に結ぶように礫を配している。

環状配石と祭壇状の中間部からは縄文時代早期末の土器片(1~4)や磨石(5・6)がまとまって出土している。配石周囲からは泥岩製の尖頭器(8・9・10)や泥岩を主体とする剥片(11~19)が出土している。また、縄文時代草創期に位置づけられる安山岩製の槍先形尖頭器(7)も出土している。時期は出土土器から縄文時代早期末に位置づけられる。

#### (3)集石土坑

#### 1号集石土坑 (第25図)

V-13 グリッドに位置する。長軸 0.91 m、短軸 0.80 m、深さ 25cmの不整楕円形を呈す。径 10 cm前後の被熱により赤化した礫が覆土上部に敷き詰められており、礫下部の 2 層からは炭化材や焼土粒が確認された。遺構からの遺物の出土はみられなかったが、出土炭化材の放射性炭素年代測定では縄文時代前期中葉頃の  $5,380\pm20$  yrBP(calBC 4,321 – calBC 4,182 (calBP 6,270 – 6,131))という結果が得られている(第 4 章第 1 節)。

#### 2号集石土坑 (第25 図)

X-7 グリッドに位置する。長軸 2.37 m、短軸 1.46 m、深さ 46cmの不整長楕円形を呈す。径 20 cm以下の礫が遺構南側を除く覆土全体に詰められていた。礫は被熱により赤化している。覆土中からは炭化材や焼土粒が確認された。遺構からの出土遺物はみられなかったため、時期は明らかでない。

#### 3号集石土坑 (第25図)

G-14 グリッドに位置する。長軸 1.64 m、短軸 1.51 m、深さ 16cmの楕円形を呈す。径 15cm前後の焼けた礫が遺構中央部の覆土上部に敷き詰められており、覆土中からは炭化材や焼土粒が確認された。遺構からの出土遺物は見られなかったため、時期は明らかでない。

#### 4号集石土坑 (第 26 図)

G-17 グリッドに位置する。長軸 2.12 m、短軸 1.50 m、深さ 10cmの不整楕円形を呈し、南西側には長軸 0.77 m、短軸 0.76 m、確認面からの深さ 30cmの不整円形の掘りこみがみられる。南西側の不整円形の掘りこみ内には径 20cm前後の焼けた礫がぎっしりと詰められており、覆土中からは炭化材や焼土粒が確認されている。遺構からの遺物の出土はみられなかったが、2 層出土炭化材の放射性炭素年代測定では縄文時代中期前半頃の  $4,560\pm 20$ yrBP(calBC 4,321 – calBC 4,182 (calBP 6,270 – 6,131))という結果が得られている(第 4 章第 1 節)。

#### 5号集石土坑 (第26図)

U-14 グリッドに位置する。長軸 1.31 m、短軸 1.12 m、深さ 30cmの楕円形を呈す。径 10cm前後の被熱により赤化した礫が詰められており、覆土中からは炭化材や焼土粒が確認されている。遺物は剥片が覆土上部から、縄文土器小片が底面付近から出土しているが時期は明らかでない。

#### 6号集石土坑 (第27図)

O-21 グリッドに位置する。長軸 1.32~m、短軸 1.22~m、深さ 32cmの楕円形を呈し、北東部で O22Gpit1 と重複する。径 10cm前後の被熱により赤化した礫が詰められており、覆土中からは炭化材 や焼土粒が確認されている。遺物は縄文土器片と剥片が覆土上部から出土しているが時期は明らかで

ない。

#### 7号集石土坑 (第 27 図)

Q・R -20 グリッドに位置し、長軸 0.90 m、短軸 0.72 m、深さ 16cmの楕円形を呈す。遺構中央部の覆土上部に径 10cm前後の焼けた礫が敷かれている。遺構からの出土遺物は見られなかったため、時期は明らかでない。

#### 8号集石土坑 (第27図)

R-16 グリッドの3号竪穴状遺構覆土上部に位置し、長軸1.28 m、短軸1.00 m、深さ22cmの 楕円形を呈す。径10cm前後の被熱により赤化した礫が詰められており、覆土中からは炭化材や焼土 粒が確認されている。遺構からの出土遺物は見られなかったため、時期は明らかでないが、3号竪穴 状遺構との重複関係から縄文時代中期初頭以降に使用されたと思われる。

#### (4) 土坑

#### 1号土坑 (第 28 図)

0-18 グリッドに位置し、縄文時代包含層上部から掘りこまれる。北側の長円形の掘りこみと、南側の楕円形の掘りこみからなり、長軸  $2.74~\mathrm{m}$ 、短軸  $0.92~\mathrm{m}$ の長円形で北側は深さ約  $5~\mathrm{cm}$ 、南側は深さ  $10~\mathrm{cm}$ となる。覆土は炭化材を多量に含む黒褐色土が堆積し、底面には焼土が確認された。遺物は縄文時代前期後半諸磯 b 式土器小片が出土しているが、周辺からの流れ込みと考えられる。出土炭化材の放射性炭素年代測定では平安時代の  $880\pm15\mathrm{BP}$  (AD1052  $\sim$  AD1081 年、AD1151  $\sim$  AD1216 年)という結果が得られている。(第 4 章第 2 節)

#### 2号土坑 (第28図)

P•Q - 20 グリッドに位置し、縄文時代包含層上部から掘りこまれる。 長軸 4.03 m、短軸 0.80 m、深さ約 7 cmの不整長楕円形を呈す。 覆土上層は炭化材を多量に含む黒褐色土が堆積し、底面には焼土粒を含む褐色土が確認された。 遺物は縄文時代前期後半諸磯 b 式土器小片が出土しているが、周辺からの流れ込みと考えられる。

#### 3号土坑 (第32図)

R-23 グリッドに位置し、縄文時代包含層上部から掘りこまれる。南側は木の根による攪乱を受けて消失しているため、規模・形状は不明であるが、残存部の深さは約6 cm となる。覆土中には炭化材を多量に、焼土粒を少量含む黒褐色土が堆積している。遺物は出土していない。

#### 4号土坑 (第32図)

R-23 グリッドに位置し、縄文時代包含層上部から掘りこまれる。南側は木の根による攪乱を受けて消失しているため、規模・形状は不明であるが、残存部の深さは約8 cm となる。覆土中には炭化材を多量に、焼土粒を少量含む黒褐色土が堆積し、底面には焼土が確認された。遺物は出土していない。

#### 5号土坑 (第28図)

M - 22 グリッドに位置し、縄文時代包含層上部から掘りこまれる。長軸 1.28 m、短軸 0.98 m、深さ約 8cmの不整楕円形を呈す。覆土中には上層に炭化材・焼土粒を多量に含む黒褐色土が堆積し、下層は炭化材を多量に、焼土粒を少量含む褐色土が堆積している。遺物は出土していない。

#### 6号土坑 (第28図)

N-14 グリッドに位置し、縄文時代包含層上部から掘りこまれる。西側は木の根による攪乱を受けて消失しているため、全体形は不明であるが、残存部で南北  $1.90~\mathrm{m}$ 、深さ約  $15\mathrm{cm}$ で不整長楕円形を呈していると考えられる。覆土中には炭化材・焼土粒を多量に含む黒褐色土が堆積している。遺物は出土していない。

#### (5) 焼土遺構

#### M17G- 1号焼土遺構 (第29図)

L・M - 17 グリッドにあり、M17G- 2 号焼土が東側に隣接している。長軸 2.30 m、短軸 1.20 m、深さ約 28cmのアメーバ状の不整形を呈す。底面直上には炭化材・焼土粒を多量に含む褐色土ないしは暗褐色土が堆積している。遺物は縄文時代前期後半諸磯 b 式土器小片が出土しているが時期は明らかでない。

#### M17G-2号焼土遺構(第29図)

 $L\cdot M-17$  グリッドに位置し、M17G-1 号焼土が西側に、M17G-3 号焼土が東側に隣接している。 長軸 1.46 m、短軸 0.90 m、深さ約 30cmのアメーバ状の不整形を呈す。遺構西側中央部の上層に焼土粒をきわめて多量に含む暗褐色土が堆積している。遺物は出土していない。

#### M17G-3号焼土遺構(第29図)

 $L\cdot M-17$  グリッドに位置し、M17G-2 号焼土が西側に隣接している。長軸 1.88 m、短軸 1.00 m、深さ約 16cmの不整形を呈す。南側に焼土層が、北東部および北西部に焼土粒を多量に含む褐色土が堆積している。遺物は出土していない。

#### N5G- 1号焼土遺構 (第30図)

M-5、 $N-4\cdot5$  グリッドに位置する。焼土は南北二つにわかれ、北側は長軸 0.58 m、短軸 0.36 mの不整形、南側は長軸 0.36 m、短軸 0.26 mの楕円形で、焼土が約 5 cm堆積している。遺物は出土していない。

#### N5G-2号焼土遺構(第30図)

N-5 グリッドに位置する。長軸 0.77 m、短軸 0.26 mの不整長円形で、焼土が約 8 cm 堆積している。 焼土の北西側では炭化材を検出し、樹種分析の結果、ヒノキと同定された。 遺物は出土していないが、 焼土中の炭化材の放射性炭素年代測定では古墳時代の  $1,570\pm20$  yr BP (calAD 423 – calAD 541 (calBP 1,527 – 1,409))という結果が得られている(第 4 章第 1 節)。

#### N5G-3号焼土遺構(第30図)

N -5 グリッドに位置する。長軸 0.28 m、短軸 0.16 mの楕円形で、焼土が約 4 cm 堆積している。 遺物は出土していない。

#### N5G- 4号焼土遺構 (第30図)

N -5 グリッドに位置する。長軸 0.37 m、短軸 0.28 mの楕円形で、焼土が約 7 cm堆積している。遺物は出土していない。

#### 019G- 1号焼土遺構 (第 31 図)

0-19 グリッドに位置する。長軸 0.22 m、短軸 0.14 mの不整形で、焼土が約 10cm堆積している。

焼土下には掘りこみはみられない。遺物は出土していない。

#### R23G- 1号焼土遺構 (第 32 図)

R-23 グリッドに位置する。長軸 2.36 m、短軸 1.26 m、深さ 27cmのアメーバ状不整形で、北部の中層から下層には炭化材を多量に含む焼土層が堆積している。南東部の覆土上部には大型の炭化材を確認した。遺物は泥岩の剥片が出土している。

#### R23G-2号焼土遺構(第32図)

 $R \cdot S - 22 \cdot 23$  グリッドに位置する。長軸 2.84 m、短軸 1.64 m、深さ 31cmのアメーバ状不整形で、西側中央部上層に焼土層が堆積している。遺物は出土していない。

#### U12G- 1号焼土遺構(第31図)

U-12 グリッドに位置し、東側で U12Gpit4 と重複する。長軸 1.44 m、短軸 0.89 m、深さ 30cm のアメーバ状不整形を呈す。北側覆土上層には環状に堆積している。遺物は縄文土器小片が出土している。

#### **U16G-1号焼土遺構**(第33図・第71図)

U-16 グリッドに位置する。長軸 0.96 m、短軸 0.72 m、深さ 32cmの楕円形を呈す。遺構内は焼土が充填され、上部には 40cm大の円礫が敷き詰められた状態で検出された。

遺物は上部円礫周辺から石錐(1)や石匙(2・3)が出土しているほか、縄文土器小片や剥片が出土している。

#### (6) ピット

調査区からは 330 基のピットが全域で確認されている。大半が不整形を呈しており、根攪乱の可能性もあるが、特徴的なものとしては、陥穴(N13Gpit 4、N21Gpit 1)や遺構中に礫が配されるもの(E16Gpit 5、J18Gpit 1・3、M25Gpit2、M26Gpit 1・3・4、M27Gpit 1、N27Gpit 1・2、O21Gpit 1、O25Gpit 1、O26Gpit 1、P28Gpit19)、石器や大型の土器片や多量の土器片が出土するもの(M26Gpit 2、O21Gpit 1、P18Gpit4、S10Gpit2)、覆土中に焼土がみられるもの(J20Gpit 3、O27Gpit4、P28Gpit 4)などがある。

各ピットの詳細については一覧表(第1表)を参照されたい。

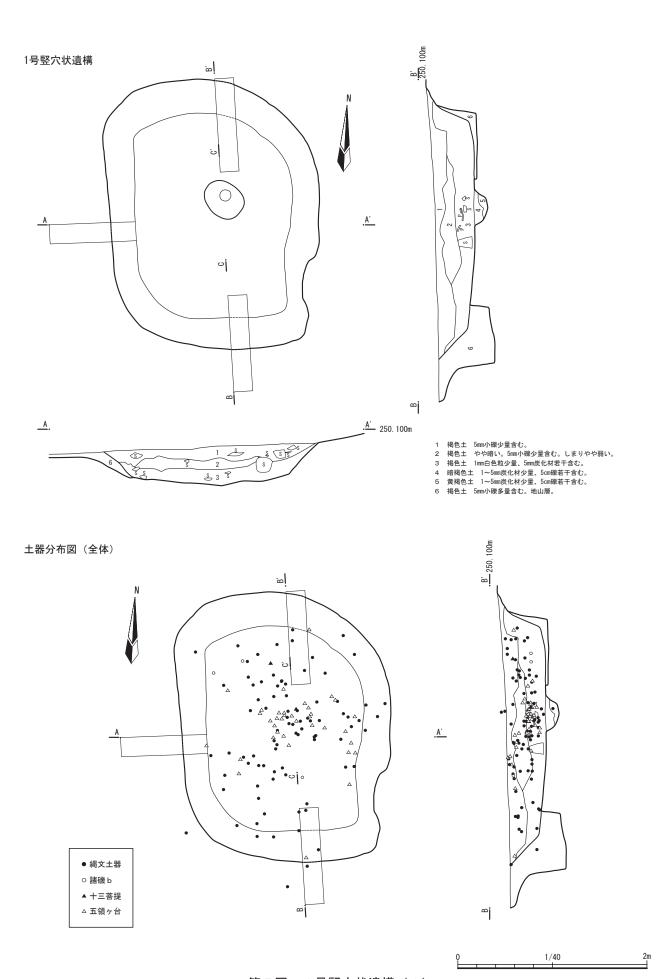
#### 第1表 ピット一覧表

ピット名	掲載図	重 複	形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	出土遺物/備考
D16Gpit1	第 34 図	_	楕円形	0.98	0.78	0.45	焼土粒含む。
D16Gpit2	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	E16Gpit1 に変更
D16Gpit3	第 34 図	_	不整形	1.78	1.10	0.20	焼土粒含む。
D16Gpit4	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	E16Gpit2 に変更
D16Gpit5	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	E16Gpit3 に変更
D16Gpit6	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	E16Gpit4 に変更
D16Gpit7	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	E16Gpit5 に変更
D16Gpit8	第 34 図		不整楕円形	1.20	1.00	0.18	焼土粒含む。
D16Gpit9	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	E16Gpit6 に変更
D16Gpit10			欠番	欠番			E15Gpit2 に変更
	欠番	欠番	欠番		欠番	欠番	
D16Gpit11	欠番	欠番		欠番	欠番	欠番	E15Gpit3 に変更
E14Gpit1	第 35 図		円形	0.63	0.54	0.20	覆土中に焼土粒含む。
E15Gpit1	第 34 図		不整楕円形	1.45	0.93	0.36	縄文中期初頭五領ヶ台Ⅱ式土器片、剥片/焼土粒含む。
E15Gpit2	第 34 図		楕円形	0.89	0.58	0.20	焼土粒含む。
E15Gpit3	第 34 図		不整形	0.54	0.35	0.14	焼土粒含む。
E16Gpit1	第 34 図	_	楕円形	1.23	0.74	0.31	焼土粒含む。
E16Gpit2	第 34 図	_	円形	0.28	0.26	0.24	焼土粒含む。
E16Gpit3	第 34 図	_	円形	0.43	0.40	0.18	焼土粒含む。
E16Gpit4	第 34 図	_	円形	0.30	0.24	0.18	焼土粒含む。
E16Gpit5	第 34 図	_	不整形	1.54	1.02	0.20	台石 / 焼土あり、礫あり。
E16Gpit6	第 34 図	_	不整楕円形	1.06	0.79	0.10	焼土粒含む。
E18Gpit1	第 35 図	_	不整楕円形	1.06	0.88	0.16	
F15Gpit1	第 35 図	_	楕円形	0.45	0.40	0.25	
F17Gpit1	第 35 図	_	楕円形	0.94	0.60	0.34	焼土粒含む。
F18Gpit1	第 35 図	_	楕円形	2.48	1.75	0.20	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
F20Gpit1	第 35 図		精円形 精円形	1.30	0.96	0.20	焼土粒含む、礫あり。
F21Gpit1	第 35 図		楕円形	0.92	0.90	0.22	/// // // // // // // // // // // // //
F21Gpit2	第 35 図		精円形 精円形	0.92	0.82	0.14	礫あり。
				1.79	0.78	0.17	MKOUソo
G14Gpit1	第 36 図		不整形				
G15Gpit1	第 36 図		楕円形	0.83	0.68	0.40	焼土粒含む。
G15Gpit2	第 36 図	_	楕円形	0.66	0.35	0.30	<u> </u>
G15Gpit3	第 36 図		長楕円形	0.95	0.36	0.38	
G20Gpit1	第 35 図		楕円形	0.59	0.40	0.12	焼土粒含む、礫あり。
G22Gpit1	第 35 図	_	楕円形	1.00	0.60	0.19	焼土粒含む、礫あり。
H15Gpit1	第 36 図	_	楕円形	0.74	0.57	0.24	
H15Gpit2	第 36 図	_	不整形	0.67	0.48	0.22	焼土粒含む。
H16Gpit1	第 36 図	_	不整形	1.40	0.80	0.25	縄文前期後半諸磯 b 式土器片
H19Gpit1	第 36 図	_	不整形	0.93	0.48	0.22	焼土粒含む。
H19Gpit2	第 36 図	_	不整形	1.08	0.78	0.37	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
H20Gpit1	第 36 図	_	楕円形	1.46	0.95	0.34	
I14Gpit1	第 36 図	_	円形	0.45	0.40	0.31	
I18Gpit1	第37図		不整楕円形	1.86	1.30	0.19	焼土粒含む。
I19Gpit1	第37 図	_	不整楕円形	1.36	0.70	0.20	WELTER OF
I22Gpit1	第 37 図	_	円形	0.44	0.40	0.20	礫あり。
J14Gpit1	第 37 図			2.04	1.44	1.00	縄文中期初頭五領ヶ台Ⅱ式土器片
			不整楕円形				
J16Gpit1	第 37 図		不整楕円形	0.67	0.49	0.18	4H-4-   DD11.
J16Gpit2	第 37 図		楕円形	0.51	0.46	0.28	縄文土器片
J17Gpit1	第 37 図		円形	0.52	0.46	0.14	縄文土器片
J18Gpit1	第 37 図		楕円形	0.90	0.58	0.09	縄文土器片 / 焼土粒含む、礫あり。
J18Gpit2	第 37 図	_	不整楕円形	0.70	0.39	0.35	
J18Gpit3	第 37 図	_	不整楕円形	0.63	0.47	0.15	礫あり。
J20Gpit1	第 38 図	_	長楕円形	0.57	0.24	0.15	
J20Gpit2	第 38 図	_	楕円形	0.47	0.35	0.15	
J20Gpit3	第 38 図	_	不整形	2.68	1.14	0.60	焼土粒含む。
J20Gpit4	第 38 図	_	不整形	3.36	1.33	0.52	縄文土器片 / 焼土粒含む。
J21Gpit1	第 39 図	_	不整楕円形	1.05	0.84	0.26	縄文土器片
K10Gpit1	第 39 図	_	不整楕円形	1.70	0.72	0.08	南側根攪乱を受ける。焼土粒含む。
K10Gpit2	第 39 図	_	不整楕円形	2.31	1.48	0.38	縄文中期初頭五領ケ台Ⅱ式土器片
K10Gpit3	第 39 図	_	楕円形	1.00	0.74	0.36	縄文前期後半諸磯 b 式土器片、剥片
K11Gpit1	第 39 図	_	楕円形	0.38	0.30	0.10	縄文前期後半諸磯 b 式土器片
K11Gpit2	第 39 図	_	不整楕円形	1.22	0.82	0.13	A CONTRACT OF THE PROPERTY OF
K11Gpit2	第 39 図	_	不整楕円形	1.15	0.74	0.13	縄文土器片
K11Gpit3	第 40 図		楕円形	0.48	0.74	0.18	TE//
K14Gpit1	第 40 図		円形	0.48	0.26	0.18	+
	第 40 図 第 40 図			0.34	0.33	0.14	
K17Gpit2			精円形				
K17Gpit3	第 40 図		精円形 *	0.32	0.21	0.05	<u> </u>
K17Gpit4	第 40 図		楕円形	0.26	0.22	0.12	+
K17Gpit5	第 40 図		精円形 不散接田平	0.32	0.24	0.08	
K19Gpit1	第 40 図		不整楕円形	1.06	0.59	0.58	051 Mars 2 ver 600 eft vets 3 ver
K19Gpit2	第 40 図		楕円形	-	0.62	0.09	動物による攪乱受ける。
K20Gpit1	第 38 図	_	楕円形	0.54	0.30	0.18	
K20Gpit2	第 40 図	_	楕円形	0.89	0.52	0.44	
K20Gpit3	第 41 図	_	楕円形	0.30	0.23	0.29	
K21Gpit1	第 41 図	_	楕円形	0.87	0.73	0.42	
L8Gpit1	第41図	_	不整楕円形	0.86	0.63	0.20	
L8Gpit2	第41図	_	不整楕円形	0.77	0.66	0.29	
L10Gpit1	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	根攬乱
L10Gpit2	第41図		楕円形	0.52	0.38	0.18	縄文前期後半諸磯 b 式土器片 / 焼土粒含む。
L12Gpit1	第41 図	_	不整楕円形	0.52	0.65	0.13	TO SHATTER I HEREN O EXCEUDIT I / MILLIALI CO
LLICUUILI	第41 図		精円形	0.08	0.03	0.43	南側根攪乱を受ける。
			181 J/D				(で) (VX 2) JH見以口では (V V で)
L12Gpit2		_	不救耶				
L12Gpit2 L13Gpit1	第 41 図		不整形不敷佐田形	1.42	0.69	0.18	
L12Gpit2 L13Gpit1 L15Gpit1	第 41 図 第 41 図	_	不整楕円形	0.87	0.80	0.40	は上半~今~
L12Gpit2 L13Gpit1	第 41 図						焼土粒含む。

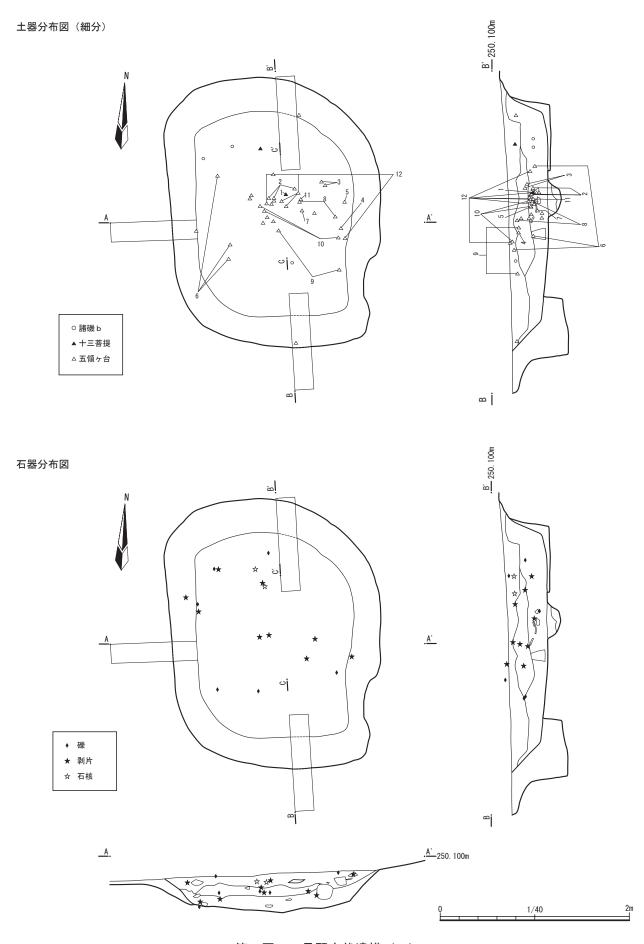
L								
1956년   1941 전   -   200   189   112   0.30   1.50   1	ピット名	掲載図	重 複	形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	出土遺物/備考
Lincigna			_					焼土粒含む。
1999								
1200  1200								
120Gpm								
MacGraft								
## 50 0			_					焼土粒含む。
## 1985년 및 1 12 12 12 12 12 12 12 12 12 13 13 13 13 13 14 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13			_					
「「			_					
MacSeall   第42 回	M6Gpit2	第 42 図	_	楕円形	0.72	0.49	0.20	
M. Saput   64 2년   -	M7Gpit1	第 42 図	_	不整形	2.85	1.66	0.21	焼土粒含む。
MSSQuign   第42 日	M9Gpit1		_				0.29	縄文前期後半諸磯 b 式土器片
M3 5								
M3.5cg								
MacGrept   第42 명								
Mi Septi								縄文中期初頭五領ヶ台Ⅱ式土器片
M 55(pul)								
## 155(元)								焼土粒含む。
M166pat   第2918   一   四所形								
MT   75   第29   一								细·力·十四·上
MT   万円   第29 日								
MT/Cgrid   第29 回   NT/Cgrid   不整円形   172   1.45   0.29   性土を (現代あり、								
M7Cpuid 第29度 - 今野野影 0.70 0.50 0.25 使性含化。 M8Spuid 3.13 0.50 0.50 0.25 模型 2.50 位性含化。 M8Spuid 3.13 - 格野野 1.15 1.00 0.50 0.22 模型 2.50 位性含化。 M8Spuid 3.13 - 格野野 0.30 0.26 0.18 位性含化。 MSSpuid 3.13 1.00 0.26 0.26 0.21 位性含化。 MSSpuid 3.13 1.00 0.20 0.20 0.21 位性含化。 MSSpuid 3.13 1.00 0.27 0.20 0.20 0.21 位性含化。 MSSpuid 3.13 1.00 0.20 0.20 0.22 0.21 0.20 0.20 0.22 0.20 0.20								
M17Cycle			*					
MSCQFII   第45   第45   9								
MSCQcp1			_					縄文前期後半諸磯 b 式土器片
M2CQpt			_					
M23Cptil 別43 8 ―			_					焼土粒含む、礫あり。
M23Opt	M22Gpit1	第 43 図	_	楕円形	0.34			
研350p14 第43 図 ―			_	楕円形				
M2Sophil 第45 8			_					
M25Gptl								
M25Gp112 第45個								
MS6Gpt1 第448								
M25Gpil2   第44日								This has be
M28CGpt13								
M26Gpid   第44   日本   一   長楕甲形   1.88   0.86   0.41								
MZTGpull   第44個   一   本格明形   3.43   1.72   0.58   親女呼信謝師中中越式上器片、剥片/ 保姦り。   MZTGpull   第45個   一   門形   0.43   0.39   0.32   親文土部片   MXTGpull   第45個   一   門形   0.43   0.39   0.32   親文土部片   MXTGpull   第45個   一   桁円形   0.50   0.58   0.43   MXT温房   MXTL和   MXTLAN			*					「
M2FGp12   第44   日								- 縄力時代前期前平山越北十男臣 - 割臣 / 離ま h
NSC  11								種文内代別別刊十十巻以上66月、利月/1歳のり。
NSC   12			-					
NIOSpit								
NI1Gpit   第45 図								
N11Gptl2 第 45 図 - 柄円形 0.46 0.40 0.15 N13Gptl1 第 45 図 - 円形 0.26 0.24 0.10 N13Gptl2 第 45 図 - 柄円形 0.39 0.34 0.27 N13Gptl3 第 45 図 - 核円形 0.39 0.34 0.27 N13Gptl4 第 45 図 - 長楕円形 0.39 0.34 0.27 N13Gptl4 第 45 図 - 長楕円形 0.48 0.35 0.05 N13Gptl1 第 45 図 - 横円形 0.48 0.35 0.05 N17Gptl 第 46 図 - 梧刊形 0.42 0.33 0.05 N17Gptl 第 46 図 - 梧刊形 0.42 0.33 0.05 N17Gptl 第 46 図 - 梧刊形 0.42 0.33 0.05 N17Gptl 第 46 図 - 梧刊形 0.43 0.32 0.40 N17Gptl 第 46 図 - 接桁形形 0.43 0.32 0.40 N17Gptl 第 46 図 - 接桁形形 0.43 0.32 0.40 N17Gptl 第 46 図 - 接桁形形 0.43 0.32 0.40 N17Gptl 第 46 図 - 接桁形形 0.54 0.42 0.18 挺交前院半部建设土器片 焼土粒合む。 N21Gptl 第 46 図 - 長楕円形 0.66 0.58 0.26 N21Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.66 0.58 0.26 N22Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.68 0.65 0.20 N23Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.68 0.65 0.20 N23Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.68 0.65 0.20 N23Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.68 0.59 0.08 N23Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N23Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.89 0.59 0.08 N23Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.82 0.66 0.12 N24Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.80 0.59 0.24 初片/健志り。 N25Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.80 0.59 0.24 初片/健志り。 N25Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.80 0.59 0.24 初片/健志り。 N25Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.32 0.23 0.29 N25Gptl 第 47 図 - 梧刊形 0.32 0.23 0.29 N25Gptl 第 47 図 - 春刊形 0.44 0.41 0.37 N27Gptl 第 48 図 - 杯卷析刊形 0.40 0.41 0.37 N27Gptl 第 48 図 - 杯卷析刊形 0.60 0.58 0.16 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析刊形 0.40 0.41 0.47 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析刊形 0.40 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.41 0.49 0.41 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.48 0.49 0.42 N3Gptl 第 48 図 - 杯卷析 0.48 0.49 0.42 N3Gptl 第 4			_					
N3Gpit2 第45 図			_		0.46	0.40	0.15	
N3Gpit4		第 45 図	_	円形	0.26	0.24	0.10	
N13Gpit4	N13Gpit2	第 45 図	_	楕円形	0.39	0.34	0.27	
NIEGpit 第45図 — 楕甲形 0.48 0.35 0.05			_					
N16Gpit 2 第45 図 ― 楕円形 0.42 0.33 0.05   N17Gpit 第46 図 ― 楕円形 1.29 0.81 0.27			_					打製石斧/陥穴
NITGpit1   第46   一   楕円形   1.29   0.81   0.27   焼土あり。								
N17Gpit2   第29 図			_					
N17Gpit3   第29 図   M17Gpit3   不整形   1.16   0.82   0.34   縄文主器F/ 焼土粒含む。   N19Gpit1   第46 図			_					焼土あり。
N31Gpit1   第46 図								細立十架片 / 栫十粉今ネセ
N21Gpit1 第46図			M17Gpit3					
N21Gpit2   第46 図			_					
N22Gpit  第 47 図								
N22Gpit2   第47 図								「でへ ロリ/ソリ久 丁 旧 HX U 八 上 田 I / I
N23Gpi12   第47 図								
N23Gpit2   第47図								
N23Gpit3   第47図			_					
N23Gpit4   第47図			-					
N24Gpit2   第47 図	N23Gpit4		_	楕円形				
N24Gpit3   第47図								
N25Cpit1								
N25Gpit2								剥片 / 礫あり。
N25Cpit3								
N27Gpit1   第47図								
N27Gpit2								
N27Gpit3								
N28Gpit1								羽月 / 傑のり。
N30Cpit1								
N30Cpit2     第48図     —     不整楕円形     0.60     0.50     0.12       N30Cpit3     第48図     —     不整楕円形     0.70     0.49     0.12       N31Gpit1     第48図     —     楕円形     1.03     0.56     0.30       N31Gpit2     第48図     —     楕円形     0.33     0.21     0.11       N31Gpit3     欠番     欠番     欠番     欠番     欠番     欠番     欠番       N31Gpit4     第48図     —     不整桁     1.15     1.12     0.30     剥片       010Gpit1     第48図     —     不整楕円形     0.66     0.62     0.23       011Gpit2     第48図     —     布磐円形     0.35     0.35     0.09       013Gpit1     第48図     —     楕円形     0.33     0.26     0.22								
N30Cpit3         第48図         -         不整楕円形         0.70         0.49         0.12           N31Cpit1         第48図         -         楕円形         1.03         0.56         0.30           N31Cpit2         第48図         -         楕円形         0.33         0.21         0.11           N31Cpit3         欠番         欠番         欠番         欠番         欠番         欠番           N31Cpit4         第48図         -         不整形         1.15         1.12         0.30         剥片           010Cpit1         第48図         -         不整楕円形         0.66         0.62         0.23           011Gpit1         第48図         -         不整楕円形         0.88         0.51         0.12           011Gpit2         第48図         -         楕円形         0.35         0.35         0.09           013Gpit1         第48図         -         楕円形         0.33         0.26         0.22								
N31Cpit1     第48図     -     楕円形     1.03     0.56     0.30       N31Gpit2     第48図     -     楕円形     0.33     0.21     0.11       N31Gpit3     欠番     欠番     欠番     欠番     欠番     欠番       N31Gpit4     第48図     -     不整形     1.15     1.12     0.30     剥片       010Gpit1     第48図     -     不整楕円形     0.66     0.62     0.23       011Gpit1     第48図     -     不整楕円形     0.88     0.51     0.12       011Gpit2     第48図     -     楕円形     0.35     0.35     0.09       013Gpit1     第48図     -     楕円形     0.33     0.26     0.22								
N31Cpit2     第48図     -     楕円形     0.33     0.21     0.11       N31Cpit3     欠番     欠番     欠番     欠番     欠番     欠番     欠番       N31Cpit4     第48図     -     不整形     1.15     1.12     0.30     剥片       010Gpit1     第48図     -     不整楕円形     0.66     0.62     0.23       011Gpit1     第48図     -     不整楕円形     0.88     0.51     0.12       011Gpit2     第48図     -     楕円形     0.35     0.35     0.09       013Gpit1     第48図     -     楕円形     0.33     0.26     0.22								
N31Cpit3         欠番         Q3         Q3         Q3         测片           01Cpit1         第48 図         -         本營門形         0.88         0.51         0.12         0.09         0.00								
N31Cpit4     第48図     -     不整形     1.15     1.12     0.30     剥片       010Cpit1     第48図     -     不整楕円形     0.66     0.62     0.23       011Cpit1     第48図     -     不整楕円形     0.88     0.51     0.12       011Cpit2     第48図     -     楕円形     0.35     0.35     0.09       013Cpit1     第48図     -     楕円形     0.33     0.26     0.22			欠番					O31Gpit1 に変更
010Gpit1     第48図     -     不整楕円形     0.66     0.62     0.23       011Gpit1     第48図     -     不整楕円形     0.88     0.51     0.12       011Gpit2     第48図     -     楕円形     0.35     0.35     0.09       013Gpit1     第48図     -     楕円形     0.33     0.26     0.22								
011Gpit1     第48図     -     不整楕円形     0.88     0.51     0.12       011Gpit2     第48図     -     楕円形     0.35     0.35     0.09       013Gpit1     第48図     -     楕円形     0.33     0.26     0.22			-					
011Gpit2     第48図     -     楕円形     0.35     0.35     0.09       013Gpit1     第48図     -     楕円形     0.33     0.26     0.22			_					
	O11Gpit2	第 48 図	_	楕円形	0.35	0.35	0.09	
013Gpit2   第 48 図   -   楕円形   0.36   0.26   0.28								
	O13Gpit2	第 48 図		楕円形	0.36	0.26	0.28	

							1
ピット名	掲載図	重 複	形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	出土遺物/備考
O15Gpit1	第 48 図	_	楕円形	0.42	0.35	0.27	縄文前期後半諸磯 b 式土器片
O15Gpit2	第 48 図	_	不整楕円形	1.63	0.84	0.20	焼土粒含む。
O16Gpit1	第 48 図	_	楕円形	0.40	0.34	0.18	縄文土器片
O17Gpit1 O17Gpit2	第 48 図 第 48 図	_	円形	0.29	0.29	0.10	
O17Gpit2	第 48 図	_	有円形	0.36	0.30	0.11	
O19Gpit1	第31 図	_	楕円形	0.60	0.49	0.30	縄文土器片
O19Gpit2	第31図	_	不整形	2.44	1.27	0.30	縄文前期後半諸磯 b 式土器片、石鏃 / 焼土粒含む。
O21Gpit1	第 49 図	_	楕円形	1.17	0.98	1.04	縄文前期後半諸磯 b 式土器片 / 礫あり。
O22Gpit1	第 27 図	6 号集石	楕円形	0.88	0.62	0.32	縄文前期後半諸磯b式土器片
O22Gpit2	第 49 図	_	楕円形	0.30	0.28	0.27	120
O22Gpit3	第 49 図	_	楕円形	0.72	0.61	0.37	縄文前期後半諸磯 b 式土器片、剥片
O22Gpit4	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	根攪乱
O22Gpit5	第 49 図	_	楕円形	0.27	0.22	0.14	
O24Gpit1	第 49 図	_	楕円形	0.46	0.35	0.14	
O25Gpit1	第 49 図	_	楕円形	0.95	0.65	0.33	縄文土器片、剥片 / 礫あり。
O25Gpit2	第 49 図	_	楕円形	0.99	0.66	0.06	剥片 / 焼土粒含む。
O25Gpit3	第 49 図	_	精円形 不散集円形	0.61	0.40	0.10	6메뉴스스타디스V V/ 크린786 1 그는 [ 미미 I . 그리티 . / 7866 로 . 5
026Gpit1	第 49 図	_	不整楕円形	0.88	0.80	0.43	縄文前期後半諸磯 b 式土器片、剥片 / 礫あり。 縄文前期末十三菩提式土器片 / 礫あり。
O26Gpit2 O27Gpit1	第 49 図第 50 図	_	楕円形 不整形	1.18	0.60	0.25	種又削別木   二音旋式上鉛片 / 味めり。
027Gpit1	第 50 図	_	長楕円形	1.16	0.52	0.29	
027Gpit3	第 50 図	_	不整楕円形	1.05	0.54	0.12	焼土あり。
O27Gpit4	第 50 図	_	不整楕円形	1.20	0.55	0.13	,,ear-2-2-0
O27Gpit5	第 50 図	_	不整楕円形	0.83	0.66	0.30	
O27Gpit6	第 50 図	_	楕円形	0.34	0.33	0.08	
O27Gpit7	第 50 図	_	円形	0.27	0.27	0.30	
O28Gpit1	第 50 図	_	不整楕円形	1.68	0.68	0.35	
O28Gpit2	第 50 図	_	不整楕円形	0.34	0.29	0.37	
O28Gpit3	第 50 図	_	不整楕円形	0.53	0.32	0.12	
O28Gpit4	第 50 図	_	楕円形	0.33	0.31	0.12	
O28Gpit5	第 52 図	_	不整楕円形	0.42	0.30	0.15	AMILLIANDI (H. L. W. A. A.
030Gpit1	第 48 図	_	不整楕円形	0.45	0.42	0.44	縄文土器片 / 焼土粒含む。
O31Gpit1	第 48 図	_	楕円形	0.57	0.34	0.13	687-1-24-H1/40 1/1-47% 1 _2   0011.
P10Gpit1	第 52 図	_	楕円形	2.10	1.20	0.42	縄文前期後半諸磯 b 式土器片
P11Gpit1	第 52 図第 52 図	_	楕円形	0.56 0.87	0.53 0.71	0.19	縄文土器片
P11Gpit2 P13Gpit1	第 52 図	_	楕円形 楕円形	0.87	0.71	0.17	
P13Gpit2	第 52 図	_	楕円形	0.37	0.27	0.14	
P13Gpit3	第 52 図	_	精円形 精円形	1.92	1.13	0.02	縄文土器片、石鏃、剥片
P16Gpit1	第 24 図	_	円形	0.67	0.63	0.11	剥片
P18Gpit1	第 53 図	P18Gpit2	不整楕円形	0.49	0.36	0.15	縄文土器片
P18Gpit2	第 53 図	P18Gpit1	楕円形	0.63	0.40	0.08	縄文前期後半諸磯 b 式土器片
P18Gpit3	第 53 図	-	不整楕円形	1.11	0.65	0.30	縄文土器片
P18Gpit4	第 52 図	_	楕円形	0.82	0.61	0.24	縄文中期中葉藤内式土器片、石核 / 礫あり。
P19Gpit1	第 52 図	_	楕円形	0.60	0.38	0.10	
P19Gpit2	第 53 図	_	不整楕円形	1.55	0.64	0.25	縄文土器片
P19Gpit3	第 53 図	_	不整楕円形	1.06	0.64	0.12	焼土粒含む。
P19Gpit4	第 53 図	_	円形	0.48	0.40	0.10	
P19Gpit5	第 53 図	_	楕円形	0.38	0.35	0.10	
P19Gpit6	第 53 図	_	不整楕円形	0.80	0.38	0.11	
P21Gpit1	第 54 図	_	楕円形	0.95	0.85	0.13	
P21Gpit2	第 54 図 第 52 図	_	楕円形	1.03 0.43	0.72	0.20	
P21Gpit3 P21Gpit4	第 54 図	_	楕円形	0.43	0.34	0.26	
P22Gpit1	第 54 図	_	楕円形	0.62	0.60	0.15	
P22Gpit2	第 54 図	_	楕円形	0.95	0.61	0.30	
P25Gpit1	第 52 図	_	楕円形	0.70	0.62	0.44	縄文前期末十三菩提式土器片
P25Gpit2	第 52 図	_	不整楕円形	0.52	0.47	0.17	The second secon
P27Gpit1	第 50 図	_	不整楕円形	0.86	0.40	0.22	
P27Gpit2	第 50 図	_	長楕円形	1.35	0.36	0.11	
P27Gpit3	第 50 図	_	楕円形	0.20	0.17	0.26	
P27Gpit4	第 50 図	_	楕円形	0.37	0.26	0.06	焼土粒含む。
P28Gpit1	第 50 図		不整楕円形	1.00	0.50	0.18	
P28Gpit2	第 50 図	P28Gpit3	長楕円形	0.70	0.41	0.09	
P28Gpit3	第 50 図	P28Gpit2	不整楕円形	0.46	0.30	0.24	-
P28Gpit4	第 50 図	_	不整形	0.59	0.46	0.27	焼土粒含む。
P28Gpit5 P28Gpit6	第 50 図第 50 図	_	楕円形 長楕円形	0.43 0.65	0.37	0.10	縄文土器片
P28Gpit7	第 50 図	_	不整楕円形	0.51	0.20	0.10	PE人上日17
P28Gpit8	第 50 図	_	有円形 相円形	0.34	0.28	0.25	縄文土器片
P28Gpit9	第 50 図	_	不整楕円形	0.51	0.27	0.03	7 55 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
P28Gpit10	第 50 図	P28Gpit11	不整楕円形	0.23	0.17	0.15	
P28Gpit11	第 50 図	P28Gpit10	不整楕円形	0.23	0.17	0.10	
P28Gpit12	第 50 図	P28Gpit13	不整楕円形	0.58	0.26	0.11	
P28Gpit13	第 50 図	P28Gpit12	楕円形	0.31	0.26	0.09	
P28Gpit14	第 50 図		楕円形	0.27	0.23	0.09	
P28Gpit15	第 50 図	_	不整楕円形	0.31	0.28	0.17	
P28Gpit16	第 50 図	_	不整楕円形	0.52	0.28	0.15	
P28Gpit17	第 50 図	_	不整形	0.65	0.45	0.13	
P28Gpit18	第 50 図	_	不整楕円形	0.56	0.50	0.29	
P28Gpit19	第 50 図	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	楕円形	0.55	0.44	0.23	- HAMA
P28Gpit20	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	欠番	根攪乱
P28Gpit21	第 54 図	_	楕円形 不敷梅田形	0.32	0.26 0.28	0.14	
P29Gpit1	第 54 図第 54 図	_	不整楕円形 楕円形	0.36 0.98	0.28	0.15	縄文土器片
Q11Gpit1 Q11Gpit2	第 54 図	_	精円形 楕円形	0.98	0.58	0.30	縄文土器片、剥片
Q11GPILZ	カナ D4 凶		TBT Jバク	0.54	U.29	U.19	世紀人上的月、初月

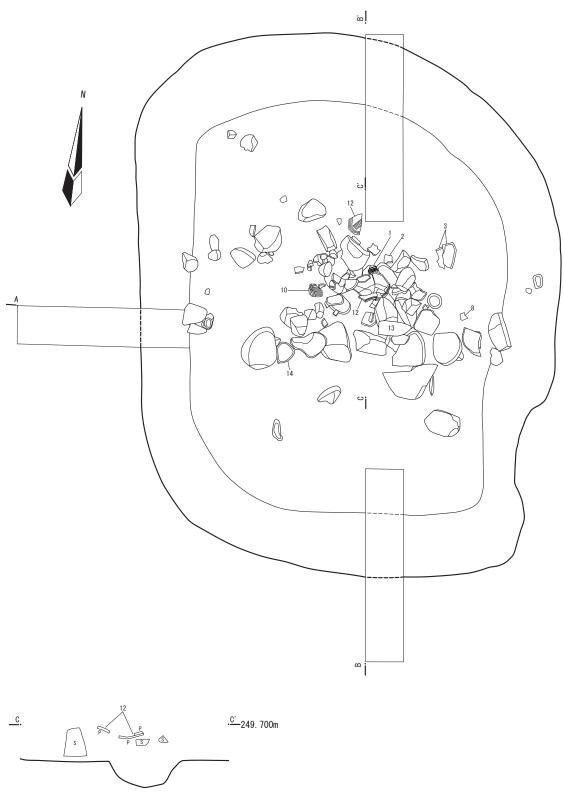
ピット名         掲載図         重複         形状         長軸(m)         短軸(m)           Q12Gpit1         第54図         -         楕円形         1.25         0.76           Q12Gpit2         第54図         -         不整楕円形         1.15         0.71           Q13Gpit1         第54図         -         相円形         0.61         0.57           Q13Gpit2         第54図         Q13Gpit4         不整楕円形         1.13         0.60           Q13Gpit3         第54図         -         不整楕円形         0.88         0.60           Q13Gpit4         第54図         Q13Gpit2         不整楕円形         0.05         0.68           Q14Gpit1         第55図         -         楕円形         0.33         0.27           Q18Gpit1         第55図         -         不整楕円形         0.90         0.70           Q18Gpit2         第55図         -         楕円形         0.36         0.27	深さ (m) 0.22 0.20 0.07 0.13 0.15 0.10 0.34 0.09 0.16	出土遺物/備考 縄文土器片 縄文土器片
Q12Gpit2         第 54 図         —         不整楕円形         1.15         0.71           Q13Gpit1         第 54 図         —         楕円形         0.61         0.57           Q13Gpit2         第 54 図         Q13Gpit4         不整楕円形         1.13         0.60           Q13Gpit3         第 54 図         —         不整楕円形         0.88         0.60           Q13Gpit4         第 54 図         Q13Gpit2         不整楕円形         1.05         0.68           Q14Gpit1         第 55 図         —         楕円形         0.75         0.57           Q14Gpit2         第 55 図         —         楕円形         0.33         0.27           Q18Gpit1         第 53 図         —         不整楕円形         0.90         0.70	0.20 0.07 0.13 0.15 0.10 0.34 0.09 0.16	
Q13Gpit1         第 54 図         —         楕円形         0.61         0.57           Q13Gpit2         第 54 図         Q13Gpit4         不整楕円形         1.13         0.60           Q13Gpit3         第 54 図         —         不整楕円形         0.88         0.60           Q13Gpit4         第 54 図         Q13Gpit2         不整楕円形         1.05         0.68           Q14Gpit1         第 55 図         —         楕円形         0.75         0.57           Q14Gpit2         第 55 図         —         楕円形         0.33         0.27           Q18Gpit1         第 53 図         —         不整楕円形         0.90         0.70	0.07 0.13 0.15 0.10 0.34 0.09 0.16	縄文土器片
Q13Gpit3     第 54 図     -     不整楕円形     0.88     0.60       Q13Gpit4     第 54 図     Q13Gpit2     不整楕円形     1.05     0.68       Q14Gpit1     第 55 図     -     楕円形     0.75     0.57       Q14Gpit2     第 55 図     -     楕円形     0.33     0.27       Q18Gpit1     第 53 図     -     不整楕円形     0.90     0.70	0.15 0.10 0.34 0.09 0.16	縄文土器片
Q13Gpit4     第 54 図     Q13Gpit2     不整楕円形     1.05     0.68       Q14Gpit1     第 55 図     -     楕円形     0.75     0.57       Q14Gpit2     第 55 図     -     楕円形     0.33     0.27       Q18Gpit1     第 53 図     -     不整楕円形     0.90     0.70	0.10 0.34 0.09 0.16	
Q14Gpit1     第 55 図     -     楕円形     0.75     0.57       Q14Gpit2     第 55 図     -     楕円形     0.33     0.27       Q18Gpit1     第 53 図     -     不整楕円形     0.90     0.70	0.34 0.09 0.16	
Q14Gpit2     第 55 図     -     楕円形     0.33     0.27       Q18Gpit1     第 53 図     -     不整楕円形     0.90     0.70	0.09 0.16	
Q18Gpit1         第 53 図         -         不整楕円形         0.90         0.70	0.16	<del>                                     </del>
		-
	0.16	+
Q18Gpit3         第55図         一         不整楕円形         0.37         0.25	0.10	
Q19Gpit1     第53 図     -     楕円形     0.90     0.68	0.10	剥片
Q19Gpit2     第 53 図     -     不整楕円形     0.78     0.65	0.26	焼土粒含む。
Q19Gpit3         第 53 図         -         不整楕円形         1.00         0.44	0.27	焼土粒含む。
Q19Gpit4         第 53 図         -         楕円形         0.32         0.30	0.08	焼土粒含む。
Q19Gpit5         第53 図         -         楕円形         0.38         0.24	0.10	縄文土器片/焼土粒含む。
Q19Gpit6     第53 図     -     不整楕円形     0.88     0.49       Q20Gpit1     第55 図     -     不整楕円形     0.73     0.42	0.07	縄文土器片 / 焼土粒含む。
Q20Gpit1     第 55 図     -     不整楕円形     0.73     0.42       Q20Gpit2     第 55 図     -     楕円形     0.37     0.33	0.13	
Q24Gpit1 第 55 図	0.18	剥片 / 焼土粒含む。
Q27Gpit1     第 50 図     -     不整楕円形     0.56     0.33	0.16	MIT MELIE O
R13Gpit1 第 55 図 - 不整楕円形 0.94 0.56	0.19	焼土粒含む。
R14Gpit1 第 55 図 - 不整楕円形 1.03 0.64	0.39	
R14Gpit2 第 55 図 - 楕円形 0.43 0.31	0.46	
R15Gpit1         第55図         -         不整楕円形         0.71         0.42	0.21	box 1 1 cont
R17Gpit1 第8図 4号竪穴 不整楕円形 0.90 -	0.32	縄文土器片
R18Gpit1 第 56 図	0.14	縄文土器片
R18Gpit2     第 56 図     -     楕円形     0.44     0.37       R18Gpit3     第 56 図     -     不整楕円形     0.66     0.50	0.12	
R18Gpit3     第 56 図     -     不整楕円形     0.66     0.50       R18Gpit4     第 8 図     -     0.45	0.24	縄文土器片
R22Gpit1 第 32 図 - 長楕円形 0.63 0.26	0.20	TEX
R23Gpit 1 第 32 図 - 不整形 0.93 0.82	0.27	焼土粒含む。
R23Gpit2 第 32 図 - 楕円形 0.54 0.32	0.18	焼土あり。
R23Gpit3 第 32 図 - 楕円形 0.84 0.64	0.18	
R23Gpit4         欠番         欠番         欠番         欠番	欠番	
R23Gpit5 第 32 図 - 長楕円形 0.88 0.48	0.18	3411
R25Gpit1     第 56 図     -     楕円形     0.87     0.80       S9Gpit1     第 56 図     -     楕円形     0.58     0.55	0.15	剥片
S9Gpit1         第 56 図         -         楕円形         0.58         0.55           S9Gpit2         第 56 図         -         不整楕円形         2.38         1.22	0.27	縄文土器、剥片
S10Gpit1 第 56 図	0.47	
S10Gpit2 第 56 図	0.06	石皿
S11Gpit1 第 56 図 S11Gpit2   不整楕円形 - 0.66	0.36	縄文前期後半諸磯 b 式土器片
S11Gpit2 第 56 図 S11Gpit1 楕円形 - 1.26	0.32	縄文前期後半諸磯 b 式土器片、剥片
S13Gpit1         第 56 図         -         楕円形         0.68         0.48	0.33	
S13Gpit2         第 55 図         -         楕円形         1.15         0.58	0.27	焼土粒含む。
S13Gpit3         第55図         -         不整楕円形         0.92         0.80	0.20	
\$17Gpit1     第 56 図     -     楕円形     0.43     0.30       \$17Gpit2     第 56 図     -     楕円形     0.47     0.46	0.27	
S17Gpit2         第 56 図         -         楕円形         0.47         0.46           S18Gpit1         第 56 図         -         楕円形         0.73         0.40	0.13	+
S20Gpit1 第 57 図	0.32	+
S20Gpit2 第 57 図	0.15	
S20Gpit3	0.31	縄文土器片
S23Gpit1         第 32 図         -         不整楕円形         0.56         0.30	0.11	
S23Gpit2         第 32 図         -         楕円形         0.53         0.35	0.11	
S23Gpit3         第 32 図         -         長楕円形         1.26         0.67	0.25	焼土粒含む。
S23Gpit4     第 32 図     -     長楕円形     0.79     0.40	0.16	
S23Gpit5         第 32 図         -         不整楕円形         0.90         0.73           S23Gpit6         第 32 図         -         楕円形         0.52         0.44	0.26	
S23Gpit6     第32 図     -     楕円形     0.52     0.44       S23Gpit7     第32 図     -     長楕円形     1.52     0.58	0.27	+
T11Gpit1 第 57 図 - 円形 0.49 0.43	0.24	†
T11Cpit2         第57図         一         不整形         1.95         1.17	0.44	縄文土器片、石核、剥片 / 焼土粒含む。
T12Gpit1         第31図         -         楕円形         1.50         1.11	0.35	縄文土器片、剥片
T17Gpit1         第57図         -         楕円形         0.37         0.35	0.13	
T17Gpit2         第 57 図         一         円形         0.56         0.48	0.12	
T18Gpit1         第 57 図         -         楕円形         0.62         0.46	0.08	
U9Gpit1         第 57 図         -         不整楕円形         1.72         0.70           U11Gpit1         第 57 図         -         楕円形         0.48         0.40	0.30	縄文土器片、剥片
U11Gpit1     第 57 図     -     楕円形     0.48     0.40       U12Gpit1     第 31 図     -     不整形     0.92     0.50	0.20	縄文土器片、羽斤 縄文土器片
U12Gpit2 第31図 - 長楕円形 1.38 0.53	0.10	縄文土器片、石鏃
U12Gpit3         第31図         一         円形         0.36         0.35	0.33	7 CO SCIENTIA PERMA
U12Gpit4         第31図         U12G1号焼土         楕円形         0.83         0.66	0.16	<u> </u>
U13Gpit1 第31図 - 円形 0.63 0.56	0.27	剥片
U13Gpit2 第 31 図 - 円形 0.39 0.36	0.09	
U13Gpit3 第31図 — 円形 0.33 0.32	0.08	
U18Gpit1 第 58 図	0.22	3411.
V9Gpit1	0.14	剥片 细支上四片。
V9Gpit2         第 57 図         V9Gpit1・3         不整楕円形         -         1.00           V9Gpit3         第 57 図         V9Gpit2         楕円形         -         0.70	0.09	縄文土器片、石核
V9Gpit3	0.04	+
V14Gpit2         第58図         一         楕円形         0.60         0.33           V14Gpit2         第58図         -         楕円形         0.84         0.62	0.46	+
W8Gpit1 第 58 図	0.22	†
W11Gpit1   第58図	0.72	縄文土器片、剥片
Y8Gpit1         第 58 図         -         不整楕円形         0.37         0.32	0.18	
Y9Gpit1         第 58 図         -         不整楕円形         1.90         1.46	0.68	剥片
Z6Gpit1     第 58 図     -     楕円形     1.98     1.28	0.44	



第5図 1号竪穴状遺構(1)

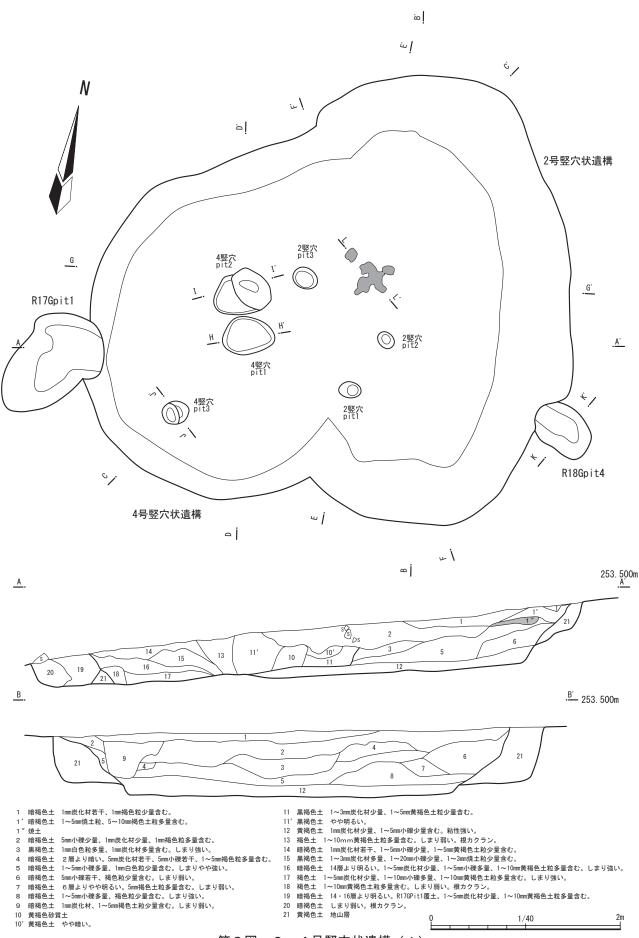


第6図 1号竪穴状遺構(2)

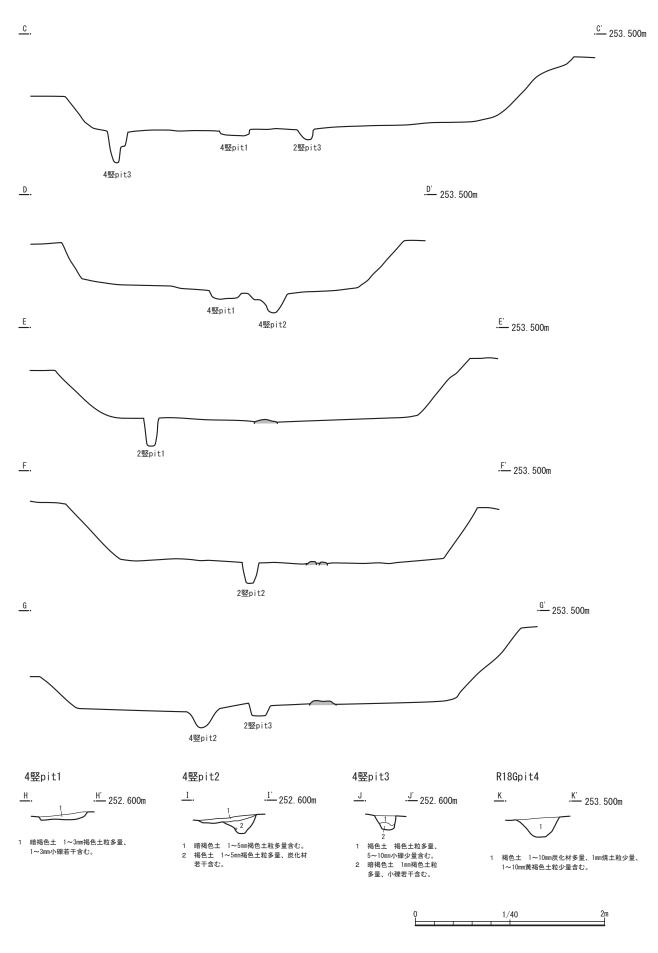




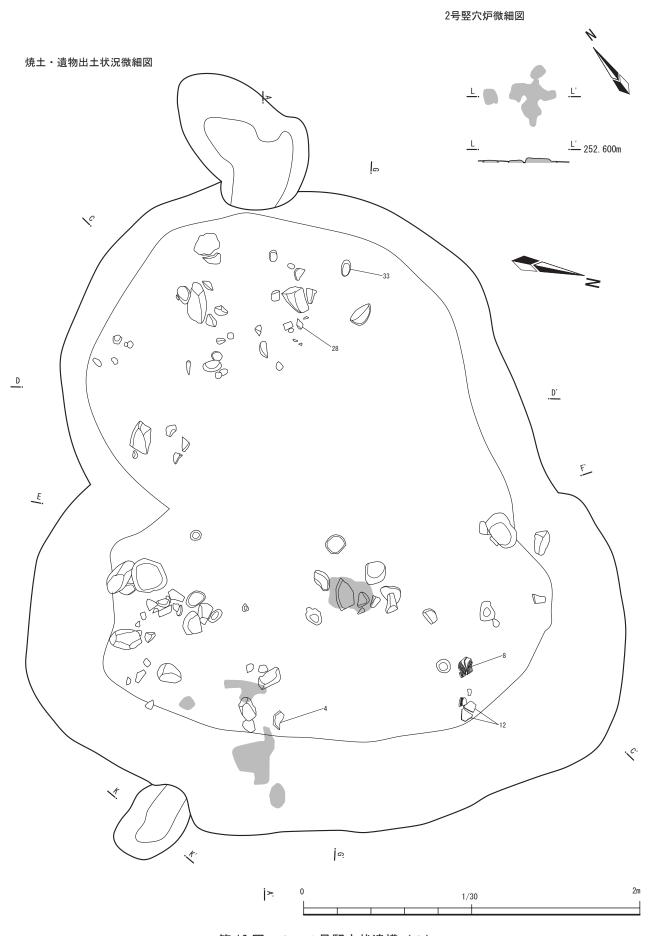
第7図 1号竪穴状遺構(3)



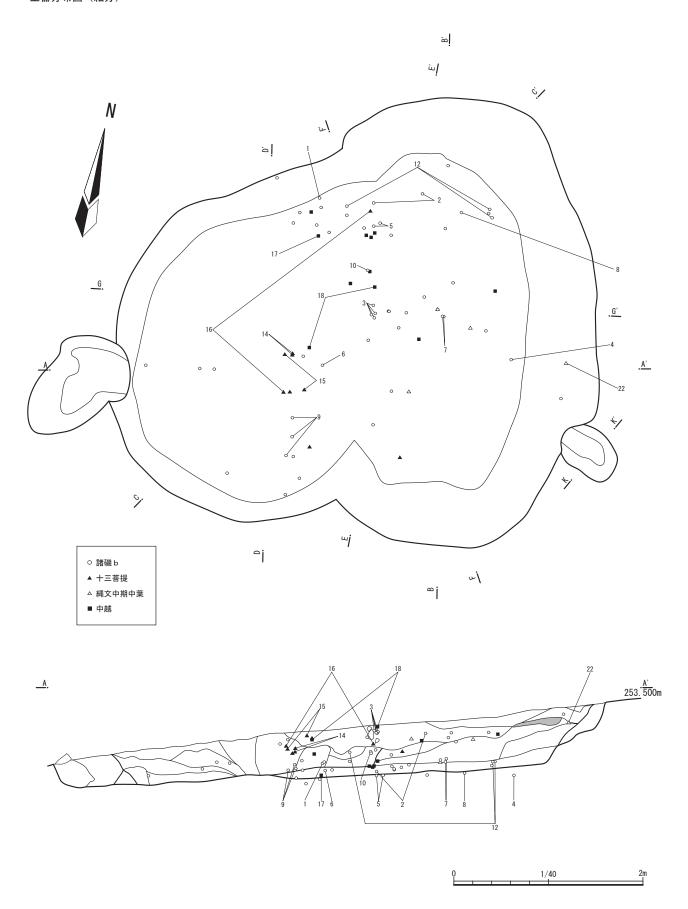
第8図 2・4号竪穴状遺構(1)



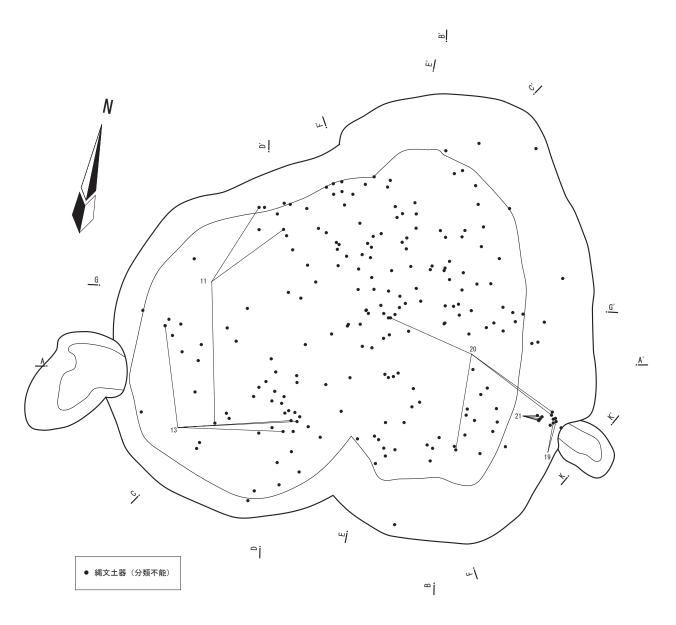
第9図 2・4号竪穴状遺構(2)

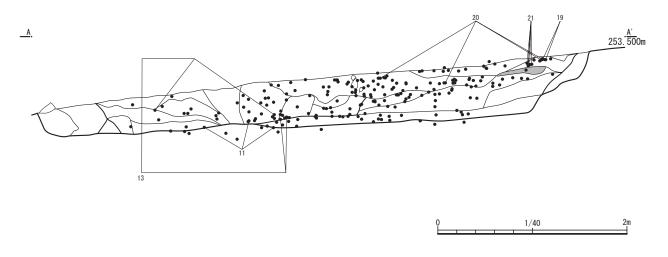


第10図 2・4号竪穴状遺構(3)

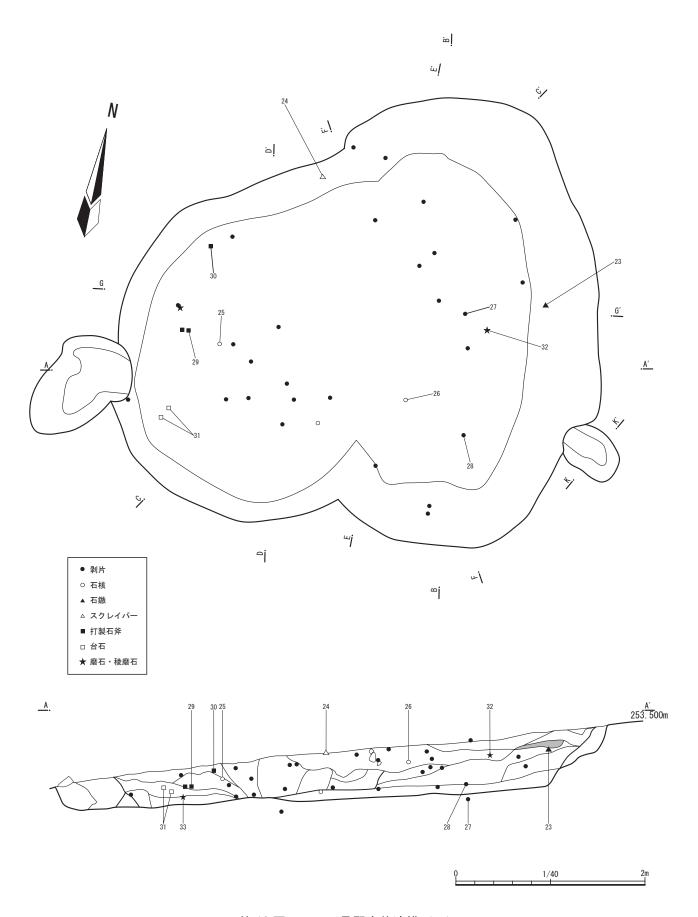


第11図 2・4号竪穴状遺構(4)

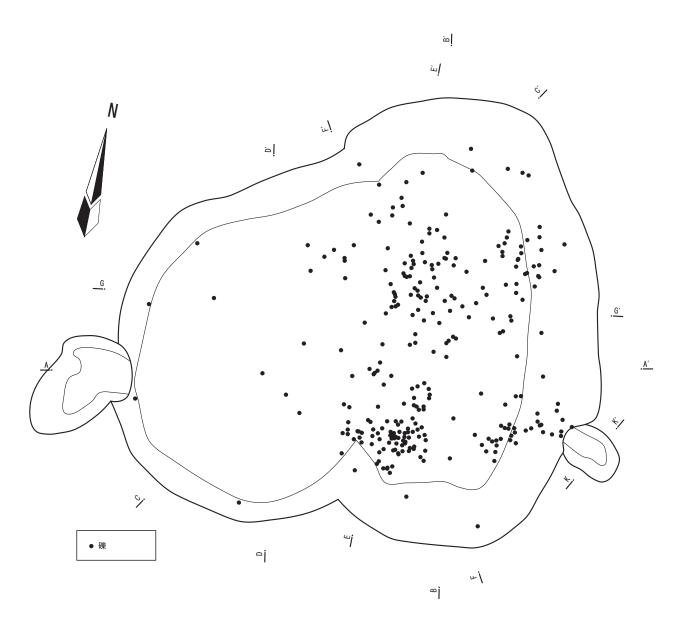


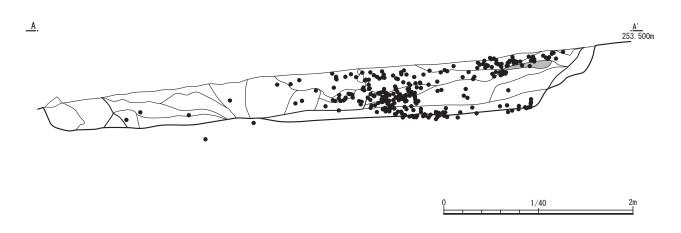


第12図 2・4号竪穴状遺構(5)

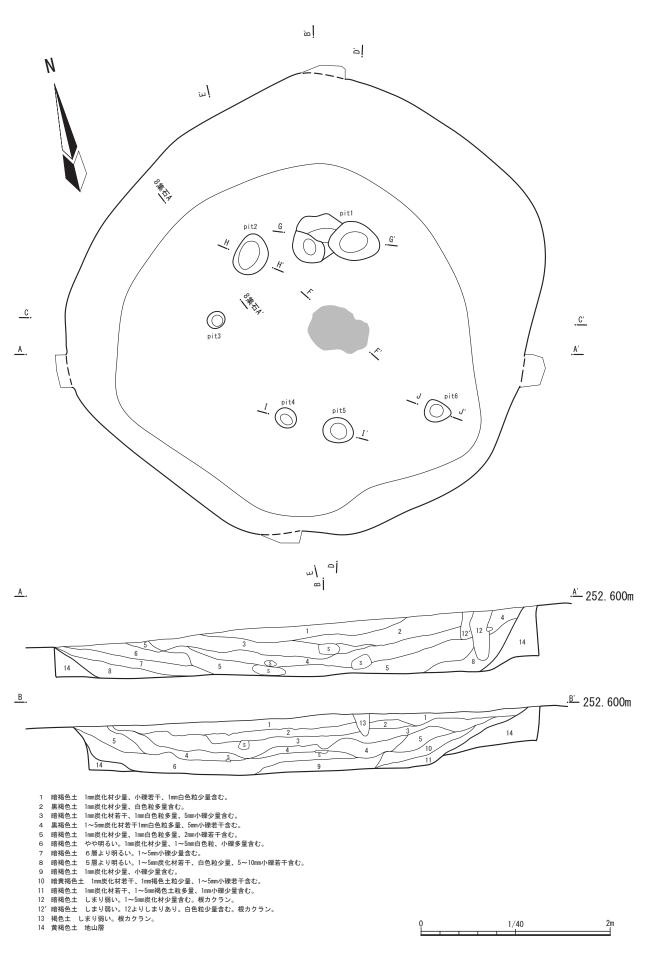


第13図 2・4号竪穴状遺構(6)

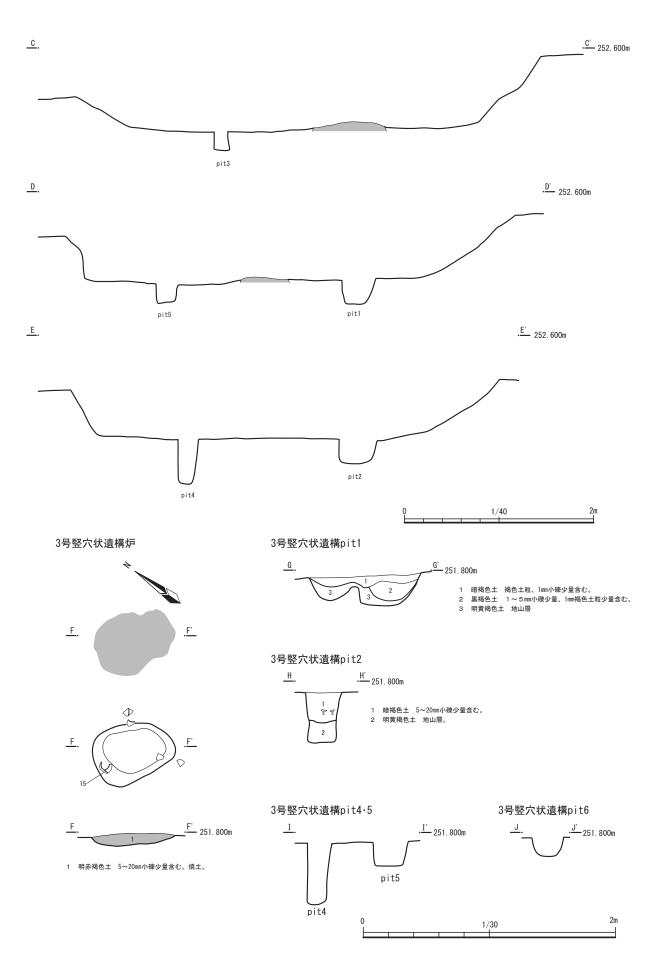




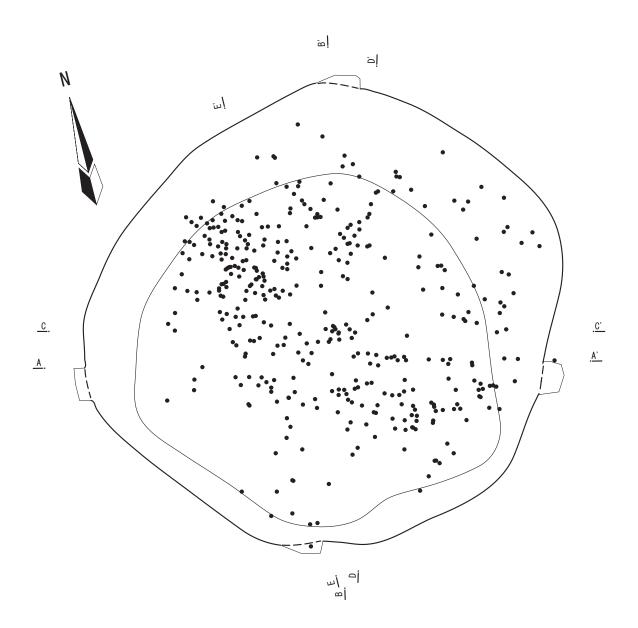
第14図 2・4号竪穴状遺構(7)



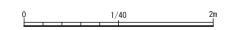
第15図 3号竪穴状遺構(1)



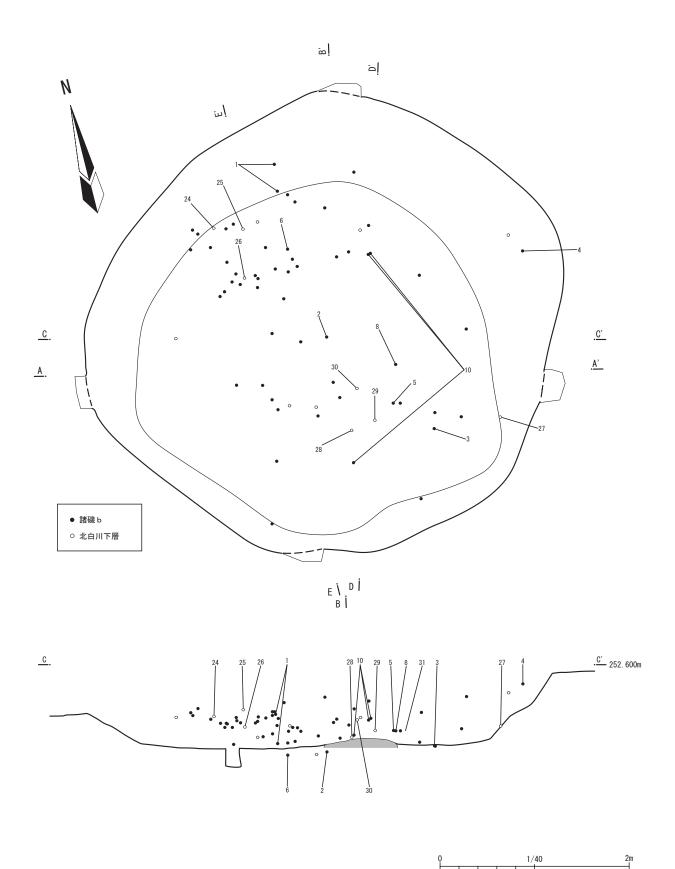
第16図 3号竪穴状遺構(2)



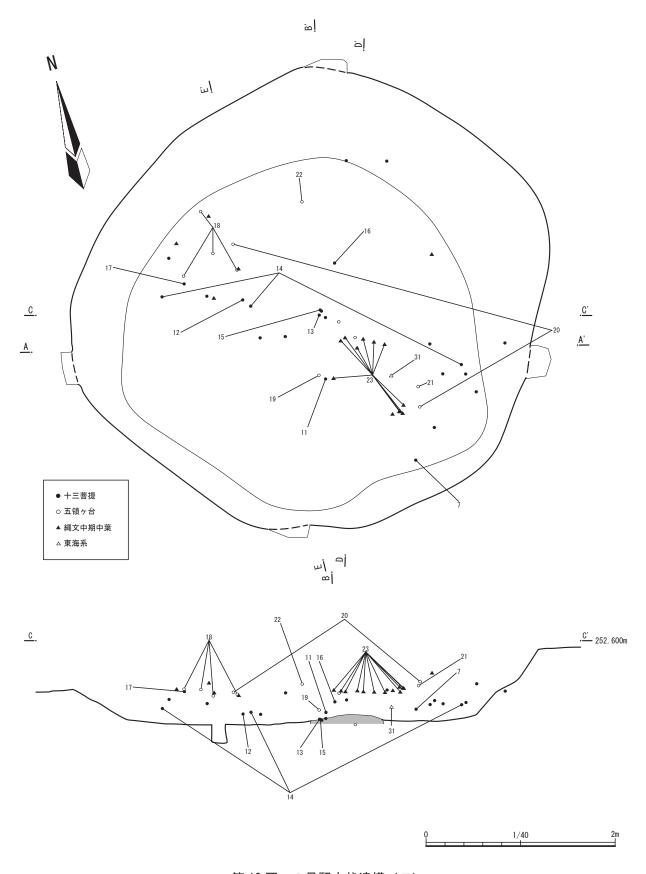




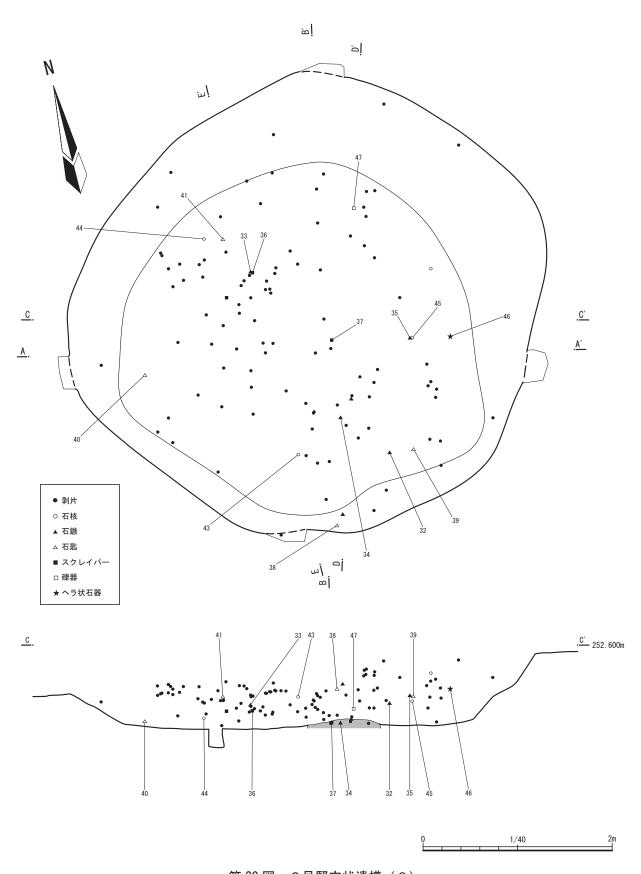
第17図 3号竪穴状遺構(3)



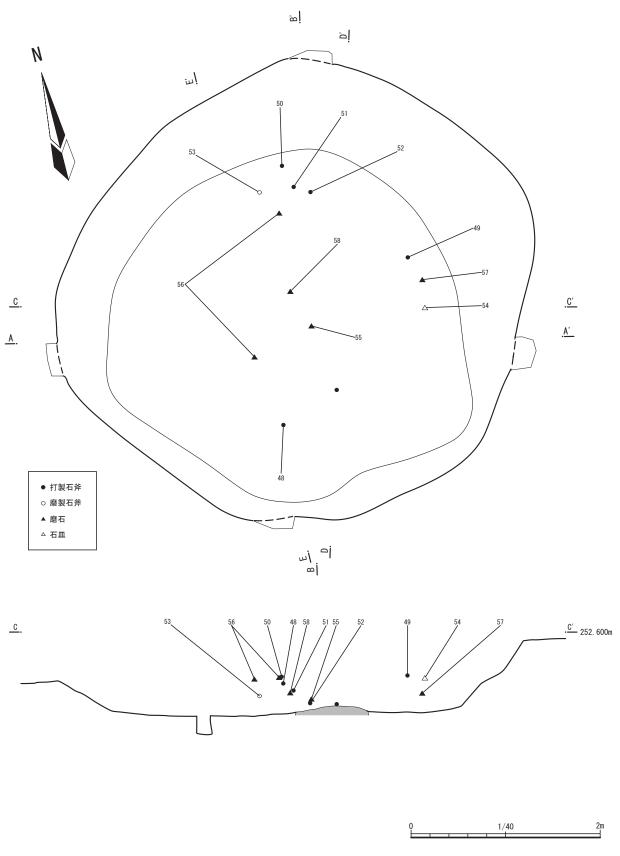
第18図 3号竪穴状遺構(4)



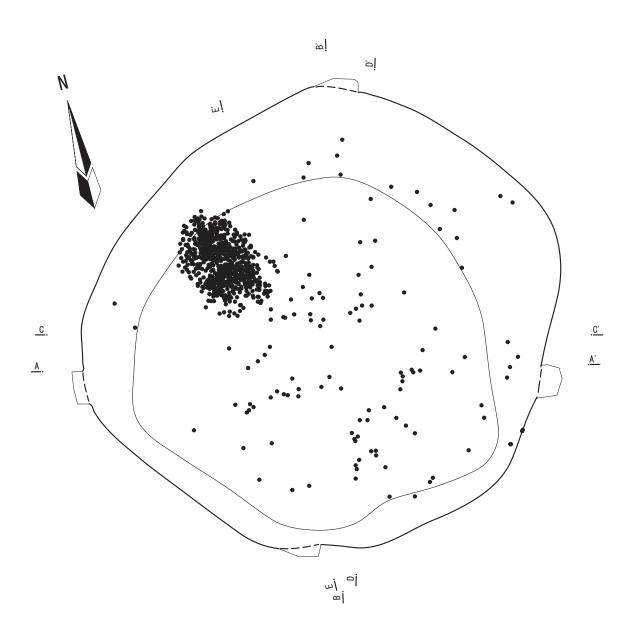
第19図 3号竪穴状遺構(5)

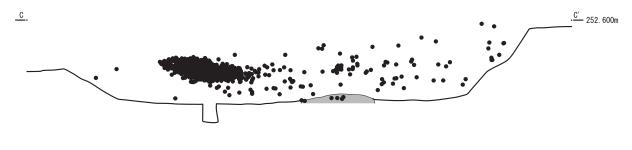


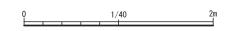
第20図 3号竪穴状遺構(6)



第21図 3号竪穴状遺構(7)

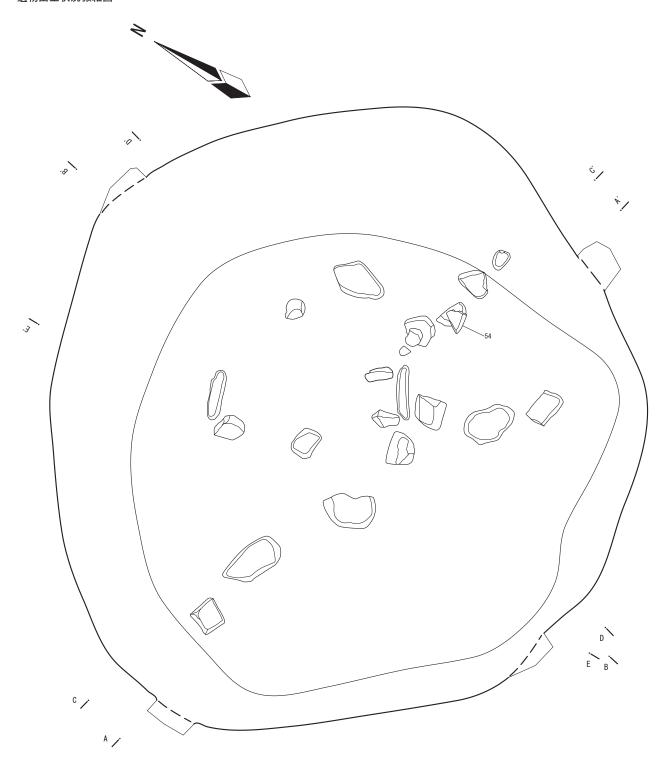


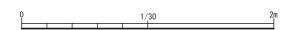




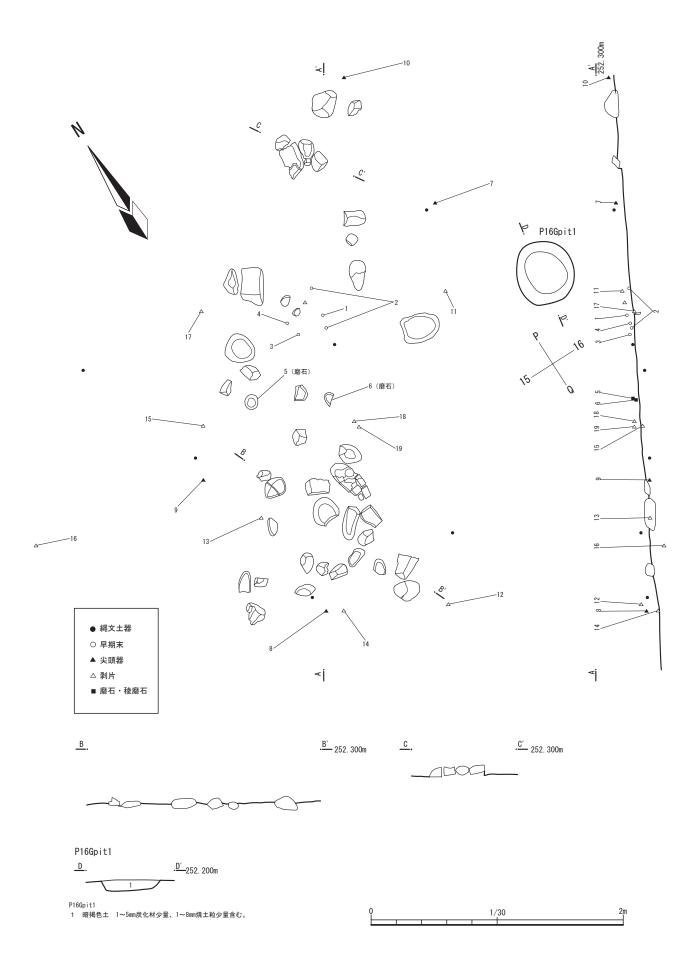
第22図 3号竪穴状遺構(8)

# 遺物出土状況微細図

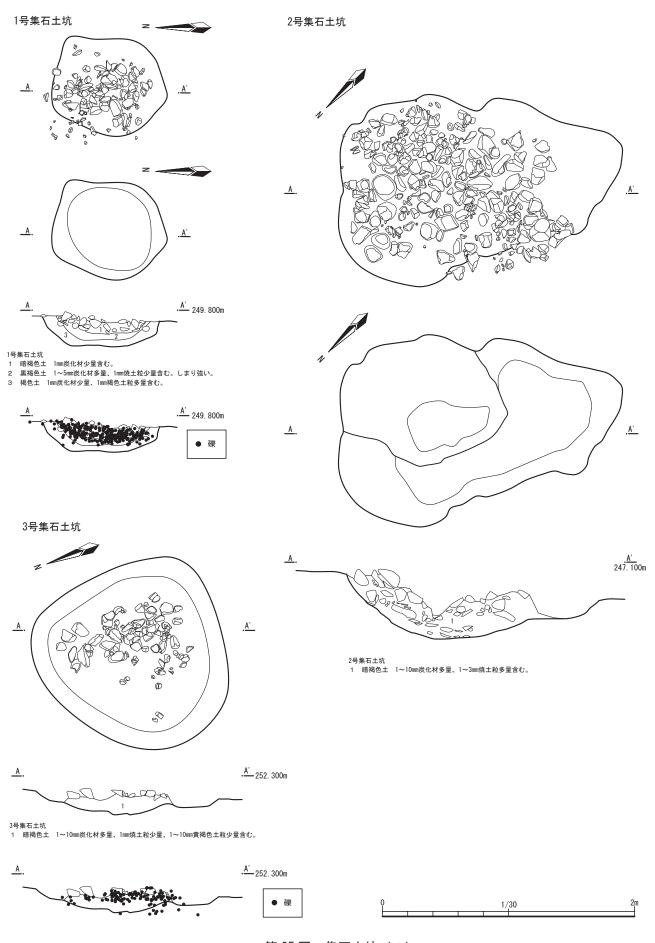




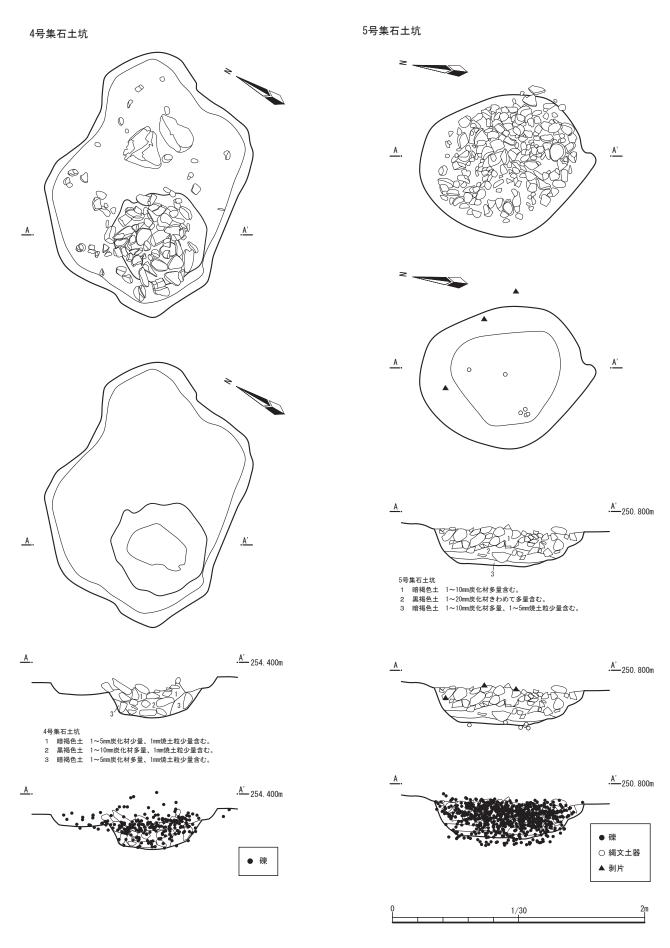
第23図 3号竪穴状遺構(9)



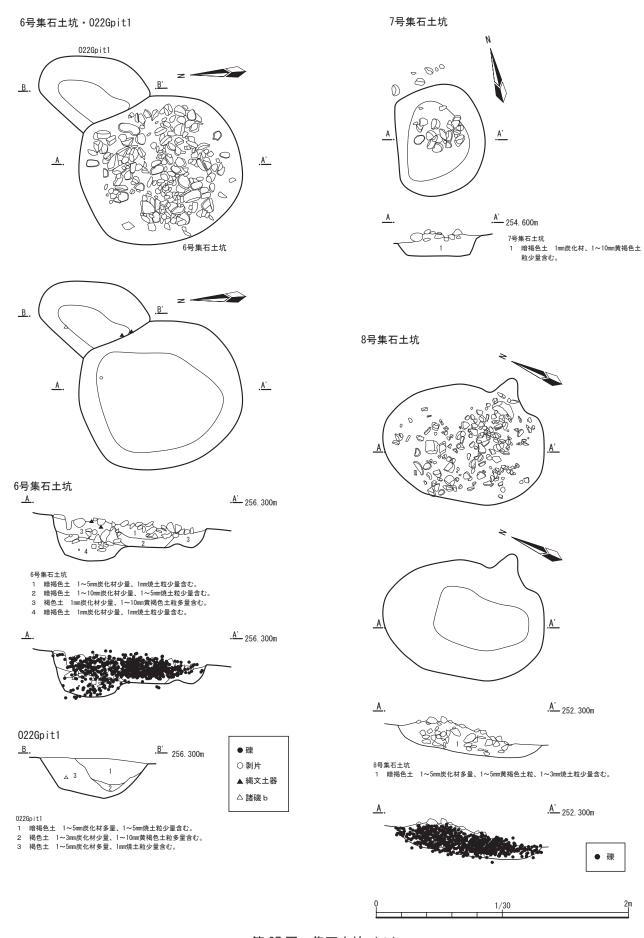
第24図 1号配石遺構



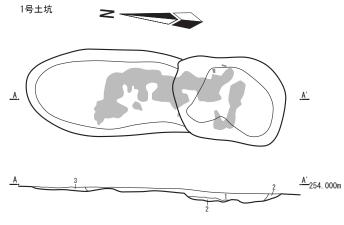
第25図 集石土坑(1)



第26図 集石土坑(2)



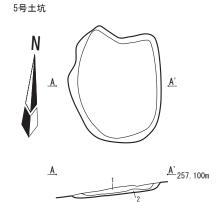
第27図 集石土坑(3)



- 1 黒褐色土
   1~30mm 後化材きわめて多量含む。

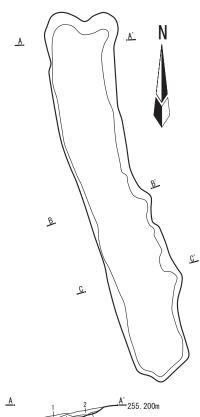
   2 黒褐色土
   1~10mm 後化材多量、1~30mm 黄褐色土粒多量、1~5mm 焼土粒多量含む。

   3 暗褐色土
   1~10mm 炭化材多量、1~10mm 黄褐色土粒多量、1mm 焼土粒多量含む。

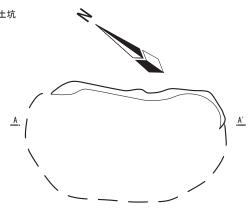


- 1 黒褐色土 1~40mm炭化材多量、1~10mm焼土粒多量、1~5mm黄褐色土粒少量含む。 2 褐色土 1~5mm炭化材多量、1mm焼土粒少量、1~10mm黄褐色土粒多量含む。

# 2号土坑



6号土坑





- 黒褐色土 1~10mm炭化材多量、1~5mm焼土粒多量、1~30mm褐色土粒多量含む。
   褐色土 1mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量含む。根カクラン。

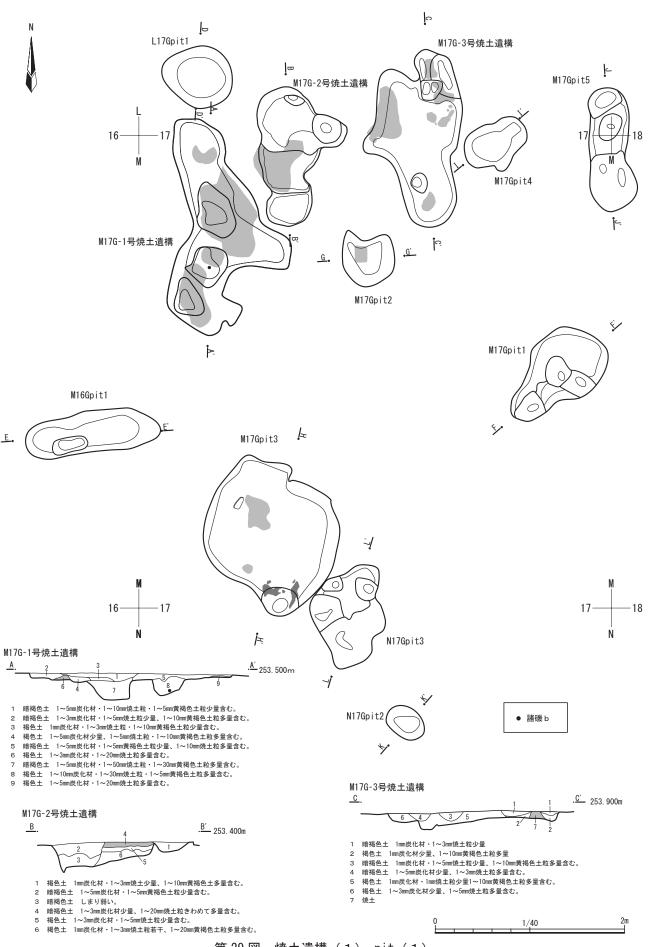


- 1 黒褐色土 1~10mm炭化材きわめて多量、1~5mm焼土粒少量含む。 2 黒褐色土 1~10mm炭化材多量、1~10mm黄褐色土粒多量含む。 3 褐色土 1mm炭化材少量、1mm焼土粒少量含む。 4 暗褐色土 1~10mm炭化材多量、1~10mm黄褐色土粒多量含む。 5 黄褐色土 地山層

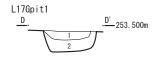


1/40

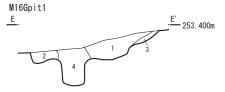
第28図 1・2・5・6号土坑



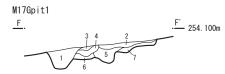
第29図 焼土遺構(1)・pit(1)



- 1 暗褐色土 1~3mm炭化材・1~5mm黄褐色土粒
- 多量含む。

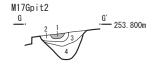


- 1 黒褐色土 1~5mm炭化材多量、1~5mm焼土粒・1~20mm黄褐色土粒少 量含む。
- 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量含む。
- 3 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量含む。 4 暗褐色土 1~20mm黄褐色土粒多量含む。しまり弱い。根カクラン。



- 暗褐色土 1~8mm炭化材・1~5mm焼土粒・1~10mm黄褐色土粒多量含む。 暗褐色土 1~3mm炭化材・1~5mm焼土粒・1~5mm黄褐色土粒少量含む。
- 暗褐色土 1~5mm炭化材・~3mm焼土粒少量含む。

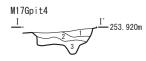
- 7 褐色土 1mm炭化材・1mm焼土粒少量、1~20mm黄褐色土粒多量含む。



- 1 赤褐色土 焼土層。
- 2 暗褐色土 1mm炭化材・1~5mm焼土粒少量含む。 3 褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm焼土粒多量含む。 4 褐色土 1mm炭化材・焼土粒少量、1~10mm黄褐色
- 土粒多量含む。

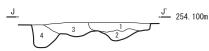


- 1 暗褐色十 1~5mm炭化材多量、1~3mm焼土粒少量含む。
- 2 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量含む。
- 3 暗褐色土 1~15mm炭化材・1~10mm焼土粒・1~5mm黄褐色土粒多量含む。
- 4 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~5mm焼土粒多量含む。
- 5 褐色土 1mm炭化材・1~3mm焼土粒少量、1~50mm黄褐色土粒多量含む。
- 6 暗褐色土 1~10mm炭化材・1~5mm焼土粒・1~10mm黄褐色土粒多量含む。



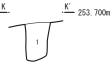
- 1 暗褐色土 1mm褐色粒少量含む。
- 2 暗褐色土 1~5mm焼土粒・20~50mm炭化材多量含む。 3 褐色土 1~2mm褐色粒多量、1mm焼土粒若干含む。

# M17Gpit5



- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1~5mm焼土粒少量含む。 2 褐色土 1~5mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量含む。
- 3 暗褐色土 1~10mm炭化材多量、1mm焼土粒・1~5mm黄褐色土粒少量含む。 4 暗褐色土 1~30mm黄褐色土粒多量含む。しまり弱い。根カクラン。



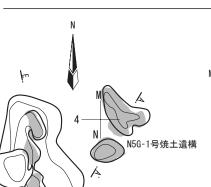


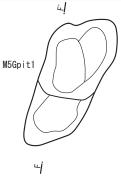
1 暗褐色土 1~3mm炭化材・焼土粒少量、 1~10mm黄褐色土粒多量含む。

# N17Gpit3 ·<u>L'</u> 253. 700m L.



- 4 暗褐色土 1~30mm炭化材多量、1~5mm焼土粒・黄褐色土粒少量含む。









mm炭化材少量含む。 3 褐色土 1mm炭化材・焼土粒少量含む。

## N5G-2号焼土遺構



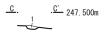
- N5G-2号焼土遺構
- 1 赤褐色土 焼土層。1~5mm炭化材多量含む。 2 褐色土 1~5mm炭化材多量、1~5mm焼土粒少量含む。 3 褐色土 1~5mm炭化材・焼土粒多量含む。
- 4 褐色土 1mm炭化材・1~5mm焼土粒少量含む。

# M4Gpit1



- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・焼土粒多量含む。 2 褐色土 1~5mm炭化材・焼土粒少量含む。 3 赤褐色土 焼土層。1~5mm黄褐色土粒少量炭化材少量含む。

## N5G-3号焼土遺構



Įm.

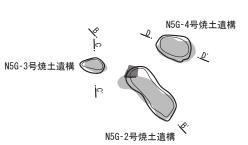
M4Gpit1

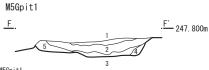
N5G-3号焼土遺構 1 暗赤褐色土 焼土層。1~3mm 炭化材多量含む。

# N5G-4号焼土遺構



- N5G-4号焼土遺構 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・焼土粒多量含む。
- 2 焼土 暗褐色土粒少量、1~5mm炭化材少量含む。



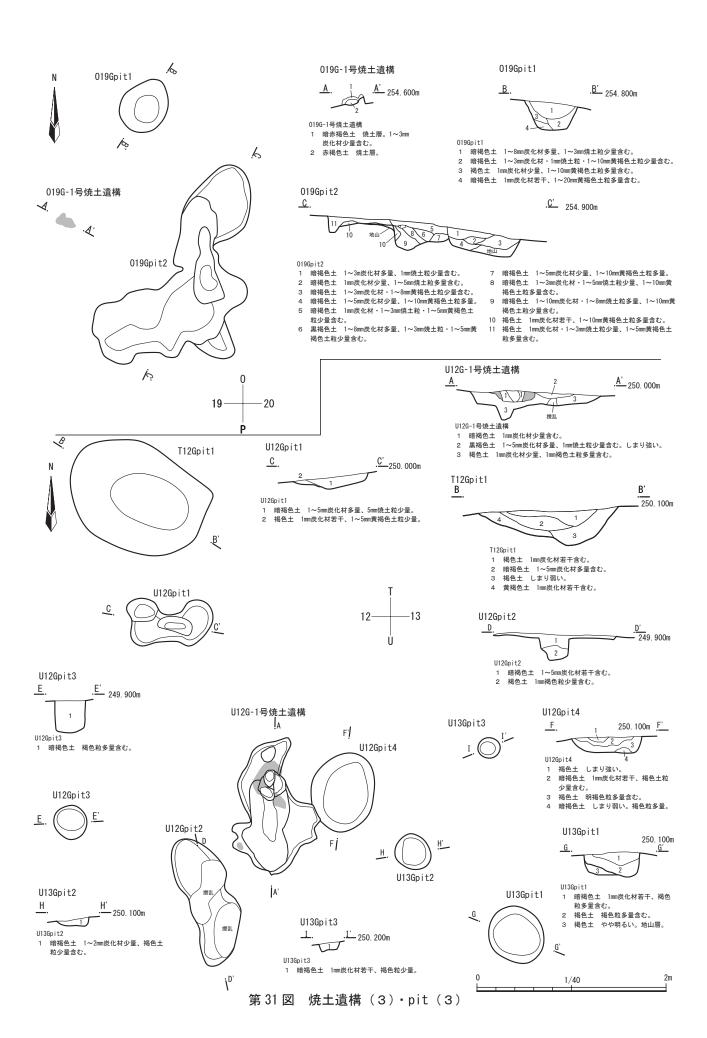


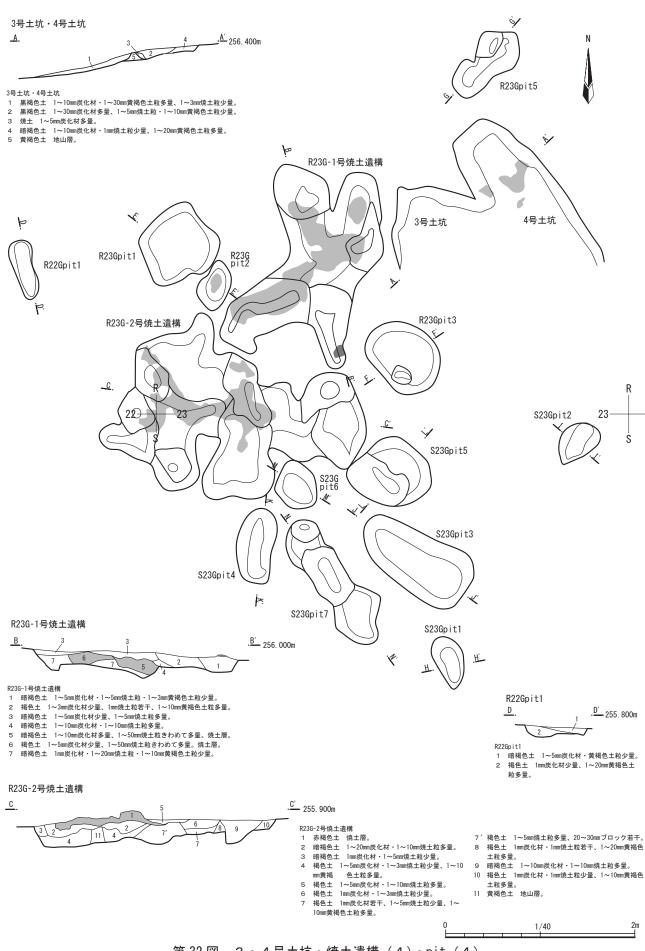
### M5Gpit1

- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1~5mm焼土粒少量含む。
- □ 暗褐色土 1~10mm炭化材多量、1~10mm媄土粒きわめて多量含む。
  3 暗褐色土 1mm炭化材・1~3mm媄土粒・1~5mm媄相色土粒少量含む。
  4 褐色土 1~5mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量含む。
  5 褐色土 1mm炭化材・焼土粒若干、1~10mm黄褐色土粒少量含む。

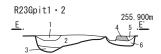


第30図 焼土遺構(2)・pit(2)





第 32 図 3 · 4号土坑・焼土遺構 (4)・pit (4)



#### R23Gpit1·2

- | 福色士 | ~~3mm族化材・1~5mm族土粒少量、1~5mm黄褐色土粒多量。
  | 福色土 | ~~20mm族化材・1~20mm族土粒・1~10mm黄褐色土粒多量。
  | 福色土 | 1mm族化材・1~3mm族土粒少量、1~10mm黄褐色土粒多量。
  | 暗褐色土 | 1~10mm族化材多量、1~50mm煤土粒きわめて多量。
  | 暗褐色土 | ~5mm族化材多量、1~3mm族土粒少量。
  | 福色土 | 1mm族化材・1mm族土粒少量、1~10mm黄褐色土粒多量。



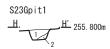
#### R23Gpit3

- 1 褐色土 1~10mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒多量、
- 1~5mm焼土粒少量。 2 暗褐色土 1~10mm黄褐色土粒多量。しまり弱い。

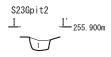


### R23Gpit5

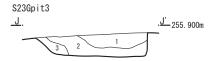
- 1 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~5mm黄褐色土粒多量。 2 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。



- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~5mm 黄褐色土粒少量。
- 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm 黄褐色土粒多量。



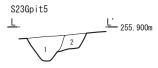
1 暗褐色土 1~3mm炭化材・1~5mm 黄褐色土粒少量。



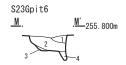
- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~3mm焼土粒少量。
- 2 暗褐色土 1~10mm炭化材・1~10mm焼土粒多量。3 褐色土 1~3mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。



- 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1 mm焼土粒少量。
- 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒 多量。



- 1 暗褐色土 1~8mm炭化材多量、1~5mm焼土粒・黄褐 色十粒少量。
- 褐色土 1~3mm炭化材・焼土粒・1~10mm黄褐色土 粒少量。

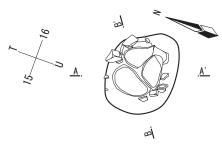


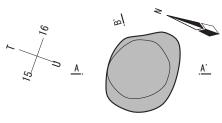
- 褐色土 1mm炭化材焼土粒少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~3mm焼土粒・1~5mm黄褐色土
- 2 指少量。 褐色土 Imm炭化材少量、1~5mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 Imm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。



- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量、1~3mm焼土粒若干。
- 2 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。

### U16G-1号焼土遺構

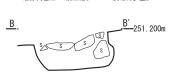




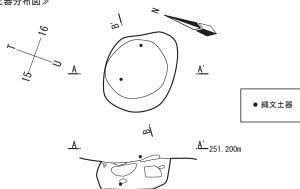


# U16G-1号焼土遺構

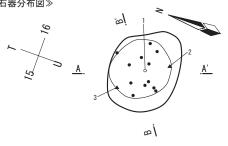
- 1 暗褐色土 1mm炭化材・1~3mm焼土粒少量。 2 暗赤褐色土 1焼土層。1~5mm炭化材少量。



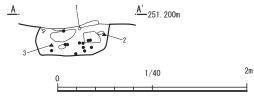
# ≪土器分布図≫



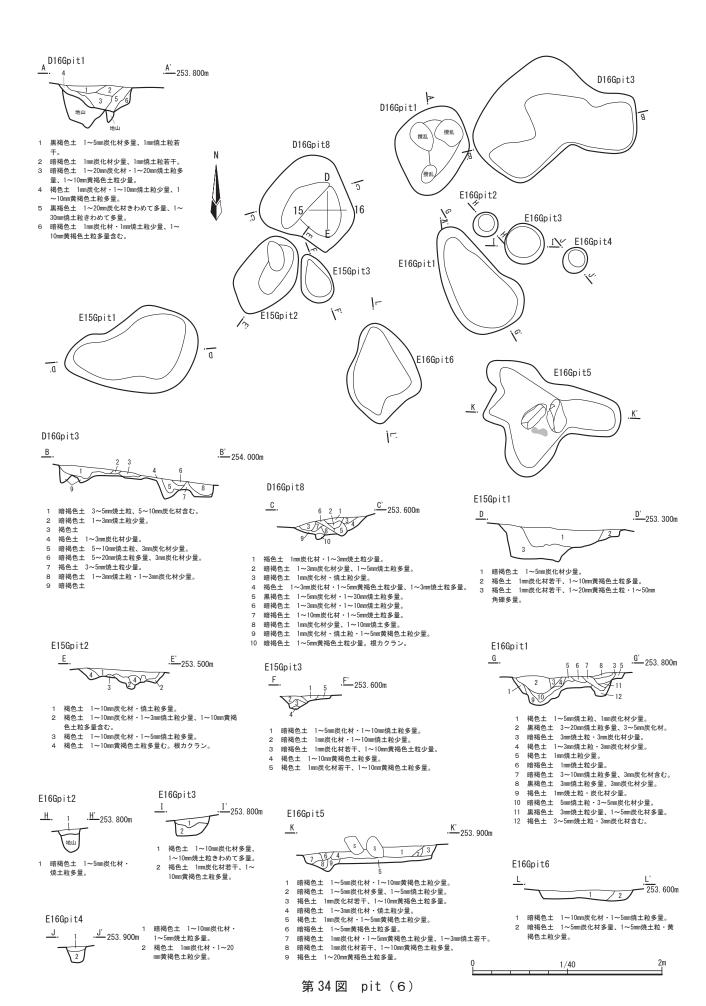
# ≪石器分布図≫

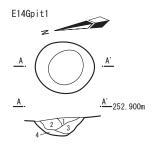




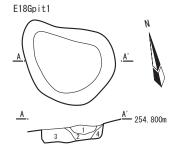


第33図 焼土遺構(5)·pit(5)

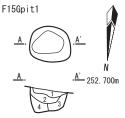




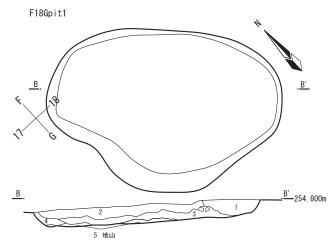
- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1~10mm焼土粒少



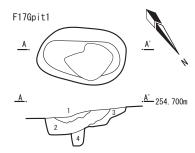
- 暗褐色土 1mm炭化材少量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10m黄褐色土粒少量。 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。



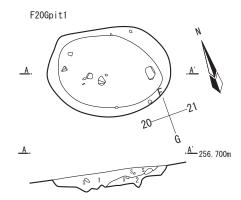
- 1 暗褐色土 1mm敗化材・1~10mm黄褐色土粒少量。 2 褐色土 1mm敗化材若干、1~10mm黄褐色土粒少量。 3 褐色土 1mm敗化材若干、1~50mm黄褐色土粒きわめて多量。 4 褐色土 1mm敗化材若干、1~30mm黄褐色土粒多量。



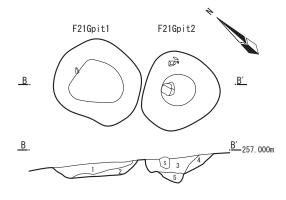
- 1 暗褐色土 1~10mm炭化材きわめて多量、1~5mm焼土粒少量。
- □ 暗褐色土 1~5mm炭化材さわかり(シ重・1~5mm炭エ粒少重。 2 暗褐色土 1~5mm炭化材・1mm炭土粒・1~10mm黄褐色土粒少量。 3 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。 4 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~5mm黄褐色土粒多量。 5 黄褐色土 地山層



- 1 黒褐色土 1~5mm炭化材・1~5mm炭土粒多量。 2 暗褐色土 1~5mm炭化材・焼土粒・1~10mm黄褐色土少量。 3 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 4 暗褐色土 1~20mm黄褐色土粒多量。しまり弱い。根カクラン。



- 1 暗褐色土 1~10mm炭化材・1~30mm円礫多量、1~3mm焼土粒少量、 1~5mm黄褐色土粒少量。
- 2 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒・1~20mm円礫多量。



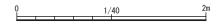
- 1 暗褐色土 1~3mm炭化材・1~20mm円礫少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 2 褐色土 1mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。
- 1 時褐色土 1~5mm炭化材多量、1~5mm黄褐色土粒少量。 4 褐色土 1mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。 5 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。

·A' 256. 700m

1 暗褐色土 1~3mm炭化材・1mm焼土粒少量、 1~10mm黄褐色土粒多量。

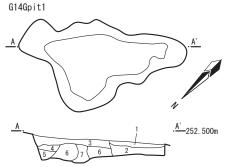
G22Gpit1 0 <u>A'</u> 257. 900m (S) 1 <sup>S</sup><u>⊿s</u> / 2

- 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒 少量、1mm焼土粒若干。 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒



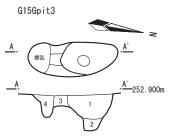
第35図 pit (7)

G20Gpit1



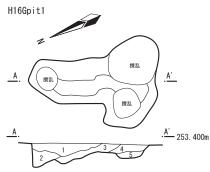
- 暗褐色土 1mm炭化材・1~5mm黄褐色土粒少量。
- 褐色土 1mm炭化材若干、1~50mm黄褐色土粒多量。暗褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒多量。

- 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。 し まり弱い。根カクラン。



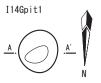
- 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒少量。 暗褐色土 1~20mm黄褐色土粒多量、1mm炭化材若干。

- 3 褐色土 1mm炭化材若干含む。 4 褐色土 1~10mm黄褐色土粒多量。しまり弱い。根カクラン。

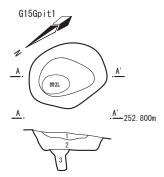


- 1 暗褐色土 1mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量。 2 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。

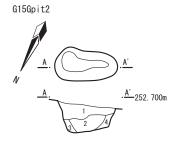
- しまり弱い。根カクラン。 3 褐色土 1mm炭化材若干、1~30mm黄褐色土粒多量。
- 4 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量。 5 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。
- しまり弱い。根カクラン。



- 1 褐色土 1~3mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒
- 少量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土 2
- 粒多量。
- 3 暗褐色土 1mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒
- 4 黄褐色土 ブロック



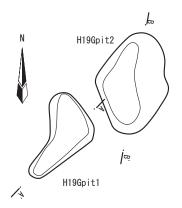
- 1 暗褐色土 1mm炭化材・焼土粒若干。
- 2 暗褐色土 1~5mm炭化材・1mm焼土若干、1~10mm黄褐色土粒多量。 3 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。しまり弱い。
- 根カクラン。



- 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒少量。 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~30mm黄褐色土粒多量。
- 褐色土 1~30mm黄褐色土粒きわめて多量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。

# H15Gpit1 ·<del>A'</del>\_252. 600m

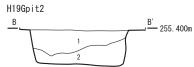
- 1 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒少量。
- 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 4 褐色土 1~30mm黄褐色土粒多量。
- H15Gpit2 ·<del>A'</del>\_252. 800m
- 1 暗褐色土 1mm炭化材・焼土粒・1~5mm黄褐色土粒少量。 2 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。 3 褐色土 1mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。



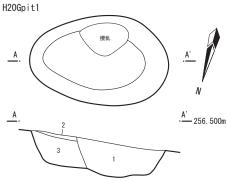
## H19Gpit1



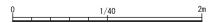
- 1 暗褐色土 1~10mm炭化材・1mm焼土粒・1~5mm黄褐色
- 土粒少量。 褐色土 1~3mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。 しまり弱い。根カクラン。

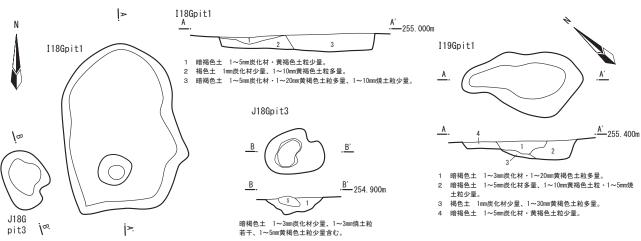


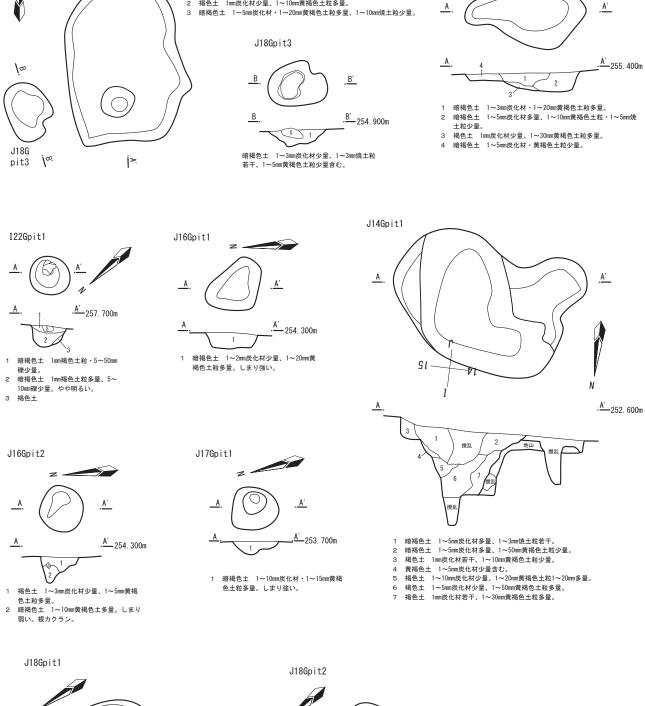
- 1 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。
- 2 褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。

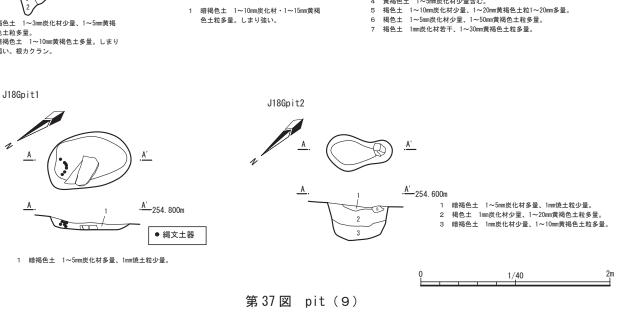


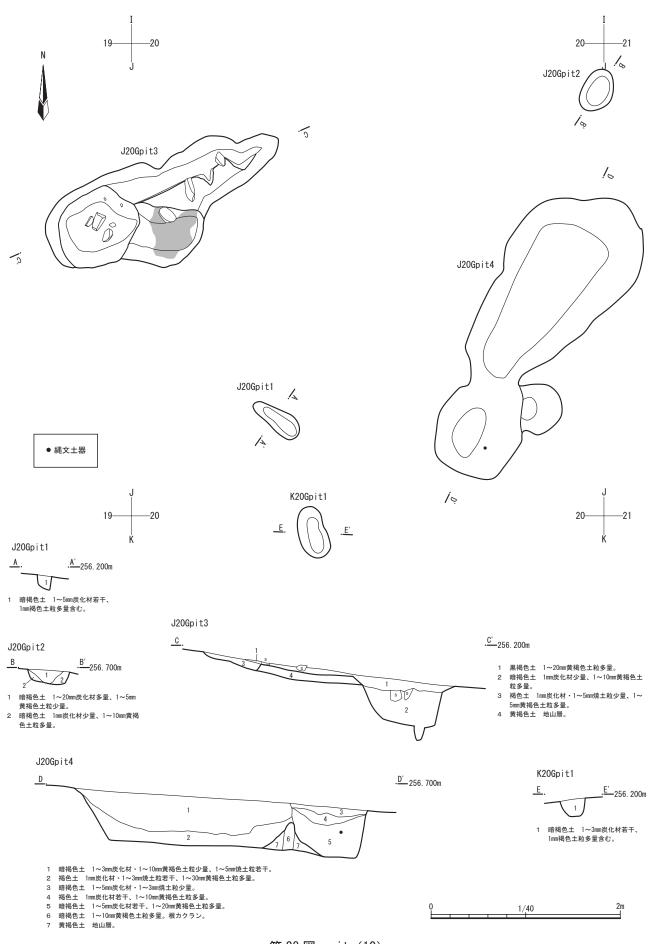
- 1 暗褐色土 1~10mm炭化材・1~20mm黄褐色土粒・1~50mm角礫多量。 2 黒褐色土 1~3mm炭化材少量。
- 褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。



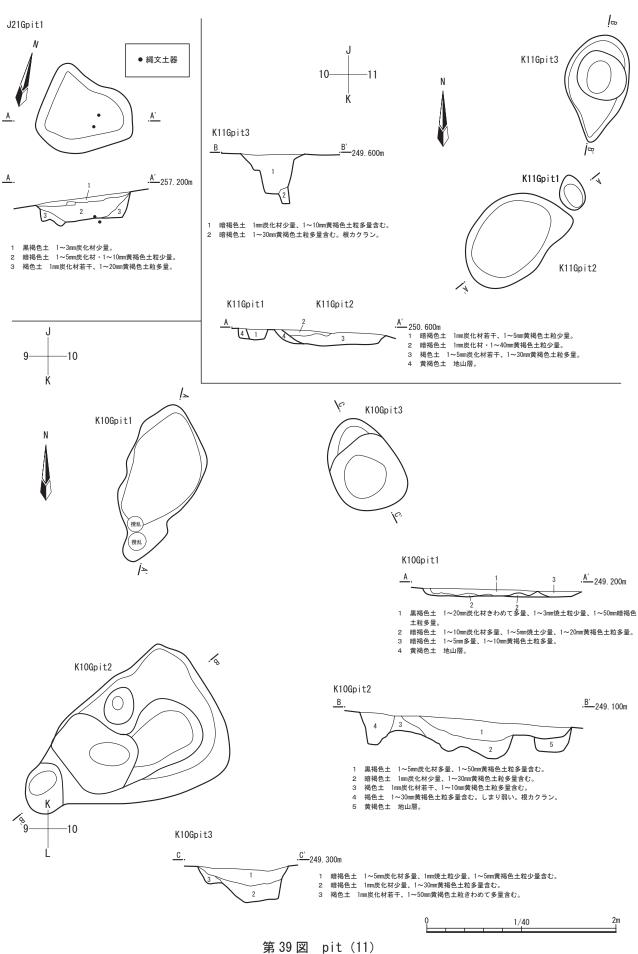




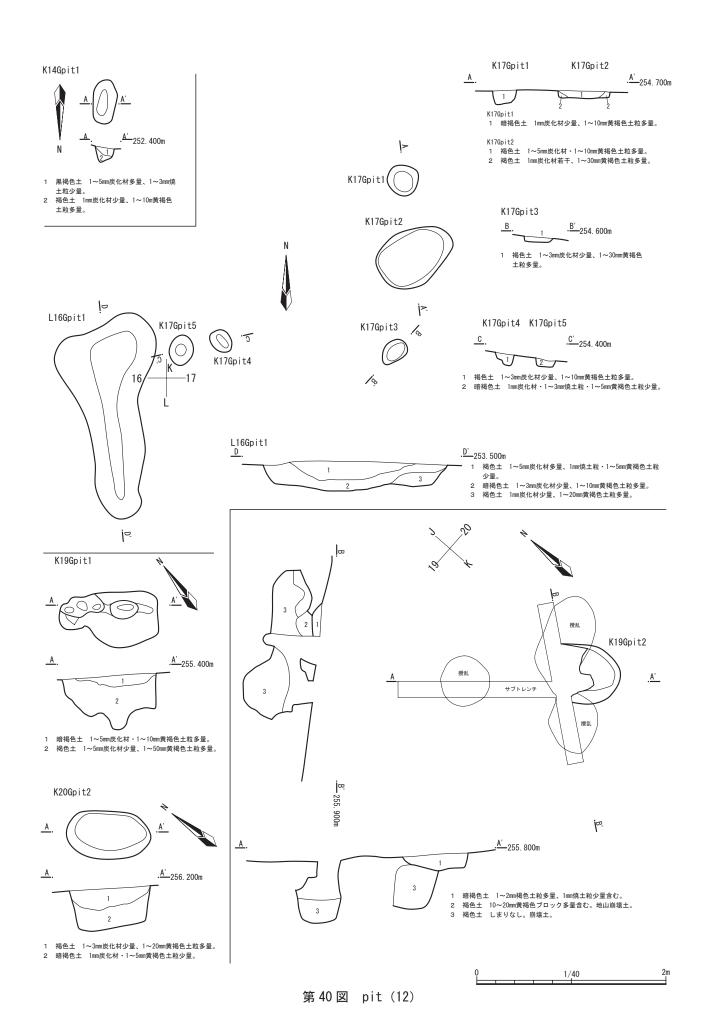


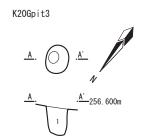


第 38 図 pit (10)

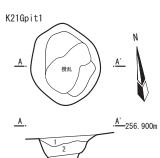


来のる Pir (II

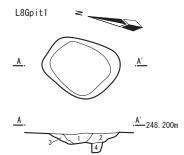




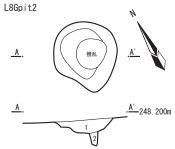
1 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1~ 5mm黄褐色土粒少量。



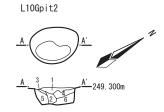
暗褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒多量。 2 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~50mm黄褐色土粒多量。



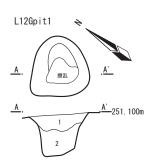
- 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1mm焼土粒少量。 暗褐色土 1~3mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量1mm焼土粒若干。 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。
- 3
- 4 褐色土 1~20mm黄褐色土粒多量含む。しまり弱い。根カクラン。



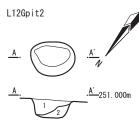
1 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 2 褐色土 1~30mm黄褐色土粒多量。しまり弱い。根 カクラン。



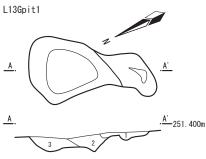
- 暗褐色土 1~5mm炭化材少量、1mm焼土粒若干。
- | 暗褐色土 | rommpkt 化が少量、 lmmpk 土材 lmmpk 土材・ lmmpk 土 lmmpk 上 lmmpk Lmmpk 上 lmmpk 上 lmmpk 上 lmmpk Lmmpk 上 lmmpk 上 lmmpk 上 lmmpk Lmmpk 上 lm



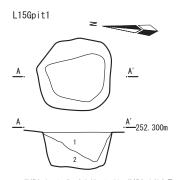
- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材少量、1mm焼土粒若干。 2 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~30mm黄褐色土粒多量。 根カクラン。



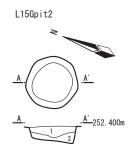
- 1 暗褐色土 1mm炭化材・1~10mm黄褐色
- 土粒少量。 2 黄褐色土 しまりやや強い。地山層。



- 褐色土 1mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量。
- 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。



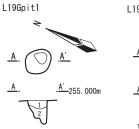
- 1 黒褐色土 1~5mm炭化材・1~30mm黄褐色土粒多量、1mm焼土
- 粒少量。 2 褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。



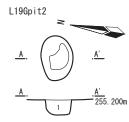
- 1 黒褐色土 1~30mm炭化材・1~10mm 焼土粒・1~20mm黄褐色土粒多量。 褐色土 1~5mm炭化材・1~3mm焼土
- 粒少量、1~30mm黄褐色土粒多量。

L18Gpit1 ·<del>A'</del> 254. 900m

- 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~5mm黄褐色土粒少量。
- 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。
- 褐色土 1mm炭化材若干、1~30mm黄褐色土粒多量。



- 1 暗褐色土 1mm炭化材・1~10mm 黄褐色土粒少量。
- 褐色土 1mm炭化材若干、1~20 mm黄褐色土粒多量。



1 褐色土 1mm炭化材少量、1~10 mm黄褐色土粒多量。

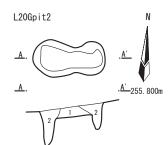


# 第41図 pit (13)

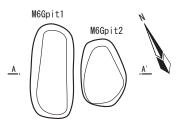


1 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm 黄褐色土粒多量。

M7Gpit1



- 1 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒 多量。
- 暗褐色土 1~20mm黄褐色土粒多量。しまり 弱い。根カクラン。



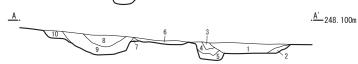
M6Gpit2 M6Gpit1 ·<del>A'</del>248. 300m <u>A</u>.

M6Gpit1 1 褐色土 1mm炭化材若干、1~30mm 黄褐色土粒多量。

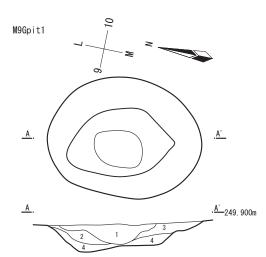
#### M6Gpit2

- 1 暗褐色土 1mm炭化材・1~5mm黄褐 色土粒少量。
- 2 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm 黄褐色土粒多量。
- 3 褐色土 1~5mm炭化材少量、1~20 mm黄褐色土粒多量。
- 4 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm 黄褐色土粒多量。

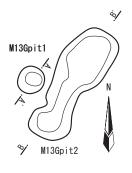




- 1 暗褐色土 1mm炭化材・1~5mm焼土粒少量、1~20mm 黄褐色土粒多量。
- 興代巴工紅夕軍。 掲色土 1mm炭化材若干、1~30mm黄褐色土粒多量。 掲色土 1mm炭化材若干、1~5mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量。 掲色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒か量。
- 6 暗褐色土 1~5mm炭化材・黄褐色土粒多量、1mm焼土 粒若干。
- 褐色土 1mm炭化材、1~10mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1mm炭化材・1~5mm焼土粒少量。
- 暗褐色土 1~5mm炭化材・焼土少量、1~20mm黄褐色 土粒多量。
- 10 褐色土 1mm炭化材・1~5mm焼土少量、1~10mm黄褐 色土粒多量。



- 暗褐色土 1~5mm炭化材多量。
- 暗褐色土 1mm炭化材・1~20mm黄褐色土粒少量。 暗褐色土 1mm炭化材・1~30mm黄褐色土粒少量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~50mm黄褐色土粒多量。

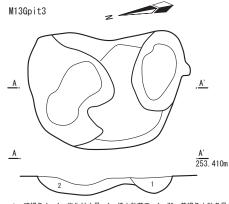


M13Gpit1

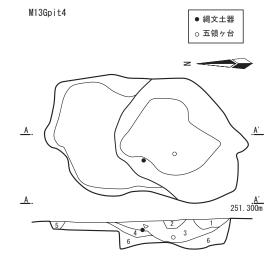
て多量。



1 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、 1~20mm黄褐色土粒多量。

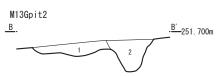


- 1 暗褐色土 1mm炭化材少量、1mm焼土粒若干、1~70mm黄褐色土粒多量。 2 褐色土 1~5mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。

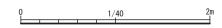


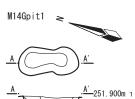
- 1 褐色土 Imm炭化材・1~3mm焼土粒少量、1~40mm黄褐色土粒多量。 2 褐色土 Imm炭化材若干、1~30mm黄褐色土粒多量。 3 黄褐色土 Imm炭化材・1~10mm焼土粒若干、1~10mm褐色土多量。 4 暗褐色土 1~3mm炭化材・9量、1~10mm黄褐色土粒多量。

- 5 褐色土 1~10mm族化材・1~10mm黄褐色土粒多量。 6 褐色土 1mm炭化材・焼土若干、1~30mm黄褐色土粒多量、1~5mm褐色土少量。



1 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。 2 暗褐色土 1~30mm黄褐色土粒多量。しまり弱い。根カクラン。

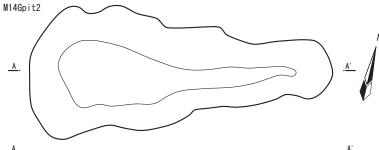


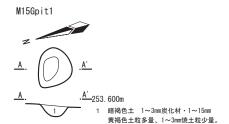


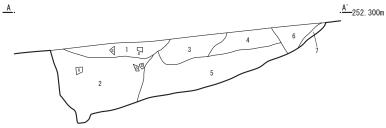


-251.900m 1 暗褐色土 1mm炭化材・1~5mm黄

褐色土 和mill 化材料 1~30mill 以 褐色土粒少量。
2 褐色土 1mm炭化材若干、1~10 mm黄褐色土粒多量。



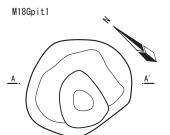


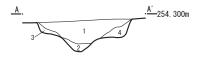


- M15Gpit2

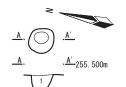
·<del>A'</del>\_252. 200m

- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm黄褐色土
- 粒少量、1mm焼土粒若干。 2 褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒
- 1 暗褐色土 1~20mm炭化材・1~5mm焼土粒少量、1~30mm黄褐色土粒多量。 2 暗褐色土 1~10mm炭化材・1~10cm円礫・1~5mm焼土粒多量、1~20mm黄褐色土粒少量。 3 褐色土 1~3mm炭化材・焼土粒少量、1~5mm黄褐色土粒多量。 4 暗褐色土 1~5mm炭化材・焼土粒・黄褐色土粒少量。

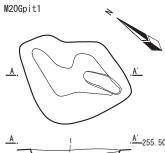




M19Gpit1



1 褐色土 1~3mm炭化材少量、1~5mm 黄褐色土粒多量。



- ·<del>A'</del>\_255. 500m

- 1 暗褐色土 1~10mm炭化材・1~5mm焼土粒多量。 2 褐色土 1~3mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量。 3 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。

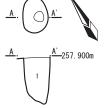
- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1~3mm焼土粒少量。

# M22Gpit1



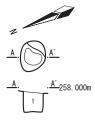
1 褐色土 1mm炭化材少量、1~ 10mm黄褐色土粒多量。

# M23Gpit1



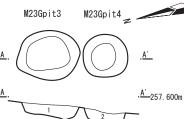
1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~3mm 焼土粒・1~10mm黄褐色土粒多量。

# M23Gpit2



暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1mm焼 土粒若干、1~15mm黄褐色土粒多量。

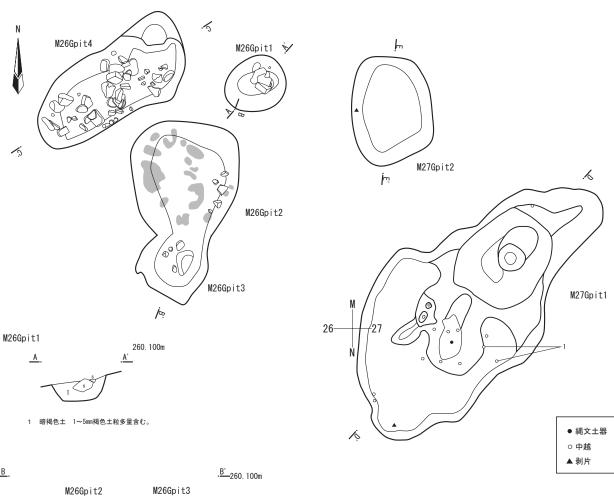
M23Gpit3

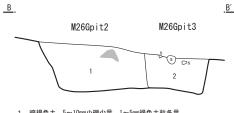


- 1 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 2 褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。

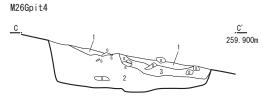


# 第 43 図 pit (15)

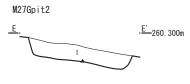




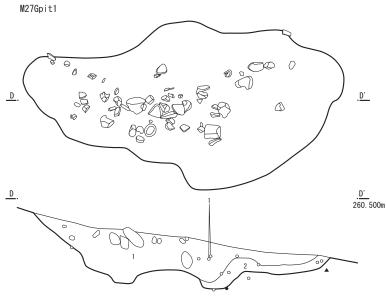
- 1 暗褐色土 5~10mm小礫少量、1~5mm褐色土粒多量。 2 暗褐色土 1~5mm褐色土粒多量。



- 1 暗褐色土 1~3mm炭化材・3~5mm黄褐色土粒少量。 2 褐色土 5mm黄褐色土粒。 3 暗褐色土 3~5mm黄褐色土粒少量。

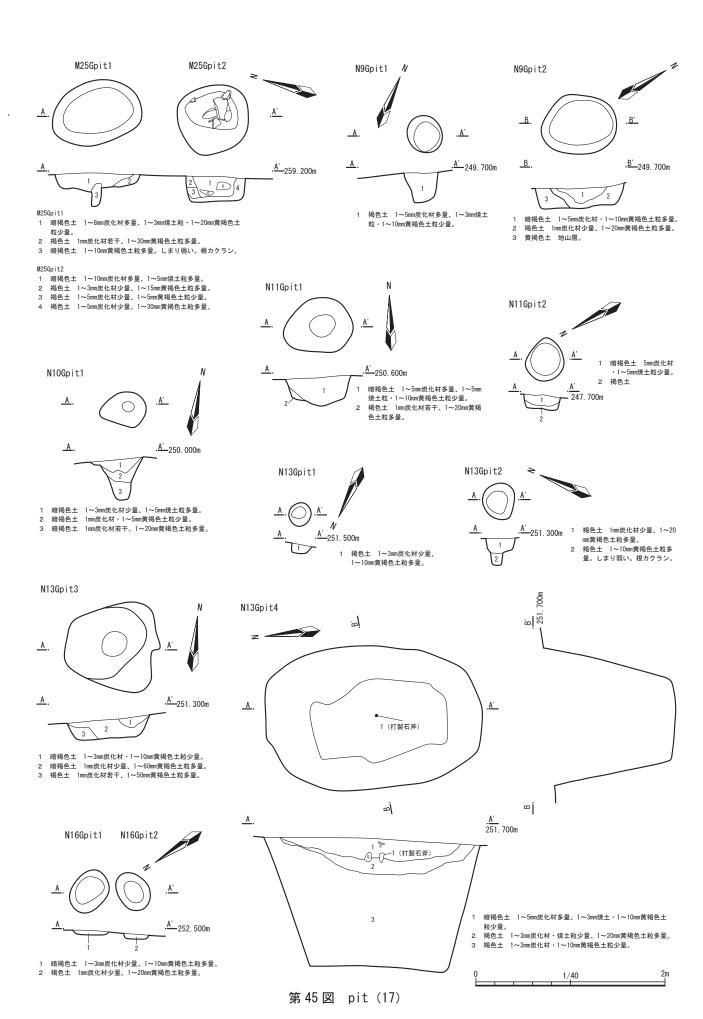


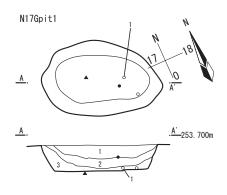
1 褐色土 1~3mm炭化材・3~5mm黄褐色土粒少量。



- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒多量、1~3mm赤色粒少量。
   2 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。

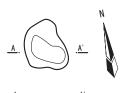
第 44 図 pit (16)



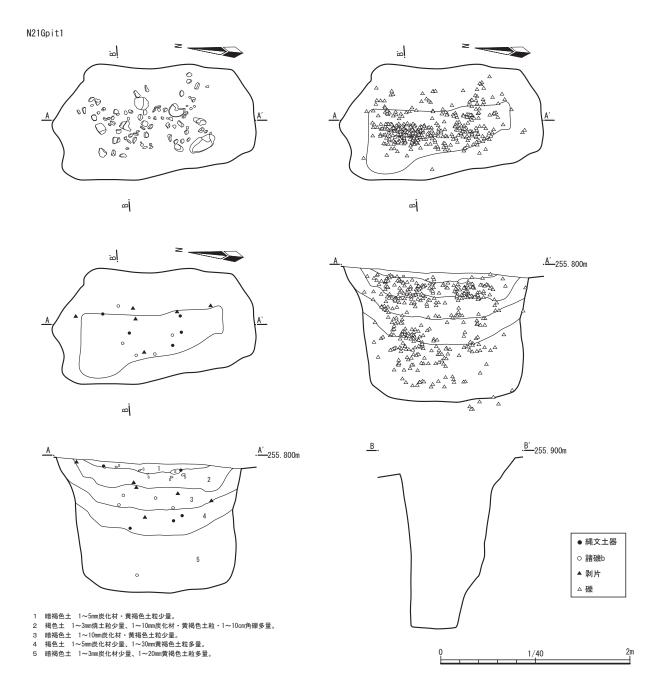


- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1mm焼土粒少量。 2 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 3 褐色土 1mm炭化材対苦干、1~10mm黄褐色土粒多量。

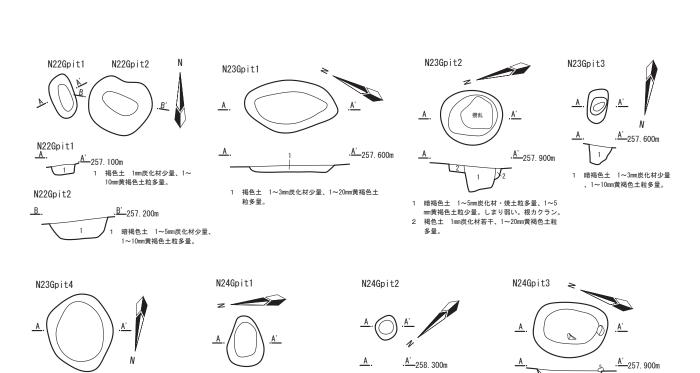
N19Gpit1

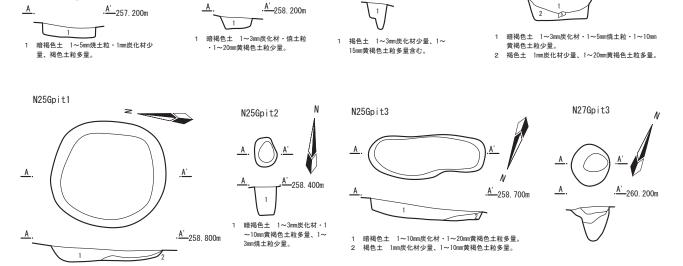


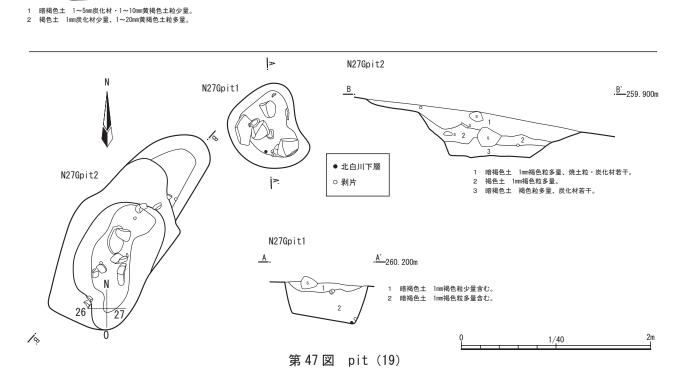
- ·<u>A'</u>254. 700m
- 1 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~5mm焼土粒多量。 2 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒少量。
- N21Gpit2 ·<u>A'</u>\_256. 300m
- 1 褐色土 1~5mm炭化材・1~20mm黄褐色土粒多量、1~3mm
- | 株主報少量。 2 暗褐色土 1~3mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量。 3 暗褐色土 1~20mm黄褐色土粒多量。しまり弱い。根カク

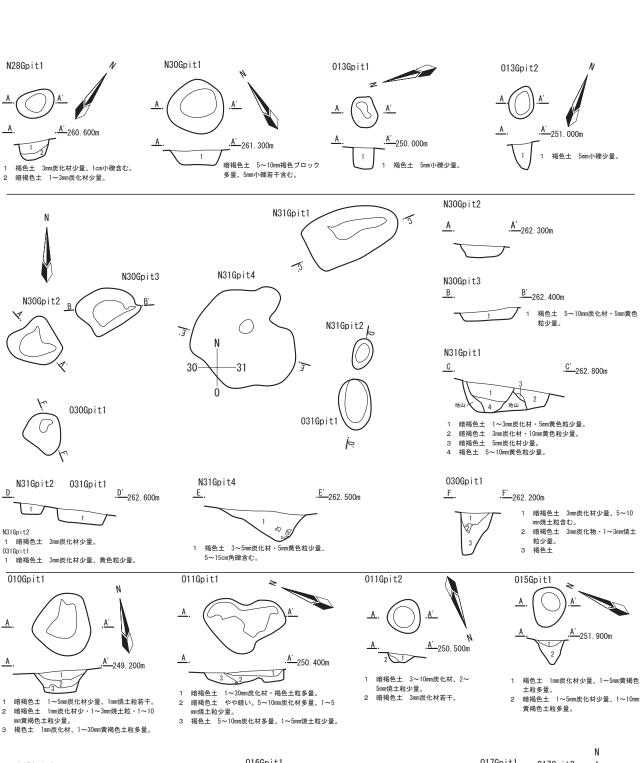


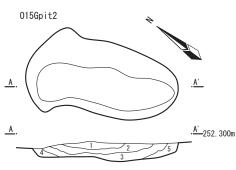
第 46 図 pit (18)



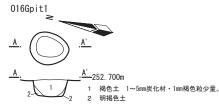


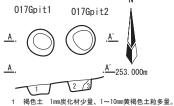




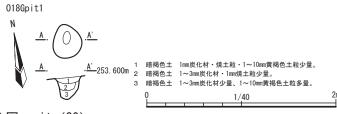


- 黒褐色土 1~5mm炭化材・1~3mm焼土粒多量、1~5mm黄褐色土粒少量。 黒褐色土 1~10mm炭化材・黄褐色土粒多量、1~3mm焼土粒少量。
- | 3 暗褐色土 | ~8mm族化材・~20mm黄褐色土粒多量、| mm焼土粒少量。 | 褐色土 | 1mm族化材・型、| ~20mm黄褐色土粒多量。 | 褐色土 | 1~3mm族化材・焼土粒少量、1~20mm黄褐色土粒多量。

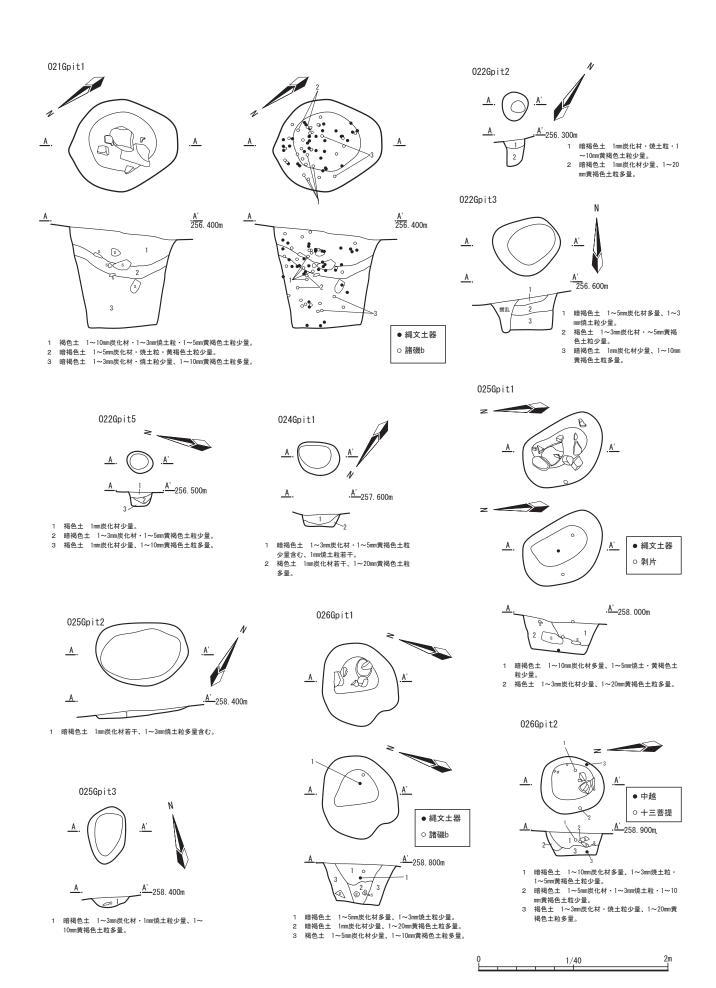




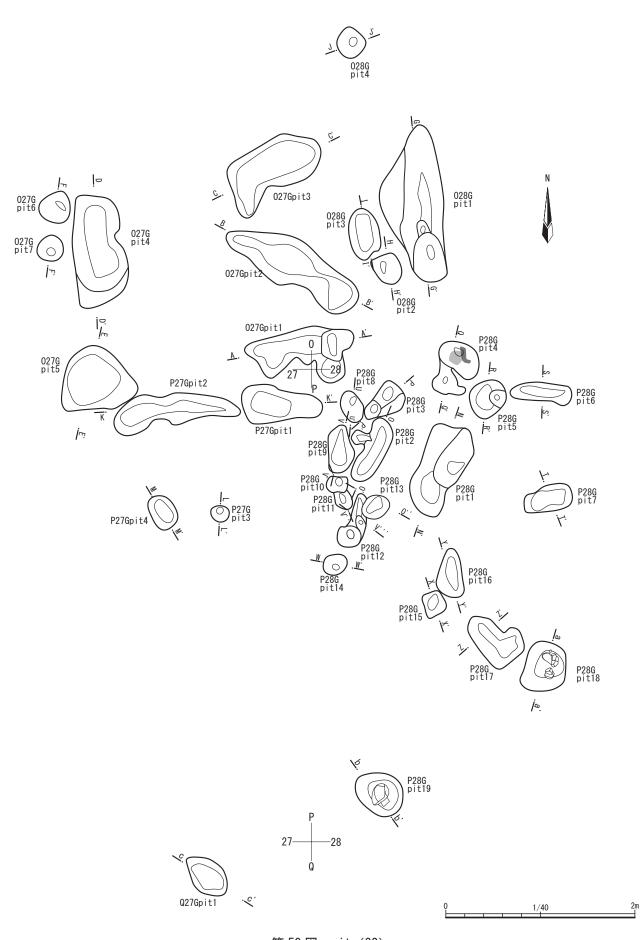
- 2 暗褐色土 1mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量。 3 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒少量。



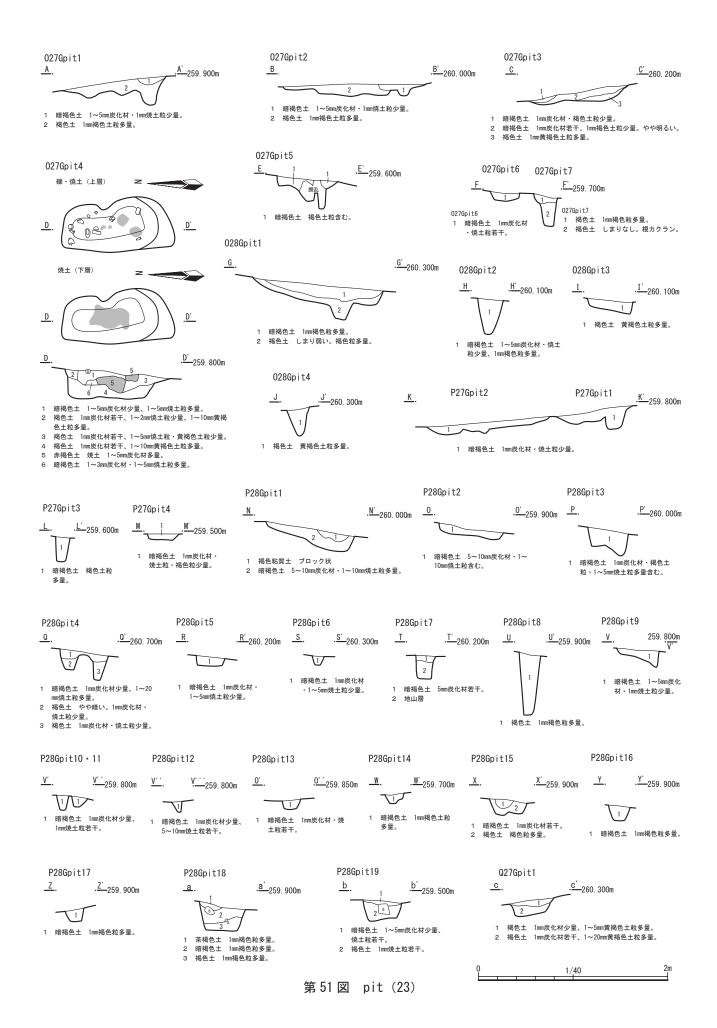
第 48 図 pit (20)

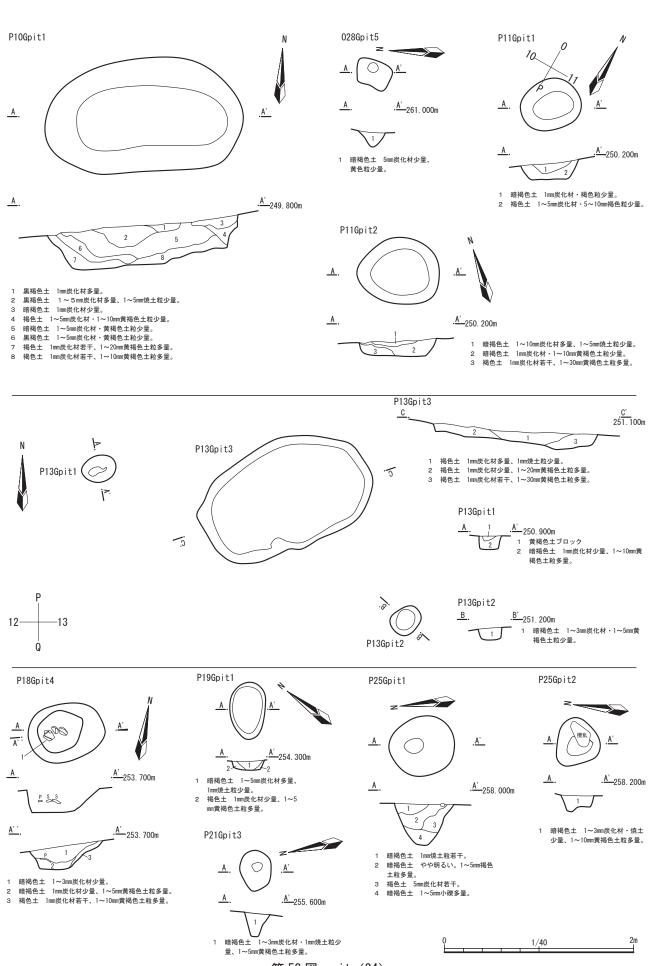


第49図 pit (21)

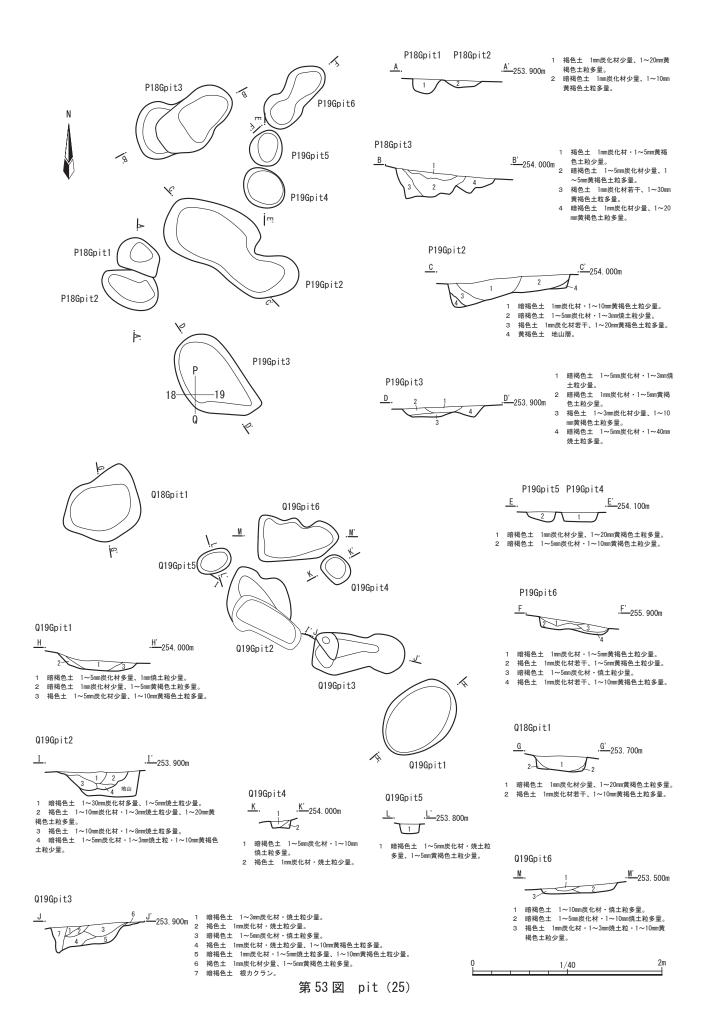


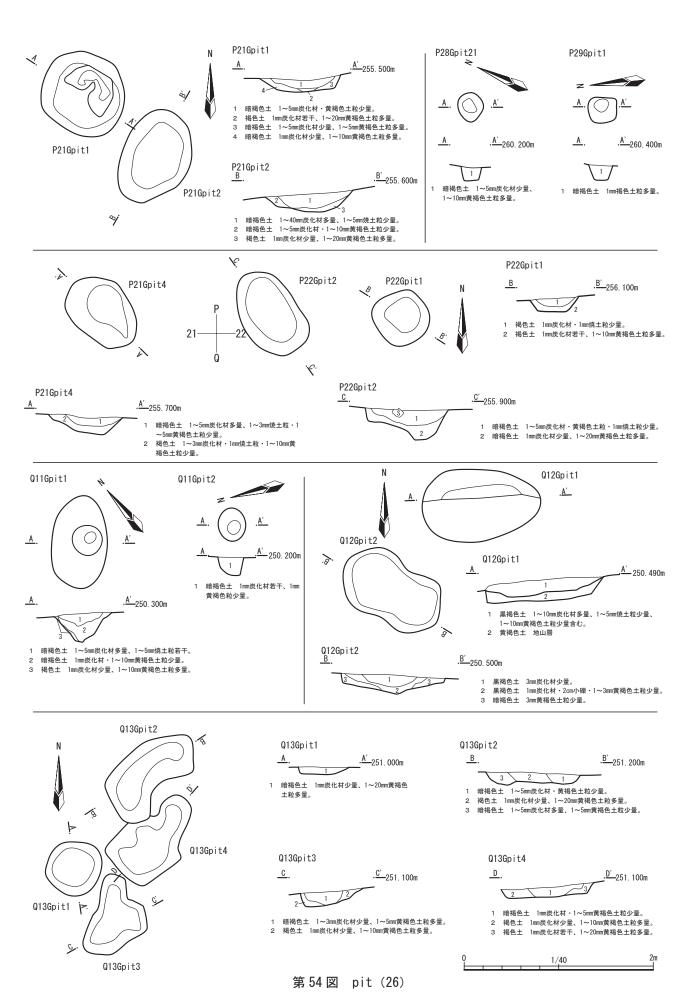
第50図 pit (22)

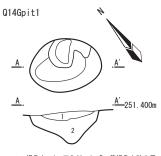




第 52 図 pit (24)





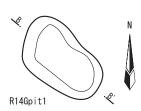


1 褐色土 1mm炭化材・1~5mm黄褐色土粒少量。 2 暗褐色土 1~10mm炭化材少量、1~30mm黄褐 色土粒多量。

- Q14Gpit2 <u>- A'</u>251. 100m
- 褐色土 1mm炭化材・焼土粒少量、 1~10mm黄褐色土粒多量。







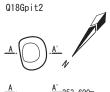
R14Gpit1 В <u>B'</u>251. 200m

暗褐色土 1~5mm炭化材・1mm焼土粒・1~10mm黄褐色 十粒少量。

暗褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。

- R14Gpit2 <u>C'</u>251. 200m
- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1mm焼土 粒少量、1~20mm黄褐色土粒多量。





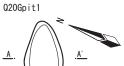
- ·<u>A'</u>\_253. 600m
- 暗褐色土 1mm炭化材・焼土粒・1~ 5mm黄褐色土粒少量。
- 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm 黄褐色土粒多量。

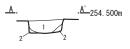


Q18Gpit3

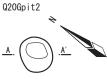


- 褐色土 1mm炭化材若干。 暗褐色土 1~5mm炭化材・1mm焼 土粒少量。
- 3 暗褐色十 1mm炭化材・1~10mm 黄褐色土粒少量。



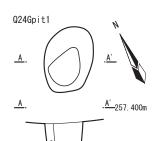


- 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm 黄褐色土粒多量。
- 2 褐色土 1~20mm黄褐色土粒多量。

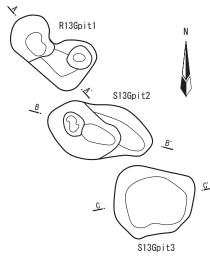




- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材少量、1~5
- mm焼土粒若干。 褐色土 1mm炭化材若干、1~5mm黄褐 色土粒少量。

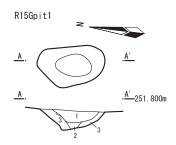


- 1 暗褐色土 1~30mm炭化材·1~10mm焼土粒· 1~20mm黄褐色土粒多量。
- 2 褐色土 1mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒

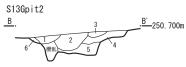




- 暗褐色土 1~10mm炭化材・1~5mm焼土粒多量。
- 2 暗褐色土 1~5mm炭化材・1mm焼土粒・1~8mm黄褐色土粒少量。 3 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。
- 4 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。 5 暗褐色土 1~30mm黄褐色土粒多量。根カクラン。



- 暗褐色土 1~8mm炭化材多量、1~3mm焼土粒少量含む。 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~5mm黄褐色土粒少量含む。
- 3 褐色土 1mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量含む。

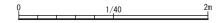


- 暗褐色土 1~5mm炭化材・黄褐色土粒・1mm燒土粒少量。 黒褐色土 1~10mm炭化材・1~5mm燒土粒・黄褐色土粒多量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~3mm焼土粒少量、1~10mm黄褐色

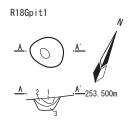
- 土粒多量。
  5 褐色土 1mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。
  6 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。

S13Gpit3 <u>C'</u>250. 700m

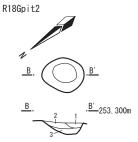
- 褐色土 1~10mm炭化材少量、1~30mm黄褐色土粒多量。 黑褐色土 1~3mm炭化材多量、1mm焼土粒・1~5mm黄褐色土粒少量。 暗褐色土 1mm炭化材・焼土粒少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 3



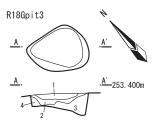
第55図 pit (27)



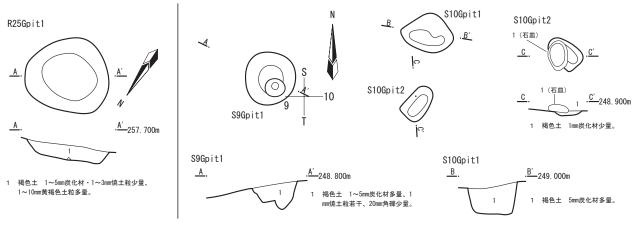
- 黒褐色土 1~5mm炭化材多量。
- 無荷巴エ 1~5mm灰化材多里。 暗褐色土 1~3mm炭化材・黄褐色土粒少量。 褐色土 1mm炭化材少量、1~5mm黄褐色土粒 多量.

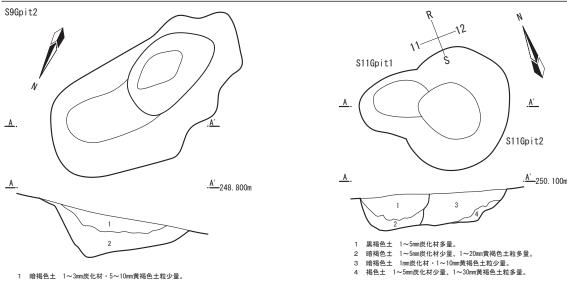


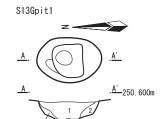
- 褐色土 1mm炭化材若干、1~5mm黄褐色土粒多量。 褐色土 1~3mm炭化材・焼土粒・1~5mm黄褐色土粒mm少量。 暗褐色土 1~5mm炭化材・黄褐色土粒少量含む。



- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材・1~3mm焼土粒少量。 2 褐色土 1~3mm炭化材若干、1mm焼土粒少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 3 暗褐色土 1~3mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 4 褐色土 1mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒多量。

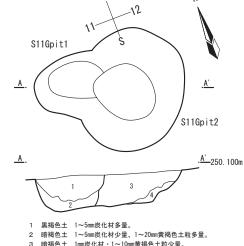


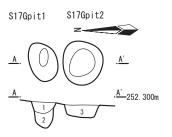




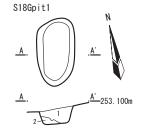
2 褐色土 1mm炭化材少量、5~30mm黄褐色土粒多量。

- 1 暗褐色土 1~10mm炭化材多量、1~10mm炭褐色土粒少量。 2 褐色土 1~10mm炭褐色土粒多量。 3 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm炭褐色土粒多量。 4 暗褐色土 1~10mm炭褐色土粒多量。根カクラン。

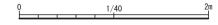




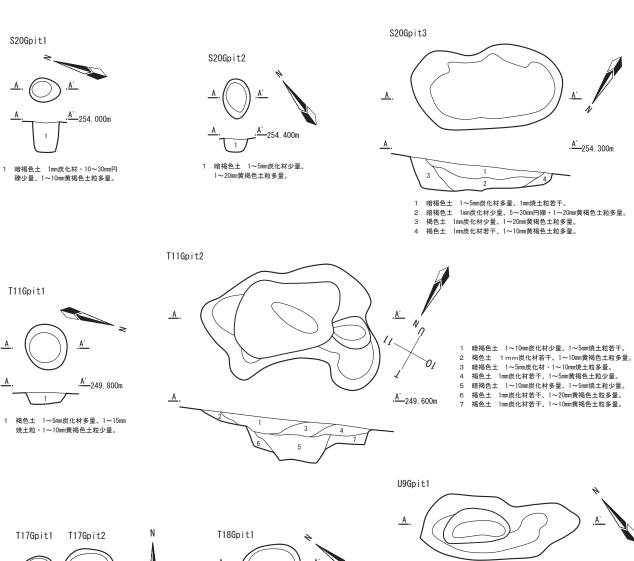
- 褐色土 1~5mm炭化材多量、1~10mm黄褐色土粒少量。
- 2 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 3 暗褐色土 1mm炭化材・1~10mm黄褐色土粒少量。

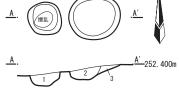


- 1 暗褐色土 1mm炭化材・1~50mm黄褐色土粒少量。 2 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。

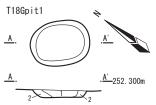


第56図 pit (28)

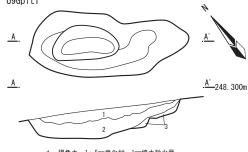




- 暗褐色土 1mm炭化材・1~5mm黄褐色土粒少量。
- 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1mm焼土粒少量。 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。

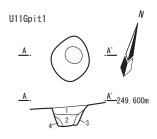


- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材少量、1~5mm焼 土粒若干。
- 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色 土粒多量。

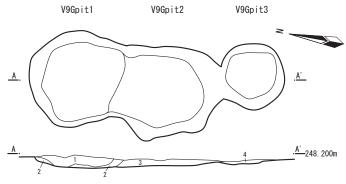


·<del>A'</del>254. 300m

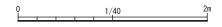
- 褐色土 1~5mm炭化材・1mm焼土粒少量。 褐色土 1mm炭化材・1~5mm黄褐色土粒少量。
- 2 褐色土 1mm炭化材・1~5mm 3 黄褐色土 1mm炭化材少量。



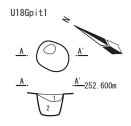
- 1 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒少量含む。 2 暗褐色土 1~5mm炭化材少量、1~5mm黄褐色土粒少量含む。 3 褐色土 1~5mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量含む。 4 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量含む。



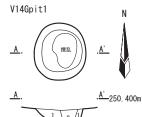
- 1 暗褐色土 1~5mm炭化材多量、1mm焼土粒少量。 2 褐色土 1mm炭化材少量、1mm焼土粒若干。 3 暗褐色土 1mm炭化材少量、褐色土ブロック。 4 暗褐色土 5~20mm炭化材多量、焼土粒若干。



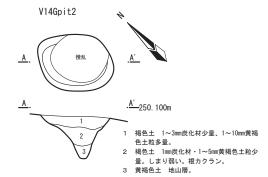
第57図 pit (29)



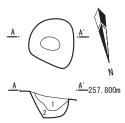
- 1 褐色土 1mm炭化材・焼土粒若干、
- 1~5mm黄褐色土粒多量。 2 暗褐色土 1mm炭化材少量、1~10 mm黄褐色土粒多量。



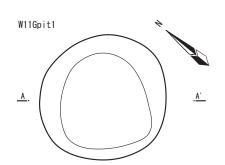
- 1 褐色土 1mm炭化材少量、1~10mm黄褐色土粒多量。 2 褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒多量。 根カクラン。

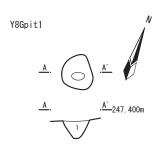




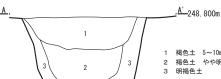


- 1 褐色土 1~5mm炭化材少量、5mm小礫・ 1 mm焼土粒若干。 2 褐色土 やや暗い。1~2mm小礫少量。

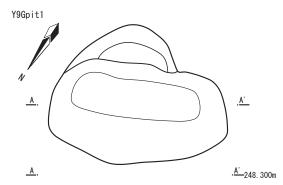


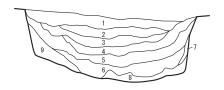


1 褐色土 1~2mm礫少量。しまり強い。



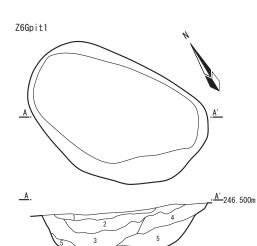
- 褐色土 5~10mm小礫少量。
- 褐色土 やや明るい。5~10mm小礫少量、炭化材若干。 明褐色土



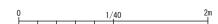


- 褐色土 1~5mm炭化材少量、1~3mm焼土粒若干。

- 1 褐色土 1~5mm炭化材小量、1~5mm媄土粒子 2 暗褐色土 1mm炭化材・1~5mm媄土粒少量。
  3 褐色土 1mm炭化材・1~5mm媄土粒少量。
  4 暗褐色土 1mm炭化材・1~30mm黄褐色土粒少量、1~3mm媄土粒若干。
  5 褐色土 1mm炭化材若干、2cm以下角礫・1~20mm黄褐色土粒多量。
  黒褐色土 1~5mm炭化材少量、1~20mm黄褐色土粒・3cm以下角礫多量。
  7 暗褐色土 1mm炭化材若干、1~20mm黄褐色土粒少量。
  8 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。
  9 褐色土 1mm炭化材若干、1~10mm黄褐色土粒多量。



- 1 暗褐色土 褐色粒多量。しまり強い。 2 暗褐色土 1~10mm炭化材多量、1~5mm小礫若干、褐色粒多量。 3 暗褐色土 1mm炭化材少量、3~10mm//練若干、しまりやや弱い。 4 褐色土 褐色粒多量、1~2mm//裸少量。しまりやや弱い。 5 褐色土 1~2mm/裸少量。



## (7) 遺構外出土遺物

### 縄文土器

### ・縄文時代早期・早期末~前期初頭(第73・88 図)

縄文時代早期に比定される楕円押型文土器(1)は調査区東部の沢沿いから出土している。早期末 ~前期初頭の土器(2~14)は調査区中央部を東西方向に延びる低い尾根上から南側にかけて出土 している。胎土に繊維を含む条痕文系土器であり、絡状体圧痕文などが施文される。

### ・縄文時代前期 (第74・75・76・89・90・93 図)

前期後半の諸磯b式土器は最も多く出土しており、尾根を挟んで北と南に集中して出土する傾向にある。同じく前期後半の近畿地方系の北白川下層式土器は諸磯b式同様、尾根の南北から出土し、特に北西部に多くみられる。前期末葉十三菩提式土器は遺構外においては4点のみ出土している。

## ・縄文時代中期 (第 76・77・91・92 図)

中期初頭五領ヶ台 II 式土器は尾根の北側の沢沿いに集中して出土する傾向がある。中期中葉の土器は調査区中央部に散在してみられる。北裏 C 式土器に比定されると思われる土器片(109) も M - 9 グリッドより 1 点出土している。

## 平安時代の土師器 (第77・94 図)

調査区西側  $M \cdot N - 10$  グリッド付近にまとまって出土している。いずれも小破片であり、坏・甕・ 羽釜などがある。

#### 石器 (第 78 ~ 101 図)

縄文時代草創期の有舌尖頭器 (120) は調査区北端の C-17 グリッドより出土している (第 96 図)。 安山岩製の槍先型尖頭器 (121) は調査区中央部尾根の先端部となる尾根先端の Q-13 グリッドより出土している (第 96 図)。泥岩製の尖頭器  $(122\cdot123)$  は尾根先端部の  $R-13\cdot14$  グリッドよりまとまってみられる (第 96 図)。

石鏃は尾根の南北と調査区南西端にみられる(第 97 図)。石材はほとんどが黒曜石であり、頁岩 (154)、泥岩 (155) チャート  $(156 \cdot 157)$  がわずかにみられる。

石匙は尾根の北側と南東部に分布する(第 98 図)。ほとんどが泥岩製の横長形である。石錐は尾根の北西側と南西側にわずかに分布する。石材はほとんどが黒曜石であり、頁岩(154)、泥岩(155)チャート(156・157)がわずかにみられる。

石核は調査区全体に散在する(第 99 図)。石材は黒曜石と泥岩があり、泥岩の石核は横長剥片を剥離した痕跡がみられる。黒曜石の原石は調査区南東端の Z - 6 ~ AB - 6 グリッドにまとまって出土している(第 99 図)。剥片は尾根の南北と調査区南西端に集中してみられる(第 95 図)。石材は泥岩・黒曜石が多くみられ、泥岩製のものは横長剥片が多くみられる。黒曜石製の剥片(170)は旧石器時代の所産と考えられる。

打製石斧は調査区全体に散在して分布する(第 100 図)。磨製石斧は調査区北西部の J - 19 グリッドより 1 点のみ出土している。磨石は調査区南西端および北東部に分布がみられる(第 101 図)。

## 土製品・金属製品・石製品 (第86・102 図)

縄文時代の土器片再生円盤は N - 10 グリッドと Q - 13 グリッドより 2 点出土している。焼成粘土塊は P - 13 グリッド・O - 20 グリッドより 2 点出土しており、棒状工具による刺突痕跡がみられるもの(215)もある。

金属製品では中世から近代の鉄砲玉が Z-6 グリッドより出土している。石製品では縄文時代のメノウ製装飾品が調査区南西部の Z-6 グリッドより出土している。平安時代以降の所産とみられる砥石は N-20 グリッドの表土中より出土している。

## 第2表 土器観察表

第59図	図版番号	出土位置 1 1 号竪穴	注記番号 SI1-098	時 期十三菩提	器種深鉢	特徵	色 調 にぶい黄橙 10YR5/4	胎士		法(cm) 底径	高さ (2.3)	所見・備考
第59図		2 1号竪穴	SI1-078,080,096	五領ヶ台川	深鉢	隆帯上連続爪形文	明褐 7.5YR5/6	雲母、白色粒	-	-	(6.2)	
第59図		3 1 号竪穴	SI1-083,084	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	口唇部突起、集合沈線文	明褐 7.5YR5/6	白色粒	(35.8)	-	(12.0)	
第59図	1竪	4 1号竪穴	SI1-081	五領ヶ台川	深鉢	口唇部突起、集合沈線文	褐 7.5YR4/6	白色粒	-	-	(6.6)	
第59図	1竪	5 1号竪穴 6 1号竪穴	SI1-125 SI1-004,115,116	五領ヶ台Ⅱ	深鉢深鉢	集合沈線文 縄文地文、沈線による Y 字状懸垂文	褐 7.5YR4/6 明赤褐 5YR5/6	白色粒	-	-	(4.8)	
第59図	1竪	7 1 号竪穴	SI1-147	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	集合沈線文	褐 7.5YR4/6	雲母、白色粒	-	-	(6.2)	
第59図	1竪	8 1 号竪穴	SI1-068,082,088	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	無文、内面スス付着	赤褐 5YR4/6	雲母、白色粒、赤色粒	-	(12.0)	(4.4)	
第59図	1竪	9 1 号竪穴	SI1-015,043	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	無文	明褐 7.5YR5/6	白色粒、砂粒多	-	(16.0)	(5.1)	
第59図	1竪	10 1号竪穴	SI1-027,073,074 SI1-087	五領ヶ台川	深鉢	無文	明褐 7.5YR5/6	雲母、白色粒	(18.0)	-	(8.7)	
第59図	1竪	11 1 号竪穴 12 1 号竪穴	SI1-087 SI1-006,077,093,099,100,123	五領ヶ台Ⅱ	浅鉢	口唇部突起、集合沈線文 4単位の波状口縁か?集合沈線文	褐 7.5YR4/6 明褐 7.5YR5/6	雲母、白色粒、砂粒 雲母、白色粒	(25.6)	8.2	(7.4) 9.3	
第60図	2・4竪	1 2・4号竪穴	SI4-079	諸磯b	深鉢	浮線文上刻み、並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR5/6	雲母、白色粒	-	-	(8.0)	
第60図		2 2・4号竪穴	SI2-004,249	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR5/6	雲母、白色粒	-	-	(7.8)	
第60図	2・4竪	3 2・4号竪穴	SI2-019,020,021,022	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR5/6	雲母、白色粒	-	-	(8.1)	
第60図	2・4竪	4 2・4号竪穴	SI2-262	諸磯b	深鉢	並行沈線文	褐 7.5YR4/4	白色粒	-	-	(8.6)	
第60図	2・4竪	5 2·4号竪穴 6 2·4号竪穴	SI2-250,251 SI2-241	諸磯 b 諸磯 b	深鉢	集合沈線文並行沈線間連続爪形文	暗褐 7.5YR3/3 褐 7.5YR4/4	白色粒 雲母、白色粒	-	-	(5.2)	
第60図	2・4竪	7 2・4号竪穴	SI2-238,245	諸磯b	深鉢	縄文地文、並行沈線文	橙 7.5YR7/6	雲母、白色粒	-	-	(4.0)	
		8 2・4号竪穴	SI2-263	諸磯b	深鉢	並行沈線におる横位弧線文	褐 7.5YR4/4	白色粒、赤色粒	-	-	(10.1)	
第61図	2・4竪	9 2・4号竪穴	SI4-022,024,031, 一括	諸磯b	深鉢	浮線文	赤褐 5YR4/6	雲母、白色粒、赤色粒	-	-	(3.7)	
		10 2・4号竪穴	SI2-159	諸磯b	深鉢	口唇部突起、浮線文	明褐 7.5YR5/6	雲母、白色粒	-	-	(5.0)	
		11 2・4号竪穴	SI4-040,044,056	諸磯 b	深鉢	無文	褐 7.5YR4/6	雲母、白色粒	-	-	(9.0)	
		12 2·4号竪穴 13 2·4号竪穴	SI2-197,266,267 SI4-008,020,021,026	諸磯 b 諸磯 b	深鉢	無文	橙 7.5YR6/6 褐 7.5YR4/4	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(17.0)	
		14 2・4号竪穴	SI2-188,233	十三菩提	深鉢	橋円状区画文、三角印刻	赤褐 5YR4/6	雲母、赤色粒、白色粒	(22.0)	- 1	(3.6)	
		15 2・4号竪穴	SI2-027,234	十三菩提	深鉢	精円状区画文、三角印刻	赤褐 5YR4/6	雲母、白色粒、赤色粒	(22.0)		(4.1)	
第61図		16 2・4号竪穴	SI2-068,145	十三菩提	深鉢	三角印刻、集合沈線によるレンズ状文内印刻	褐 7.5YR4/6	雲母、赤色粒、白色粒	-	-	(7.1)	
		17 2・4号竪穴	SI4-061	中越	深鉢	無文	橙 7.5YR6/6	雲母、白色粒	-	- 1	(2.6)	
		18 2・4号竪穴	SI2-018,087	中越	深鉢深鉢	無文	にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4		-	-	(3.8)	
第61図		19 2·4号竪穴 20 2·4号竪穴	SI2-037,038 SI2-026,041,042,078	縄文	深鉢	条痕	にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(2.7)	
		21 2・4号竪穴	SI2-044,045,046,047,048	縄文	深鉢	条痕	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(8.2)	
第61図		22 2・4号竪穴	SI2-236	縄文中期中葉	深鉢	隆帯上連続爪形文	明黄褐 10YR 5/6	白色粒、砂粒	-		(3.2)	
第64図		1 3号竪穴	SI3-379,549	諸磯b	深鉢	口唇部突起、並行沈線間連続爪形文、穿孔あり	橙 5YR 6/6	雲母、白色粒	-	-	(5.6)	
第64図		2 3号竪穴	SI3-558	諸磯 b	深鉢	浮線文上刻み、並行浮線文間連続爪形文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(3.7)	
第64図		3 3号竪穴 4 3号竪穴	SI3-446 SI3-147	諸磯b	深鉢深鉢	口唇部突起、連続爪形文 口唇部突起、並行沈線文	褐 7.5YR4/4 褐 7.5YR4/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(4.6)	
第64図		5 3号竪穴	SI3-200	諸磯b	深鉢	へラ状工具による連続押引	褐 7.5YR4/4	雲母、白色粒	-	-	(4.2)	
第64図		6 3号竪穴	SI3-566	諸磯b	深鉢	並行沈線による木の葉文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒、赤色粒	-	-	(5.0)	
第64図	3竪	7 3号竪穴	SI3-348	十三菩提	深鉢	口唇部:円形浮線文 表:縄文地文、結節浮線文	黄褐 10YR 5/6	白色粒	-	-	(3.6)	
第64図		8 3号竪穴	SI3-489	諸磯b	深鉢	並行沈線による三角文内に円形刺突文	褐 7.5YR 4/6	雲母、白色粒	-	-	(5.4)	
第64図		9 3号竪穴	SI3-567	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR 5/6	雲母、白色粒	-	- (0.0)	(4.2)	
第64図		10 3号竪穴 11 3号竪穴	SI3-254,430,432 SI3-490	諸磯 b 十三菩提	浅鉢 深鉢	内部黒色 三角印刻	黄褐 10YR 赤褐 5YR4/6	雲母、白色粒 雲母、赤色粒、白色粒	-	(9.0)	(4.0)	
第64図	3竪	12 3号竪穴	SI3-499	十三菩提	深鉢	結節浮線文	明赤褐 5YR 5/6	白色粒	-	-	(7.2)	
		13 3号竪穴	SI3-559	十三菩提	深鉢	浮線文、No14・15と同一	橙 7.5YR 6/6	白色粒	-	-	(7.5)	
第64図	3竪	14 3号竪穴	SI3-222,404,408	十三菩提	深鉢	浮線文、No13・15と同一	にぶい褐 7.5YR5/4	雲母、白色粒	-	-	(5.0)	
第64図		15 3号竪穴	SI3-539	十三菩提	深鉢	浮線文、No13・14と同一	褐 7.5YR 4/3	雲母、白色粒	-	-	(5.4)	
第64図		16 3号竪穴	SI3-273	十三菩提	深鉢	集合沈線文、印刻	赤褐 5YR4/6	赤色粒、雲母、白色粒 白色粒	-	-	(4.5)	
第64図		17 3号竪穴	SI3-105	十三菩提	深鉢	縄文地文、結節浮線文 口唇部:刻み 口縁:連続爪形文 頸部:隆帯、集合	明褐 7.5YR 5/6		-	-	(3.1)	
第65図	3竪	18 3号竪穴	SI3-104,173,290,303	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	沈線文	明褐 7.5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(8.0)	
		19 3号竪穴	SI3-478	五領ヶ台川	深鉢	隆帯、平行沈線	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(5.9)	
第65図												
第65図		20 3号竪穴	SI3-007,117	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	隆帯、集合沈線	明褐 7.5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(7.0)	
第65図		20 3号竪穴 21 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163	五領ヶ台   五領ヶ台	深鉢 深鉢	集合沈線	明褐 7.5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(5.4)	
第65図	3竪	20 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440,	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文			- (11.0)	- (12.5)		
	3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-	五領ヶ台   五領ヶ台   五領ヶ台	深鉢 深鉢 深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒	-	- (12.5)	(5.4) (3.4) (10.4)	朱塗り
第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-3118	五領ヶ台    五領ヶ台    五領ヶ台    五領ヶ台    藤内式 北白川下層 北白川下層	深鉢 深鉢 治付土器 深鉢 深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り	明掲 7.5YR 5/6 赤掲 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒	- (11.0) - -	-	(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2)	朱塗り 朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴 26 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305	五領ヶ台 II 五領ヶ台 II 五領ヶ台 II 五領ヶ台 II 五領ヶ台 II 藤内式    北白川下層    北白川下層    北白川下層    北白川下層	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 深鉢 浅鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 雲母、砂粒	- (11.0) - -	(12.5)	(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9)	
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268	五領ヶ台    五領ヶ台    五領ヶ台    五領ヶ台    藤内式 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 淡鉢 浅鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR 7/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 雲母、砂粒 白色粒、赤色粒、雲母	- (11.0)	-	(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1)	
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-241	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 浅鉢 浅鉢 ?	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 明黄褐 10YR 7/6 黒褐 10YR 3/1	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 雲母、砂粒 白色粒、赤色粒、雲母 白色粒	- (11.0) - -	-	(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7)	
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268	五領ヶ台    五領ヶ台    五領ヶ台    五領ヶ台    藤内式 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 淡鉢 浅鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 開黄褐 10YR 3/1 明黄褐 10YR 7/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 雲母、砂粒 白色粒、赤色粒、雲母	- (11.0) - - -	- - - -	(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1)	
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 29 3号竪穴	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-268 SI3-241 SI3-198	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 藤 内式 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 浅鉢 ? 浅鉢 深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR 7/6 明黄褐 10YR 3/1 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 赤色粒、赤色粒、雲母 白色色粒 雲母、砂木	- (11.0)	- - - -	(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (2.4)	
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3 SE 3 SE 3 SE 3 SE 3 SE 3 SE 3 SE 3 SE	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴 26 3号竪穴 28 3号竪穴 29 3号竪穴 29 3号竪穴 11 号配石	\$13-007,117 \$13-163 \$13-459 \$13-459 \$13- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 \$13-319 \$13-118 \$13-305 \$13-268 \$13-268 \$13-198 \$13-165 \$13-202 \$\$51-008	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II	深鉢 深鉢 合付土器 深鉢 浅鉢 ? 浅鉢 ? 浅鉢 深深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立行沈線間連続爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口縁光線2条 極帯沈線下 表:条痕、縄文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR 7/6 黒褐 10YR 3/1 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 にぶい黄橙 10YR 6/6 にぶい黄橙 10YR 6/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 雪母色粒、赤色粒、雲母 白色粒 雪母、白色粒 雪母、白色粒、赤色粒 黄白色粒 雪母、斑粒	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (2.4) (2.8) (7.1)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 1配石 1配石	20 3号整穴 21 3号整穴 22 3号整穴 23 3号整穴 24 3号整穴 25 3号整穴 26 3号整穴 27 3号整穴 28 3号整穴 30 3号整穴 30 3号整穴 31 3号整穴 11 1号配石 2 1号配石	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-319 SI3-268 SI3-241 SI3-395 SI3-268 SI3-241 SI3-165 SI3-202 SSI-006,011	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 勝内式 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層 北白川下層 東京中期 東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 浅鉢 ? 浅鉢 ? 浅鉢 深深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上划み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線附連続爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口陽沈線2条、隆帯沈線下 麦・条旗、機文 表:絡条帯圧痕、条痕	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 にぶい黄橙 10YR 6/6 にぶい黄ゼ 10YR 6/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色色粒 白色	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3 3 3 3 3 3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴 26 3号竪穴 28 3号竪穴 39 3号竪穴 30 3号竪穴 11 号配石 21 1号配石 3 1号配石	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-318 SI3-368 SI3-241 SI3-319 SI3-165 SI3-202 SS1-008 SS1-008	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 浅鉢 ? 浅鉢 深鉢 深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突、え途、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続/形文 並行/沈線間連続/爪形文 立行/流線間連続/爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口縁沈線2条、隆帯沈線下 表:条痕、縄攻 表:絡条帯圧痕、条痕 表:条痕	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 明黄褐 10YR 7/6 開褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 6/6 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 雪白色粒 雪白色粒 雪白色粒 雪白色粒	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 1配石 1配石 1配石 1配石	20 3号整穴 21 3号整穴 22 3号整穴 23 3号整穴 24 3号整穴 25 3号整穴 26 3号整穴 27 3号整穴 28 3号整穴 30 3号整穴 30 3号整穴 31 3号整穴 11 1号配石 2 1号配石	\$13-007,117 \$13-163 \$13-459 \$13-459 \$13- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 \$13-319 \$13-118 \$13-305 \$13-268 \$13-268 \$13-241 \$13-198 \$13-165 \$13-202 \$\$51-008 \$\$51-006,011 \$\$51-009	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 浅鉢 ? 浅鉢 ? 浅鉢 深深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上划み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線附連続爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口陽沈線2条、隆帯沈線下 麦・条旗、機文 表:絡条帯圧痕、条痕	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 にぶい黄橙 10YR 6/6 にぶい黄ゼ 10YR 6/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色色粒 白色	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3 3 3 3 3 3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 27 3号竪穴 30 3号竪穴 11 3号竪穴 11 1号配石 21 号配石 41 号配石	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-318 SI3-368 SI3-241 SI3-319 SI3-165 SI3-202 SS1-008 SS1-008	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II	深鉢 深鉢 台付土器 深鉢 浅鉢 ? 浅鉢 深深鉢 淡鉢 深深鉢 深深鉢	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突、2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線間連続爪形文 口層が加面:刻み、表浮線文上刻み 口器が減多条。隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:条痕、縄文 表:条痕	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR 7/6 開黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 にぶい黄橙 10YR 7/6 にぶい荷 10YR 6/6 にぶい荷 7.5YR5/3 セス・パイランドのイランドのイランドのイランドのイランドのイランドのイランドのイランドの	雲爾 白色粒 雪爾 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 雪白色粒 雪白	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6) (3.1)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 30 3号竪穴 11 5号配石 21 5号配石 11 5号配石 11 1号配石 11 14Gpit1 11 M9Gpit1	\$13-007,117 \$13-163 \$13-459 \$13-459 \$13-409 \$13-009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 \$13-319 \$13-118 \$13-305 \$13-268 \$13-268 \$13-241 \$13-198 \$13-165 \$13-202 \$\$1-008 \$\$51-006,011 \$\$51-009 \$\$15-65 \$\$1-108 \$\$1-099	五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    一	深鉢 深深鉢 台付土器 深深鉢 浅数 ? 浅鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 次 深 深 数 数 次 深 深 数 数 数 次 深 深 数 数 数 数 数 数	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突、2条、編文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線間連続爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口縁沈線2条、隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表・系痕、棚文 表・条痕 無文 口磨:半ザミ 表裏:口縁沈線 口磨:キザミ 表裏:口縁沈線 フ線文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 県褐 10YR 3/1 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 6/6 にぶい黄橙 10YR 6/6 にぶい黄橙 10YR 6/6 にぶい黄橙 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 7/6 明黄褐 10YR 6/6	雲雲 白色粒 雪母 白色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 雪白色色斑 蒙白白色粒 零母白色粒 赤色粒 白色色粒 未色粒 白色色粒 未色粒 植繊維 集白色色粒 电色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒	- (11.0) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.4)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 29 3号竪穴 30 3号竪穴 31 3号竪穴 11 号配石 21 号配石 21 号配石 11 달하다 11 JHGpit1 1 MSGpit1 1 MSGpit1 1 MSGpit1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-499 SI3-900,00,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-185 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-202 SS1-006,011 SS1-010	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II	深鉢 深深鉢 台 深深鉢 浅浅 ? 浅深深。 深深淡鉢 深深。 深深淡鉢 深深。 深深淡鉢 深深。 深深。 深深。 深深。	集合沈線  □暦部突起、集合沈線文  円形・十字状透かし  連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り  浮線文上刻み  □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み  連続爪形文  並行沈線間連続爪形文  □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み  □縁が減2条、隆帯光線下 表:条底、機文 表:絡条帯圧痕、条痕 表文 表:絡条帯圧痕、条痕 無文  同時:半げミ 表裏:口縁沈線  □陽:岸帯上連続爪形文 頸部:半円状貼付文  デ線文  無文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 現 10YR 7/6 日 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 例 7.5YR 7/6 例 7.5YR 7/6	雲雲 白色粒 含色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色色粒 雪色色粒 雪	- (11.0) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.4) (2.6)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 23 3号竪穴 24 3号竪穴 25 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 30 3号竪穴 31 3号竪穴 31 3号竪穴 31 1号配石 3 1号配石 4 1号配石 1 E15Gpit1 1 MeGpit1 1 MeGpit1 1 MeGpit2 1 N9Gpit2	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-319 SI3-18 SI3-305 SI3-268 SI3-241 SI3-198 SI3-165 SI3-202 SS1-006,011 SS1-010 SS1-009 E15G SP1 一括 M9G SP1 一括 M9G SP1 一括 M9G SP1 一括	五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台	深鉢 深深鉢 台付土器 深深鉢 浅浅鉢 ?浅鉢 深深鉢 淡深鉢 淡深鉢 淡深鉢 淡深 淡珠 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突、大途り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口縁沈線12条。隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:条痕、縄文 表:条条を 無文 口醫:半四球形成 回答:半四球形成 回答:半四球形成 回答:半四球形成 回答:半四球形成 回答:半四球形成	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明 1.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 閱 7.5YR 7/6 閱 7.5YR 7/6 阅 7.5YR 7/6	需要 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色色粒 多种 一种	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (5.2) (5.2) (2.4) (2.6) (3.5)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第66図 第69図 第69図 第69図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号整穴 21 3号整穴 22 3号整穴 24 3号整穴 26 3号整穴 26 3号整穴 27 3号整穴 29 3号整穴 30 3号整穴 31 3号整穴 1 1号配石 2 1号配石 4 1号配石 1 E15Gpit1 1 M9Gpit1 1 M9Gpit1 1 N9Gpit2 1 N17Gpit1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-499 SI3-009,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-268 SI3-268 SI3-109 SI3-165 SI3-202 SS1-008 SS1-006,011 SS1-010 SS1-009 E15G SP1 一括 M9G SP1 一括	五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    一	深鉢 深鉢 台付土器 一次 会 深深 。 一次 。 一次 。 一次 。 一次 。 一次 。 一次 。 一次 。	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突、2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線間連続爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口器が線2条、隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:条痕、縄文 表:条痕、 無文 口唇: キザミ 表裏:口縁沈線 口唇: キザミ 表裏:口縁沈線 口唇: 半甲状貼付文 浮線文 無文 浮線文、縄文 縄文 地交、 縄文 縄文 地交、 縄文 縄文 地交、 縄文 縄文 地交、 北行沈線による蕨手文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 6/6 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/4 世 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 7/6 明黄褐 10YR 6/6 反褐 7.5YR 4/2 巨 7.5YR 4/2 にぶい黄褐 10YR 6/6 灰褐 7.5YR 4/2 にぶい黄褐 10YR 6/6	雲雲 白色粒 雪母 白色粒 白色色粒 雪白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 雪白白色 中心 一种	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.4) (2.6) (3.5) (4.8)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 11 号配石 21 号配石 21 号配石 11 타원石 11 JI4Gpit1 1 M9Cpit2 1 N17Gpit1 1 N17Gpit1 1 N21Gpit2	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3- 009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-319 SI3-18 SI3-305 SI3-268 SI3-241 SI3-198 SI3-165 SI3-202 SS1-006,011 SS1-010 SS1-009 E15G SP1 一括 M9G SP1 一括 M9G SP1 一括 M9G SP1 一括	五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台	深鉢 深深鉢 台付土器 深深鉢 浅浅鉢 ?浅鉢 深深鉢 淡深鉢 淡深鉢 淡深鉢 淡深 淡珠 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深鉢 深深	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突、大途り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口縁沈線12条。隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:条痕、縄文 表:条条を 無文 口醫:半四球形成 回答:半四球形成 回答:半四球形成 回答:半四球形成 回答:半四球形成 回答:半四球形成	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明 1.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 閱 7.5YR 7/6 閱 7.5YR 7/6 阅 7.5YR 7/6	需要 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色色粒 多种 一种	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (5.2) (5.2) (2.4) (2.6) (3.5)	朱塗り
#65 \(\text{\te}\text{\texict{\text{\texict{\text{\tert{\text{\text{\texit{\text{\text{\texi}\texit{\texit{\tet{\text{\text{\texi{\text{\texicr{\texi\texi{\text{\texi{\texi{\	3壁 3壁 3壁 3壁 3壁 3壁 3壁 3壁 3壁 1配石 1配石 1配石 11配石 11和石 11和石 11和石 11和石 11	20 3号整穴 21 3号整穴 22 3号整穴 24 3号整穴 26 3号整穴 26 3号整穴 27 3号整穴 29 3号整穴 30 3号整穴 31 3号整穴 1 1号配石 2 1号配石 4 1号配石 1 E15Gpit1 1 M9Gpit1 1 M9Gpit1 1 N9Gpit2 1 N17Gpit1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-309,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-241 SI3-398 SI3-165 SI3-202 SSI3-106 SSI-006,011 SSI-010 SSI-009 E15G SP1 一括 M9G SP2 一括 N17G SP1-008,009 N9G SP2 一括 N17G SP1-008,009 N9G SP2 一括 N17G SP1-008,009 N9G SP2 一括 N17G SP1-008,009	五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    一	深深鉢 深深鉢 台 深深线 台 深深线	集合沈線  □暦郡突起、集合沈線文  円形・十字状透かし  連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、未塗り  浮線文上刻み  □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み  連続爪形文  並行沈線間連続爪形文  □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み  □縁が減2条、隆帯沈線下 表:条痕、機文 表:絡条帯圧痕、条痕 表:条痕  無文  四陽:非ザミ 表裏:口線沈線  □陽:降帯上連続爪形文  頭部:半円状貼付文  浮線文  風交、縄文  縄文地文、雄穴無線下  建文地文、並行沈線による蕨手文  縄文地文、並行線附置連続爪形文による蕨手文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄砂 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 現 10YR 7/6 現 10YR 7/6 現 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 7/6 阿	雲雲 白色粒 自色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色色粒 雪白色母科 粉粒 白色色母科 拉拉 白色色色母科 白色色 医蛋白色缝 纖維維維 印色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色色	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.4) (2.2) (3.9) (4.1) (5.3) (6.2) (6.3)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第69図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 11 号配石 21 号配石 21 号配石 11 타원配石 11 타용配石 11 HAGpit1 1 M9Cpit2 1 N17Gpit1 1 N21Gpit2 2 N21Gpit2 1 N27Gpit1 1 N21Gpit2 1 N27Gpit1 1 N27Gpit1 1 N27Gpit1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-202 SS1-008 SS1-006,011 SS1-009 E15G SP1 一括 I14G SP1 一括 M9G SP1 一括 M27G SP1-M5 M27G SP1-M5 M27G SP2-M5 N21G SP2-001 N21G SP2-001 N21G SP2-001 O21G SP1-001 O21G SP1-001	五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II 五額ヶ台 II	深深鉢 常 付 十 器 经	集合沈線 □暦部突起、集合沈線文 甲形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、未塗り 浮線文上刻み □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線間連続爪形文 □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み □陽沈線2条、隆帯沈線下 表:条底、大変を、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 現 10YR 7/6 長 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 榎 7.5YR 7/6	雲雲 白色粒 自色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色粒 白色色粒 雪白色色粒 雪白色色 野田 白色色粒 赤色粒 地名 白色色 白色色粒 赤色粒 地名 白色色色粒 未色粒 地名 白色色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色色粒 白色	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.8) (2.6) (3.1) (5.2) (2.6) (3.1) (2.6) (3.5) (4.8) (9.4) (1.7) (3.4) (1.7)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 11 5号配石 11 1号配石 2 1号配石 1 1号配石 1 1号配石 1 1月配石 1 1M2Gpit1 1 M9Gpit2 1 N17Gpit1 1 N2TGpit2 1 N17Gpit2 1 N2TGpit2 1 N2TGpit2 1 N2TGpit2 1 N2TGpit2 1 N2TGpit2 1 N2TGpit1 1 O21Gpit1 1 O21Gpit1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-300,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-241 SI3-398 SI3-165 SI3-202 SS1-006,011 SS1-010 SS1-009 E15G SP1 一括 I14G SP1 一括 M9G SP1 一括 M27G SP1-008,009 N9G SP2 一括 N17G SP1-08,009 N9G SP2 一括 N17G SP1-002 N21G SP2-003,005 一括 N21G SP2-004 N27G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024	五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台	深深耸 台 付土器 经工作 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、朱塗り 浮線文上別み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続/Tix線間連続/Tixと 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口線が減2条、隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:条痕、縄文 口層: 上球に、条痕 表:条痕 無空 、	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 長 25YR 4/6 程 7.5YR 7/6 間 7.5YR 7/6 間 7.5YR 4/6 程 7.5YR 5/6 褐 7.5YR 5/6 褐 7.5YR 5/6 褐 7.5YR 5/6 褐 7.5YR 4/2 にぶい黄橙 10YR5/4 掲 7.5YR 5/6 褐 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 掲 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 掲 7.5YR 4/6	雲雲 白色粒 自色粒 自色粒 自色色粒 自色色粒 自色色粒 自色色粒 自色色粒 自色	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (2.4) (2.4) (2.4) (2.4) (2.4) (2.4) (3.5) (4.8) (9.4) (1.7)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 29 3号竪穴 30 3号竪穴 11 1号配石 11 1号配石 11 1号配石 11 1 M9Gpit1 11 M9Gpit1 11 M9Gpit1 11 N9Gpit2 11 N17Gpit1 11 N2TGpit1 11 O2TIGpit1 11 O2TIGpit1 12 O2TIGpit1 13 O2TIGpit1 13 O2TIGpit1 13 O2TIGpit1 13 O2TIGpit1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-499 SI3- 009,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-109 E15G SP1-H5 M9G SP1-H5 M9G SP1-H5 M9G SP1-H5 M17G SP1-008,009 N9G SP2-H8 N17G SP1-002 N21G SP2-03,005-H8 N21G SP1-004 N27G SP1-010 O21G SP1-0116,017,020,024 N21G SP1-001 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024	五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    一	深深鉢 常 付 十 器 经	集合沈線 口唇那突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突、2条、編文、口縁内外朱塗リ 連続刺突、朱塗リ 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続/形文 立行沈線間連続/爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 直標/爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 日縁沈線2条、隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:絡象帯圧底、条痕 表:条痕 無文 円盤: 上車続/爪形文 頸部:半円状貼付文 浮線文 縄文地文、雄行沈線による蕨手文 縄文地文、雄行沈線同連続/爪形文による蕨手文 底形破片 浮線文、縄文 織文地文、逆行沈線同連続/爪形文による蕨手文 底形破片 浮線文、縄文 織文地文、浮線文 縄文地文、浮線文 縄文地文、浮線文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 日 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 7/6 明 1 7.5YR 5/6 樹 7.5YR 4/4 反 1 7.5YR 4/6 反 1 7.5YR 4/6 反 1 7.5YR 4/6 反 1 7.5YR 4/6	雲雲 白色粒粒 自色色粒 自色色粒 医白色色粒 医白色色粒 的 白色色粒 地粒 医白色细胞 地数 医白色色色 电色电线 秘数 医白色色色 电色电 电电位 电位 电	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.4) (2.4) (2.6) (3.5) (4.8) (9.4) (1.7) (3.4) (1.7) (3.4) (1.7) (3.6) (1.7) (3.6) (1.7) (3.6) (1.7) (3.6) (1.7) (3.7) (3.7) (3.7) (3.8)	朱塗り
第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第65回	3	20 3号竪穴 21 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 17 3号竪穴 11 号配石 2 1号配石 1 1号配石 1 1H4Gpit1 1 M9Cpit2 1 N17Gpit1 1 N21Gpit2 N21Gpit2 N21Gpit1 1 N21Gpit1 1 N21Gpit1 1 N21Gpit1 1 N21Gpit1 1 N21Gpit1 2 O21Gpit1 1 O21Gpit1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-2009,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-202 SS1-006,011 SS1-009 E15G SP1 一括 I14G SP1 一括 M9G SP1 一括 M27G SP1-008,009 N9G SP2 一括 N27G SP1-002 N21G SP2-003,005 一括 N27G SP1-001 O21G SP1-001 O21G SP1-001 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-005,008	五額ヶ台 II	深深鲜的 台 探察转 台 付 光	集合沈線 □暦部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、未塗り 浮線文上刻み □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線間連続爪形文 □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み ロ縁が減2条。隆帯沈線下 表:条底、機攻 表:条底 無文 表:絡条帯圧底、条痕 無文 □器:能等・上連続爪形文 頭部:半円状貼付文 浮線文 無文 海紋、縦立、維文・機文・地方、線で、地方、線で、地方、線で、地方、線で、地方、波による蕨手文 縄文地文、並行沈線に連続爪形文による蕨手文 縄文地文、並行沈線に連続爪形文による蕨手文 縄文地文、並行沈線に連続爪形文による蕨手文 縄文地文、漢線文・縄文・縄文・縄文・縄文・地方、深線で、縄文・縄文・縄文・縄文・縄文・縄文・縄文・地方、水線で、縄文・地方、水線で、水線で、水線で、水線で、水線で、水線で、水線で、水線で、水線で、水線で	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 長二、3、黄橙 10YR 7/4 橙 7.5YR 7/6 掲 7.5YR 4/6 反褐 7.5YR 4/6 反褐 7.5YR 5/6 褐 7.5YR 4/6 長 10YR 5/6 褐 7.5YR 4/6 長 10YR 5/7 七 5/7 R 4/6 長 10YR 5/6 七 5/7 R 4/6 長 10YR 5/1 七 5/7 R 4/6 七 5/7 R 4/6	雲雲 白色粒	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.2) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (2.6) (3.1) (2.6) (3.3) (2.6) (3.5) (2.4) (2.6) (3.5) (3.9) (2.4) (2.6) (3.9) (2.4) (2.6) (3.9) (3.1)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 29 3号竪穴 30 3号竪穴 11 1号配石 11 1号配石 11 1号配石 11 1 M9Gpit1 11 M9Gpit1 11 M9Gpit1 11 N9Gpit2 11 N17Gpit1 11 N2TGpit1 11 O2TIGpit1 11 O2TIGpit1 12 O2TIGpit1 13 O2TIGpit1 13 O2TIGpit1 13 O2TIGpit1 13 O2TIGpit1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-499 SI3- 009,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-109 E15G SP1-H5 M9G SP1-H5 M9G SP1-H5 M9G SP1-H5 M17G SP1-008,009 N9G SP2-H8 N17G SP1-002 N21G SP2-03,005-H8 N21G SP1-004 N27G SP1-010 O21G SP1-0116,017,020,024 N21G SP1-001 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024	五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    五額ヶ台    一	深深耸 台 付土器 经工作 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	集合沈線 口唇那突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突、2条、編文、口縁内外朱塗リ 連続刺突、朱塗リ 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続/形文 立行沈線間連続/爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 直標/爪形文 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 日縁沈線2条、隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:絡象帯圧底、条痕 表:条痕 無文 円盤: 上車続/爪形文 頸部:半円状貼付文 浮線文 縄文地文、雄行沈線による蕨手文 縄文地文、雄行沈線同連続/爪形文による蕨手文 底形破片 浮線文、縄文 織文地文、逆行沈線同連続/爪形文による蕨手文 底形破片 浮線文、縄文 織文地文、浮線文 縄文地文、浮線文 縄文地文、浮線文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 仁 ぶい 黄樹 10YR7/4 仁 ぶい 黄樹 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 『 10 世紀 7/5 平 8/6 七 7.5YR 4/2 七 3/5 R 7/6 七 7.5 YR 4/6 長福 7.5 YR 4/6 七 5/5 R 4/6 七 5/5 R 6/6 七 5/5 R 6/6 七 5/5 R 6/6	雲書 白色粒 自色粒 自色粒 自色色粒 自色色粒 自色色粒 自色色粒 自色色粒 自色	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.4) (2.4) (2.6) (3.5) (4.8) (9.4) (1.7) (3.4) (1.7) (3.4) (1.7) (3.6) (1.7) (3.6) (1.7) (3.6) (1.7) (3.6) (1.7) (3.7) (3.7) (3.7) (3.8)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 11 5号配石 11 5号配石 11 5号配石 11 5号配石 11 5号配石 11 155Gpit1 11 M9Gpit1 11 M9Gpit1 11 M9Gpit2 11 N17Gpit1 11 N17Gpit1 11 N17Gpit2 12 N21Gpit2 12 N21Gpit2 12 N21Gpit2 13 O21Gpit1 13 O21Gpit1 10 O26Gpit1 10 O26Gpit1 10 O26Gpit2	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-009,020,156,157,180,439,440, 441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-241 SI3-305 SI3-268 SI3-198 SI3-165 SI3-202 SI3-106,011 SSI-010 SSI-006,011 SSI-010 SSI-009 E15G SPI 一括 I14G SPI 一括 M27G SPI - M5 M27G SPI - M03,005 - M5 M21G SP2-004 M27G SPI - M04,005 M27G SPI - M16,017,020,024 O21G SPI - M6,006 O21G SPI - M6,006 O26G SPI - M03	五額ヶ台    五額ヶ台    日	深深鲜的 一种 医多种 医多种 医多种 医多种 医多种 医多种 医多种 医多种 医多种 医多	集合沈線  □唇部突起、集合沈線文  円形・十字状透かし  連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り  連続刺突、未塗り  浮線文上刻み  □唇部内面:刻み、表浮線文上刻み  連続爪形文  並行沈線間連続爪形文  □唇部内面:刻み、表浮線文上刻み  □膝が線2条、隆帯沈線下  表:条底、大変を、	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 同野 10YR 7/6 長二、3、黄橙 10YR 7/4 橙 7.5YR 7/6 掲 7.5YR 4/4 橙 7.5YR 7/6 掲 7.5YR 4/6 灰褐 7.5YR 4/6 灰褐 7.5YR 4/6 板岩 7.5YR 4/6 板岩 7.5YR 4/6 板岩 7.5YR 4/6 板岩 7.5YR 4/6 板岩 7.5YR 4/6 板岩 7.5YR 4/6 七 5YR 6/6 褐 7.5YR 4/6 長 7.5YR 4/6 七 5YR 6/6 褐 7.5YR 4/6 長 7.5YR 4/6 長 7.5YR 4/6 長 7.5YR 4/6 長 7.5YR 4/6 長 7.5YR 4/6 長 7.5YR 4/6 七 7.5YR 4/6 七 7.5YR 4/6 七 7.5YR 4/6	雲雲 白色粒	- (11.0)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (7.1) (5.3) (5.3) (5.2) (3.9) (2.4) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.4) (2.6) (3.5) (4.8) (9.4) (1.7)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第69図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 30 3号竪穴 31 3号竪穴 31 3号竪穴 11 号配石 2 1号配石 2 1号配石 1 1月配石 1 1月配石 1 E15Gpit1 1 M9Gpit2 1 M17Gpit1 1 N9Cpit2 1 N17Gpit1 1 N2TGpit1 1 O21Gpit1 2 O21Gpit1 3 O21Gpit1 1 O26Gpit2 2 O26Gpit2 3 O26Gpit2 1 P18Gpit4	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-900,00,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-202 SI3-108 SI3-165 SI3-202 SI3-165 SI3-202 SI3-108 SI3-165 SI3-202 SI3-108 SI3-165 SI3-202 SI3-108 S	五額領ヶ台    五額領ヶ台    日本   日本   日本    日	深深耸耸 台 付土器 经银行 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、未塗り 汚線文上別み 口唇部内面: 刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立行沈線間連続爪形文 口唇が内面: 刻み、表浮線文上刻み 口縁が減2条、隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:条条系 五唇: 年野に、条痕 表:条痕 無定 ア縁文 に	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明 10YR 7/6 日 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 根 7.5YR 7/6 明 10YR 7/6 根 7.5YR 5/6 根 7.5YR 5/6 根 7.5YR 4/2 にぶい黄橙 10YR5/4 橙 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 橙 5/5YR 4/6 反 10Y 5/1 橙 5/5YR 4/6 反 10Y 5/1 橙 5/5YR 4/6 反 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 反 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 反 10Y 5/1 橙 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 6/6	雲書 白色粒 自色色粒 自色色粒 音色色色粒 音色色粒 自色色粒 自色色粒 自色色粒 自	- (11.0)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (3.1) (5.2) (3.9) (2.6) (3.5) (4.8) (9.4) (10.0) (6.8) (10.0) (6.8) (10.0) (3.5) (4.9) (4.9) (4.9) (5.9) (6.9) (6.9) (7.9) (6.9) (7.9) (6.9) (7.9) (6.9) (7.9) (6.9) (7.9) (6.9) (7.9) (6.9) (7	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 29 3号竪穴 30 3号竪穴 11 1号配石 11 1号配石 11 1号配石 11 1HQPIT 11 M9Gpit1 11 M9Gpit1 11 M9Gpit1 11 N9Gpit2 11 N17Gpit1 11 N2TGpit2 11 N17Gpit1 11 N2TGpit3 11 N2TGpit4 11 N2TGpit4 11 N2TGpit5 11 N2TGpit5 11 N2TGpit6 11 N2TGpit7 11	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-451 SI3-418 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-268 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-17 SI3-198 SI3-165 SI3-198 SI3-165 SI3-198 SI3-165 SI3-202 SSI-008 SSI-008 SSI-008 SSI-008 SSI-008 SSI-008 SSI-008 SSI-008 SSI-009 E15G SP1-括 M9G SP1-括 M9G SP1-持 M27G SP1-008,009 N9G SP2-持 N17G SP1-002 N21G SP2-003,005 -括 N21G SP2-003,005 - 括 N21G SP2-004 N27G SP1-016,017,020,024 N27G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-016,017,020,024 O21G SP1-067,068 O26G SP2-002 O26G SP2-001 O26G SP2-001 O26G SP2-001 O26G SP2-001 O26G SP2-001 O26G SP2-001	五額第ヶ台    五額第ヶ台    五額第ヶ台    五額第ヶ台    五額第ヶ台    1	深深耸 台 付土器 经工作 医克里特氏 医克里特氏病 医克里氏病 医克里氏病 医克里氏病 医克里氏病 医克里特氏病 医克里氏病 医克克氏病 医克克克氏病 医克克氏病 医克克克氏病 医克克氏病 医克克克氏病 医克克氏病 医克克氏病 医克克氏病 医克克氏病 医克克氏病 医克克克克氏病 医克克克克氏病 医克克克氏原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生原生	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗リ 連続刺突、朱塗り 浮線文上刻み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立一唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立一唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 口線沈線1条、隆帯沈線下 表:条痕、縄攻 表:条痕、縄攻 表:条痕、縄攻 接:各条帯圧底、条度 表:条痕 無文 口器:隆帯上連続爪形文 頸部:半円状貼付文 浮線文 縄文地文、雄穴 縄文地文、雄穴 による蕨手文 健変文・縄文 観文地文、浮線文上刻み 並行沈線による蕨手文 を正形破片 浮線文、縄文 観文地文、浮線文 集合沈線文	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明黄松 10YR 7/6 明黄松 10YR 7/6 日本 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 4/2 にぶい ライト 4/2 にぶい ライト 4/2 にぶい ライト 4/2 にぶい 7.5YR 5/6 樹 7.5YR 4/2 にぶい 7.5YR 4/2 にぶい 7.5YR 4/2 にぶい 7.5YR 4/6 灰 10 Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 灰 10 Y 5/1 橙 5/4 R/6 様 7.5YR 5/6 橙 7.5YR 6/6 板 5/4 R/6 板 5/4 R/6 K 5/4 R/	需要 白色粒粒 自色色粒 自色色粒 医白色色粒 医白色色粒 自色色粒 的自己的 医多种性 医白色色 经收益 医白色色 医母子 电色色 电色色性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经性 医神经	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (2.4) (5.3) (5.2) (3.1) (5.2) (3.9) (2.4) (2.6) (3.5) (4.8) (10.3) (7.0) (6.8) (10.3) (7.0) (3.5) (4.9) (3.5) (4.9) (3.5)	朱塗り
第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第69回 第69回 第72回 第72回 第72回 第72回 第72回 第72回 第72回 第72	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 29 3号竪穴 11 号配石 11 号配石 11 号配石 1	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-2009,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-27 SI3-100 S	五額年今台川 五額年今台川 五額年今台川 五額年今台川 あ	深深耸耸 付	集合沈線 □暦部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、未塗り 浮線文上刻み □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線間連続爪形文 □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み □縁沈線2条、隆帯光線下 表:条底、隆東文 表:絡条帯圧底、条痕 無文 表:絡条帯圧底、条痕 無文 一段・指導で、乗渡・三線が線 □経・管帯・連続爪形文 頭部:半円状貼付文 浮線文 編文地文、延行沈線による蕨手文 縄文地文、並行沈線に連続爪形文による蕨手文 縄文地文、逆行沈線に連続爪形文による蕨手文 縄文地文、逆行沈線による蕨手文 縄文地文、浮線文上刻み 並行沈線を 縄文地文、浮線文 編文地文、浮線文・縄文地、近行沈線による蕨手文 縄で地文、浮線文・観文地、進行沈線による蕨手文 縄で地文、浮線文・観文地で、近日による蕨手文 縄で地文、浮線文・地子、海線で、海線で、地子、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 仁 ぶい 黄橙 10YR7/4 仁 ぶい 黄橙 10YR7/4 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 同野桜 10YR 7/6 尾 7.5YR 7/6 榎 7.5YR 7/6 榎 7.5YR 4/2 仁 ぶい 黄橙 10YR 7/6 榎 7.5YR 4/6 反褐 7.5YR 4/6 反褐 7.5YR 4/6 反褐 7.5YR 4/6 同野 10YR 5/6 褐 7.5YR 4/6 長 5YR 6/6 檀 7.5YR 4/6 檀 7.5YR 4/6	雲雲 白色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色色粒 自色色粒 自	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.6) (3.5) (4.8) (10.3) (7.0) (3.4) (10.3) (7.0) (3.5) (4.9) (4.1) (10.3) (7.0) (3.5) (4.9) (4.1) (4.1) (1.7) (3.1) (4	朱塗り
第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第69回 第72回 第72回 第72回 第72回 第72回 第72回 第72回 第72	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 30 3号竪穴 11 号配石 21 号配石 21 号配石 11 H4Gpit1 11 M2TGpit1 11 M2TGpit1 11 M2TGpit2 N2TGpit2 N2TGpit2 N2TGpit3 O2EGpit2 1 N2TGpit1 1 O2EGpit3 O2EGpit2 1 O2EGpit2 O2EGpit2 O2EGpit2 O2EGpit2 O2EGpit2 O2EGpit4 O2EGpit4 O2EGpit4 O2EGpit4 O2EGpit5 O2EGpit6 O2EGpit7 O2EGpit7 O2EGpit7 O2EGpit8 O2EEGpit8 O2EGpit8	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-150 SI3-240,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-165 SI3-268 SI3-268 SI3-165 SI3-202 SI3-101 SI3-	五領領ケ台    五領領ケ台    日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	深深耸耸 台 付土 器 经银行 医克勒特氏 医克勒特氏炎 医克勒氏炎 医克勒氏炎 医克勒特氏炎 医克勒氏炎 医克勒特氏炎 医克勒氏炎 医克克勒氏炎 医克克勒氏炎 医克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克克	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、未塗り 浮線文上別み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立行沈線間連続爪形文 口唇が成2条、隆帯沈線下 表・条痕、縄文  表・絡条帯圧痕、条痕 表:外底 四磨: キザミ 表裏:口縁沈線 口縁:隆帯上連続爪形文 頭部:半円状貼付文 浮線文 機文 観文 観文 観文 観文 地方沈線間連続爪形文による蕨手文 底部破片 浮線文地文、遊行沈線間連続爪形文による蕨手文 底部破片 浮線文地文、漢文 縄文地文、逆行沈線による蕨手文 底部破片 浮線文地文、海、縄文 縄文地文、河線文上刻み 並行沈線による際手文 原文 集合沈線文 編文地文、河線文 大震文 集合沈線文 集会 大線文 集合沈線文 東台沈線文 東台沈線大 東台沈線文 東台沈線文 東台北線大 東京	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 日 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 橙 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 7/6 間 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 反 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 反 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 反 10Y 5/1 橙 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 4/6 同 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 4/6 同 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 6/6	雲書 白色粒 自色粒 自色色粒 音音 中華 自由色粒 音色色粒 自色色粒 自色色粒 自色色斑 小白色色斑 泰母 音白色色 数 赤色粒 电色色 电色色粒 泰色粒 电色色 电色色粒 未色粒 电色色色色 电色色色色 电色色色色 电色色色色 电电位色色素 自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (5.3) (5.3) (5.3) (5.3) (5.3) (5.3) (5.3) (6.4) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (6.8) (1.7) (1.8)	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第69図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 29 3号竪穴 11 号配石 11 号配石 11 号配石 1 타장() 11 HOSpit1 1 M27Gpit1 1 M27Gpit1 1 N21Gpit2 2 N21Gpit2 2 N21Gpit2 1 N27Gpit1 1 O21Gpit1 1 O21Gpit1 1 O26Gpit2 1 O26Gpit2 1 P18Gpit4 1 P26G 2 N10G	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-2009,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-118 SI3-305 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-27 SI3-100 S	五額第ヶ台    五額第ヶ台    五額第ヶ台    五額第ヶ台    五額第ヶ台    五額第ヶ台    一	深深耸耸 付	集合沈線 □暦部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、未塗り 浮線文上刻み □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 並行沈線間連続爪形文 □暦部内面:刻み、表浮線文上刻み □縁沈線2条、隆帯光線下 表:条底、隆東文 表:絡条帯圧底、条痕 無文 表:絡条帯圧底、条痕 無文 一段・指導で、乗渡・三線が線 □経・管帯・連続爪形文 頭部:半円状貼付文 浮線文 編文地文、延行沈線による蕨手文 縄文地文、並行沈線に連続爪形文による蕨手文 縄文地文、逆行沈線に連続爪形文による蕨手文 縄文地文、逆行沈線による蕨手文 縄文地文、浮線文上刻み 並行沈線を 縄文地文、浮線文 編文地文、浮線文・縄文地、近行沈線による蕨手文 縄で地文、浮線文・観文地、進行沈線による蕨手文 縄で地文、浮線文・観文地で、近日による蕨手文 縄で地文、浮線文・地子、海線で、海線で、地子、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で、海線で	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明 10YR 6/6 にぶい 黄橙 10YR 7/6 日 7.5YR 7/6 相 7.5YR 7/6 相 7.5YR 5/6 相 7.5YR 4/2 にぶい 5/8 4/2 にぶい 6/6 種 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 相 5/5YR 4/6 灰 10Y 5/1 相 7.5YR 5/6 相 7.5YR 5/6 相 7.5YR 5/6 七 7.5YR 5/8 にぶい 褐 7.5YR 5/8	雲雲 白色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色粒 自色色粒 自色色粒 自	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (5.3) (2.6) (3.1) (5.2) (3.9) (2.6) (3.5) (4.8) (10.3) (7.0) (3.4) (10.3) (7.0) (3.5) (4.9) (4.1) (10.3) (7.0) (3.5) (4.9) (4.1) (4.1) (1.7) (3.1) (4	朱塗り
第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第65図 第69図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72図 第72	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 29 3号竪穴 11 号配石 2 1号配石 2 1号配石 1 1月4Gpit1 1 M27Gpit1 1 M27Gpit1 1 N21Gpit2 2 N21Gpit2 1 N27Gpit1 1 N21Gpit2 2 N21Gpit2 1 N27Gpit1 1 O21Gpit1 2 O21Gpit1 1 O25Gpit2 1 O25Gpit2 2 O25Gpit2 1 O25Gpit2 1 D25Gpit1 1 O26Gpit2 2 O25Gpit2 2 O25Gpit2 2 O25Gpit2 1 P18Gpit4 1 P26G 4 P15G 5 N28G	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-459 SI3-1009,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-18 SI3-305 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-208 SI3-165 SI3-208 SI3-165 SI3-17 SI3-18 SI3-198 SI3-165 SI3-108 SI3-165 SI3-100 SI3-100 SI3-100 SI3-100 SI3-101 SSI-010 SSI-009 E15G SPI 一括 M27G SPI ー粉 M27G SPI ー粉 M27G SPI ー粉 M27G SPI ーが M27G S	五領領ヶ台    五領領ヶ台    五領領ヶ台    五領領ヶ台    五領領ヶ台    五領領ヶ台    一	深深維針 台 付 土 器 经	集合沈線 口唇部突起、集合沈線文 円形・十字状透かし 連続刺突文2条、縄文、口縁内外朱塗り 連続刺突、未塗り 浮線文上別み 口唇部内面:刻み、表浮線文上刻み 連続爪形文 立行沈線間連続爪形文 口唇が減2条、隆帯沈線下 表:条痕、縄文 表:絡条帯圧痕、条痕 表:条痕 無文 口器・キザミ 表裏:口縁沈線 口臓・陰帯上連続爪形文 頸部:半円状貼付文 浮線文 機文地文、遊行沈線間連続爪形文による蕨手文 底部破片 浮線文地文、雄文地会、縄文地会、地行大線による蕨手文 底部破片 浮線文地文、東京大線による蕨手文 線文地文、海文線文地会、海、大線文地会、海、大線文地会、海、大線文地会、海、大線文地会、海、大線文地会、海、大線文地会、海、大線、大線、大線、大線、大線、大線、大線、大線、大線、大線、大線、大線、大線、	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明黄樹 10YR 7/6 明 10YR 7/6 日 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 7/6 樹 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 灰 10Y 5/1 橙 7.5YR 4/6 反 10Y 5/1 樹 7.5YR 4/6 反 10Y 5/1 樹 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 4/6 同 7.5YR 6/6 尼 7.5YR 6/6	雲書 白色粒 自色粒 自色色粒 电色色粒 零月 自色色粒 李 白色色粒 小白色色粒 小白色色斑 小白色色斑 小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小	- (11.0)		(5.4) (3.4) (5.3) (3.2) (5.3) (3.2) (4.1) (1.7) (2.4) (2.8) (7.1) (5.2) (3.3) (2.6) (3.3) (2.6) (3.5) (4.8) (10.0)	朱塗り
第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第65回 第66回 第66回	3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪 3竪	20 3号竪穴 21 3号竪穴 22 3号竪穴 24 3号竪穴 24 3号竪穴 26 3号竪穴 26 3号竪穴 27 3号竪穴 28 3号竪穴 17 3号竪穴 11 5号配石 21 5号配石 11 5号配石 11 5号配石 11 5号配石 11 5号配石 11 5号配石 12 15号配石 12 15号配石 12 15号配石 12 15号配石 12 15号配石 13 15号망穴 14 15号配石 15 155 pit1 1 M27 Gpit1 1 M27 Gpit1 1 N21 Gpit2 2 N21 Gpit2 1 N27 Gpit1 1 N21 Gpit2 2 N21 Gpit1 1 O26 Gpit2 1 O26 Gpit2 1 O26 Gpit2 1 P18 Gpit4 1 P26 C2 N10 G3 R16 G4 P15 G2 N28 G5	SI3-007,117 SI3-163 SI3-459 SI3-409 SI3-409 SI3-459 SI3-509,020,156,157,180,439,440,441,442,460,461 SI3-319 SI3-18 SI3-305 SI3-268 SI3-18 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-268 SI3-165 SI3-27 SI3-1008 SI3-1008 SI3-1009	五額領ヶ台 II 五額領ヶ台 II 五額領ヶ台 II 五額領ヶ台 II 五額領ヶ台 II 五額領ヶ台 II	深深等針 台 付 生器 经工作 医克里克氏 医克克氏 医克	集合沈線 □ 四部突起、集合沈線文 □ 田部突起、集合沈線文 □ 田線	明褐 7.5YR 5/6 赤褐 5YR4/6 橙 7.5YR 6/6 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 明黄褐 10YR 7/6 明黄褐 10YR 7/6 長花、近、黄橙 10YR 7/6 掲 7.5YR 7/6 帽 7.5YR 4/2 にぶい黄樹 10YR 7/6 根 7.5YR 4/6 反褐 7.5YR 4/6 反褐 7.5YR 4/6 反褐 7.5YR 4/6 板 5YR 5/6 褐 7.5YR 4/6 板 5YR 5/6 七 5YR 6/6 七 7.5YR 4/6 反 7.5YR 4/6 反 7.5YR 4/6 反 7.5YR 4/6 巨 7.5YR 4/6 反 7.5YR 4/6	雲書 白色粒 自由	- (11.0)		(5.4) (3.4) (10.4) (5.3) (3.2) (3.9) (4.1) (1.7) (3.1) (5.2) (3.6) (2.6) (3.1) (5.2) (3.6) (2.6) (3.5) (4.8) (9.4) (10.0) (3.5) (4.8) (7.1) (10.0) (3.5) (4.8) (7.1) (10.0) (3.5) (4.8) (7.1) (10.0) (3.1) (10.0) (3.1) (10.0) (3.1) (4.1)	朱塗り

図版	図版番号	2	出土位置	注記番号	時期	器種	特 徴	色調	胎土	4	法(cm	)	所見・備考
第73図	遺構外		N18G	包3475		深鉢	表:絡状体圧痕 裏:条痕	灰黄褐 10YR 4/2	繊維、雲母、白色粒	口径	底径	高さ	717C · IHI*5
第73図	週構外 遺構外	_	N18G	包3520		深鉢	表: 給状体圧痕、条痕 裏: 条痕	灰夷橋 101R 4/2 にぶい黄橙 10YR6/3		-	-	(4.8)	
第73図	遺構外	11	N18G	包3521	縄文早期末~前期初頭	深鉢	表:絡状体圧痕	橙 5YR 6/6	繊維、白色粒	-	-	(5.8)	
第73図	遺構外	12	N18G	包3473	縄文早期末~前期初頭	深鉢	表:条痕 裏:条痕	にぶい黄褐 2.5YR6/3	繊維、白色粒	-	-	(5.0)	
第73図	遺構外		N10G	包1076	縄文早期末~前期初頭	深鉢	表:絡状体圧痕 裏:刻み	明黄褐 10YR 6/6	繊維、雲母、白色粒	-	-	(5.0)	
第73図	遺構外 遺構外	_	N18G O19G	包3525	縄文早期末〜前期初頭	深鉢深鉢	表:絡状体圧痕 裏:条痕 浮線文	にぶい黄橙 10YR7/4	繊維、白色粒 白色粒	-	-	(3.6)	
第74図	退構外	_	P21G	包3166,3167,3168,3169,3170 包2637	諸磯 b 諸磯 b	深鉢	戸標文 口唇部突起、浮線文上刻み	にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/4		-	-	(4.5)	
第74図	遺構外	17	O20G	包3307	諸磯b	深鉢	口唇部丸棒刻みを表:縄文地文、浮線文	橙 5YR 6/6	雲母、白色粒	-	-	(4.4)	
第74図	遺構外 遺構外		K19G I17G	包3517 包0907	諸磯 b 諸磯 b	深鉢深鉢	ハシゴ状浮線文 浮線文	明赤褐 5YR 5/6 明褐 7.5YR 5/6	白色粒 白色粒	-	-	(3.8)	
第74図	遺構外		P20G	包2299	諸磯b	深鉢	口唇部:浮線による突起 連続爪形文	褐 7.5YR 4/6	雲母、白色粒	-	-	(3.0)	
第74図	遺構外	_	L11G	包1743	諸磯b	深鉢	口唇部楕円形凹み 並行沈線間連続爪形文	橙 7.5YR 6/6	白色粒	-	-	(4.1)	
第74図	遺構外 遺構外		O19G L11G	包2387 包1574	諸磯 b 諸磯 b	深鉢深鉢	口唇: 波状浮線文 表: 浮線文上刻み、連続爪形文 並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR 5/6 明褐 5YR 4/6	雲母、白色粒 白色粒	-	-	(4.0)	
第74図	遺構外		L11G	包1402	諸磯b	深鉢	口唇: 浮線による突起 口縁直下: 連続爪形文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(3.1)	
第74図	遺構外		M10G	包1051	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	明赤褐 5YR 5/6	白色粒、赤色粒	-	-	(4.5)	
第74図	遺構外 遺構外	_	L10G G14G	包0953 包0801	諸磯b 諸磯b	深鉢 深鉢	並行沈線間連続爪形文 浮線文間連続爪形文	明赤褐 5YR 5/6 橙 7.5YR 6/6	雲母、白色粒 白色粒	-	-	(4.6)	
第74図	遺構外		113G	包0748	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR 5/6	白色粒、赤色粒	-	-	(3.1)	
第74図	遺構外		K12G	包0692	諸磯b	深鉢	口唇部:突起 口縁直下:連続爪形文	明褐 7.5YR 5/6	雲母、白色粒、黒色粒	-	-	(4.5)	
第74図	遺構外 遺構外	_	M10G N8G	包0381 包0291	諸磯 b 諸磯 b	深鉢深鉢	口縁下円形刺突文、浮線上刻み、連続爪形文 口唇部突起 並行沈線間連続爪形文	にぶい褐 7.5YR5/4 明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(4.7)	
第74図	遺構外	_	G20G	包3699	諸磯b	深鉢	円形刺突文、並行沈線間連続爪形文	橙 7.5YR 6/6	雲母、白色粒	-	-	(4.6)	
第74図	遺構外		J21G	包3581	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR 5/8	雲母、白色粒	-	-	(4.4)	
第74図	遺構外 遺構外		112G L10G	包1670 包1387	諸磯 b 諸磯 b	深鉢深鉢	並行沈線間連続爪形文並行沈線間連続爪形文	明褐 7.5YR 5/6 灰褐 7.5YR 4/2	白色粒 雲母、白色粒	-	-	(5.4)	
第74図	遺構外		O22G	包2415	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	褐 7.5YR 4/4	白色粒	-	-	(5.0)	
第74図	遺構外	_	M11G	包1958	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	明赤褐 5YR 5/6	白色粒	-	-	(5.2)	
第74図	遺構外 遺構外		M11G M11G	包1712 包1704	諸磯 b 諸磯 b	深鉢深鉢	並行沈線による蕨手文並行沈線間連続爪形文	褐 7.5YR 4/3 赤褐 5YR 4/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(5.8)	
第75図	遺構外	40	L9G	包1376	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	橙 7.5YR 6/6	白色粒	-	-	(3.3)	
第75図	遺構外		M9G	包1201	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	褐 10YR 4/6	雲母、白色粒	-	-	(4.3)	
第75図	遺構外 遺構外	_	L10G H12G	包0983 包0793	諸磯 b 諸磯 b	深鉢深鉢	並行沈線間連続爪形文 浮線上刻み、連続爪形文	にぶい橙 7.5YR6/4 明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒 白色粒	-	-	(4.2)	$\vdash$
第75図	遺構外	44	M9G	包0557	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(4.3)	
第75図	遺構外		021G	包0427	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	橙 7.5YR 6/6	白色粒	-	-	(3.8)	
第75図	遺構外 遺構外		116G M9G	包0649 包0374	諸磯b 諸磯b	深鉢深鉢	縄文地文、浮線文上刻み 並行沈線間連続爪形文	橙 5YR 6/6 橙 7.5YR 4/6	白色粒 白色粒	-	-	(5.3)	
第75図	遺構外	_	M9G	包0371	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	にぶい黄褐 10YR5/4		-	-	(3.6)	
第75図	遺構外		N9G	包0272	諸磯b	深鉢	並行沈線間連続爪形文	橙 7.5YR 6/6	白色粒	-	-	(3.9)	
第75図	遺構外 遺構外		S12G P17G	包0114 包2840	諸磯 b 諸磯 b	深鉢深鉢	並行沈線間連続爪形文並行沈線文	橙 5YR 7/6 明褐 7.5YR 5/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(4.8)	
第75図	遺構外	_	J18G	包3526	諸磯b	深鉢	口唇部突起、並行沈線文	明黄褐 10YR 6/6	白色粒	-	-	(3.9)	
第75図	遺構外		L10G	包1407	諸磯b	深鉢	口唇部形凹み、並行沈線文	赤褐 5YR 4/6	雲母、白色粒	-	-	(4.0)	
第75図	遺構外 遺構外		N18G L9G	包3477 包1372	諸磯 b 諸磯 b	深鉢深鉢	口唇部突起、並行沈線文 口唇部形凹み、並行沈線文	明赤褐 5YR 5/6 褐 7.5YR 4/6	雲母、白色粒 白色粒	-	-	(5.6)	
第75図	遺構外		M9G	包1267	諸磯b	深鉢	並行沈線文	橙 5YR 6/6	白色粒	-	-	(4.4)	
第75図	遺構外	_	L10G	包1384	諸磯b	深鉢	口唇部形凹み、並行沈線文、円形刺突文	にぶい赤褐 5YR4/4	白色粒	-	-	(4.3)	
第75図	遺構外 遺構外		H15G I13G	包0764 包0741	諸磯b 諸磯b	深鉢深鉢	並行沈線文並行沈線文	褐 10YR 4/4 黄褐 10YR 5/6	白色粒	-	-	(4.2)	
第75図	遺構外	60	M9G	包0570	諸磯b	深鉢	並行沈線文	橙 5YR 6/6	白色粒	-	-	(3.3)	
第75図	遺構外		120G	包3640	諸磯b	深鉢深鉢	縄文地文、並行沈線文	にぶい橙 5YR6/4	白色粒 雲母、白色粒	-	-	(4.2)	
第75図	遺構外 遺構外	_	O22G M11G	包3396 包1520,1522,1523	諸磯 b 諸磯 b	深鉢	縄文地文、並行線文、単沈線による矢羽状文 並行沈線文	橙 5YR 7/8 赤褐 5YR 4/6	雲母、白色粒	-	-	(4.5)	
第75図	遺構外	64	N9G	包1217	諸磯b	深鉢	縄文地文、並行沈線文	橙 7.5YR 7/6	雲母、白色粒	-	-	(4.2)	
第75図	遺構外 遺構外		N8G K12G	包0555 包0693	諸磯 b 諸磯 b	深鉢	並行沈線文並行沈線文	明赤褐 5YR 5/6 明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒 白色粒	-	-	(4.6)	
第75図	遺構外		J15G	包0632	諸磯b	浅鉢	型11 元禄文 浮線文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒、赤色粒	-	-	(1.6)	
第76図	遺構外		N10G	包1601	十三菩提	深鉢	浮線文上刻み、連続爪形文	褐 7.5YR 4/4	雲母、白色粒、赤色粒	-	-	(4.0)	
第76図	遺構外 遺構外		R17G Q15G	包2766 包2219	十三菩提 十三菩提	深鉢深鉢	印刻、集合沈線文 集合沈線文	褐 7.5YR 橙 7.5YR 6/6	雲母、白色粒 白色粒	-	-	(2.8)	
第76図	遺構外		M9G		五領ヶ台川	深鉢	口縁直下縄文、並行沈線文	明黄褐 10YR 6/6	雲母、白色粒	-	-	(5.6)	
第76図	遺構外	72	K10G	包0713	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	口縁直下縄文、並行沈線文	橙 7.5YR 6/6	雲母、白色粒	-	-	(6.2)	
第76図	遺構外 遺構外		M11G L11G	包1035 包0686	五領ヶ台=	深鉢深鉢	口縁直下縄文、並行沈線文 口唇部刻み、並行沈線文、連続刺突文	にぶい赤褐 5YR4/3 赤褐 5YR 4/6	白色粒 雲母、白色粒	-	-	(3.0)	
第76図	週構外		M11G		五領ケ台=	深鉢	円形貼付文、連続爪形文、交互刺突文	- 明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(5.1)	
第76図	遺構外	76	J11G	包0703	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	口唇部刻み、口縁直下縄文、並行沈線文、刺突文	明褐 7.5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(3.6)	
第76図	遺構外 遺構外		N9G S16G		五領ヶ台=	深鉢深鉢	並行沈線文 口唇部突起、口縁直下連続押引文		白色粒 雲母、白色粒	-	-	(2.3)	
第76図	遺構外		013G		五領ヶ台Ⅱ	深鉢	並行沈線文	褐 7.5YR 4/6	雲母、白色粒、赤色粒	-		(4.4)	
第76図	遺構外		M15G		五領ヶ台川	深鉢	口唇部刻み、縄文地文、刺突文	橙 7.5YR 6/6	雲母、白色粒	-	-	(4.4)	
第76図	遺構外 遺構外		N9G N9G	包0225 包0543	五領ヶ台Ⅱ	深鉢深鉢	隆帯上連続爪形文 沈線文	にぶい黄橙 10YR6/4 赤褐 5YR 4/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(3.0)	
第76図	遺構外	83	N8G	包0277	五領ヶ台Ⅱ	深鉢	沈線文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(5.2)	
第76図	遺構外		N9G		五領ヶ台川	深鉢	隆帯上に刻み、連続爪形文		雲母、白色粒	-	-	(3.6)	
第76図	遺構外 遺構外	_	I12G I12G		五領ヶ台=	深鉢深鉢	縄文地文、並行沈線による懸垂文 縄文地文、沈線文	赤褐 5YR 4/6 赤褐 5YR 4/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(4.8)	
第76図	遺構外	87	M9G	包0229	五領ヶ台川	深鉢	縄文地文、結節縄文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒	-	-	(4.8)	
第76図	遺構外		113G		五領ヶ台Ⅱ	深鉢	摩耗著しい	赤褐 5YR 4/6	雲母、白色粒	-	(12.0)		
第76図	遺構外 遺構外		N23G N10G	包3895 包1085	縄文縄文	深鉢	口唇部縄文、縄文地文 縄文地文	褐 7.5YR 4/4 明褐 7.5YR 5/6	雲母、赤色粒 雲母、白色粒	-	-	(4.0)	
第76図	遺構外	91	112G	包0724	縄文	深鉢	縄文地文	褐 10YR 4/4	雲母、白色粒	-	-	(4.3)	
第76図	遺構外		N8G		縄文	深鉢	縄文地文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒、赤色粒	-	-	(3.0)	
第77図	遺構外 遺構外		N8G N8G	包0283 包0281	縄文	深鉢深鉢	縄文地文	明褐 7.5YR 5/6 明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	-	(6.7)	
第77図	遺構外	95	N8G	包0280	縄文	深鉢	縄文地文	明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒、赤色粒	-	-	(4.5)	
第77図	遺構外		N8G	包0278 包3481	縄文	深鉢 深鉢	網文地文	明赤褐 5YR 5/6 坦 7 5VP 4/6	雲母、白色粒、赤色粒	-	- (12.4)	(5.2)	
第77図	遺構外 遺構外		L20G L11G		縄文	深鉢	縄文地文	褐 7.5YR 4/6 明赤褐 5YR 5/6	雲母、白色粒 雲母、白色粒	-	(12.4)	(6.0)	
第77図	遺構外	99	M9G	包0376	縄文	浅鉢	縄文地文	橙 7.5YR 6/6	白色粒	-	(7.0)	(2.8)	
第77図	遺構外		L11G	包1543	縄文	浅鉢	無文	赤褐 5YR 4/6	白色粒	-	-	(2.5)	
第77図 第77図	遺構外		M9G J12G	包1282 包2007	北白川下層 北白川下層	深鉢 深鉢	浮線文上刻み 浮線文上刻み	にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄 2.5Y6/3	雲母、日色粒 白色粒	-	-	(7.8)	
第77図	遺構外	103	J14G	包0623	北白川下層	深鉢	浮線文上刻み	橙 7.5YR 6/6	白色粒	-	-	(3.9)	
第77図	遺構外 遺構外		L10G N18G	包1815 包2278	北白川下層 北白川下層	深鉢深鉢	浮線文上刻み 並行沈線間連続爪形文	にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/4		-	-	(4.6)	
第77図			S15G			深鉢	型行光線間連続川が又 浮線文上刻み	にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄褐 10YR7/4		-	-	(2.3)	
							,					,,	

図版	図版番号		出土位置	注記番号	時期	器種	特 徴	色 調	胎土	4	法(cm	)	所見・備考
IZI NX	凶版曲节	7	田工位画	/ 注記番号	村 村	66 1里	1d 19X		м т	口径	底径	高さ	別兄・哺号
第77図	遺構外	107	I14G	包1794	北白川下層	深鉢	縄文、並行沈線、刻み	にぶい黄褐 10YR7/4	白色粒	-	-	(3.3)	
第77図	遺構外	108	M9G	包1284	北白川下層	深鉢	浮線文	にぶい黄褐 10YR7/4	白色粒	-	-	(3.5)	
第77図	遺構外	109	M9G	包0235	縄文中期	浅鉢	縄文地文、並行沈線間連続爪形文、交互刺突	橙 7.5YR 7/6	雲母、白色粒	-	-	(4.6)	東海系土器
第77図	遺構外	110	Q12G	包1898	井戸尻式	深鉢	隆帯上刻み、楕円貼付文	橙 7.5YR 6/6	雲母、白色粒	-	-	(2.9)	
第77図	遺構外	111	M10G	包0185	10C代	坏	平縁口縁	明黄褐 10YR6/6	密	-	-	(1.6)	
第77図	遺構外	112	M10G	包0195	10C代	坏	玉緑口縁、ロクロ整形	橙 5YR 6/6	密・赤色粒	-	-	(1.8)	
第77図	遺構外	113	V13G	包0177	10C 第3四半	坏	ロクロ整形	橙 5YR 6/6	白色粒	-	-	(2.8)	
第77図	遺構外	114	M10G	包1094	平安	坏	ロクロ整形	橙 5YR 6/6	密・赤色粒	-	-	(2.0)	
第77図	遺構外	115	M9G	包0352	平安	雅	ロクロ整形	橙 5YR 6/8	雲母、白色粒	-	-	(2.0)	
第77図	遺構外	116	M10G	包0182	10C代	坏	平縁口縁、ロクロ整形	橙 7.5YR 7/6	密	-	-	(1.5)	
第77図	遺構外	117	N10G	包0181	10C代	坏	体部:ロクロ整形 底部:回転糸切痕	橙 7.5YR 7/6	密・赤色粒	-	(4.6)	(3.3)	
第77図	遺構外	118	K10G	包0710	10C代	坏	ロクロ整形	橙 5YR 6/6	赤色粒	-	(5.6)	(1.3)	
第77図	遺構外	119	M10G	包0188	平安	羽釜	ロクロ整形	橙 7.5YR 6/6	雲母、白色粒	-	-	(4.5)	

# 第3表 石器観察表

	図版番-	<del></del>	nn 445	10 1 46 F	32-23 W F3	- 4	寸法(cr	n) * ()	: 現存値	g	所見・備考
図版		番号	器種	出土地点	注記番号	石 材	長さ	幅	厚さ	重さ	
第60図	1竪	13	打製石斧	1号竪穴	石器6	硬質砂岩	17.75	7.40	3.60	543	
60図	1竪	14	磨石	1号竪穴	石器5	花崗岩	11.90	9.6	6.5	901	
62図	2・4竪	23	石鏃	2・4号竪穴	SI2-0114	黒曜石	2.10	(1.35)	0.45	0.6	原産地分析資料
562図	2・4竪	24	スクレイパー	2·4号竪穴	SI2-0081	泥岩	4.65	6.70	1.45	38.6	MAE-023-013-01-1
62図	2・4竪	25	石核	2·4号竪穴	SI4-0095	泥岩	4.95	8.45	3.80	149	
62図	2・4竪	26	石核	2・4号竪穴	SI2-0152	泥岩	3.70	5.20	4.00	104	
62図	2・4竪	27	剥片	2·4号竪穴	SI2-0260	泥岩	7.00	2.62	1.25	17.5	二次加工剥片か
62図	2・4竪	28	剥片	2·4号竪穴	SI2-0255	泥岩	6.22	(10.50)	1.40	81.6	
63図	2・4竪	29	打製石斧	2·4号竪穴	SI4-0030	硬質砂岩	10.43	5.50	2.05	116	
63図	2・4竪	30	打製石斧	2·4号竪穴	SI4-0002	硬質砂岩	(6.90)	4.56	1.30	48.2	
63図	2・4竪	31	台石	2·4号竪穴	SI4-0070,0069	砂岩	(20.4)	(23.0)	11.9	7000	
63図	2・4竪	32	磨石	2·4号竪穴	SI2-0153	花崗岩	10.0	(5.0)	3.5	255	
63図	2・4竪	33	稜磨石	2・4号竪穴	SI4-0066	花崗岩	14.9	8.4	4.6	791	
					+						DE 22 U.S. A. L. C. Verland
66図	3竪	32	石鏃	3号竪穴	SI3-0282	黒曜石	2.10	(1.15)	0.30		原産地分析資料
66図	3竪	33	石鏃	3号竪穴	SI3-0385	黒曜石	1.20	1.35	0.25		原産地分析資料
66図	3竪	34	石鏃	3号竪穴	SI3-0416	黒曜石	1.35	1.45	0.25	0.4	原産地分析資料
66⊠	3竪	35	石鏃	3号竪穴	SI3-0471	黒曜石	2.10	1.40	0.30	0.7	原産地分析資料
66図	3竪	36	スクレイパー	3号竪穴	SI3-0412	黒曜石	2.10	1.85	0.95	3.0	原産地分析資料
66図	3竪	37	スクレイパー	3号竪穴	SI3-0560	泥岩	4.83	3.58	2.00		尖頭器かも
66図	3竪	38	石匙	3号竪穴	SI3-0389	泥岩	4.00	4.60	0.95	17.5	7 C-7 Call 70 G
							_				
66図	3竪	39	石匙	3号竪穴	SI3-0253	泥岩	2.93	4.60	0.55	6.9	
66図	3竪	40	石匙	3号竪穴	SI3-0365	泥岩	4.22	5.78	0.80	12.8	
66図	3竪	41	石匙	3号竪穴	SI3-0308	泥岩	4.35	9.67	1.25	41.6	
67図	3竪	42	石匙	3号竪穴 pit2	SI3- 一括	泥岩	4.70	5.10	0.90	21.8	
67図	3竪	43	石核	3号竪穴	SI3-0234	黒曜石	4.10	2.10	1.85	12.1	原産地分析資料
67図	3竪	44	石核	3号竪穴	SI3-0547	黒曜石	3.85	1.90	1.30		原産地分析資料
67図	3竪	45	石核	3号竪穴	SI3-0491	泥岩	7.25	8.50	4.10	300	
67図	3竪	46			SI3-0491		11.10	5.73	2.30	164	
	-		ヘラ状石器	3号竪穴		泥岩					見ルボザ/マ・オモクエ
67図	3竪	47	礫器	3号竪穴	SI3-0475	頁岩	6.90	12.20	2.60		風化が進んでいる黒色頁
68図	3竪	48	打製石斧	3号竪穴	SI3-0187	頁岩	9.17	5.00	1.25	68.9	風化が進んでいる黒色頁法
68図	3竪	49	打製石斧	3号竪穴	SI3-0233	硬質砂岩	10.38	5.42	2.20	127	
68図	3竪	50	打製石斧	3号竪穴	SI3-0386	硬質砂岩	(9.65)	5.30	2.10	99.5	
68図	3竪	51	打製石斧	3号竪穴	SI3-0482	千枚岩	12.00	5.05	1.45	105	
68図	3竪	52	打製石斧	3号竪穴	SI3-0531	千枚岩	11.90	7.20	1.55	151	
68図	3竪	53	磨製石器	3号竪穴	SI3-0435	火成岩	(8.50)	5.35	2.25	166	
					SI3-0451						
68図	3竪	54	石皿	3号竪穴		安山岩	(15.4)	(14.8)	5.3	1460	
68図	3竪	55	磨石	3号竪穴	SI3-0523	花崗岩	7.7	8.8	6.0	606	
68図	3竪	56	磨石	3号竪穴	SI3-0091,0190	花崗岩	9.6	7.7	4.1	425	
68図	3竪	57	磨石	3号竪穴	SI3-0533	砂岩	(7.8)	(9.8)	4.4	440	
68図	3竪	58	磨石	3号竪穴	SI3-0510	砂岩	11.6	9.6	5.6	922	
69図	1配石	5	磨石	1号配石	SI1-0005	砂岩	8.9	10.3	3.7	581	
69図	1配石	6	磨石	1号配石	SS1-0016	砂岩	(4.2)	(9.0)	3.6	264	
69図	1配石	7	槍先形尖頭器	1号配石	SS1-0014	安山岩	(7.40)	4.40	1.15	34.1	
69図	1配石	8	尖頭器	1号配石	SS1-0003	泥岩	5.80	3.22	1.05	21.5	
	-				+				_		
69図	1配石	9	尖頭器	1号配石	SS1-0004	泥岩	4.60	2.78	1.10	14.0	
69図	1配石	10	尖頭器	1号配石	SS1-0005	泥岩	4.45	1.93	0.60		片面のみ調整(ナイフ?)
69図	1配石	11	素材剥片	1号配石	SS1-0015	泥岩	15.90	8.25	2.85	326	
70図	1配石	12	剥片	1号配石	SS1-0020	泥岩	6.13	7.70	1.00	29.5	
70図	1配石	13	剥片	1号配石	SS1-0022	泥岩	3.05	3.20	0.85	6.5	
70図	1配石	14	剥片	1号配石	SS1-0021	泥岩	4.20	6.60	1.85	29.6	
	-	_			+						*FFC-1-1C1 \
70図	1配石	15	剥片	1号配石	SS1-0023	泥岩	4.73	4.78	0.95		粘板岩に近い
70図	1配石	16	剥片	1号配石	SS1-0024	泥岩	6.22	3.10	1.00	21.6	
70図	1配石	17	剥片	1号配石	SS1-0026	泥岩	4.92	5.28	1.25	31.3	
70図	1配石	18	剥片	1号配石	SS1-0017	粘板岩	5.10	6.80	1.20	29.7	風化粘板岩 石匙等の未製
70図	1配石	19	二次加工剥片	1号配石	SS1-0018	砂岩	4.50	5.30	1.10	27.5	風化砂岩 ドリル未製品が
71図	U16G-1焼	1	石錐	U16G1号焼土	U16G SL1-21	泥岩	2.17	1.90	0.53	1.9	
71図	U16G-1焼	2	石匙	U16G1号焼土	U16G SL1-12	泥岩	3.35	3.60	0.70	6.8	
/1区 71図	U16G-1焼	3	石匙	U16G1号焼土	U16G SL1-12	泥岩	6.35	8.00	1.45		被熱により赤色化、剥落
		1									
71図	O19Gpit2	1	石鏃	O19Gpit2	019G SP2一括	黒曜石	2.00	(1.30)	0.55	0.9	原産地分析資料
		1	打製石斧	N13Gpit4	N13G SP4-0001	片岩	(11.50)	5.90	1.40	88.5	珪質千枚岩?
71図	1	1	石核	P18Gpit4	P18G SP4-0004	泥岩	6.40	9.65	3.80	210	
71図	P18Gpit4	1	石皿	S10Gpit2	S10G SP2-0001	砂岩	32.4	20.5	4.5	5400	
71図 71図				C17G	包0855	安山岩	(5.20)	1.75	0.70		黒色安山岩
71図 71図 72図	S10Gpit2		有白大彩菘		1	安山岩	,				
71図 71図 72図 78図	S10Gpit2 遺構外	120	有舌尖頭器		匀3049		(5.07)	3 32	1 10	13.2	
71図 71図 72図 78図 78図	S10Gpit2 遺構外 遺構外	120 121	槍先形尖頭器	Q13G	包3049		(5.07)	3.35	1.10	13.3	
71図 71図 72図 78図 78図 78図	S10Gpit2 遺構外 遺構外	120 121 122	槍先形尖頭器 尖頭器	Q13G R13G	包3054	泥岩	8.00	3.25	1.25	26.2	
71図 71図 72図 78図 78図 78図 78図	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器	Q13G R13G R14G	包3054 包4004	泥岩	8.00 7.33	3.25 2.85	1.25 1.00	26.2 19.5	
71図 71図 72図 78図 78図 78図 78図 78図	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G	원3054 원4004 원1295	泥岩 泥岩 黒曜石	8.00 7.33 1.20	3.25 2.85 (1.20)	1.25 1.00 0.30	26.2 19.5 0.2	原産地分析資料
71図 71図 72図 78図 78図 78図 78図 78図	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器	Q13G R13G R14G	包3054 包4004	泥岩	8.00 7.33	3.25 2.85	1.25 1.00	26.2 19.5 0.2	原産地分析資料原産地分析資料
71図 71図 72図 78図 78図 78図 78図 78図 78図	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G	원3054 원4004 원1295	泥岩 泥岩 黒曜石	8.00 7.33 1.20	3.25 2.85 (1.20)	1.25 1.00 0.30	26.2 19.5 0.2 0.4	
71 🗵 71 🗵 72 🗵 78 🗵 78 🗵 78 🗵 78 🗵 78 🗵 78 🗵	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G	包3054 包4004 包1295 包1324 包1327	泥岩 泥岩 黒曜石 黒曜石 黒曜石	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70)	3.25 2.85 (1.20) 1.50 (1.80)	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1	原産地分析資料 原産地分析資料
71図 71図 72図 78図 78図 78図 78図 78図 78図 78図 78図	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃 石鏃 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G	包3054 包4004 包1295 包1324 包1327 包1544	泥岩 泥岩 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10	3.25 2.85 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8	原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料
71図 71図 72図 78図 78図 78図 78図 78図 78図 78図 78図 78図	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127 128	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃 石鏃 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G	包3054 包4004 包1295 包1324 包1327 包1544 包1814	記岩 記岩 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10	3.25 2.85 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20)	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6	原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料
71   2   71   2   71   2   72   2   72   2   78	\$10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127 128 129	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃 石鏃 石鏃 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G U12G	현3054 현4004 현1295 현1324 현1327 현1544 현1814	<ul><li>泥岩</li><li>泥岩</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li></ul>	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10 1.70 1.55	3.25 2.85 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20) 1.40	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45 0.45	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6	原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料
71   2   71   2   71   2   72   2   72   2   78	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127 128	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃 石鏃 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G U12G U12G	包3054 包4004 包1295 包1324 包1327 包1544 包1814	記岩 記岩 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10	3.25 2.85 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20)	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45 0.45 0.45	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6	原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料
71   2   71   2   71   2   72   2   72   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   79   79	\$10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127 128 129	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃 石鏃 石鏃 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G U12G	현3054 현4004 현1295 현1324 현1327 현1544 현1814	<ul><li>泥岩</li><li>泥岩</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li></ul>	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10 1.70 1.55	3.25 2.85 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20) 1.40	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45 0.45	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6 0.5	原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料
71   2   71   2   71   2   71   2   72   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   79	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130	槍先形尖頭器 尖頭器 尖頭器 石鏃 石鏃 石鏃 石鏃 石鏃	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G U12G U11G U11G	현3054 현4004 현1295 현1324 현1327 현1544 현1814 현1886 현2071 현2072	<ul><li>泥岩</li><li>泥岩</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜石</li><li>黑曜昭</li><li>黑曜昭</li><li>黑曜昭</li><li>黑曜田</li><li>黒曜昭</li><li>黒曜田</li><li>黒曜田</li></ul>	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10 1.70 1.55 1.75	3.25 2.85 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20) 1.40 1.65	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45 0.45 0.45 0.55	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6 0.5 0.7	原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料 原産地分析資料
71   2   71   2   71   2   71   2   71   2   72   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   79	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131	槍先形尖頭器 尖頭踢 尖頭踢 石鏃 石鏃 石磁 板石 石 板 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 石 鉄 石 ム 鉄 石 去 く ち る ち る ち み ち ろ 去 ち 去 ち 去 ち ろ 去 ち 去 ち 去 ち 去 ち 去 ち 去	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G U12G U12G U11C U11C U11G	包3054 包4004 包1295 包1324 包1327 包1544 包1814 包1886 包2071 包2072	泥岩 泥岩 黑曜石 黑曜昭石 黑曜昭石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10 1.70 1.55 1.75 1.75	3.25 2.85 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20) 1.40 1.40 1.65	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45 0.45 0.45 0.55 0.40	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6 0.5 0.7 0.7	原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料
71   2   71   2   71   2   71   2   71   2   72   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   78   2   79	510Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132	槍先形尖頭器 尖尖石鏃 尖石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G U12G U11G U11G U11G U11G U11G	83054 84004 81295 81324 81327 81544 81814 81886 82071 82072 82183 82184	泥岩 泥罐石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10 1.70 1.55 1.75 1.75 1.65 2.45	3.25 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20) 1.40 1.40 1.65 1.53	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45 0.45 0.45 0.45 0.45 0.55	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6 0.5 0.7 0.7 0.7	原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料
71	510Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外	120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133	槍先形尖頭器 尖尖石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石鏃 石石	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G U12G U11G U11G U11G Q13G Q13G Q13G	23054 24004 21295 21324 21327 21544 21814 21816 22071 22072 22183 22184 22371	定岩 定岩 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石 黒曜石	8.00 7.33 1.20 (1,70) 2.10 1.70 1.55 1.75 1.75 1.65 2.45 (2.35)	3.25 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20) 1.40 1.40 1.65 1.53 1.60 2.07	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45 0.45 0.45 0.45 0.40 0.40	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6 0.5 0.7 0.7 0.7	原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料
71図	S10Gpit2 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構外 遺構納外 遺機構外 遺機構外 遺機構外 遺機構外 遺機構外 遺機構外 遺機構外 遺機構	120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132	植先形尖頭器 尖石 尖石 大頭	Q13G R13G R14G Z6G U12G U12G L11G L10G U12G U11G U11G U11G U11G U11G	83054 84004 81295 81324 81327 81544 81814 81886 82071 82072 82183 82184	泥岩 泥罐石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜曜石 黑曜	8.00 7.33 1.20 1.25 (1,70) 2.10 1.70 1.55 1.75 1.75 1.65 2.45	3.25 (1.20) 1.50 (1.80) 1.25 (1.20) 1.40 1.40 1.65 1.53	1.25 1.00 0.30 0.32 0.60 0.45 0.45 0.45 0.45 0.45 0.55	26.2 19.5 0.2 0.4 1.1 0.8 0.6 0.5 0.7 0.7 0.7 0.5 1.2	原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料 原產地分析資料

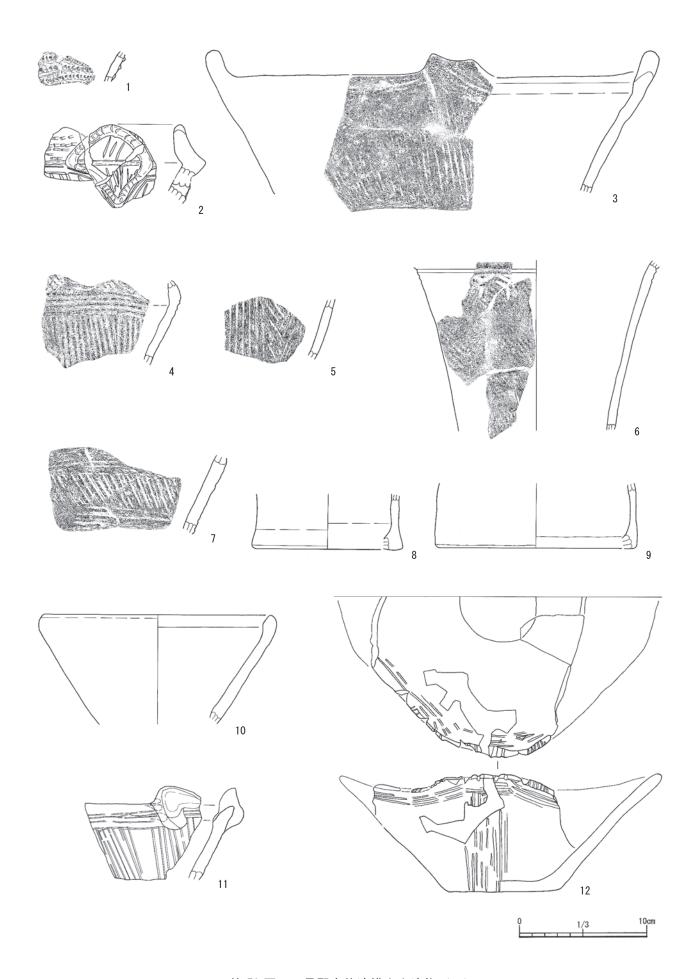
	図版番	무					寸法(a	n) * ()	: 現存値	q	所見・備考
図版	遺構名	番号	器種	出土地点	注記番号	石 材	長さ	幅	厚さ	重さ	7/176 188-5
第79図	遺構外	137	石鏃	R14G	包4006	黒曜石	1.30	1.28	0.38	0.5	原産地分析資料
第79図	遺構外	138	石鏃	AB6G	包0009	黒曜石	1.70	1.30	0.45	0.8	
第79図	遺構外	139	石鏃	AB6G	包0010	黒曜石	(1.80)	(1.50)	0.45	0.6	
第79図	遺構外	140	石鏃	Z6G	包0019	黒曜石	1.25	(1,03)	0.25	0.2	
第79図	遺構外	141	石鏃	V11G	包0079	黒曜石	1.45	1.50	0.40	0.5	
第79図 第79図	遺構外 遺構外	142	石鏃	T13G U9G	包0090	黒曜石	(1.85)	(1.30)	0.30	0.4	
第79図	遺構外	144	石鏃	M10G	包0190	黒曜石	2.25	1.40	0.40	0.7	
第79図	遺構外	145	石鏃	K8G	包0445	黒曜石	2.25	(1.45)	0.35	0.7	
第79図	遺構外	146	石鏃	S11G	包0487	黒曜石	1.65	1.65	0.40	0.7	
第79図	遺構外	147	石鏃	09G	包0513	黒曜石	3.05	(1.40)	0.60	1.3	
第80図	遺構外	148	石鏃	H13G	包0785	黒曜石	1.65	(1.85)	0.55	0.9	
第80図	遺構外	149	石鏃	I11G	包0835	黒曜石	1.25	1.10	0.20	0.1	
第80図	遺構外	150	石鏃	C17G	包0895	黒曜石	1.50	(1.30)	0.30	0.1	
第80図	遺構外	151	石鏃	011G	包1102	黒曜石	1.65	1.35	0.40	0.7	
第80図	遺構外	152	石鏃	R10G	包1113	黒曜石	(1.50)	(1.60)	0.30	0.6	医女性八长海内
第80図	遺構外 遺構外	153 154	石鏃	表土	一括 包2259	黒曜石	3.00	(1.67)	0.70 0.33	2.3 0.6	原産地分析資料
第80図	遺構外	155	石鏃	O17G Z6G	包0030	頁岩 泥岩	1.55 1.95	1.53 1.65	0.50	1.1	
第80図	遺構外	156	石鏃	P14G	包2947	チャート	3.30	2.10	0.45	2.3	
第80図	遺構外	157	石鏃	Z5G	包0018	チャート	2.50	(1.30)	0.43	0.8	
第80図	遺構外	158	石匙	H12G	包2016	頁岩	4.95	6.05	0.90		風化が進んでいる黒色頁岩
第80図	遺構外	159	石匙	R17G	包2994	泥岩	3.33	4.33	0.65	6.8	
第80図	遺構外	160	石匙	021G	包3172	泥岩	4.90	5.95	0.80	23.1	
第81図	遺構外	161	石匙	I12G	包0728	泥岩	4.10	(8.10)	1.25	21.5	
第81図	遺構外	162	石匙	H14G	包0769	泥岩	3.95	(5.10)	0.70	10.4	
第81図	遺構外	163	石匙	K9G	包1002	泥岩	5.55	5.50	1.30		欠損後も再加工
第81図	遺構外	164	石匙	表土	一括	泥岩	8.15	3.05	0.95	24.4	
第81図	遺構外 遺構外	165 166	石匙	N18G N17G	包3122	チャート	(1.85)	5.05	0.65 0.70	5.8	
第81図	遺構外	167	石錐	J21G	包3633 包3695	ナヤート 黒曜石	2.75 2.55	2.02	1.20		原産地分析資料
第82図	遺構外	168	石錐	T11G	包1144	黒曜石	1.85	0.95	0.55	0.7	
第82図	遺構外	169	石錐	R14G	包4007	泥岩	2.25	1.70	0.40	0.7	器面風化
第82図	遺構外	170	剥片	Z6G	包0026	黒曜石	3.05	3.70	1.35	10.9	スクレイパーの未製品か。
第82図	遺構外	171	剥片	表土	一括	泥岩	7.50	5.75	2.40	106	
第82図	遺構外	172	素材剥片	R16G	包3729	頁岩	8.00	6.28	2.65	165	風化が進んでいる黒色頁岩
第82図	遺構外	173	石核	T13G	包1891	黒曜石	1.70	2.40	1.70	6.7	原産地分析資料
第82図	遺構外	174	石核	K11G	包1992	黒曜石	2.83	4.10	2.00	15.7	原産地分析資料
第82図	遺構外	175	石核	T10G	包2070	黒曜石	2.25	5.00	1.75		原産地分析資料
第82図	遺構外	176	石核	V12G	包0057	黒曜石	2.00	2.60	1.60	6.7	
第83図	遺構外	177	石核	N17G	包3691	泥岩	10.20	8.80	4.70	473	m ナルハ 15 20 M
第83図	遺構外 遺構外	178 179	原石	Z6G Z6G	包1879	黒曜石	4.30 5.60	2.90 3.80	1.95 1.50	14.7 23.3	原産地分析資料
第83図	遺構外	180	原石	AB6G	包1294 包1308	黒曜石	5.40	2.60	2.20	31.1	原産地分析資料
第83図	遺構外	181	原石	Z6G	包1313	黒曜石	3.30	2.85	1.45	11.5	原産地分析資料
第83図	遺構外	182	原石	Z6G	包1304	黒曜石	3.00	6.20	2.30	36.6	原産地分析資料
第84図	遺構外	183	ヘラ状石器	G16G	包0805	泥岩	9.20	5.28	1.95	92.7	
第84図	遺構外	184	ヘラ状石器	表土	一括	泥岩	6.70	4.05	1.35	40.2	
第84図	遺構外	185	打製石斧	K12G	包0680	硬質砂岩	12.55	4.70	1.35	86.0	
第84図	遺構外	186	打製石斧	Q11G	包1111	硬質砂岩	8.60	4.40	1.60	56.8	
第84図	遺構外	187	打製石斧	R17G	包2582	硬質砂岩	8.85	4.55	1.20	55.8	
第84図	遺構外	188	打製石斧	P13G	包3047	硬質砂岩	8.55	4.23	1.33	51.8	
第84図	遺構外	189 190	打製石斧	N7G P16G	包0306	硬質砂岩 硬質砂岩	(8.00)	5.40 6.10	0.90 2.20	47.6	
第84図	遺構外 遺構外	190	打製石斧 打製石斧	R16G I16G	包2241 包0646	使真砂石 硬質砂岩	15.20 (9.30)	5.80	1.80	202 90.1	
第84図	遺構外	192	打製石斧	J11G	包0714	硬質砂岩	(9.75)	4.30	1.25	61.6	
第84図	遺構外	193	打製石斧	H13G	包0773	硬質砂岩	14.00	4.90	2.20	161	
第84図	遺構外	194	打製石斧	J10G	包0945	硬質砂岩	10.70	4.70	1.85	102	
第84図	遺構外	195	打製石斧	表土	一括	硬質砂岩	10.60	4.00	1.45	78.2	
第85図	遺構外	196	打製石斧	表土	一括	硬質砂岩	12.30	5.80	1.90	168	
第85図	遺構外	-	打製石斧	表土	一括	硬質砂岩	11.75	5.25	1.80	107	
第85図	遺構外	-	打製石斧	L11G	包1577	雲母片岩	17.25	6.15	2.25	240	
第85図	遺構外		打製石斧	N12G	包3538	粘板岩	11.50	4.45	1.75	104	
第85図	遺構外		打製石斧	\$16G	包2799	粘板岩 ************************************	13.10	4.60	1.50	89.0	
第85図	遺構外		打製石斧	R16G	包2586	粘板岩	8.95	4.30	1.80	84.4 222	
第85図	遺構外 遺構外	202	打製石斧 打製石斧	V13G S13G	包2336 包0100	泥岩 珪質千枚岩	13.75	4.90 (5.80)	3.30 1.70	93.7	
第85図	遺構外		打製石斧	H15G	包0833	片岩	(6.80)	5.35	0.85	42.4	
第85図	遺構外	204	打製石斧	L11G	包1056	片岩	12.15	4.30	2.00	115	
第85図	遺構外	206	磨製石斧	J19G	包3608	緑色凝灰岩	(13.65)	5.80	2.65	338	
第85図	遺構外	207	礫器	H17G	包1935	頁岩	5.70	8.50	3.90		風化が進んでいる黒色頁岩
第86図	遺構外	208	稜磨石	N23G	包3731	花崗岩	11.2	8.0	5.1	709	
第86図	遺構外	209	稜磨石	遺構外	一括	花崗岩	12.2	10.1	5.2	969	
第86図	遺構外	210	稜磨石	遺構外	一括	花崗岩	10.5	8.9	4.8	697	
第86図	遺構外	211	磨石	遺構外	一括	砂岩	10.8	10.0	4.0	579	
第86図	遺構外	212	磨石	O24G	包3884	花崗岩	11.1	9.1	6.0	870	

## 第4表 土製品観察表

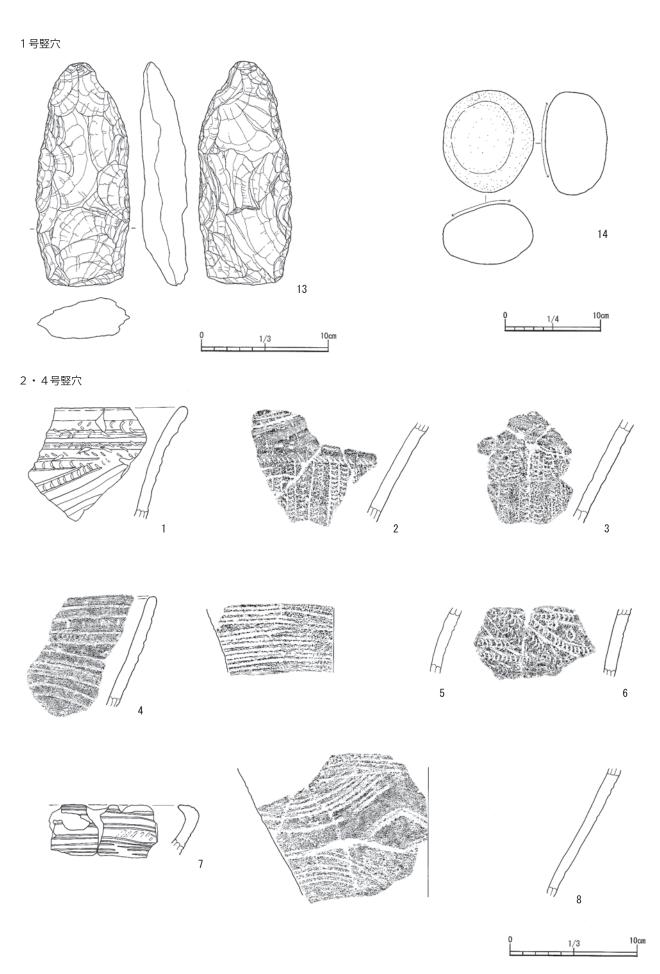
図版	図版番号		出土位置	注記番号	分 類	特徴	色	語	胎土	寸法 (cm)			所見・備考	
IDINIX	DI/IXTE	_	штке	/工心田 与	/J #R	10197		미미	חם ד	長さ	幅	厚さ	717G ' IHP5	
第86図	土製品	213	Q13G	包3141	土器片再生円盤	無文	褐7.5YR4/6		白色粒	2.2	2.0	0.8		
第86図	土製品	214	N10G	包1088	土器片再生円盤	無文	にぶい黄橙	10YR6/4	密	2.2	2.0	0.6		
第86図	土製品	215	P13G	包3048	焼成粘土塊		橙5YR6/8		赤色粒	4.4	3.4	4.4	棒状工具による刺突痕	
第86図	土製品	216	O20G	包3306	焼成粘土塊		橙7.5YR6/8		密	2.4	2.6	1.3		

## 第5表 金属製品・石製品観察表

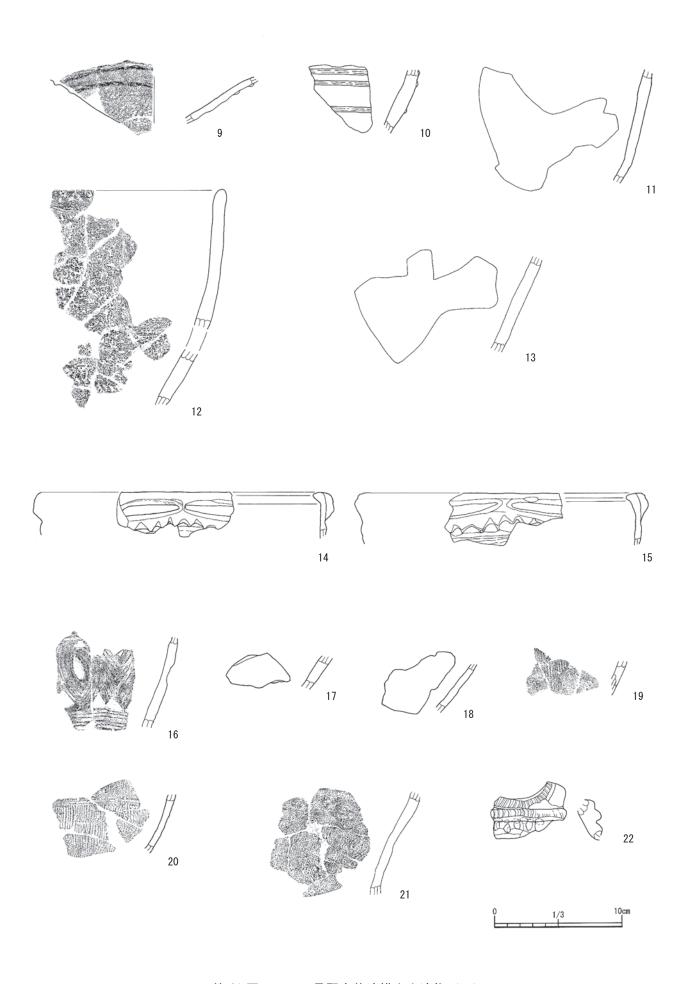
図版	図版番号		分 類		出土位置	注記番号	7	法 (cm)		所見・備考		
IZINX	ZINX#	5	, ,	KR.	中工小面	注記掛写	長さ	幅	厚さ			
第86図	金属製品	217	鉄砲玉		Z6G	包1319	1.2	1.2	1.2			
第86図	石製品	218	砥石		N21G	包2352	11.4	2.9	1.1			
第86図	石製品	219	装飾品		Z6G	包1320	0.9	0.9	0.5	メノウ製		



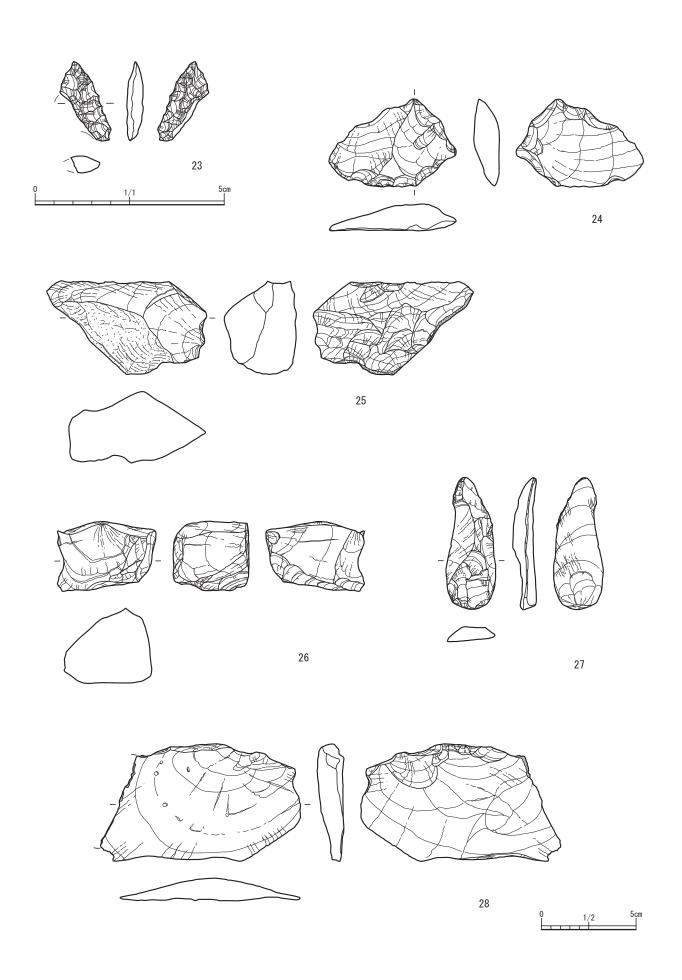
第59図 1号竪穴状遺構出土遺物(1)



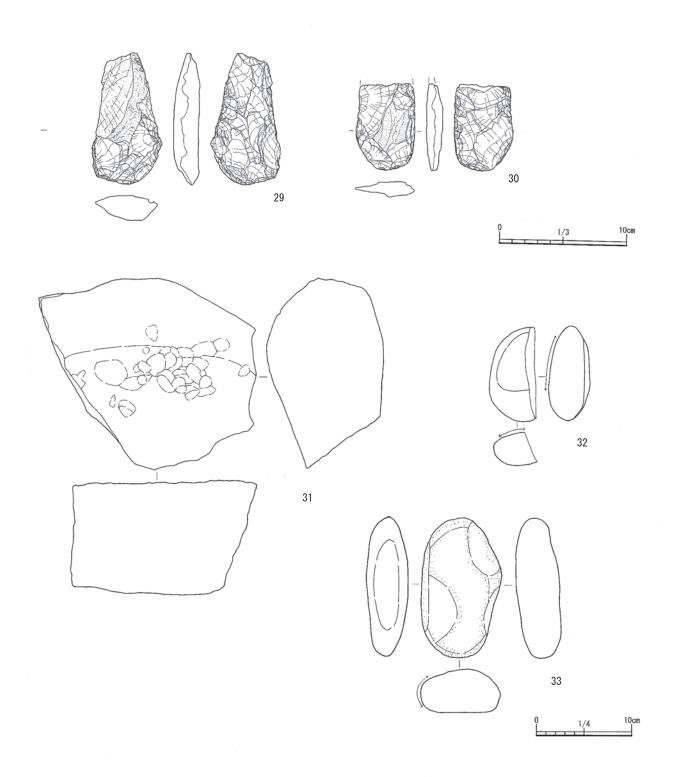
第60図 1号竪穴状遺構(2)、2・4号竪穴状遺構(1)出土遺物



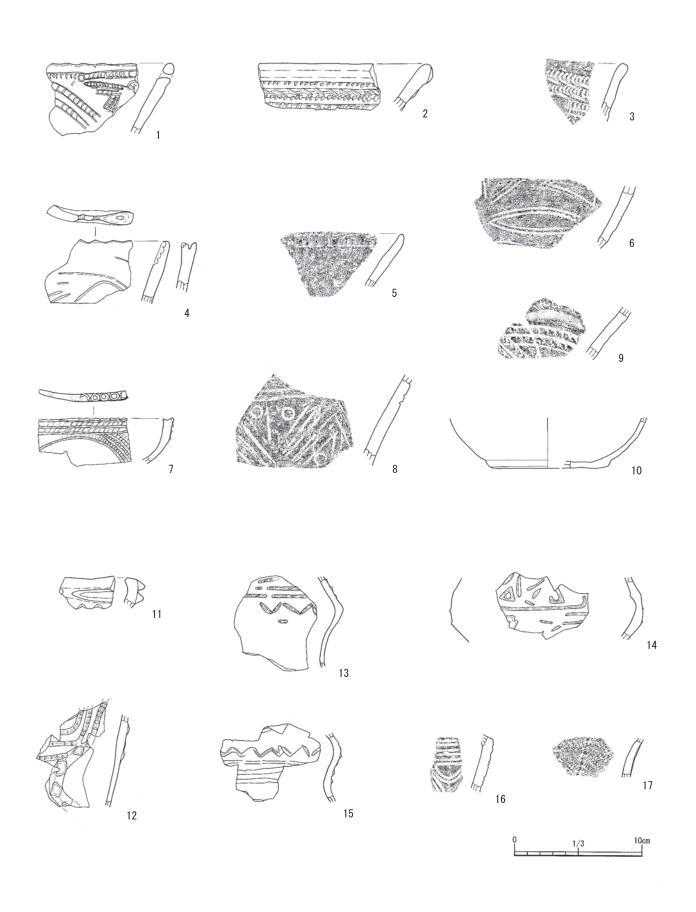
第61図 2・4号竪穴状遺構出土遺物(2)



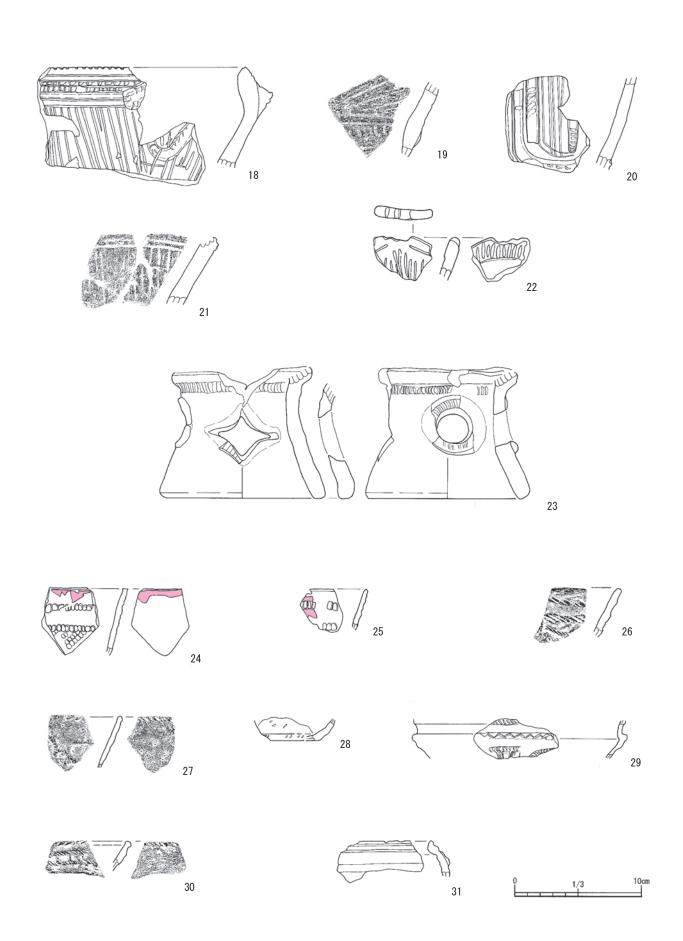
第62図 2・4号竪穴状遺構出土遺物(3)



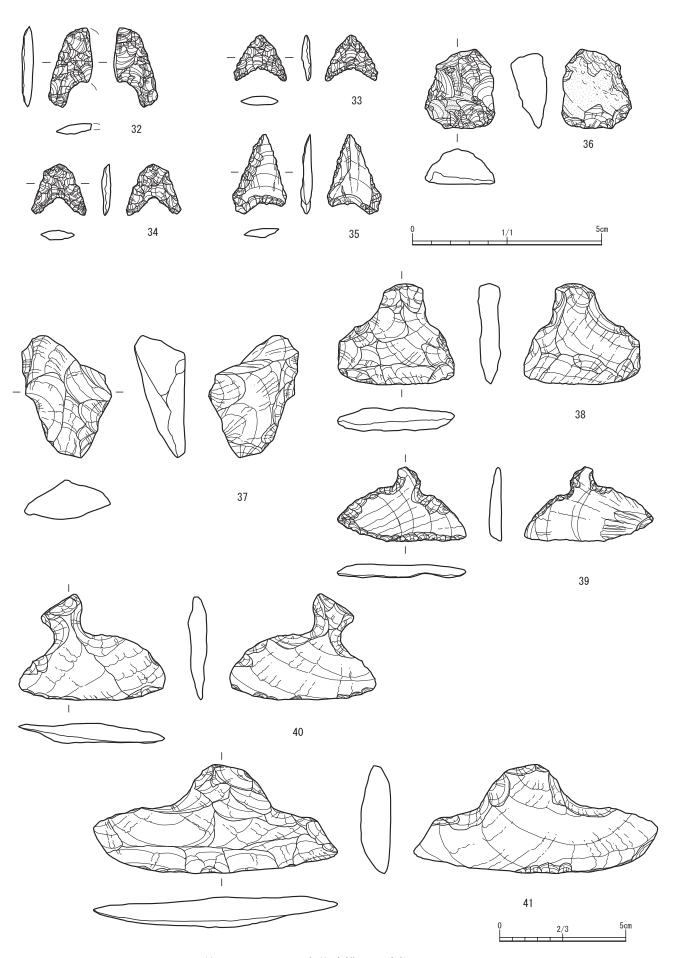
第63図 2・4号竪穴状遺構出土遺物(4)



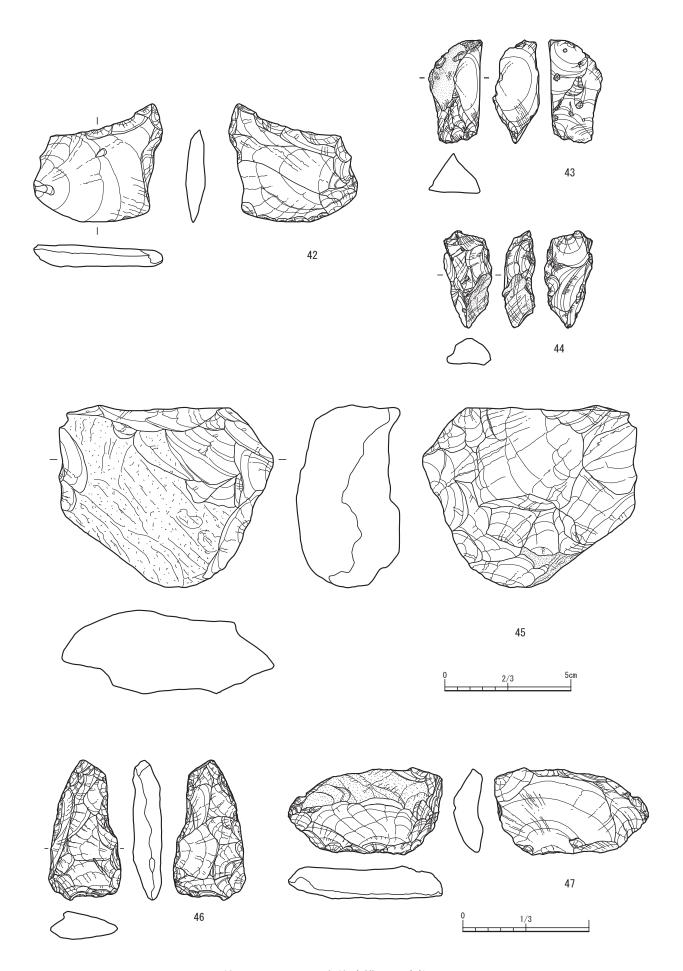
第64図 3号竪穴状遺構出土遺物(1)



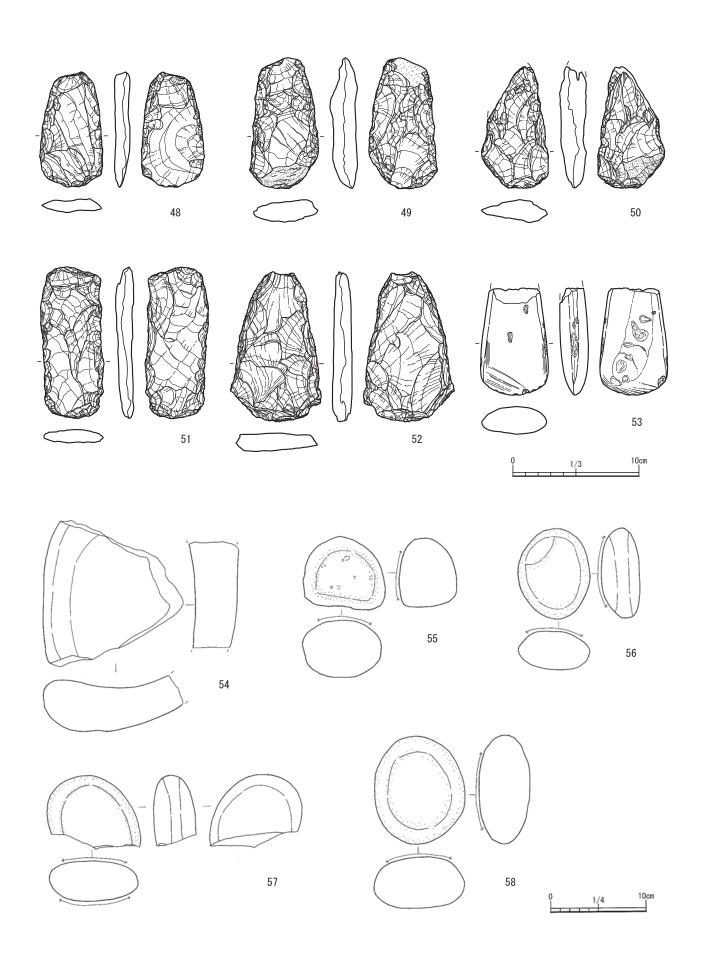
第65図 3号竪穴状遺構出土遺物(2)



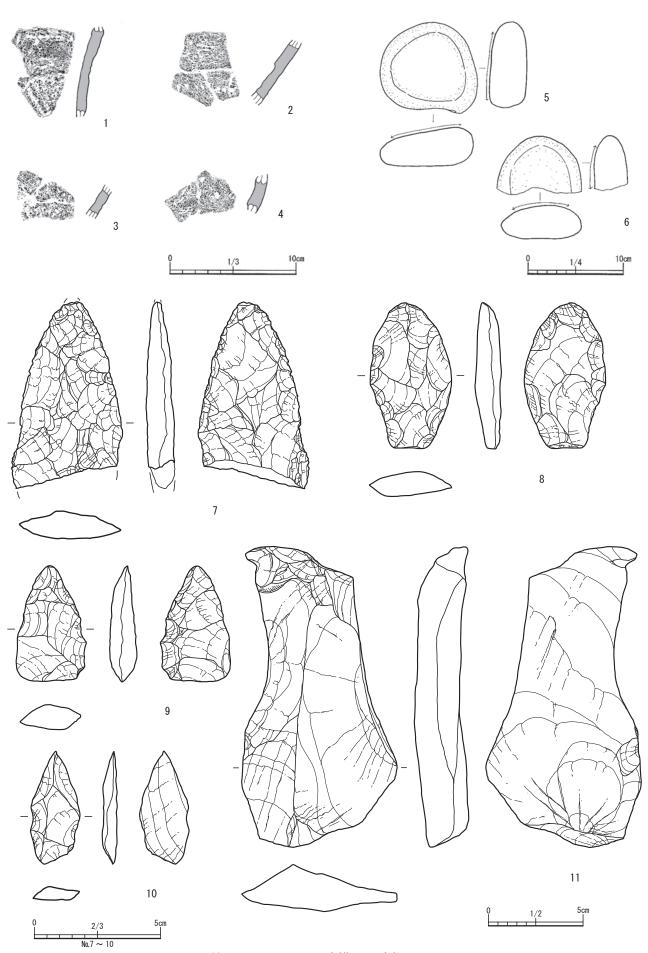
第66図 3号竪穴状遺構出土遺物(3)



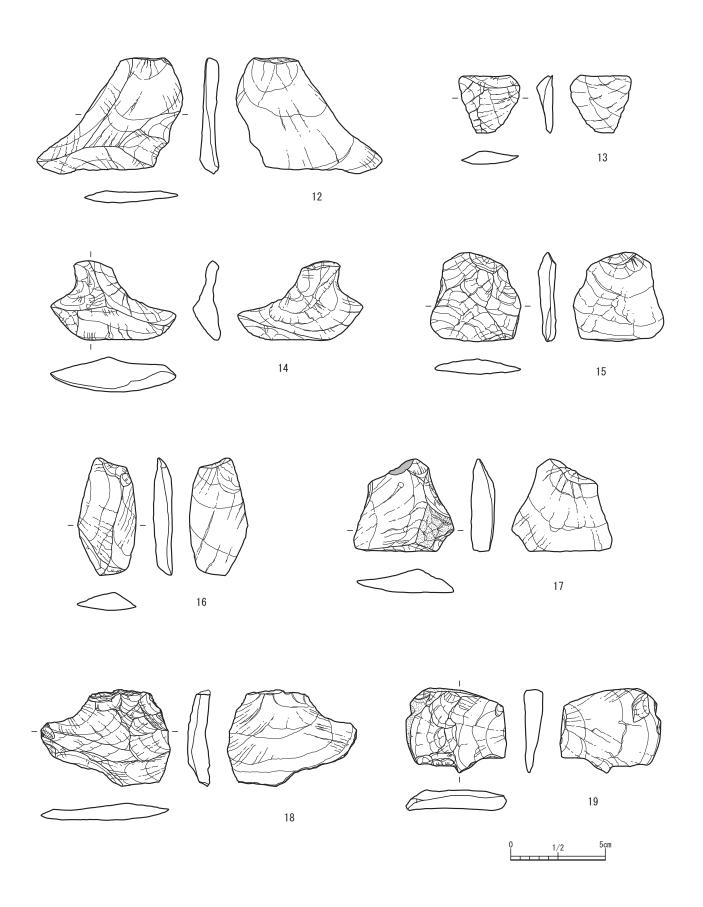
第67図 3号竪穴状遺構出土遺物(4)



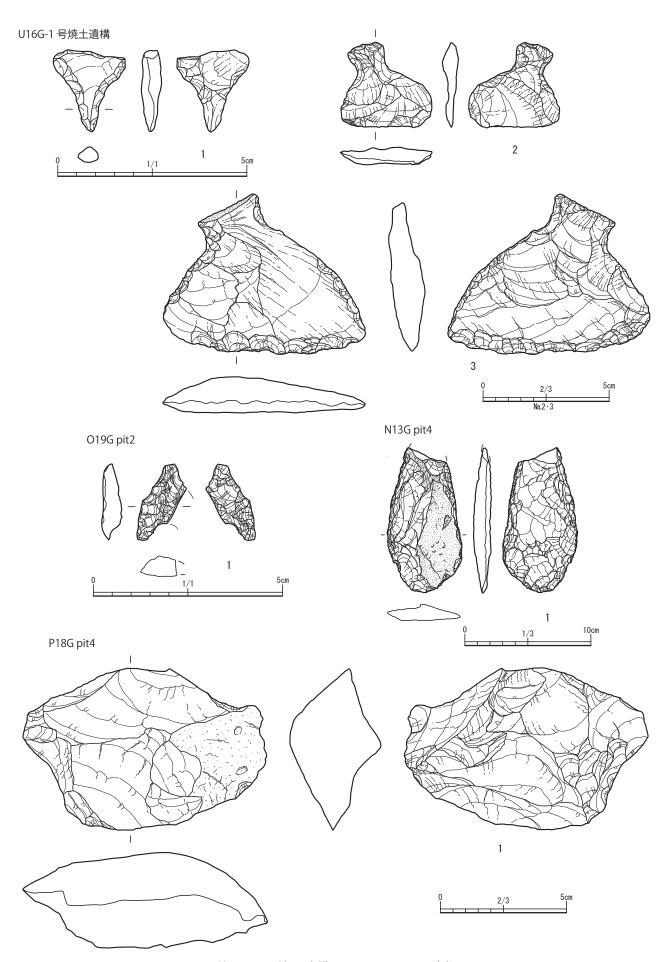
第68図 3号竪穴状遺構出土遺物(5)



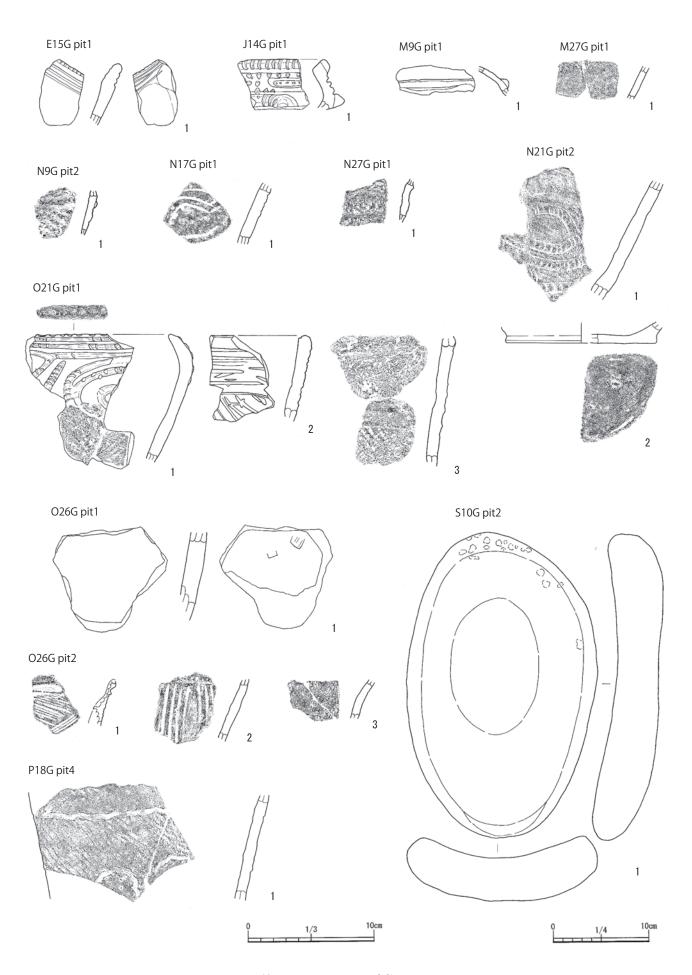
第69図 1号配石遺構出土遺物(1)



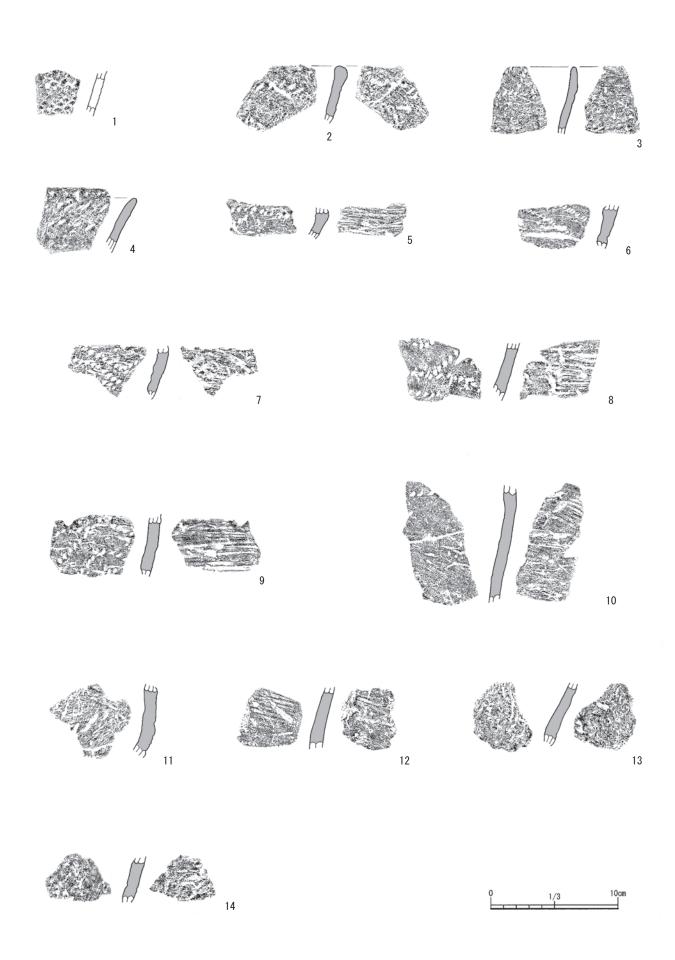
第70図 1号配石遺構出土遺物(2)



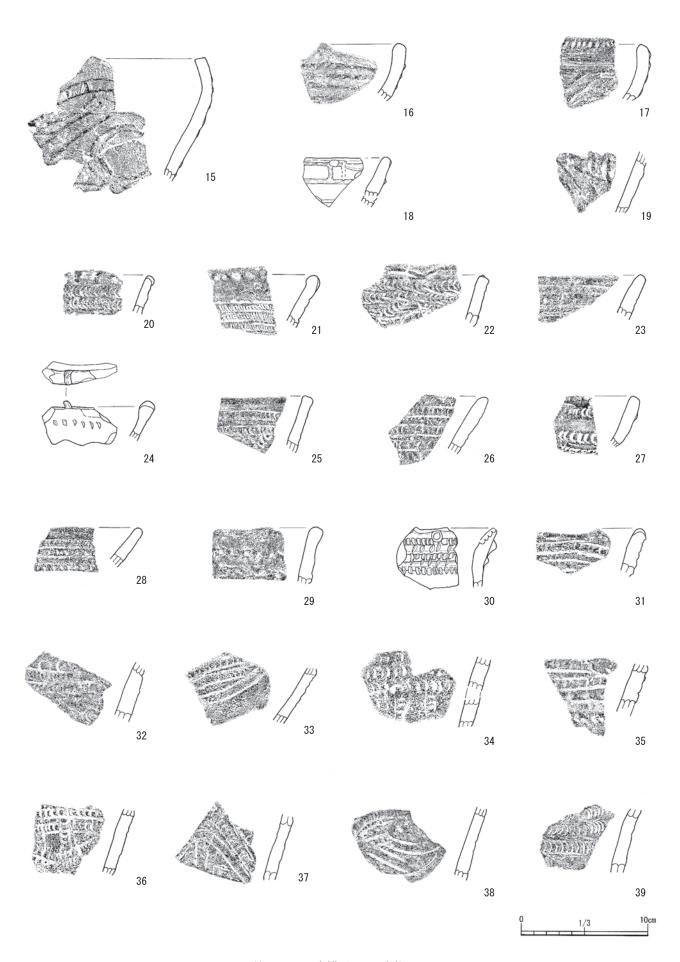
第71図 焼土遺構・pit(1)出土遺物



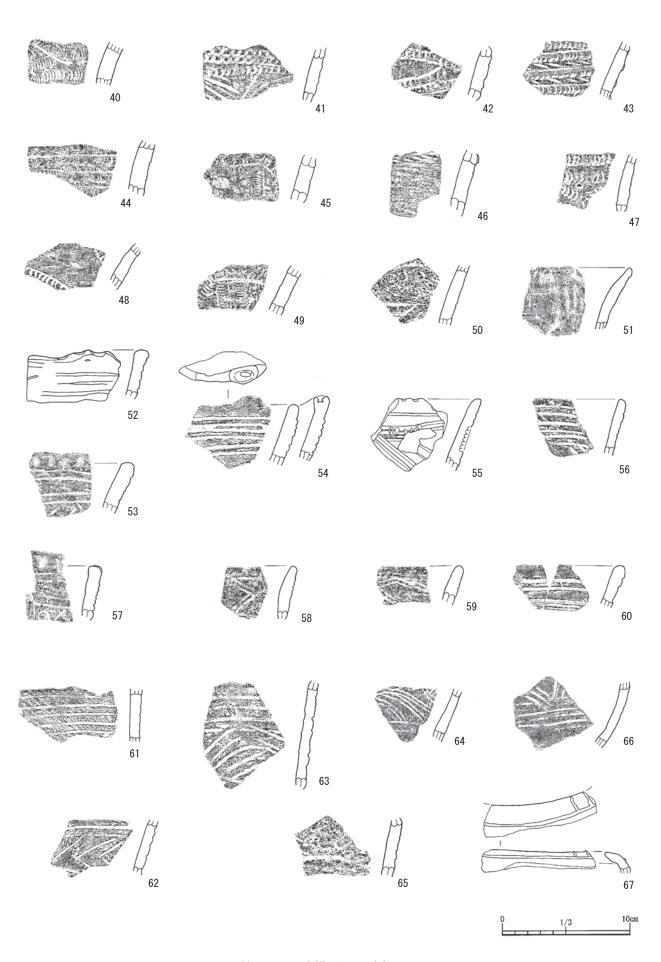
第72図 pit 出土遺物 (2)



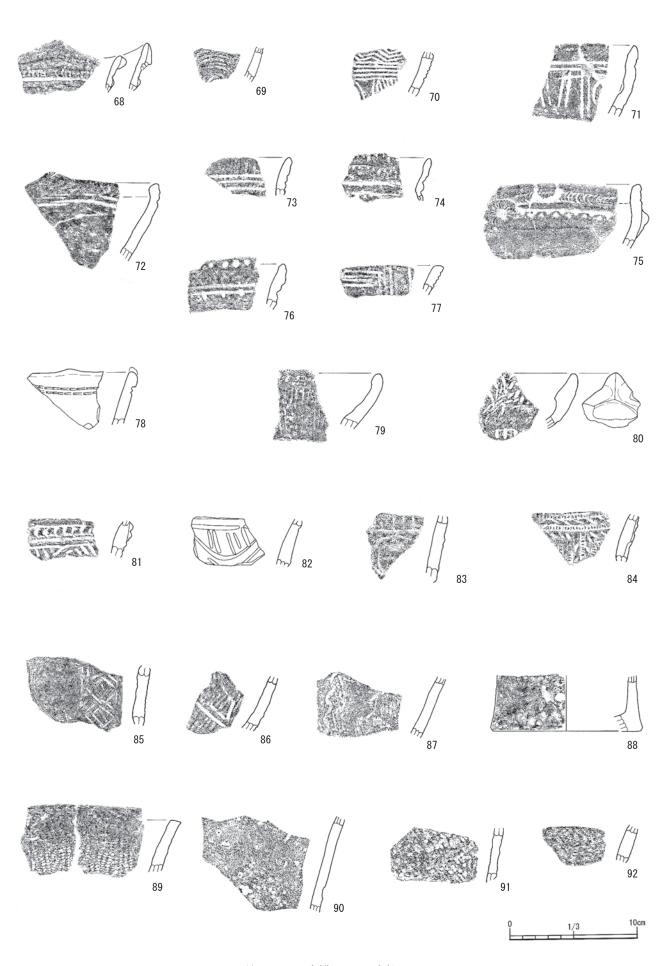
第73図 遺構外出土遺物(1)



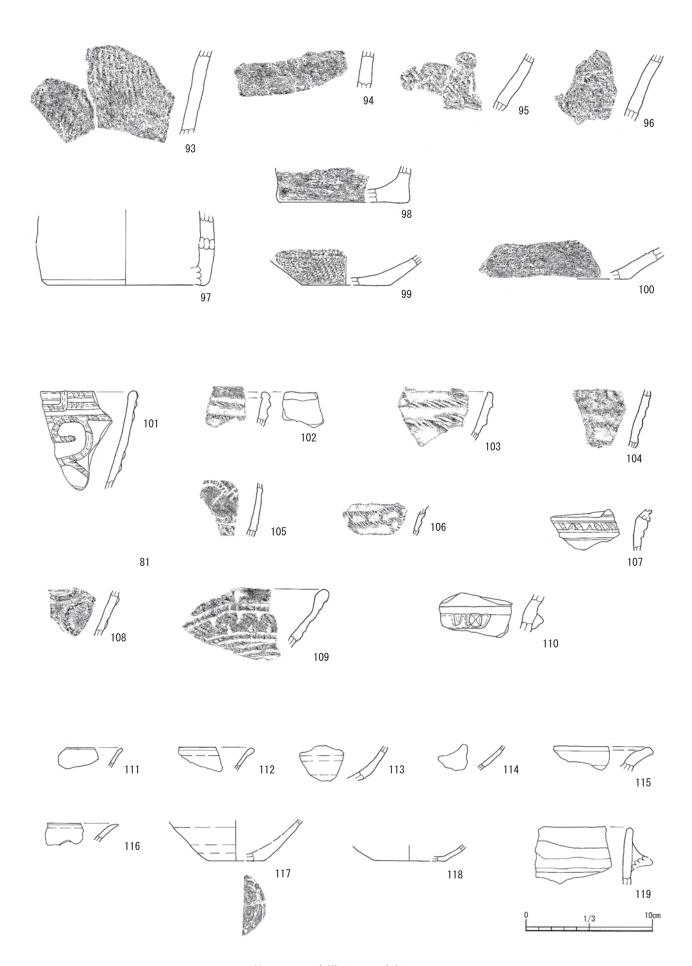
第74図 遺構外出土遺物(2)



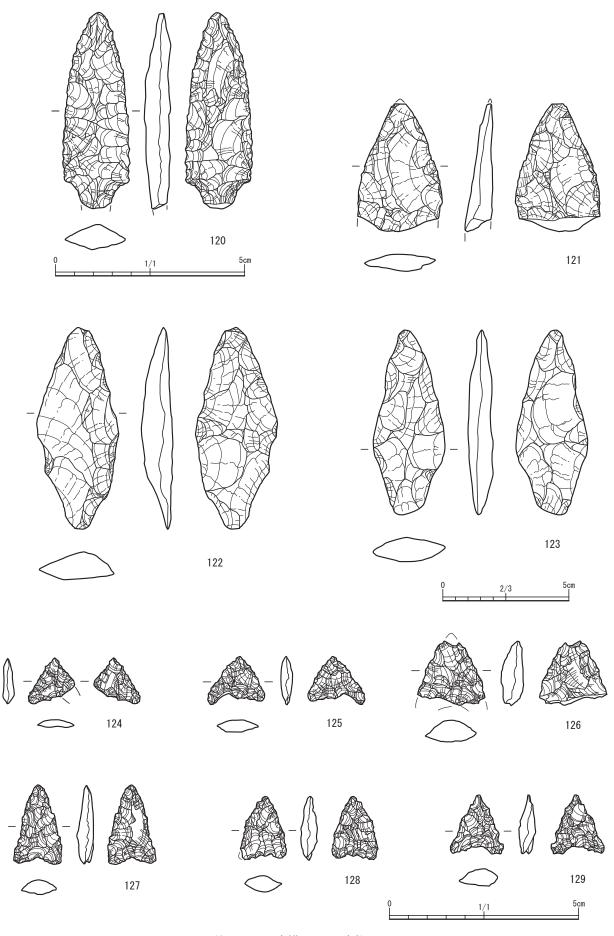
第75図 遺構外出土遺物(3)



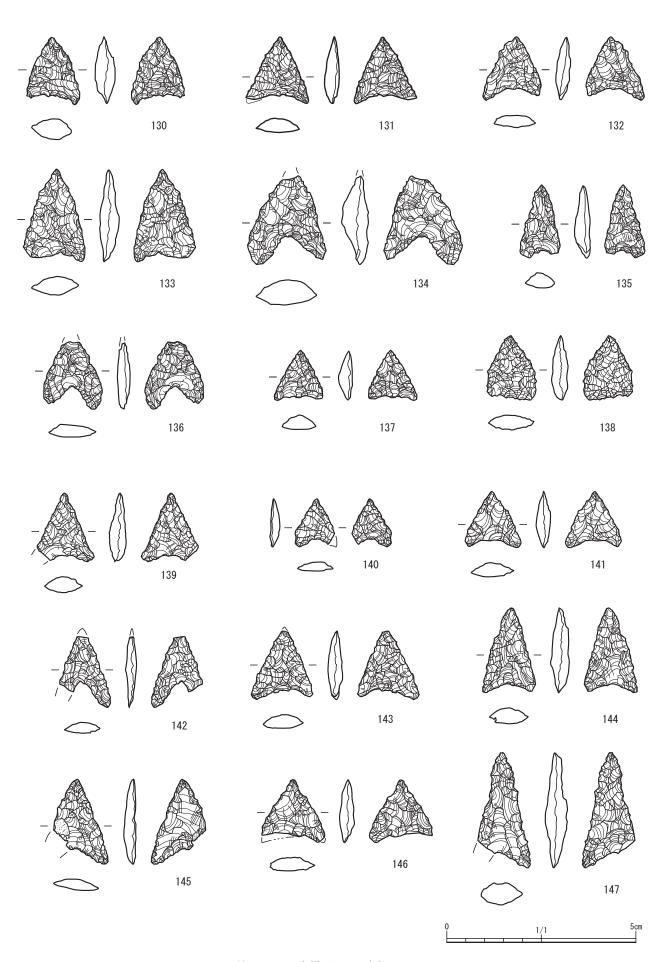
第76図 遺構外出土遺物(4)



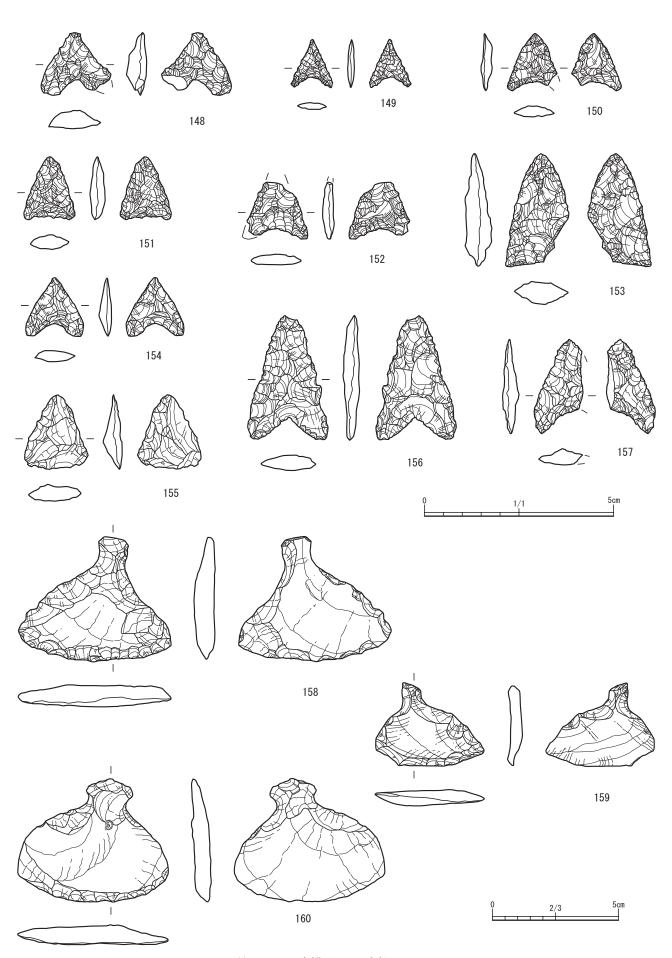
第77図 遺構外出土遺物(5)



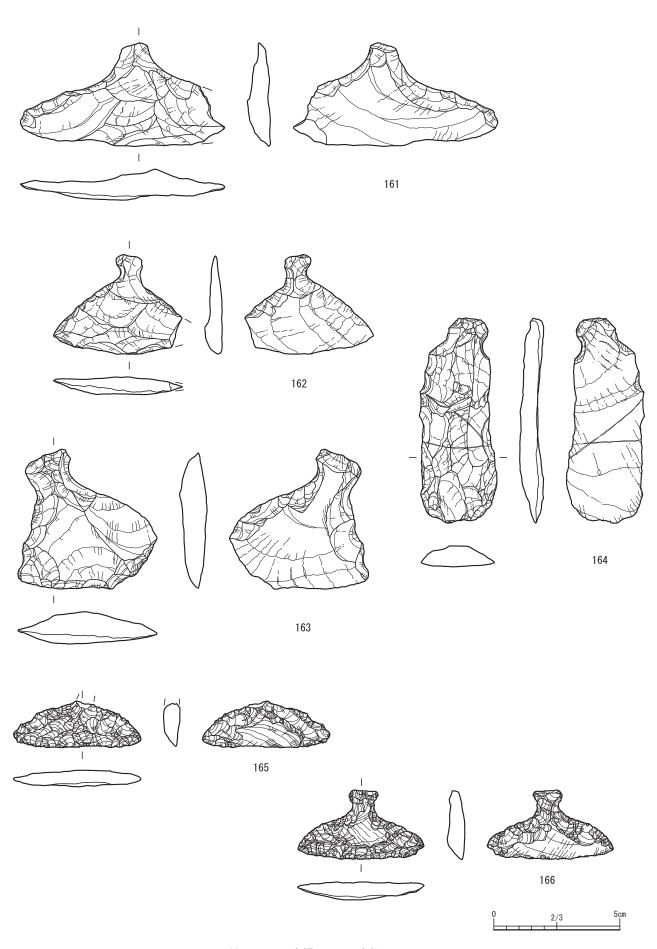
第78図 遺構外出土遺物(6)



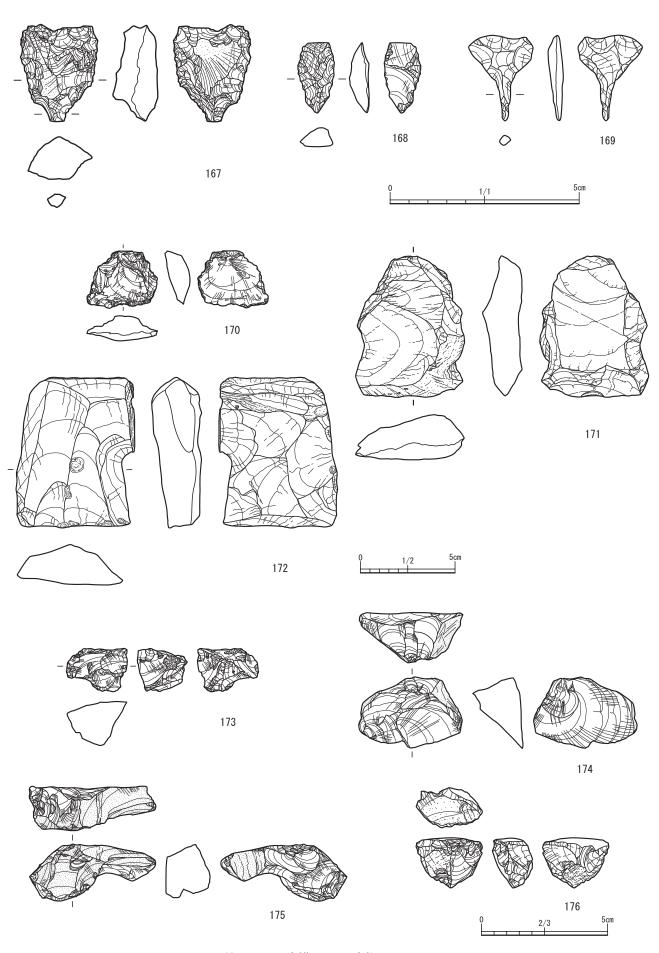
第79図 遺構外出土遺物(7)



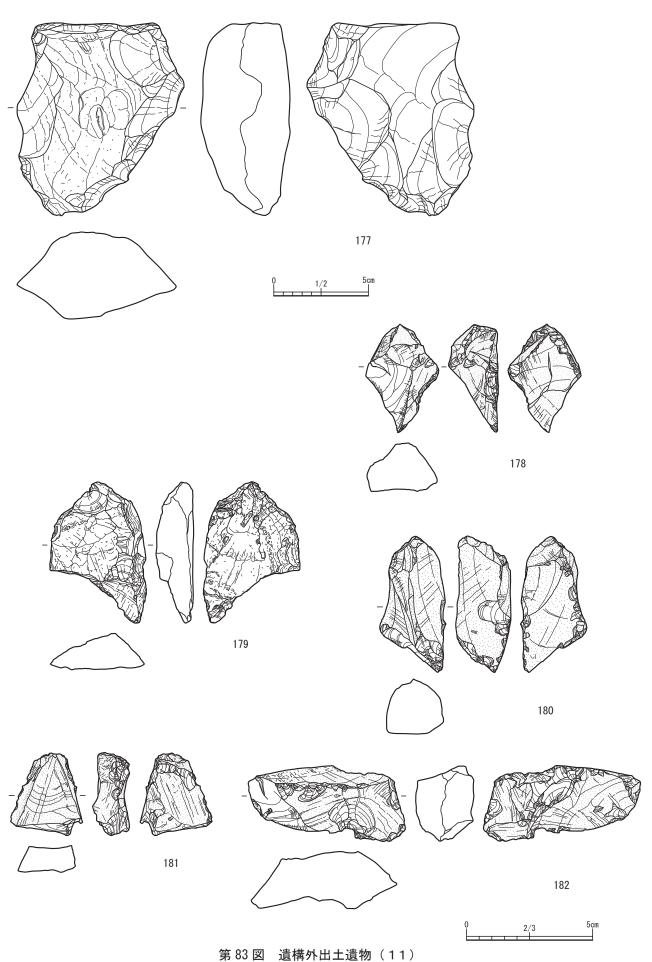
第80図 遺構外出土遺物(8)

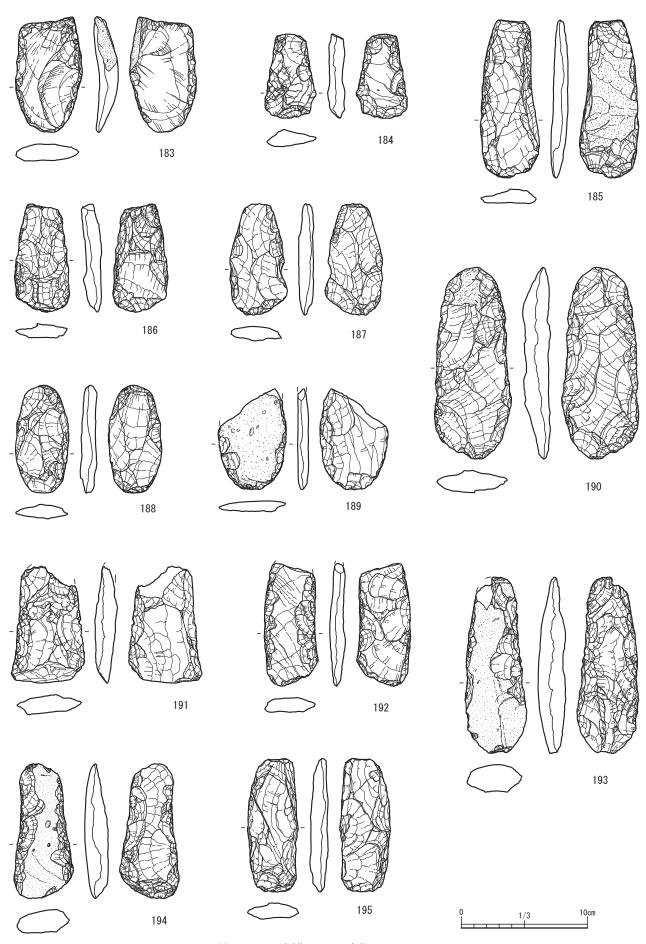


第81図 遺構外出土遺物(9)

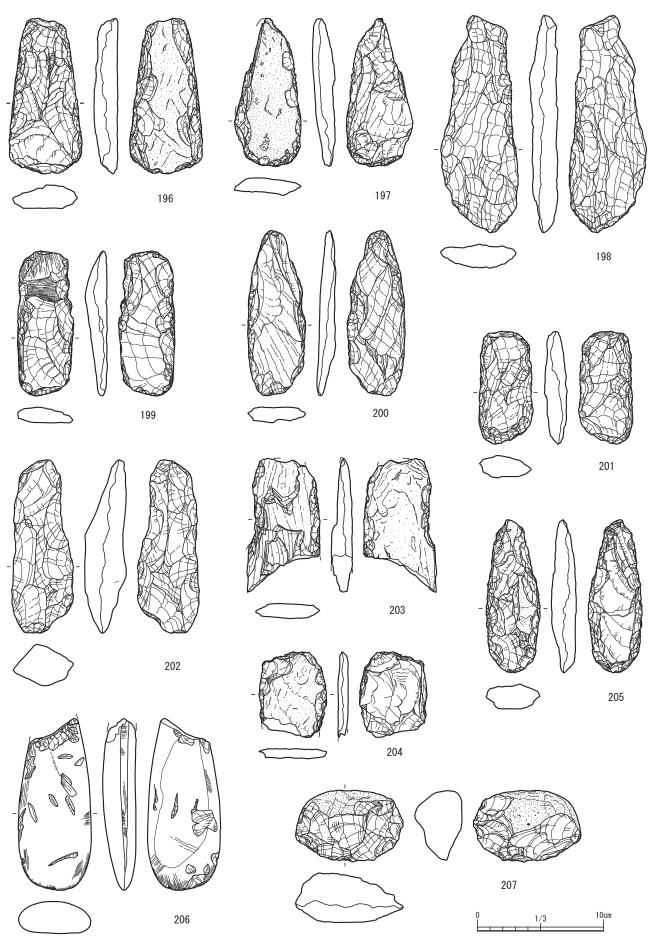


第82図 遺構外出土遺物(10)

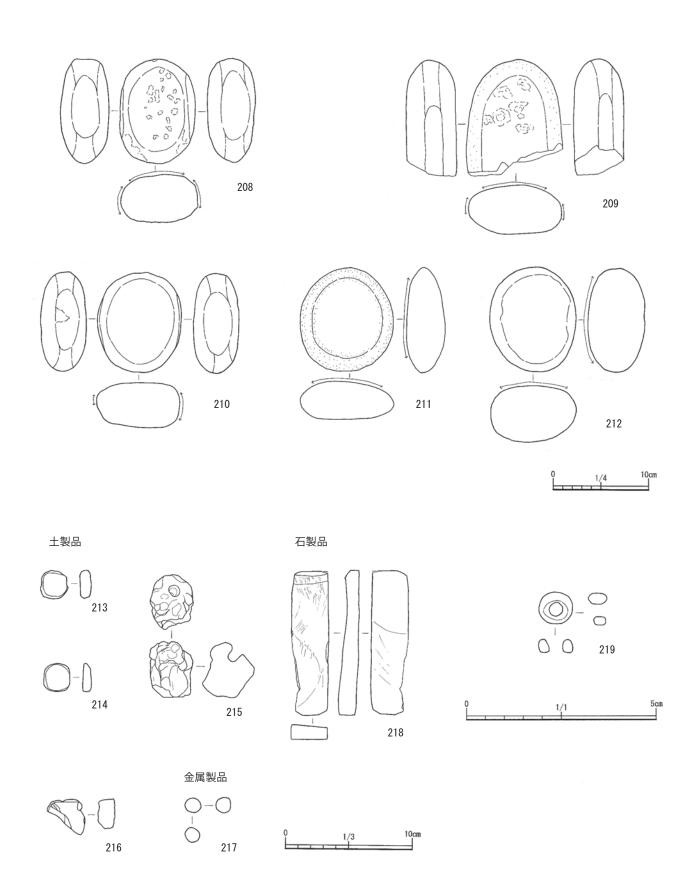




第84図 遺構外出土遺物(12)

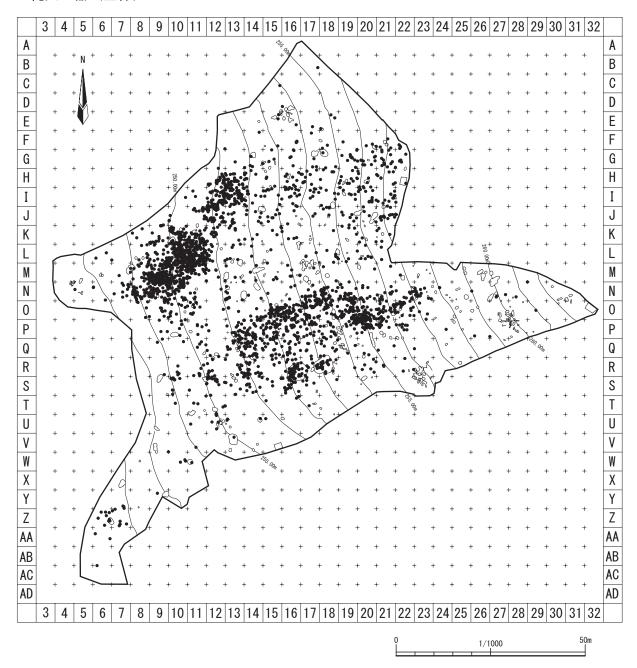


第85図 遺構外出土遺物(13)



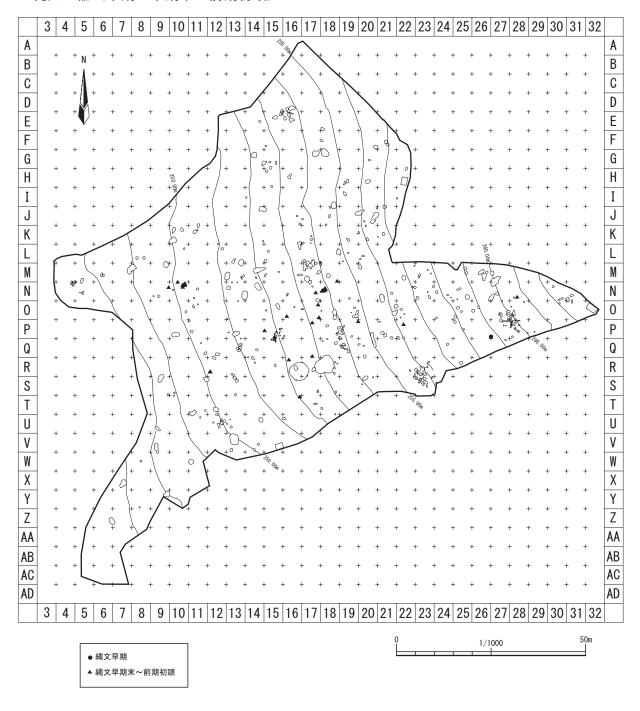
第86図 遺構外出土遺物(14)

## ≪縄文土器(全体)≫



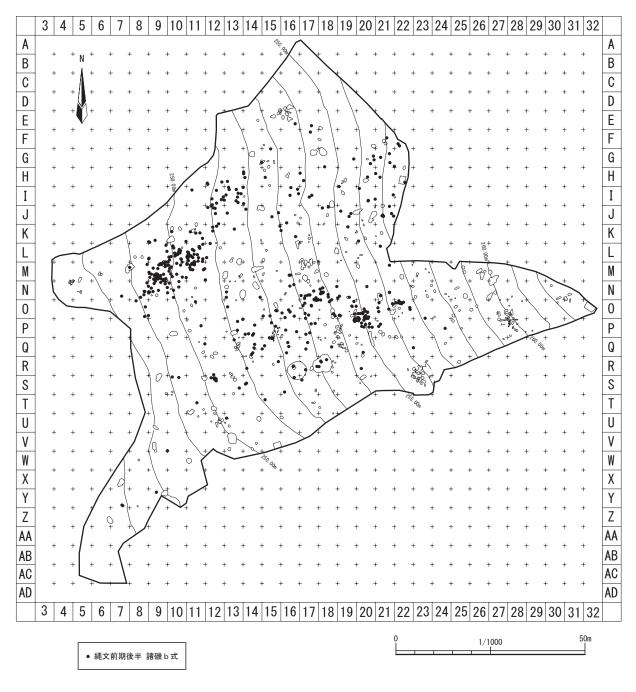
第87図 遺構外遺物出土状況(1)

## 《縄文土器(早期·早期末~前期初頭)≫



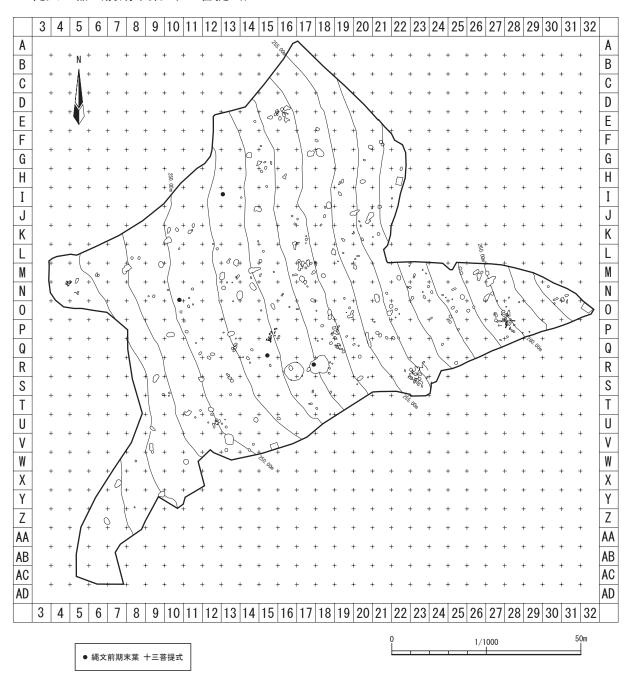
第88図 遺構外遺物出土状況(2)

## ≪縄文土器(前期後半 諸磯 b 式)≫



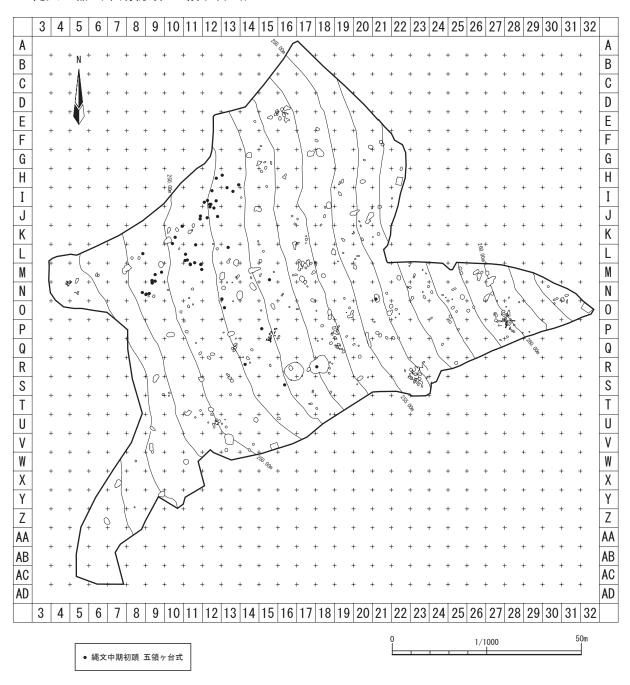
第89図 遺構外遺物出土状況(3)

## ≪縄文土器(前期末葉 十三菩提式)≫



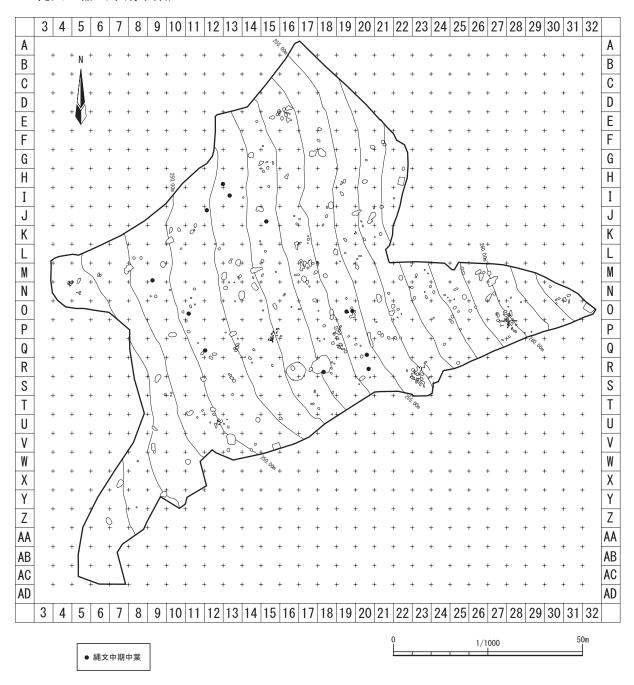
第90図 遺構外遺物出土状況(4)

## ≪縄文土器(中期初頭 五領ヶ台式)≫



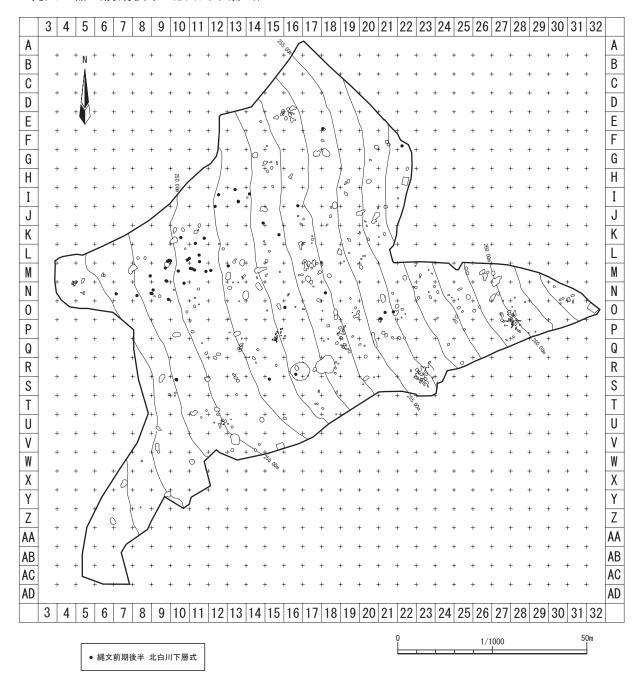
第91図 遺構外遺物出土状況 (5)

## ≪縄文土器(中期中葉)≫



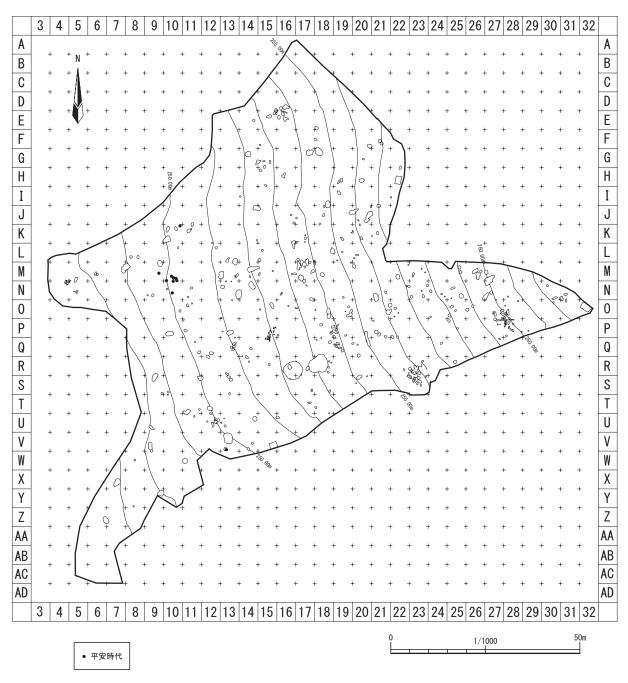
第92図 遺構外遺物出土状況(6)

≪縄文土器(前期後半 北白川下層式)≫



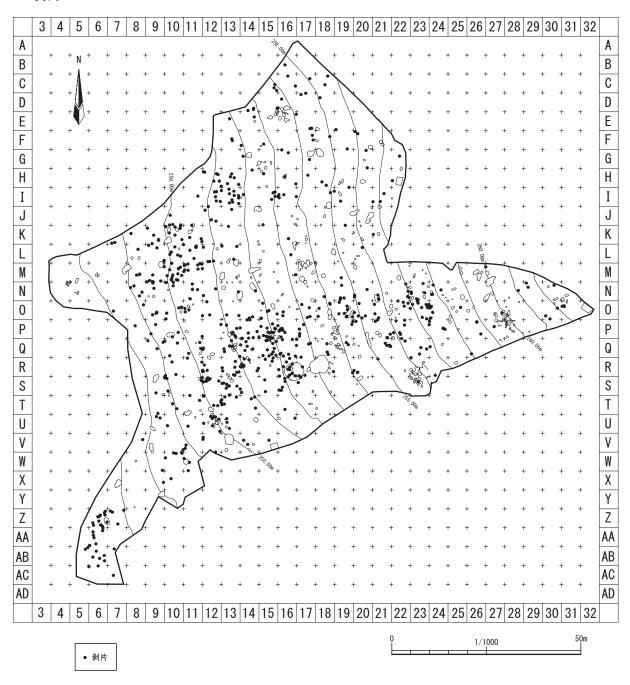
第93図 遺構外遺物出土状況 (7)

## ≪平安時代 土師器≫



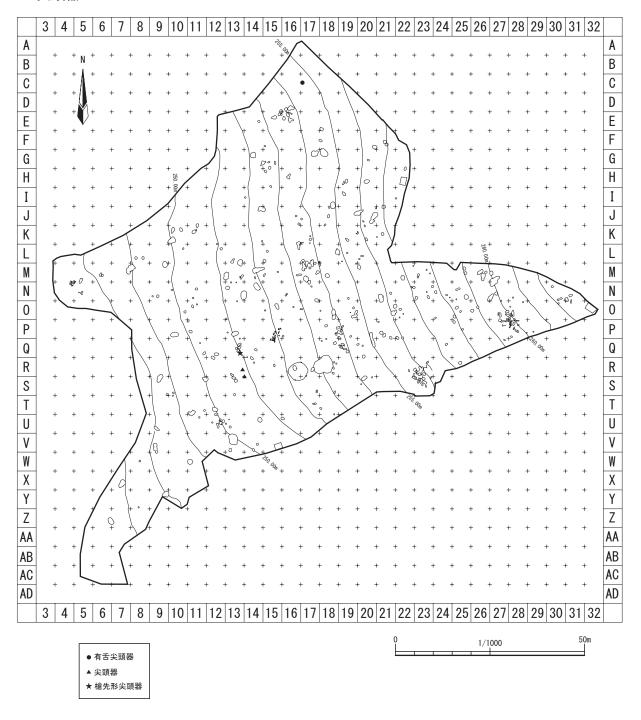
第94図 遺構外遺物出土状況(8)

## ≪剥片≫



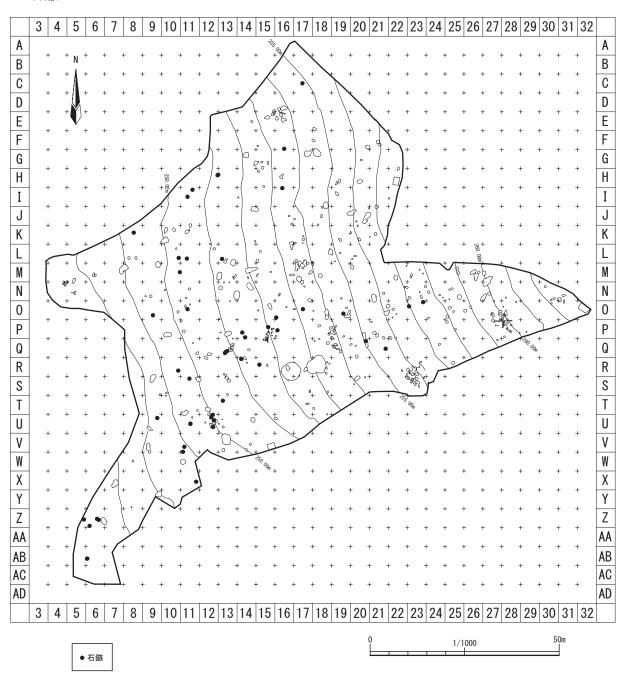
第95図 遺構外遺物出土状況(9)

## ≪尖頭器≫



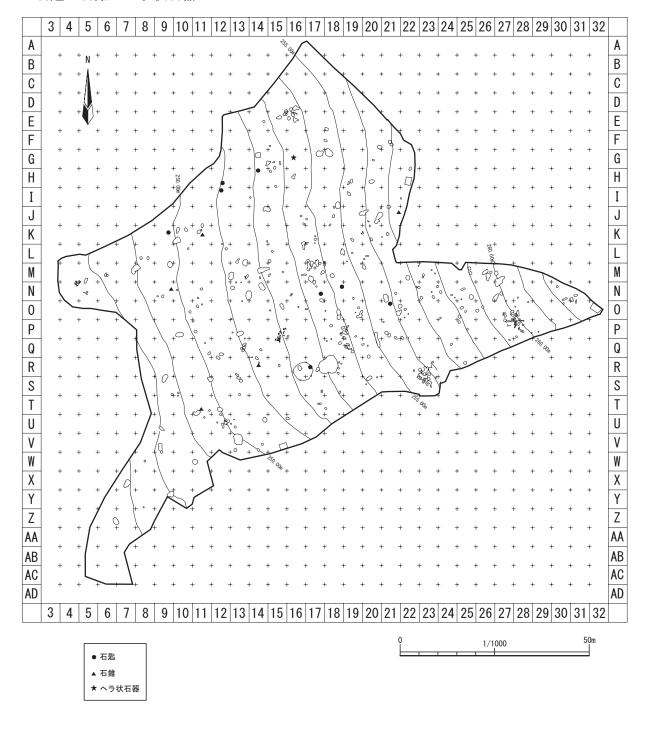
第96図 遺構外遺物出土状況(10)

## ≪石鏃≫



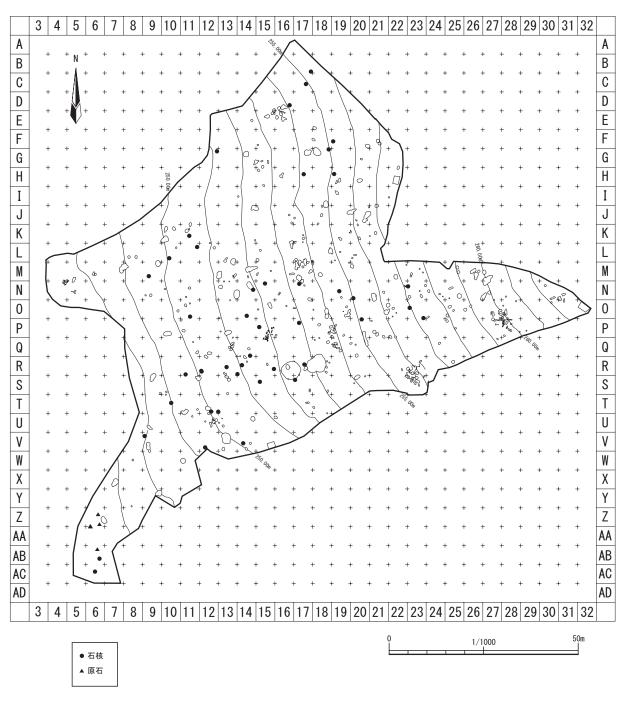
第97図 遺構外遺物出土状況(11)

## ≪石匙・石錐・ヘラ状石器≫



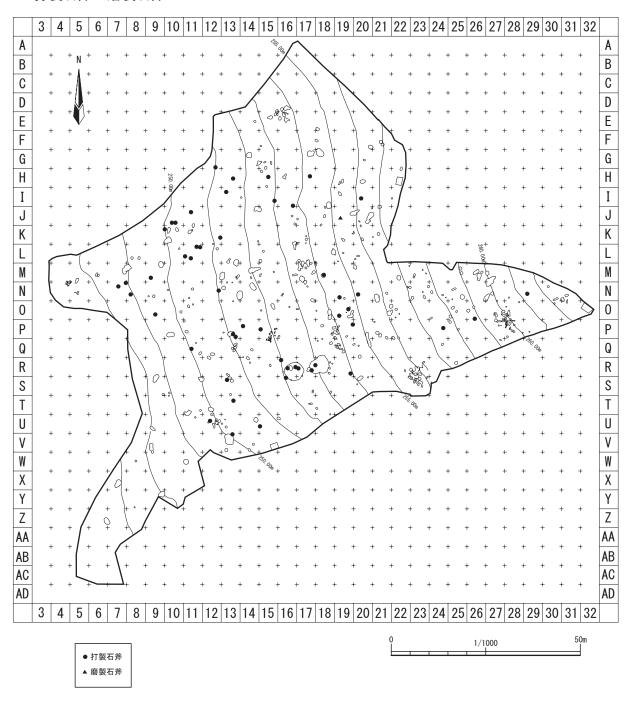
第98図 遺構外遺物出土状況(12)

## ≪石核·原石≫



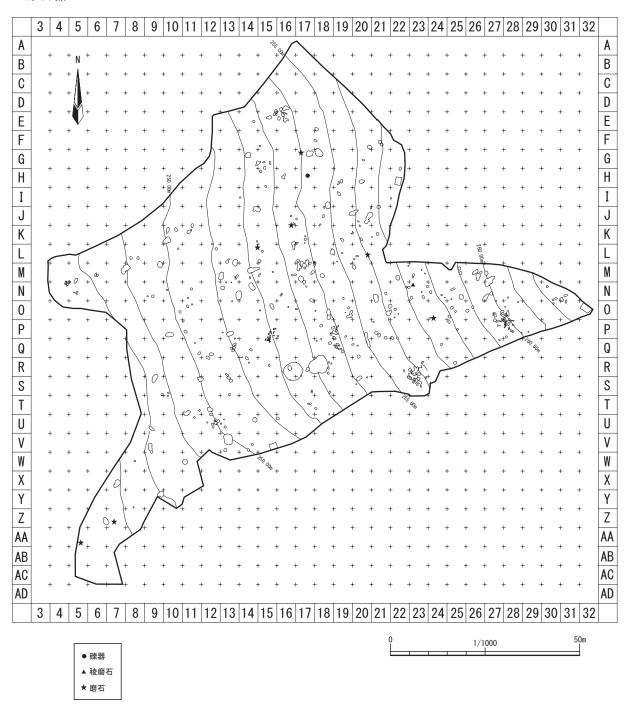
第99図 遺構外遺物出土状況(13)

## 《打製石斧·磨製石斧≫



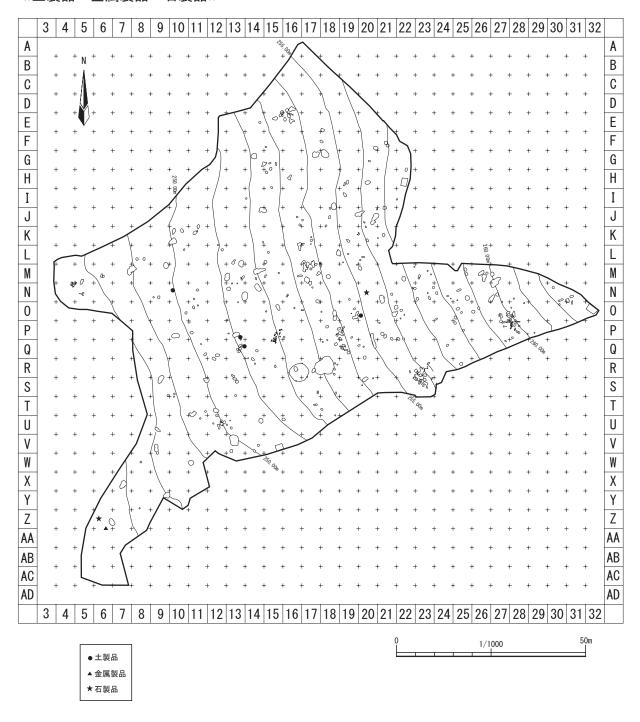
第100図 遺構外遺物出土状況(14)

## ≪礫石器≫



第101図 遺構外遺物出土状況(15)

## ≪土製品・金属製品・石製品≫



第102図 遺構外遺物出土状況(16)

# 第4章 自然科学分析

## 第1節 自然科学分析(パリノ・サーヴェイ株式会社)

### はじめに

平林遺跡(山梨県南巨摩郡身延町和田地内)は、甲府盆地より流下する富士川の左岸、吉村ほか (1989)を参考とすると、富士川が形成した谷底平野を望む段丘と狭小な谷を挟んだ西側の対岸に 位置している。本遺跡の発掘調査では、縄文時代前期後半から中期初頭頃と考えられる竪穴状遺構を はじめとして、集石土坑やピット、焼土遺構等が確認されている。

本報告では、遺構の年代、古植生や植物利用等の検討を目的として、遺構覆土より採取された土壌 等を対象に自然科学分析を実施した。

## I. 放射性炭素年代測定

#### 1. 試料

試料は、ピットや焼土遺構、集石(土坑)から出土した炭化材 6 点(委託No.  $1 \sim 4,12,13$ )である。 測定に供した試料は、D16G pit3(委託No. 1)が接線面(板目面)約 2.0cm、放射面(柾目面)約 0.7cm を測る(板目)板状を呈する破片、E16G pit5(委託No. 2)が接線面約 1.0cm、放射面約 0.4cm を測る(板目)板状を呈する破片、N5G -2 号焼土遺構(南側)(委託No. 3)が接線面約 2.5cm、放射面約 1.5cm を測る(板目)板状の破片、E15G pit2(委託No. 4)が接線面約 1.0cm、放射面約 0.5cm を測る破片、1 号集石土坑(委託No. 12)が接線面約 3.5cm、放射面約 2.3cm の破片、4 号集石土坑 2 層 黒褐色土(委託No. 13)は炭化材の細片 3 点である。

なお、上記した炭化材試料のうち、委託No.  $1 \sim 3$  は樹種同定の対象にもされていたことから、組織観察に必要な量を採取した後の破片を測定に供している。また、委託No. 12 は比較的大型の破片であったことから、観察範囲内に認められる最外年輪部を含む年輪 3 年分を、委託No. 13 は細片が多数認められたため、種類(分類群)が混在しないよう実体顕微鏡観察を行い、コナラ属コナラ亜属コナラ節と確認された破片(3 片)を、それぞれ測定に供している。

#### 2. 分析方法

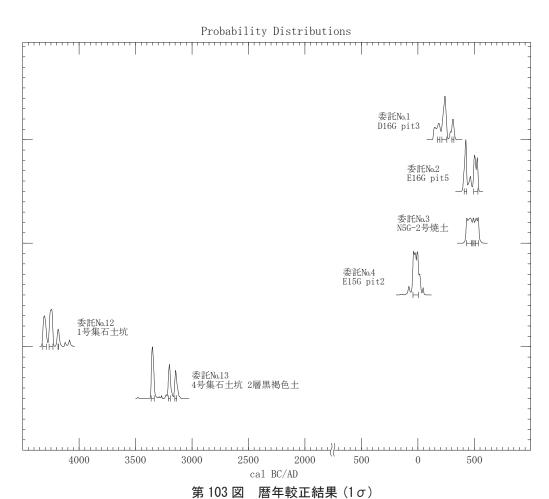
試料に土壌や根等の目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセットや超音波洗浄等により物理的に除去する。その後 HCI による炭酸塩等酸可溶成分の除去、NaOH による腐植酸等アルカリ可溶成分の除去、HCI によりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去する(酸・アルカリ・酸処理)。試料をバイコール管に入れ、1g の酸化銅( $\Pi$ )と銀箔(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空にして封じきり、500 $\mathbb C$ (30分)850 $\mathbb C$ (2 時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用し、真空ラインにて CO2 を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製した CO2 と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650 $\mathbb C$ で 10 時間以上加熱し、グラファイトを生成する。化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径 1mm の孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。

測定機器は、3MV 小型タンデム加速器をベースとした 14C-AMS 専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用する。AMS 測定時に、標準試料である米国国立標準局 (NIST) から提供されるシュウ酸 (HOX-II) とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に 13C/12C の測定も行うため、この値を用いて  $\delta$  13C を算出する。

放射性炭素の半減期は LIBBY の半減期 5,568 年を使用する。また、測定年代は 1,950 年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma;68%)に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.0.1 (Copyright 1986-2014 M Stuiver and

第6表放射性炭素年代測定および暦年較正結果

試料	測定年代 (yrBP)	δ 13C (‰)	補正年代 (曆年較正用) (yrBP)		曆年較正結果							相対比	測定機関 CodeNo.			
委託No. 1 D16G Pit3 炭化材	1,790 ± 20	$-19.02 \pm 0.32$	1,794 ± 21	σ 2 σ	cal cal cal	AD AD AD AD	136 —	cal cal cal	AD AD AD	193 255 317 258	cal cal cal	BP BP BP	1,739 — 1,650 — 1,814 —	1,695 1,633 1,692	0.673 0.163 0.820	IAAA — 132721
委託No. 2 E16G Pit5 炭化材	1,610 ± 20	$-20.53 \pm 0.27$	1,608 ± 19	σ 2 σ	cal cal cal	AD AD AD AD AD	284 — 408 — 492 — 398 — 485 —	cal cal cal cal	AD AD AD AD AD	322 430 530 474 535	cal cal cal cal	BP BP BP BP BP	1,666 — 1,542 — 1,458 — 1,552 — 1,465 —	1,520 1,420 1,476	0.459 0.541 0.530	IAAA — 132722
委託No. 3 N5G - 2号焼土 (南側) 炭化材	1,570 ± 20	$-$ 23.74 $\pm$ 0.28	1,573 ± 22	σ 2 σ	cal cal cal	AD AD AD AD	429 - 485 - 507 - 423 -	cal cal	AD AD	474 495 535 541	cal cal cal	BP BP	1,521 — 1,465 — 1,443 —	1,476 1,455 1,415	0.538 0.129	IAAA — 132723
委託No. 4 E15G Pit2 炭化材	2,020 ± 20	$-24.84 \pm 0.28$	2,023 ± 21	σ 2 σ	cal	BC BC BC AD	46 — 90 — 59 — 38 —	cal cal cal	AD BC AD AD	3 72 29 49	cal cal cal cal	BP BP BP BP	1,995 — 2,039 — 2 2,008 — 1,912 —	2,021 1,921	0.043 0.934	IAAA — 132724
委託No. 12 1号集石土坑 炭化材	5,380 ± 20	- 26.84 ± 0.26	5,377 ± 24	σ 2 σ	cal cal cal cal cal		4,321 — 4,266 — 4,188 — 4,329 — 4,203 — 4,127 —	cal cal cal cal cal		4,291 4,232 4,182 4,226 4,166 4,117	cal cal cal cal cal	BP BP BP BP BP	6,270 — 6 6,215 — 6 6,137 — 6 6,278 — 6 6,152 — 6 6,076 — 6	6,181 6,131 6,175 6,115	0.553 0.045 0.806 0.144	IAAA — 132725
委託No. 13 4号集石土坑	4 560 + 20	$-25.24 \pm 0.29$	4 555 ± 23	σ	cal	BC BC BC BC	4,096 — 3,363 — 3,210 —	cal cal cal cal	BC BC BC BC	4,076 3,335 3,192 3,137 3,322	cal cal cal cal	BP BP BP	6,045 — 6 5,312 — 5 5,159 — 5 5,101 — 5	5,025 5,284 5,141 5,086	0.036 0.552 0.272	IAAA —
2層 黒褐色土 炭化材	4,560 ± 20   -		4,333 ± 23	2 σ	cal cal cal	BC BC	3,272 - 3,234 - 3,163 -	cal cal	BC BC	3,270 3,170 3,115	cal cal cal	BP BP	5,221 - 5 5,183 - 5 5,112 - 5	5,219 5,119	0.002 0.302	132726



PJ Reimer)を用い、誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。

暦年較正とは、大気中の 14C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の 14C 濃度の変動、及び半減期の違い(14C の半減期 5,730 ± 40 年)を較正することである。暦年較正に関しては、本来 10 年単位で表すのが通例であるが、将来的に暦年較正プログラムや暦年較正曲線の改正があった場合の再計算や再検討に対応するため、1 年単位で表している。

暦年較正結果は、測定誤差 $\sigma$ 、2 $\sigma$ ( $\sigma$ は統計的に真の値が 68%、2 $\sigma$ は真の値が 95% の確率で存在する範囲)双方の値を示す。また、表中の相対比とは、 $\sigma$ 、2 $\sigma$ の範囲をそれぞれ 1 とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

### 3. 結果および考察

各遺構より出土した炭化材の同位体効果による補正を行った測定結果 (補正年代) は、D16G pit3 (委託No. 1) が 1,790  $\pm$  20yrBP、E-16G pit5 (委託No. 2) が 1,610  $\pm$  20yrBP、N5G-2 号焼土遺構 (南側) が 1,570  $\pm$  20yrBP、E15G pit2 (委託No. 4) が 2,020  $\pm$  20yrBP、1 号集石土坑 (委託No. 12) が 5,380  $\pm$  20yrBP、4 号集石土坑 2 層黒褐色土 (委託No. 13) が 4,560  $\pm$  20yrBP である。

また、暦年較正結果( $1\ \sigma$ )は、D16G pit3(委託№ 1)が calAD 172 – calAD 317、E16G pit5(委託№ 2)が calAD 408 – calAD 530、N5G-2 号焼土遺構(南側)が calAD 429 – calAD 535、E15G pit2(委託№ 4)が calBC 46 - calAD 3、1 号集石土坑(委託№ 12)が calBC 4,321 – calBC 4,182 (calBP 6,270 – 6,131)、4 号集石土坑 2 層黒褐色土(委託№ 13)が calBC 3,363 – calBC 3,137 (calBP 5,312 – 5,086) である(第6 表)。

以上の暦年較正結果( $1\ \sigma$ )を参考とすると、ピット、焼土遺構および集石試料との間には年代観に有意差が見出せ、ピットおよび焼土遺構はおよそ弥生時代から古墳時代まで年代観が想定される(第  $103\$ 図)。なお、後述する樹種同定結果(第  $8\$ 表)によれば、D16Gpit3,E16Gpit5,E15Gpit2 と N5G-2 号焼土遺構の炭化材は全てヒノキ科に同定されている。ヒノキ科の樹木は長寿の種類が多いため、測定部位の樹齢に違いによってばらつきが生じている可能性がある。

一方、集石土坑は、小林 (2008) による東日本の縄文土器の年代等を参考とすると、1 号集石土坑 (委託No.12)が縄文時代前期中葉頃、4号集石土坑(委託No.13)が縄文時代中期前半頃にそれぞれ相当する。

### Ⅱ. 微細物(微細植物片)分析・樹種同定

#### 1. 試料

微細物分析および樹種同定に供された試料は、炭化材、焼土および炭化材混じり土壌として採取された 13 点(委託100、100、100 である。以下に、試料の概要を記す。

#### (1) 微細物分析試料

試料は、E15G pit2 (委託No. 4・10)、E16G pit5 (委託No. 10)、N-5G より検出された焼土遺構 (1号焼土遺構;委託No. 6、3号焼土遺構;委託No. 8、4号焼土遺構;委託No. 9)、U-12G より検出された焼土遺構 (1号焼土遺構;委託No. 5)および集石土坑 (1号集石土坑;委託No. 12、4号集石土坑2層 黒褐色土;委託No. 13)より採取された焼土等を含む土壌からなる。なお、N5G-1号焼土(委託No. 6)は、北側焼土、南側焼土の2試料があることから、土壌試料は計11点となる。

### (2) 樹種同定試料

試料は、D16G pit3, E16G pit5 と N5G-2 号焼土遺構から採取された炭化材 (委託No. 1  $\sim$  3) である。 なお、N5G-2 号焼土遺構は、北側・南側の 2 試料があることから、試料は計 4 点となる。

分析試料は、上記した委託No.  $1 \sim 3$  は放射性炭素年代測定に供した炭化材を対象とした。また、放射性炭素年代測定の対象外とした N5G-2 号焼土遺構 北側(委託No. 3)と、この他の放射性炭素年代測定に供した炭化材(委託No. 4,12,13)についても、試料の履歴(樹種)に関わる情報を得るため、

分析の対象とした。さらに後述する微細物分析結果を考慮し、4 号集石土坑 2 層(委託No. 13) 試料の細片の観察の際に認められた分類群についても分析対象としている。

#### 2. 分析方法

### (1) 微細物 (微細植物片) 分析

本分析では、炭化種実等の遺物を可能な限り壊さず回収するために、以下の方法を実施した。

#### 1) 水洗前抽出

土壌試料を秤り取り、常温乾燥後、肉眼観察で確認される炭化種実を抽出する。

#### 2) 水洗・抽出・分類

乾燥後の試料を、水を満たした容器に投入し、容器を傾けて浮いた炭化物を粒径 0.5㎜の篩に回収する。容器内の残土に水を入れて軽く攪拌し、容器を傾けて炭化物を回収する作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す(20~30回程度)。残土は粒径 0.5㎜の篩を通して水洗する。篩内の残渣を粒径別に常温乾燥後、双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な炭化種実や、主に径 4㎜以上の炭化材等の遺物を抽出する。抽出物および分析残渣(砂礫等)は、重量と最大径(一部)を記録後、容器に入れて保管する。

### 3) 同定

炭化種実の同定は、現生標本および石川(1994)、中山ほか(2000)、鈴木ほか(2012)等を参考に実施し、個数を数えて結果を一覧表で示す。

なお、本分析では 2)までの工程で、炭化種実等の検出が少ない状況が確認されたため、一部の試料については分析対象とする土壌を追加して、その検出を試みた。

#### (2) 樹種同定

試料を自然乾燥させた後、木口(横断面)・柾目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類(分類群)を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)、Wheeler 他(1998)、Richter 他(2006)を参考にする。また、日本産樹木の木材組織については、林(1991)や伊東(1995,1996,1997,1998,1999)を参考にする。

#### 3. 結果

#### (1) 微細物(微細植物片)分析

結果を第7表に示す。土壌 11 試料(計 13,550g)を通じて、炭化種実 2 個(0.01g 未満)、炭化材(49.0g)が抽出された。その他、U12G-1 号焼土遺構(委託M. 5)から、剥片等の可能性がある岩片が 4 個(0.01g, 最大 4.0m)確認された。

分析残渣は、砂礫 (1,219.2g) を主体とし、炭化材 (微細片主体,70.9g) が次いで多い。この他、炭化していない植物片 (20.3g) も確認された。炭化していない植物片は、根等を主体とするが、N5G-1 号焼土遺構 (委託No.6) からは常緑針葉樹のヒノキの枝条、スギの葉、草本のタデ属の果実、E16G pit5 (委託No.10) からは落葉広葉樹のアカメガシワの種子等が確認された。これらの炭化していない植物は、保存状態が極めて良好であることから、後代の混入の可能性が高く、解析より除外している。

炭化種実は、U12G-1 号焼土遺構(委託No. 5)から常緑広葉樹で低木~小高木のヒサカキの種子(1個)と、N5G-4 号焼土遺構(委託No. 9)から落葉広葉樹で低木のキイチゴ属の核(1個)が確認された。 炭化材は、全11 試料から検出され、1 号集石土坑(委託No. 12)が最も多く29.4g(最大長;2.8cm)、

N5G-3 号焼土遺構(委託No. 8)が 0.01g と最も少ない。土壌試料(乾燥重量)中における炭化材(主体)

の占める割合は、1 号集石土坑 (委託No. 12) が 6.5%と最も高く、4 号集石土坑 (委託No. 13) が 2.6%、E15G pit2 (委託No. 11) が 1.1%である。一方、焼土遺構は、炭化材の占める割合が低く、いずれも 1%未満である。

以下に、確認された炭化種実各分類群の形態的特徴等を述べる。

・ヒサカキ (Eurya japonica Thunb.) ツバキ科ヒサカキ属

種子は炭化しており黒色、長さ 1.0mm、幅 1.5mm、厚さ 0.6mmのやや偏平な多角状広倒卵体。基部の臍に向かい薄くなる。種皮表面は臍を中心に楕円形や円形凹点による網目模様が指紋状に広がる。

・キイチゴ属(Rubus) バラ科

核(内果皮)は炭化しており黒色、長さ 1.4m、幅 1.2m、厚さ 0.8mのやや偏平な半倒卵体で腹面方向にやや湾曲する。表面にはヒサカキよりも大きく深い凹点が分布し網目模様をなす。

### (2) 樹種同定

同定結果を第8表に示す。炭化材は、針葉樹1分類群(ヒノキ科)と広葉樹4分類群(アサダ、コナラ属コナラ亜属クヌギ節、コナラ属コナラ亜属コナラ節、トチノキ近似種)に同定された。なお、委託No. 12 は、道管が認められ、その配列から散孔材の道管配列を有する種類と考えられるが、節部分であることに加え、比熱による組織の破損が激しく、道管配列や穿孔板が観察できないなど、同定に必要な組織の確認に至らず、種類は不明である。以下に、同定された各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・ヒノキ科 (Cupressaceae)

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか~やや 急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。 分野壁孔は保存が悪く観察できない。放射組織は単列、1-10 細胞高。

・アサダ (Ostrya japonica Sarg.) カバノキ科アサダ属

散孔材で、道菅は単独または放射方向に 2-4 個が複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性、1-3 細胞幅、1-30 細胞高。

属コナラ亜属クヌギ節(Quercus subgen. Quercus sect. Cerris) ブナ科

環孔材であるが、孔圏部は破損しており、年輪界に僅かに残るのみである。孔圏外の小道管は、単独で放射方向に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものと複合放射組織とがある。

- ・コナラ属コナラ亜属コナラ節(Quercus subgen. Quercus sect. Prinus) ブナ科 環孔材で、孔圏部は 1-3 列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。 道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。 放射組織は同性、単列、1-20 細胞高のものと複合 放射組織とがある。
- ・トチノキ近似種 (cf. Aesculus turbinata Blume) トチノキ科トチノキ属

散孔材で、道菅は単独または 2-3 個が複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は 単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は大部分が潰れて いるが、観察できた範囲では同性、単列、1-15 細胞高。全体的に保存が悪いが、散孔材で、道菅に らせん肥厚があり、単列であるという特徴からトチノキの可能性があるため、トチノキ近似種とした。

#### 4. 考察

D-16G、E-15・16G より検出されたピット、N-5G,U-12G より検出された焼土遺構および集石土坑の微細物分析・樹種同定の結果、針葉樹のヒノキ科、広葉樹のアサダ、クヌギ節、コナラ節、ヒサカキ、キイチゴ属、トチノキ近似種、等の木本 7 分類群の炭化種実や炭化材が認められた。ヒノキ科は、主に山地に生育する常緑高木である。アサダは、河畔に生育する落葉高木、クヌギ節とコナラ節は二

#### 第7表 微細物分析結果

			E - 16G	Е —	15G	U — 12G			N — 5G			_	_	
			pit5	pi	it2	1号焼土		1号焼土		3号焼土	4号焼土	1号集石	4号集石	備考
			焼土	炭化物	焼土	焼土	北側	焼土	南側 焼土	焼土	焼土	土壌	2層	加 方
種類	部位	状態	No. 10	No. 4	No. 11	No. 5	No. 6 1/2	No. 6 2/2	No. 7	No. 8	No. 9	No. 12	No. 13	
炭化種実														
ヒサカキ	種子	完形	_	_	_	1	_	_	_	_	_	_	_	0.001g 未満
キイチゴ属	核	完形	_	_	_	_	_	_	_	_	1	_	_	0.001g 未満
炭化芽			_	_	_	_	_	_	_	_	1	_	_	0.001g 未満
炭化材														
4mm 以上			15.6	10.6	10.7	17.3	8.8	10.4	14.1	5.1	13.8	28.4	19.9	最大径 (mm)
			0.41	2.12	0.73	3.02	0.11	0.09	1.15	0.01	0.75	29.37	11.20	乾重 (g)
炭化材主体														
4-2mm			0.3	_	0.8	_	0.2	0.4	0.7	0.1	0.8	7.3	12.8	乾重 (g)
2-1mm			0.3	1.4	1.0	2.6	_	_	_	_	_	5.3	14.1	乾重 (g)
1 - 0.5mm			1.0	2.1	2.1	1.3	_	_	_	_	_	3.4	13.0	乾重 (g)
岩片			_	_	_	4	_	_	_	_	_	_	_	0.01g, 最大 4.0mm
砂礫主体			_	-	-	_	_	_	_	_	_	_	_	
4mm 以上			100.8	24.0	77.2	30.0	62.0	57.5	22.7	11.2	85.3	3.0	106.0	乾重 (g)
4-2mm			18.3	11.2	23.4	24.6	45.9	33.6	15.3	10.0	57.4	4.4	16.7	乾重 (g)
2-1mm			11.4	14.1	11.3	15.1	35.6	22.3	12.3	9.3	57.6	3.9	20.3	乾重 (g)
1 - 0.5mm			8.2	12.1	9.0	8.8	26.3	16.5	10.4	7.4	37.3	5.5	24.1	乾重 (g)
炭化していない植物														混入の可能性
2mm 以上			0.6	0.1	0.2	0.3	1.3	1.1	0.6	1.0	2.1	0.2	0.4	乾重 (g)
2-1mm			_	_	_	_	0.3	2.0	1.0	_	1.2	_	_	乾重 (g)
1 - 0.5mm				_	_	_	0.5	3.4	2.9	0.2	1.0	_		乾重 (g)
分析量			600	500	1,000	850	2,000	2,000	1,000	400	2,500	700	2,000	重量 (g)
炭化材 (主体) の含有量			0.3%	1.1%	0.5%	0.8%	0.02%	0.02%	0.2%	0.01%	0.06%	6.5%	2.6%	
砂礫主体の含有量			23.1%	12.3%	12.1%	9.2%	8.5%	6.5%	6.1%	9.5%	9.5%	2.4%	8.4%	

#### 第8表樹種同定結果

委託No.		試 料 名		形状	種 類 (分類群)	備考
1	D — 16G	pit3	炭化材	破片(板状)	ヒノキ科	*
2	E — 16G	pit5		破片(板状)	ヒノキ科	*
3	N-5G	2 号焼土遺構	北側	破片(板状)	ヒノキ科	
			南側	破片(板状)	ヒノキ科	*
4	E — 15G	pit2	炭化物	破片(板状)	ヒノキ科	*
12	_	1号集石土坑	土壌	破片	広葉樹	*
				破片	ヒノキ科	
				破片	アサダ	
13	_	4 号集石土坑	2層黒褐色土	破片	コナラ属コナラ亜属クヌギ節	
				破片	コナラ属コナラ亜属コナラ節	*
				破片	トチノキ近似種	

<sup>\*</sup>放射性炭素年代測定試料

次林等に生育する落葉高木、ヒサカキは山地の林床に生育する常緑低木~小高木、キイチゴ属は林緑部等の明るく開けた場所に生育する落葉低木、トチノキ (近似種)は河畔や渓谷等に生育する落葉高木・コナラである。

また、炭化材に認められた分類群の材質についてみると、ヒノキ科は、ヒノキ、サワラ、アスナロ等の有用材を含み、木材は木理が通直で割裂性・耐水性が高い。また、アサダ、クヌギ節、コナラ節は重硬で強度が高く、トチノキ(近似種)は軽軟で強度・保存性は低い。

年代観が明らかとされた遺構の試料についてみると、弥生時代以降の年代が得られた D16G pit3, E16G pit5, E15G pit2 からはいずれもヒノキ科が認められた。これらは遺構の性格を考慮すると、柱材等の部位に由来する可能性があり、耐水性や加工性の高い木材の利用が推定される。また、N5G-2 号焼土遺構も D-16G 等のピットと同様に弥生時代以降の遺構と考えられる。出土炭化材には、ピッ

ト出土炭化材と同じくヒノキ科が認められ、柱材以外の用途にもヒノキ科の木材が利用されたていた 状況が窺える。

一方、縄文時代前期および中期の年代が得られた 1 号および 4 号集石土坑からは、針葉樹のヒノキ科、広葉樹のアサダ、クヌギ節、コナラ節、トチノキ近似種、不明広葉樹が認められた。この結果から、少なくとも 5 分類群の木材が燃料材として利用されたことが推定される。これらの分類群には、重硬で強度が高い種類(アサダ、クヌギ節、コナラ節)と比較的軽軟な種類(トチノキ近似種、ヒノキ科)とが混在しており、一般に強度が高い木材は火付きが悪いものの火持ちが良く、軽軟な木材は火付きが良く、高い火力が得られる一方、火持ちは悪いとされる。4 号集石土坑に認められた樹種構成から、燃焼性や火力の異なる木材を組合せて利用されていた状況が想定される。なお、炭化材に確認された分類群は、現在の遺跡周辺の植生を考慮すると、付近の山地等に生育していたことが推定され、木材の入手も容易であったと考えられる。

山梨県内における調査事例についてみると、本遺跡周辺ではこれまでに木材利用に関する資料が確認できない。そこで、甲府盆地における調査事例(伊東・山田,2012)についてみると、建築部材にヒノキ科が確認された事例では、大師東丹保遺跡(旧甲西町)の弥生時代後期の柱材(ヒノキ属)、坂井南遺跡(韮崎市)の古墳時代前期の住居跡出土炭化材(ヒノキ属)、健康村遺跡(旧長坂町)の平安時代の住居跡出土炭化材(ヒノキ属)、石原田北遺跡(旧長坂町)の平安時代の住居跡出土炭化材(ヒノキ、サワラを含むヒノキ属)、百々遺跡(南アルプス市)の9世紀後半~10世紀前半とされる住居跡出土炭化材(ヒノキ属)等、弥生時代以降の事例が確認でき、とくに古代の建築部材に多く認められる。また、縄文時代の集石土坑より出土した炭化材の調査事例では、西田町遺跡(旧一宮町)においてクヌギ節が確認された例がある。

### 引用文献

林 昭三,1991,日本産木材 顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.

石川茂雄,1994,原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.

伊東隆夫,1995,日本産広葉樹材の解剖学的記載 I.木材研究・資料,31,京都大学木質科学研究所,81-181.

伊東隆夫,1996,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料,32,京都大学木質科学研究所.66-176.

伊東隆夫,1997,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料,33,京都大学木質科学研究所,83-201.

伊東隆夫,1998,日本産広葉樹材の解剖学的記載IV.木材研究・資料,34,京都大学木質科学研究所,30-166.

伊東隆夫,1999,日本産広葉樹材の解剖学的記載V.木材研究・資料,35,京都大学木質科学研究所,47-216.

伊東隆夫・山田昌久(編),2012,木の考古学 出土木製品用材データベース.海青社,449p.

小林謙一,2008,縄文土器の年代(東日本).小林達雄(編)「総覧 縄文土器」,「総覧 縄文土器」刊行委員会,896-903.

中山至大・井之口希秀・南谷忠志,2000,日本植物種子図鑑.東北大学出版会,642p.

Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E. (編),2006,針葉樹材の識別 IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘(日本語版監修),海青社,70p. [Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.,2004,IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification].

島地 謙·伊東隆夫,1982, 図説木材組織. 地球社,176p.

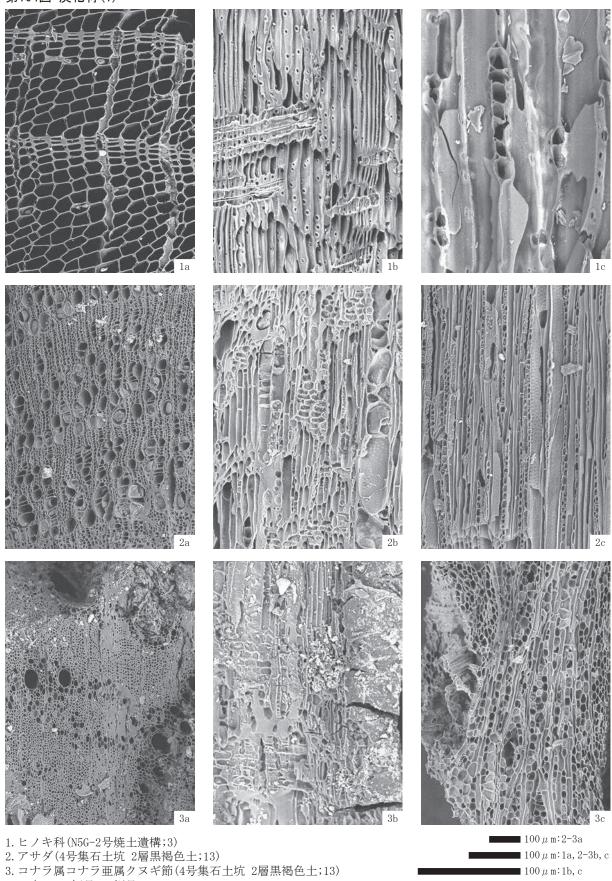
鈴木庸夫・高橋 冬・安延尚文,2012,ネイチャーウォッチングガイドブック 草木の種子と果実-形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実 632 種一. 誠文堂新光社,272p.

Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (編),1998, 広葉樹材の識別 IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修), 海青社,122p. [Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.,1989,IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].

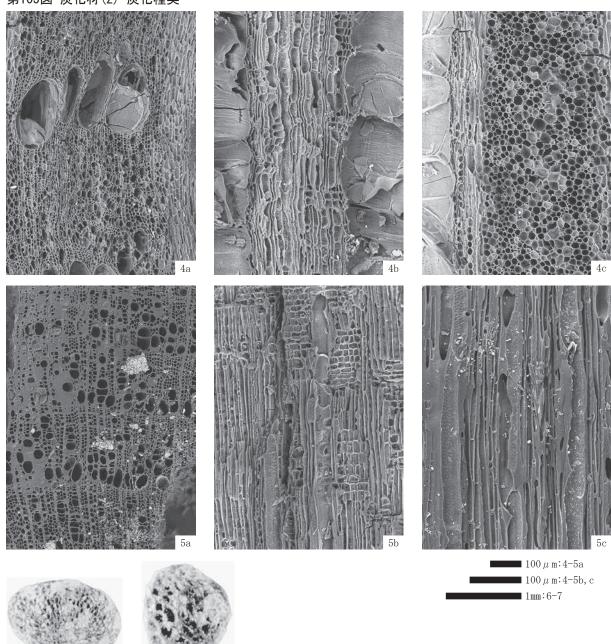
吉村 稔·平川一臣,1989, I 地形分類図.土地分類基本調查 身延·赤石岳,山梨県農務部農村整備課,15-24.

## 第104図 炭化材(1)

a:木口,b:柾目,c:板目



## 第105図 炭化材(2).炭化種実



- 4. コナラ属コナラ亜属コナラ節(4号集石土坑 2層黒褐色土;13)
- 5. トチノキ近似種(4号集石土坑 2層黒褐色土;13) a:木口,b:柾目,c:板目 6.ヒサカキ 種子(U12G-1号焼土遺構;5) 7.キイチゴ属 核(N5G-4号焼土遺構;9)

## 第2節 古環境分析(株式会社古環境研究所)

#### I. 放射性炭素年代測定

#### 1. はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素(14C)の濃度が、放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土壌、土器付着炭化物などが測定対象となり、約6万年前までの年代測定が可能である。

ここでは、平林遺跡の遺構構築年代を明らかにする目的で、加速器質量分析法による放射性炭素年代測定を行った。

### 2. 試料と方法

測定試料は、平林遺跡で検出された 1 号土坑より出土した炭化物 1 点である。測定試料の情報、調製データは第 9 表のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計(パレオ・ラボ、コンパクト AMS:NEC 製 1.5SDH)で測定した。得られた  $^{14}$ C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 $^{14}$ C 年代、暦年代を算出した。

### 第9表 測定試料及び処理

試料名	試料の詳細	種類	前処理・調整	測定法
No. 1	1号土坑	炭化材(薄板材)	超音波洗浄、酸ーアルカリー酸洗浄	AMS

<sup>※</sup> AMS(Accelerator Mass Spectrometry)は加速器質量分析法

#### 3. 測定結果

第 10 表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比( $\delta^{13}$ C)、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値、誤差を丸めて表示した $^{14}$ C 年代、 $^{14}$ C 年代を暦年代に較正した年代範囲を示す。また、第 106 図には暦年較正結果を示す。暦年較正に用いた年代値は年代値、誤差を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

### 第10表 測定結果

試料名	測定No.	δ <sup>13</sup> C	曆年較正用年代	14 C 年代	暦年代	(西曆)
	(PED-)	(‰)	(年BP)	(年BP)	1 σ (68.2%確率)	2 σ (95.4%確率)
No. 1	27215	$-26.53 \pm 0.19$	$879 \pm 16$	880 ± 15	AD1,157 — AD1,206 (68.2%)	AD1,052 — AD1,081 (12.8%) AD1,151 — AD1,216 (82.6%)

 $^{14}$ C 年代は AD1,950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 $^{14}$ C 年代(年 BP)の算出には、  $^{14}$ C の半減期として Libby の半減期 5,568 年を使用した。また、付記した  $^{14}$ C 年代誤差( $\pm$  1  $\sigma$ )は、 測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の  $^{14}$ C 年代がその  $^{14}$ C 年代誤差内に入る確率 が 68.2%であることを示すものである。なお、暦年較正の詳細は以下の通りである。

暦年較正とは、大気中の <sup>14</sup>C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された <sup>14</sup>C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の <sup>14</sup>C 濃度の変動、及び半減期の違い( <sup>14</sup>C の半減期

5,730 ± 40 年)を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

 $^{14}$ C 年代の暦年較正には OxCal4.1 (較正曲線データ: IntCal13)を使用した。なお、1  $\sigma$  暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された  $^{14}$ C 年代誤差に相当する 68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2  $\sigma$  暦年代範囲は 95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は  $^{14}$ C 年代の確率分布を示し、二重曲線は 暦年較正曲線を示す。

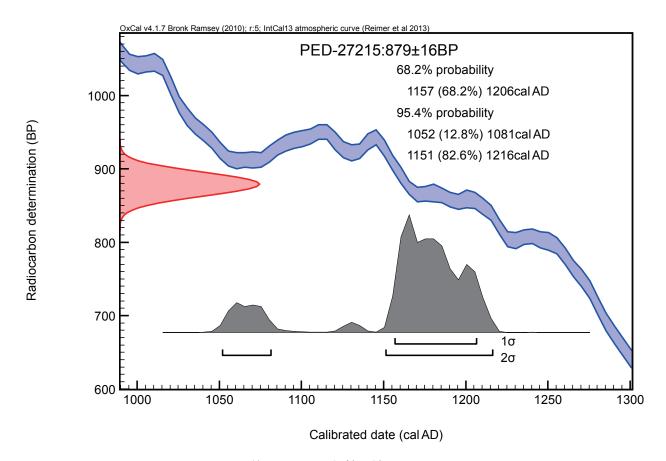
### 4. 所見

平林遺跡の遺構構築年代を明らかにする目的で、加速器質量分析法(AMS 法)により放射性炭素年代測定を行った。その結果、1号土坑より出土した炭化材は、880 ± 15 年 BP(2  $\sigma$ の暦年代でAD1,052  $\sim$  AD1,081 年、AD1,151  $\sim$  AD1,216 年)の年代値であった。

## 参考文献

Bronk Ramsey, C. (2001) Development of the Radiocarbon Program OxCal. Radiocarbon, 43, 355-363. 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の <sup>14</sup>C 年代編集委員会編「日本先史時代の <sup>14</sup>C 年代」:3-20, 日本第四紀学会.

Reimer, P.J., Baillie, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Burr, G.S., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., McCormac, F.G., Manning, S.W., Reimer, R.W., Richards, D.A., Southon, J.R., Talamo, S., Turney, C.S.M., van der Plicht, J. and Weyhenmeyer C.E. (2009) IntCalO9 and MarineO9 Radiocarbon Age Calibration Curves, O–50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 51, 1111-1150.



第 106 図 暦年較正結果

#### Ⅱ. 樹種同定

#### 1. はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質から概ね属レベルの同定が可能である。木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能である。本報告では、平林遺跡より出土した炭化材について、木材解剖学的手法を用いて樹種同定を行う。

#### 2. 試料と方法

試料は、平林遺跡より出土した1号土杭の炭化材1点である。試料の詳細を結果とともに第11表に記す。

樹種同定の方法は、以下のとおりである。試料を割り折りして新鮮な横断面(木口と同義)、放射断面(柾目と同義)、接線断面(板目と同義)の基本三断面を割剥して作製し、落射顕微鏡によって50~1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

#### 3. 結果

観察の結果、炭化材は柔らかく焼け膨れが多くみられ、消し炭(からけし)の状態である。複数あるが、いずれも同じ樹種であり、復元径 2.5cm の枝材である。結果を第 11 表に示し、顕微鏡写真を示す。以下に木材構造の特徴を記す。

#### 第11表 平林遺跡における樹種同定結果

No.	遺構名	結果(学名/和名)	
1	1 号土坑炭 1	Cleyera japonica Thunb.	サカキ

#### サカキ Cleyera japonica Thunb. ツバキ科

横断面では小型の道管が、単独ないし2個複合して密に散在する散孔材である。放射断面では道管の 穿孔が階段穿孔板からなる多孔穿孔で、階段の数は多く60を越えるものも観察される。放射組織は平伏 細胞、方形細胞、直立細胞からなる異性である。接線断面では放射組織が異性放射組織型で単列を示す。

以上の形質よりサカキに同定される。サカキは、関東以西の本州、四国、九州、沖縄に分布する。 常緑の高木で、通常高さ 8  $\sim$  10 m、径 20  $\sim$  30cm である。 材は強靭かつ堅硬で、建築、器具などに用いられる。

#### 4. 所見

同定の結果、平林遺跡より出土した1号土杭炭1の炭化材はサカキであった。

サカキは強靱、堅硬な材で、常緑高木で照葉樹林の構成要素である。縄文時代前期から中期では斧柄、杭、櫂などに利用され、また器具としては櫛などに利用された報告例がある。現代では建築部材や器具、薪炭などに利用され、また枝葉は神事に利用されている。本遺跡はサカキの分布域の北限に近く、出土例はやや稀である。試料は柔らかく、焼け膨れのある燃焼した後の消し炭(からけし)であったため、火災で燃焼したかあるいは燃料材として利用されたと考えられる。複数に分かれているが、いずれも同じ樹種である。同一の破片とみられ、復元径は 2.5cm の枝材である。

#### 参考文献

伊東隆夫・山田昌久(2012)木の考古学,雄山閣, p.449.

佐伯浩・原田浩(1985) 広葉樹材の細胞. 木材の構造, 文永堂出版, p.49-100.

島地謙・伊東隆夫(1988)日本の遺跡出土木製品総覧,雄山閣,p.296.

山田昌久(1993)日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成,植生史研究特別第1号,植生史研究会, p.242.

#### Ⅲ. 微細物分析

#### 1. はじめに

本分析では、堆積物から 0.25 mm以上の大型遺体を抽出し、種実を中心に木材、炭化材、骨等の同定を行い、過去の植生や群落の構成要素による古環境、植物栽培や人による動・植物利用の様相について検討する。

#### 2. 試料と方法

試料は、縄文時代前期中頃から中期初めの住居跡、土坑、集石遺構等より出土した堆積物で、1号土坑北側、5号土坑、7号集石土坑(地山直上)、U 16 G - 1号焼土遺構下層(礫下)、3号竪穴状遺構 pit 1の2層の5点である。

試料(堆積物)に以下の物理処理を施して、微細物の抽出および同定を行う。

- 1) 試料 500cm<sup>3</sup> に水を加え放置し、泥化
- 2) 攪拌した後、沈んだ砂礫を除去しつつ、0.25mmの篩で水洗選別
- 3) 残渣を双眼実体顕微鏡下で観察し、種実の同定計数

試料を肉眼及び双眼実体顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行う。結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示す。

#### 3. 結果

#### 1) 1号土坑北側

種実は検出されなかったが、炭化材片が認められた。炭化材片は6片検出され、3片は樹皮の小片であった。炭化材には、復元径約6cmになるやや大きなものと径約1cmの小枝材があった。いずれもやや柔らかく焼き膨れの多い燃焼した消し炭(からけし)である。6点とも同一の樹種でコナラ属クヌギ節であった。第12表に結果を示し、以下に木材構造の特徴を示す。

#### 第12表 平林遺跡における微細物同定結果

No.	遺構名	結果(学	2名/和名)
2	1号土坑北側	Quercus sect. Aegilops	コナラ属クヌギ節

#### ・コナラ属クヌギ節 Quercus sect. Aegilops ブナ科

横断面では、年輪のはじめに大型の道管が、1~数列配列する環孔材である。晩材部では、厚壁で丸い小道管が単独でおよそ放射方向に配列する。本試料はいずれも年輪幅が狭い。放射断面では、道管の穿孔が単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。接線断面では、放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織でを示す。

以上の特徴からコナラ属クヌギ節に同定される。コナラ属クヌギ節にはクヌギ、アベマキなどがあり、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、高さ15m、径60cmに達する。材は強靭で弾力に富み、

器具、農具などに用いられる。

2) 5号土坑

種実は検出されず、炭化材の微細片が微量観察された。炭化材は微細であり同定可能な大きさの破 片は検出されなかった。

3) 7号集石土坑(地山直上)

種実は検出されず、炭化材の微細片が微量観察された。炭化材は同定可能な大きさの破片は検出されなかった。

4) U 16 G - 1 号焼土遺構下層(礫下)

種実は検出されず、炭化材の微細片が微量観察された。炭化材は同定可能な大きさの破片は検出されなかった。

5) 3号竪穴状遺構 pit 1 · 2層

種実は検出されず、炭化材の微細片が認められた。炭化材は同定可能な大きさの破片は検出されなかった。

#### 4. 所見

平林遺跡で採取された各試料からは、種実は検出されず炭化材片ないしその微細片が検出・観察された。炭化した有機遺体しか検出されないことから、分解の行われる乾燥あるいは乾湿を繰り返す環境で堆積ないし保存されたとみなされる。

1号土坑北側からは同定可能な炭化材が検出され、全てコナラ属クヌギ節であった。コナラ属クヌギ節は温帯下部に分布し、概して弾力に富んだ強い材と言える。縄文時代では燃料材、杭、建築部材などの利用が多く、木道(横木、杭)、柱、斧柄などにも利用されている。試料はいずれもやや柔らかく焼き膨れの多い燃焼した消し炭(からけし)であったため、火災で燃焼したかあるいは燃料材として利用されたと考えられる。なお、コナラ属クヌギ節は油分を多く含む広葉樹の1つであるため、燃料材として優良であり多用される。

#### 参考文献

伊東隆夫・山田昌久(2012)木の考古学,雄山閣, p.449.

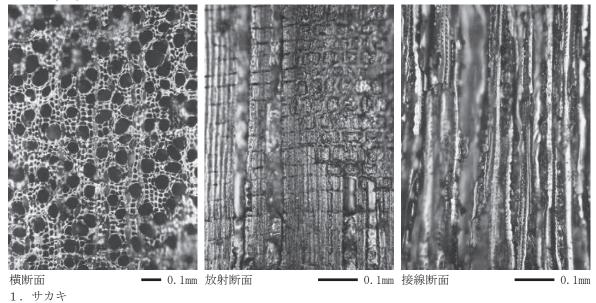
佐伯浩・原田浩(1985) 広葉樹材の細胞. 木材の構造, 文永堂出版, p.49-100.

島地謙・伊東隆夫(1988)日本の遺跡出土木製品総覧,雄山閣,p.296.

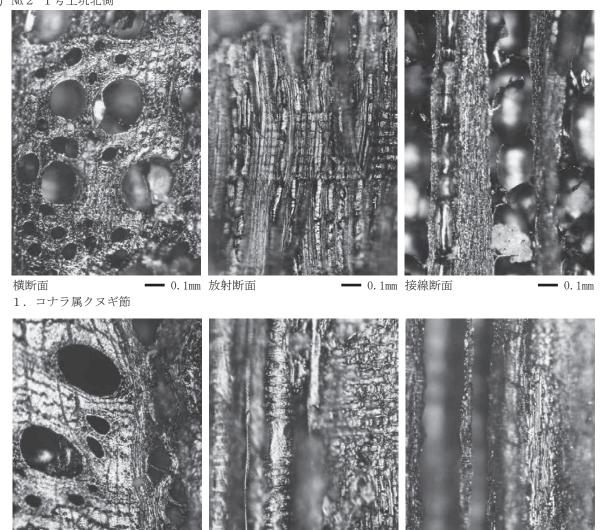
南木睦彦(1993)葉・果実・種子. 日本第四紀学会編, 第四紀試料分析法, 東京大学出版会, p.276 - 283.

山田昌久(1993)日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成, 植生史研究特別第1号, 植生史研究会, p.242.

#### 炭化材 No.1 1号土坑



微細物 No.2 1号土坑北側



2. コナラ属クヌギ節

横断面

第107図 炭化材・微細物写真

── 0.1mm 接線断面

━ 0.1mm 放射断面

**-** 0.1mm

#### 第3節 黒曜石原産地分析

#### 1. はじめに

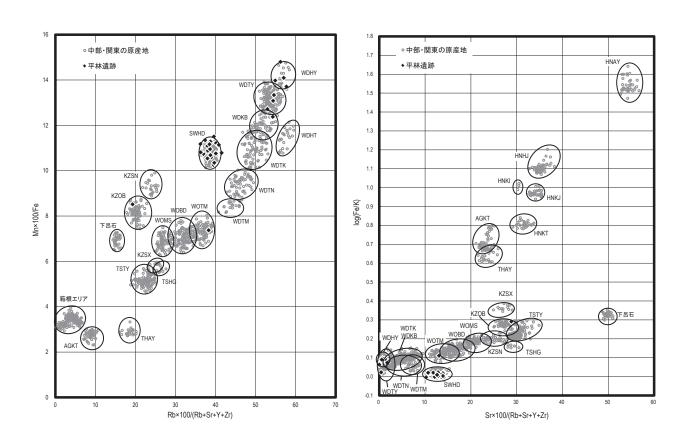
試料にX線 (1次X線という)を照射すると、試料に含まれる元素ごとに違った波長をもつX線 (2次X線、蛍光X線)が発生する。発生した蛍光X線の波長から含まれている元素の種類がわかり、それぞれの元素の蛍光X線強度から元素組成を知ることができる。これが蛍光X線分析の簡単な原理であり、試料をまったく損傷せずに分析でき、迅速に分析ができることが最大の特長である。蛍光X線分析による黒曜石産地推定法では、あらかじめ産地から採取した原石を分析しておき、産地原石によるデータベースを作成しておく。同様に追跡出土試料を分析し、原石のデータベースと比較することにより産地の推定が可能である。ここでは、平林遺跡より出土した黒曜石製石器について、蛍光X線分析による原産地同定を行う。

#### 2. 試料と方法

試料は、平林遺跡より出土した黒曜石製石器 32 点である。試料の詳細を結果とともに第 13 表に記す。

#### 3. 結果

観察の結果、分析資料の32点のうち、20点が諏訪星ヶ台(SWHD)エリアに産地を求めることができ、次いで和田フヨーライト(WDHY)が4点、和田鷹山(WDTY)が3点、和田小深沢(WDKB)1点、和田高松沢(WOTM)1点、神津島恩馳島(KZOB)1点、産地推定不可2点となり、平林遺跡の所在する山梨県南巨摩郡身延町から比較的近い原産地である天城柏峠・箱根を産地とするものはみとめられず、産地推定可能な30点中29点が信州産という結果がえられた。



第 108 図 黒曜石原産地分析判別図

第13表 原産地分析一覧表

エリア			,	五 (TW)	(av)			1	田 (O M)		諏訪	₹ ₩	*	天城			箱根				神津島		高原山									
Fe/K	0.89	1.17	1.03	1.05	0.99	1.05	1.96	1.01	1.00	0.99	1.05	1.23	1.23	1.25	1.29	1.01	0.99	1.05	1.23	1.04	0.99	1.02	1.01	1.05	1.05	0.99	1.01	1.16	0.72	1.01	1.02	1.18
Sr%	14.51	0.00	11.86	0.42	14.14	14.07	28.84	13.96	12.11	14.32	11.80	1.09	1.32	0.70	13.07	12.72	13.60	13.99	0.55	13.89	14.07	13.42	12.88	10.69	12.83	10.25	13.90	0.00	13.12	12.88	12.64	1.75
Mn/Fe	10.78	13.08	10.79	13.33	11.35	11.09	8.51	10.25	10.59	11.28	10.88	14.80	14.09	13.98	7.37	11.12	11.51	10.95	13.71	10.74	11.17	10.76	11.16	10.35	11.22	11.14	10.54	12.38	11.35	10.68	10.81	12.72
Rb%	38.22	54.40	41.53	54.61	37.40	37.98	19.30	39.52	38.88	38.73	38.09	56.24	57.05	54.93	38.28	40.79	39.61	38.66	57.71	36.98	36.24	40.09	38.51	39.71	40.15	40.83	37.98	54.31	37.51	38.73	36.30	52.98
O september	00:00	00:00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.46	0.00	0.00	0.00	0.07
	101.78	17.71	63.75	13.60	116.32	113.60	22.72	61.88	65.97	130.44	85.24	38.84	22.26	9.75	31.91	89.62	109.19	99.66	23.73	101.78	130.02	83.14	110.69	50.30	85.30	56.18	85.76	12.01	122.07	73.82	105.06	7.76
. 4	WDTN 1	WDKB	WDTN	WDHY	WDTK 1	WDTN 1	KZSN	WDTN	WDTN	WDTN 1	WDTN	WDTY	WDTY	WDTY	WOBD	WDTN	WDTK 1	WDTN	WDTY	WDTN 1	WDTN 1	WDTN	WDTN 1	WDTN	WDTK	WDTK	WDTN	WDTY	WDTN 1	WDTN	WDTN 1	WDKB
記	1.00 1	1.00	1.00 V	1.00 V	1.00	1.00 V	1.00	1.00 V	1.00 V	1.00 V	1.00 V	1.00	1.00	0.74	1.00 V	1.00 V	1.00	1.00 V	1.00	1.00 V	1.00 V	1.00 V	1.00 V	1.00 V	1.00	1.00	1.00 V	0.54	1.00 V	1.00 V	1.00 V	0.93
! ⊢	6.52	1.41	10.77	0.82	11.61	6.31	2.74	7.49	1.00	17.89	2.08	5.96	1.17	3.35	2.17	11.75	12.99	4.85	6.77	2.62	12.38	9.95	09.6	6.91	5.58	15.29	2.80	9.88	6.52	1.46	7.18	4.40
	SWHD	WDTY	SWHD 1	WDTY	SWHD 1	SWHID	KZOB	SWHD	SWHD	SWHD 1	SWHD	WDHY	WDHY	WDHY	WOTM	SWHD 1	SWHD 1	SWHD	WDHY	SWHD	SWHD 1	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD 1	SWHD	WDKB	SWHD	SWHD	SWHD	WDTY
	$\top$																															
判別図	大回子	WDTY	SWHID	WDTY	SWHD	SWHID	KZOB	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	WDHY	WDHY	WDHY	WOTM	SWHD	SWHD	SWHD	WDHY	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	WDKB	不可	SWHD	SWHD	WDTY
推定		WDTY	SWHD	WDTY	SWHD	SWHID	KZOB	SWHD	SWHD	SWHID	SWHID	WDHY	WDHY	WDHY	WOTM	SWHID	SWHD	SWHD	WDHY	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	SWHD	WDKB	不可	SWHD	SWHD	WDTY
器種	石鏃	石鏃	石鏃	石核	石鏃	石鏃	スクレイパー	石鏃	石鏃	石核	石鏃	原石	原石	原石	石鏃	石鏃	石鏃	石鏃	原石	石鏃	石核	石核	石核	石鏃	石鏃	石鏃	石鏃	石鏃	石鏃	石鏃	石錐	石鏃
図掲載No.	遺構外No. 153	O19Gpit2 No. 1	2・4 竪№ 23	3 竪No. 43	3 竪No. 32	3 竪No. 33	3 竪No. 36	3 竪No. 34	3 竪No. 35	3 竪No. 44	遺構外No. 124	遺構外No. 182	遺構外No. 180	遺構外No. 181	遺構外No. 125	遺構外No. 126	遺構外No. 127	遺構外No. 128	遺構外No. 178	遺構外No. 129	遺構外No. 173	遺構外No 174	遺構外No. 175	遺構外No. 130	遺構外No. 131	遺構外No. 132	遺構外No. 133	遺構外No. 134	遺構外No 135	遺構外No. 136	遺構外No. 168	遺構外No. 106
分析No.	平林 006	平林 010	平林 028	平林 036	平林 038	平林 041	平林 044	平林 045	平林 048	平林 053	平林 063	平林 064	平林 065	平林 066	平林 067	平林 068	平林 069	平林 071	平林 072	平林 073	平林 074	平林 076	平林 078	平林 079	平林 080	平林 081	平林 082	平林 086	平林 091	平林 100	平林 103	平林 106
No	-	2	8	4	5	9	7	∞	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32

%	13.3	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	100.0
試料数	4	8	1	0	0	0	0	1	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	30
当是	WDHY	WDTY	WDKB	WDTK	WDTN	WDTM	WDHT	WOTM	WOBD	WOMS	SWHD	TSTY	TSHG	AGKT	HNHJ	HNKJ	HNKI	HNKT	HINAY	KZOB	KZSN	KZSX	THAY	
判別群	フヨーライト	中鱜	小深沢	土屋橋北	土屋橋西	土屋橋南	中唯	高松沢	ブドウ沢	牧ケ沢	星ヶ台	一世	加子灰	柏峠	畑宿	鍛冶屋	黒岩橋	上多賀	₩/ 异	岩雕岩	砂糠崎	砂糠崎X	甘湯沢	和
エリア			1	HH (TW)				1	HH.		諏訪	1	± ₩	天城			箱根				神津島		高原山	
Fe/K	0.89	1.17	1.03	1.05	0.99	1.05	1.96	1.01	1.00	0.99	1.05	1.23	1.23	1.25	1.29	1.01	0.99	1.05	1.23	1.04	0.99	1.02	1.01	1.05

2	0	32
下	非黒曜石	総計

## 第5章 総括

平林遺跡からは、縄文時代草創期・早期後半・早期末~前期初頭・前期中葉・前期後半・前期末葉・中期初頭・中期中葉、弥生時代から近代の遺構・遺物がみつかり、長期間にわたって断続的に生活痕跡がみられる。

平林遺跡において最も古い活動痕跡が認められるのは、縄文時代草創期であり、住居跡・土坑などの遺構はみられないが、草創期に対比される遺物が出土している。有舌尖頭器は、調査区北端の C-17 グリッドより出土している。安山岩製の槍先型尖頭器は調査区中央部尾根の先端部となる尾根先端の Q-13 グリッドと 1 号配石遺構周辺 (P-15 グリッド) から出土しているが、遺構や土器片は確認されていない。いずれも狩猟に関連する遺物であり、縄文時代草創期の段階における平林遺跡は、狩猟場であった可能性がある。

縄文時代早期後半では、調査区東部の沢沿い、P-26 グリッドより押型文土器が1点のみ出土しているが遺構は確認されていない。縄文時代早期末から前期初頭の土器は調査区中央部を東西方向に延びる低い尾根上から南側にかけての範囲や、尾根先端北西部のN-10 グリッド付近より出土している。早期末段階の遺構と推定される1号配石遺構は、尾根上に位置している。縄文時代早期末の土器片とともに泥岩製の泥岩製の尖頭器や剥片が出土しており、石器製作市址や狩猟・石器製作などの祭祀にかかわる遺構の可能性がある。

縄文時代前期中葉中越式段階では M27Gpit1 の墓坑とみられる遺構が確認されている。覆土中からは礫が出土しているが、焼土などの火を使用した痕跡はみとめられない。 1 号集石土坑は土坑内の炭化材の年代測定によって、 $5,380\pm20$ yrBP(calBC 4,321-calBC 4,182 calBP 6,270-6,131)との結果がでている。また、遺構外からの出土はみられないが、 $2\cdot 4$  号竪穴状遺構覆土より出土しており、遺構・遺物ともに調査区南側の沢沿いに分布している傾向がみられる。

前期後半の遺構は2号竪穴状遺構と7基のピット(N9Gpit2、N17Gpit1、N21Gpit2、N27Gpit1、O21Gpit1、O26Gpit1、O26Gpit2)があり、尾根の南側に多くみられる。2号竪穴状遺構は中央やや西よりに地床炉を、南東部に3基のピットをもつ住居跡と考えられるが、当該期の遺物の出土量が少なく、土器もほとんどが小片であり、定住的ではな竪穴住居ではなく、短期の一時的な利用であったものと思われる。ピットには礫が複数検出されるもの(O21Gpit1、O26Gpit1、N27Gpit1、O26Gpit2)もあり、墓坑であった可能性がある。遺構外からの出土量も多く、諸磯b式土器や近畿地方系の北白川下層式土器が尾根の南北に集中して出土しているがいずれも小破片である。

前期末葉十三菩提式段階では、遺構外からの遺物出土はほとんどみられないが、竪穴状遺構2基(3号竪穴状遺構、4号竪穴状遺構)とピット1基(026Gpit2)があり、尾根南側に遺構がみられる。3号竪穴状遺構は中央の地床炉を取り囲むように6基のピットが配された住居跡であるが、4号竪穴状遺構はピットは有するものの、地床炉などの炉は確認されず、住居以外の用途も考えられる。3・4号竪穴状遺構ともに当該期の遺物出土量が少なく、土器も小片であり、一時的な利用をうかがわせる。

縄文時代中期初頭五領ヶ台 II 式段階では調査区南側の沢沿いに 1 号竪穴状遺構がある。炉は認められず、ピットも中央部から 1 基検出されたのみであり、規模も小さく、居住空間としての住居とは異なる性格を有する可能性がある。遺物の出土量は土器片・石器類を合わせて約 150 点と当該期の竪穴状遺構と比べて少なめであるが、比較的大型の土器片もみられ、中央部ピット上方より浅鉢形土器片がまとまって出土するなど、祭祀的な様相もみられる。また、尾根北側の 4 号集石土坑 2 層中から出土した炭化材の年代測定では 4,560 ± 20yrBP (calBC 4,321-calBC 4,182 calBP 6,270-6,131) との結果がでており、中期初頭の遺構と判断される。ピット中からは五領ヶ台 II 式土器が出土するものもみられるが、出土量が少なく、小破片であるため、当該期の遺構と判断することはむずかしい。遺構外からの遺物は前期後半諸磯 b 式土器に次いで多く出土しており、特に尾根の北側の沢沿いに集中している。

中期中葉段階では土器の出土量が少なく、遺構外では調査区中央部に散在してみられる。遺構では P18Gpit4 があり、藤内式段階の大型土器片破片が出土しているほか、2 号竪穴状遺構の上層焼土下、 3 号竪穴状遺構の上層に土器片の出土がみられる。

そのほか、縄文時代に比定される遺構としては、集石土坑がある。集石土坑は土坑内に拳大の焼石が集積された縄文時代の調理施設と考えられる遺構で、山梨県では、都留市の中谷遺跡・玉川金山遺跡・美通遺跡、笛吹市の桂野遺跡など縄文時代早期から中期初頭の遺跡から多くみられる。平林遺跡から確認された8基の集石土坑のうち、1号集石土坑・4号集石土坑は前述のとおり、炭化材の年代測定により前者が縄文時代前期中葉に後者が縄文時代中期初頭に位置づけられる。そのほかの集石土坑については、出土土器はなく、年代測定分析を実施していないが、遺跡全体の出土遺物の傾向から、縄文時代前期から中期初頭の遺構である可能性が高い。

おなじく縄文時代の遺構である U16G-1号焼土遺構にも焼石がみられるが、拳大の焼石が集積した集石土坑とことなり、焼土が充填された遺構の上部に 40cm大の平石が組み敷かれたような状態で確認されている。また、石匙や石錐、剥片などの石器も出土しており、祭祀・墓など調理施設とは別の用途が推測される。U16G-1号焼土遺構内からは縄文土器が出土しているが小破片であり、詳細な構築・使用時期の特定は難しいが、平林遺跡全体の出土遺物の傾向から、縄文時代前期から中期初頭の遺構である可能性がある。

弥生時代から古墳時代の遺物は、今回の調査では確認されていないが、N5G-2号焼土遺構・D16Gpit3・E15Gpit2・E16Gpit5は遺構中の炭化材年代測定の結果、以下のように弥生時代から古墳時代までの年代観が想定される。

N5G-2号焼土遺構:1,570 ± 20yrBP (calAD 423 - calAD 541 (calBP 1,527 - 1,409))

D16G pit3: 1,790  $\pm$  20yrBP (calAD 172-calAD 317)

E15G pit2: 2,020  $\pm$  20yrBP (calBC 46-calAD 3)

E16G pit5: 1,610  $\pm$  20yrBP (calAD 408-calAD 530)

これらの遺構は、いずれも形状は不整形または不整楕円形で焼土・炭化物を覆土中に多く含み、周辺に同様の焼土遺構・ピットが群集する特徴があり、同じような特徴を持つ  $M17G-1 \sim 3$  号焼土遺構およびその周囲のピット群(第 29 図)、U12G-1 号焼土遺構およびその周囲のピット(第 31 図)、 $R23G-1\cdot 2$  号焼土遺構およびその周囲のピット(第 32 図)、 $D\cdot E-15\cdot 16$  グリッド付近のピット群(第 34 図)、 $O\cdot P-27\cdot 28$  グリッド付近のピット群(第 50 図)も弥生時代から古墳時代の遺構である可能性がある。遺構の性格については、出土遺物がないなど不明な点が多く、判断できない。

平安時代以降の遺物は、調査区西側  $M \cdot N \cdot 10$  グリッド付近より平安時代の土師器片がまとまって出土したほか、平安時代以降の所産とみられる砥石が  $N \cdot 20$  グリッドの表土中より、中世から近代の鉄砲玉が  $Z6 \cdot$  グリッドより出土している。遺構からの遺物の出土はないが、 1 号土坑中の炭化物の年代測定の結果、 $880 \pm 15$ BP(calAD1,052-calAD1,081 年、calAD1,151-calAD1,216 年)という結果がでており、平安時代の遺構と判断される。 1 号土坑は縄文時代包含層上部から掘りこまれ、長軸方向が等高線と平行な長円形を呈しており、深さ  $5 \sim 10$ cmとごく浅い遺構覆土中には炭化材を多量に含む黒褐色土が堆積し、底面には焼土が確認されている。  $2 \sim 6$  号土坑は 1 号土坑と同様に、縄文時代包含層上部から掘りこまれ、ごく浅い遺構の覆土は炭化材・焼土を含む黒褐色土が堆積するなど、同様の特徴をもっており、平安時代に属する遺構の可能性が高い。覆土中に炭化材・焼土が多くみられる特徴から、 1 号土坑覆土内の微細物分析ではサカキや燃料材に多く用いられるコナラ属クヌギ節の消し炭がみられるなど、これらの土坑中からは炭化材が多く、焼土もみられることから、なんらかの焼成遺構であると想定される。

以上のように、遺構や出土遺物の分布状況から、平林遺跡は縄文時代前期後半と中期初頭の遺構・遺物が多いものの、各時期ともに定住性の高い集落というよりも短期の一時的な利用が行われた遺跡であることがわかる。

次に縄文時代の石器類から平林遺跡における縄文時代の活動について考察していく。なお、石器は草創期・早期に比定できる有舌尖頭器・尖頭器を除き、時期の特定ができないが、平林遺跡から出土した土器が縄文時代前期後半から中期初頭のものがほとんどであることから、大半が縄文時代前期後半から中期初頭のものと考えられる。

平林遺跡から出土した石器の組成は第13表のとおりであり、石器の素材となる原石や、石器製作の痕跡となる剥片、石核を除くと、石鏃・打製石斧が特に出土している。石鏃は狩猟具であり、ほとんどが凹基無茎の三角鏃である。打製石斧は土掘り具の先端に装着し、根菜類の採取に使用されたと考えられている。石鏃・打製石斧についで多くみられるものとして、石匙や磨石・稜磨石がある。石匙は皮剥・肉の切断などの携帯利器であり、動物性食料の加工に使用したと思われ、磨石・稜磨石は植物質食料の加工に使用されたと考えられている。このように石器組成から平林遺跡の性格を考えると、狩猟・植物採集とその加工が行われていたと想定される。また、石皿・台石など持ち運びに不便な大型礫石器が極めて少ないという状況は、定住的な活動ではなく、移動性の高い活動が行われていたと考えられる。

これらの石器の素材は第14表のとおりであり、黒曜石と泥岩が大多数を占める。平林遺跡から出土した泥岩は、白黄色に表面が風化する特色を持ち、富士川流域に原産地をもつとされている。泥岩製の石器には石核や剥片のほか、石匙やヘラ状石器があり、石匙は約8割が泥岩製であることがわかる。泥岩製の石核や剥片を観察すると、石匙に適した横長の剥片素材が作りだされていた状況もうかがえ、平林遺跡においては、周辺から採取した泥岩から石匙製作が行われていた可能性もある。また、黒曜石では、石鏃や石錐のほかに剥片や石核、石器の素材となる原石が出土しており、石匙とともに、黒曜石製石器も製作されていた可能性がある。

平林遺跡は、以上のように遺構・遺物のありかたから縄文時代の定住性の高い集落であったというよりも狩猟や植物採集、石器製作などのための場であり、短期間だが竪穴住居をつくって居住したキャンプ地のような性格であったと考えられる。集落本体はまた別の場所に存在していると思われるが、富士川流域地域においては、現在までに平林遺跡と同時期の集落は確認されておらず、その発見と本遺跡との関係が課題となる。また、同様にキャンプサイトと思われる遺跡から発見例が少ない祭祀的要素を持つ遺構・遺物が平林遺跡においては確認されておりその解明についても課題となってくる。

第13表 平林遺跡出土石器集計表

器 種	1号 竪穴	2•4 号 竪穴	3 号 竪穴	1号 配石	5号 集石	6 号 集石	U16G 1焼	M27G pit1	M27G pit2	N13G pit4	N17G pit1	N21G pit1	N27G pit1	N27G pit2	O25G pit1	S10G pit2	遺構外	合計
剥片	9	27	98	10	3	1	12	1	1		1	6	1	2	2		648	822
石核	2	3	4														44	53
原石																	5	5
尖頭器・有舌尖頭器				4													4	8
石鏃		1	6														49	56
石匙			5				2										9	16
石錐							1										5	6
スクレイパー		1	3															4
ヘラ状石器			1														2	3
打製石斧	1	3	6							1							50	61
磨製石斧			1														1	2
礫器			1														1	2
磨石・稜磨石	1	3	5	2													8	19
石皿			1													1		2
敲石		1																1
合 計						1	15	1	1	1	1	6	1	2	2	1	826	1,060

#### 第14表 平林遺跡出土石器石材集計表

	石 材													
器種	泥岩	黒曜石	粘板岩	硬質砂岩	火成岩	花崗岩	安山岩	砂岩	千枚岩	片岩	頁岩	緑色 凝灰岩	チャート	
剥片	372	430	11					5			3	1		822
石核	11	42												53
原石		5												5
尖頭器・有舌尖頭器	5						3							8
石鏃	1	52									1		2	56
石匙	13										1		2	16
石錐	3	3												6
スクレイパー	2	2												4
ヘラ状石器	3													3
打製石斧	1		5	39					6	7	3			61
磨製石斧					1							1		2
礫器											2			2
磨石・稜磨石						12		7						19
石皿・台石							1	2						3
合 計	411	534	16	39	1	12	4	14	6	7	10	2	4	1060

#### 参考文献

保坂康夫 2001「石器石材研究事情」『山梨県考古学協会誌』第 12 号

身延町教育委員会 2007『身延町和田 お宮横遺跡』

山梨県 1999『山梨県史 資料編2 原始・古代2考古(遺構・遺物)』

山梨県教育委員会 1995『中谷遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第 116 集

山梨県教育委員会 2002 『桂野遺跡 (第 4 次調査)・原山遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第 199 集

山梨県教育委員会 2009『玉川金山遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第 261 集

山梨県教育委員会 2011 『美通遺跡 A・C 区』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第 274 集

山梨県教育委員会 2011 『美通遺跡 B 区』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第 275 集

山梨県教育委員会 2012 『美通遺跡 D 区』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第 283 集



基本土層 (0-32G)



基本土層 (V-15 グリッド)



基本土層 (H-22 グリッド)



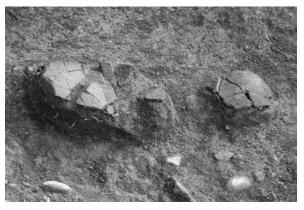
1号竪穴状遺構



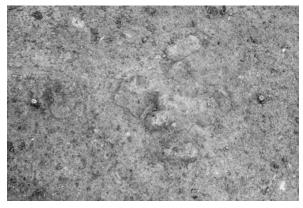
2・4号竪穴状遺構



2号竪穴状遺構覆土上部焼土



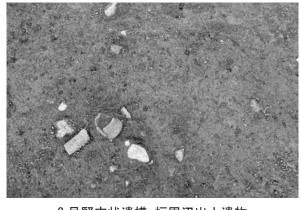
2号竪穴状遺構 床面付近出土土器



2号竪穴状遺構 炉



3号竪穴状遺構



3号竪穴状遺構 炉周辺出土遺物



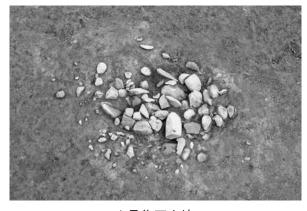
1号配石遺構



1号配石遺構 土器出土状況



1号配石遺構 尖頭器出土状況



1号集石土坑



2号集石土坑



2号集石土坑 土層



3号集石土坑



4号集石土坑



4号集石土坑 土層



5号集石土坑



5号集石土坑 土層



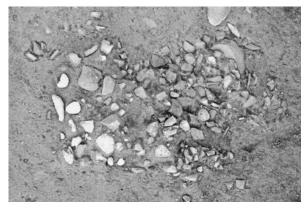
6号集石土坑



6号集石土坑 土層



7号集石土坑



8号集石土坑



8号集石土坑 土層



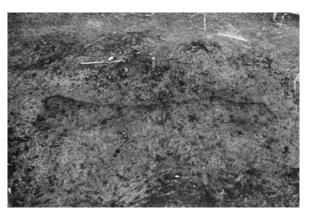
1号土坑



1号土坑 土層



1号土坑 焼土



2号土坑



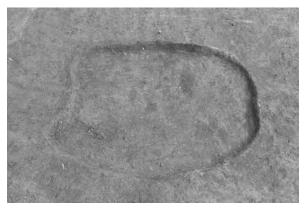
2号土坑 土層



3・4 号土坑



3・4 号土坑 土層



5号土坑



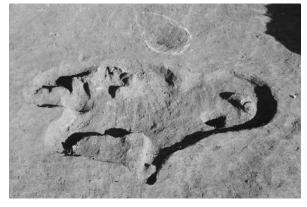
5号土坑 土層



6号土坑



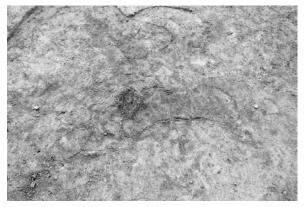
M17G-1・2 号焼土遺構



M17G-3 号焼土遺構



N5G-1 号焼土遺構



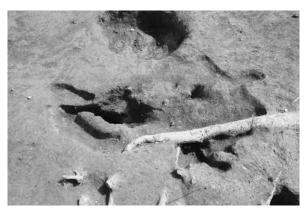
N5G-2・3・4 号焼土遺構



R23G-1 号焼土遺構



R23G-2 号焼土遺構



U12G-1 号焼土遺構



U16G-1 号焼土遺構



D·E-15·16G pit 群



M17Gpit1



N13G pit4



N21G pit1



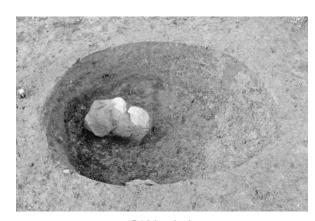
N27G pit1



021G pit1



025G pit1



P18G pit4



Y9G pit1



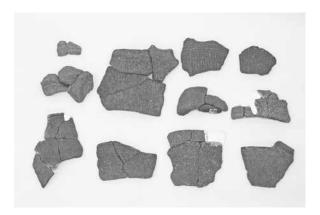
有舌尖頭器出土状況



槍先形尖頭器出土状況



石製装飾品出土状況



1 竪穴 No1-11



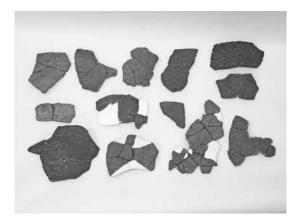
1 竪穴 No12



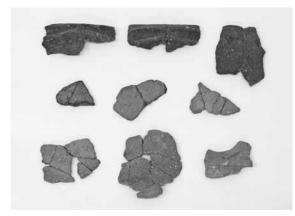
1 竪穴 No13



1 竪穴 No13



2·4 竪穴 No1-13



2·4 竪穴 No14-22



2·4 竪穴 No23



2·4 竪穴 No24



2·4 竪穴 No25



2·4 竪穴 No26 2·4 竪穴 No27

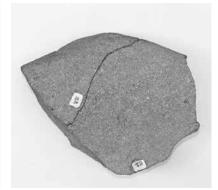


2·4 竪穴 No28



2·4 竪穴 No29 2·4 竪穴 No30



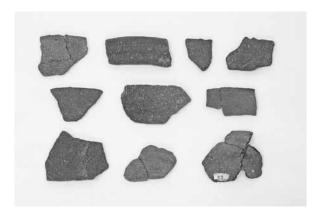


2·4 竪穴 No31



2・4 竪穴 No32 2・4 号竪穴 No33





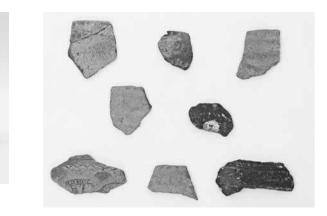
3 竪穴 No1-10



3 竪穴 No11-22



3 竪穴 No23



3 竪穴 No24-31



3 竪穴 No32 3 竪穴 No33 3 竪穴 No34 3 竪穴 No35







3 竪穴 No38



3 竪穴 No39



3 竪穴 No36



3 竪穴 No37



3 竪穴 No40



3 竪穴 No41



3 竪穴 No42



3 竪穴 No43 3 竪穴 No44





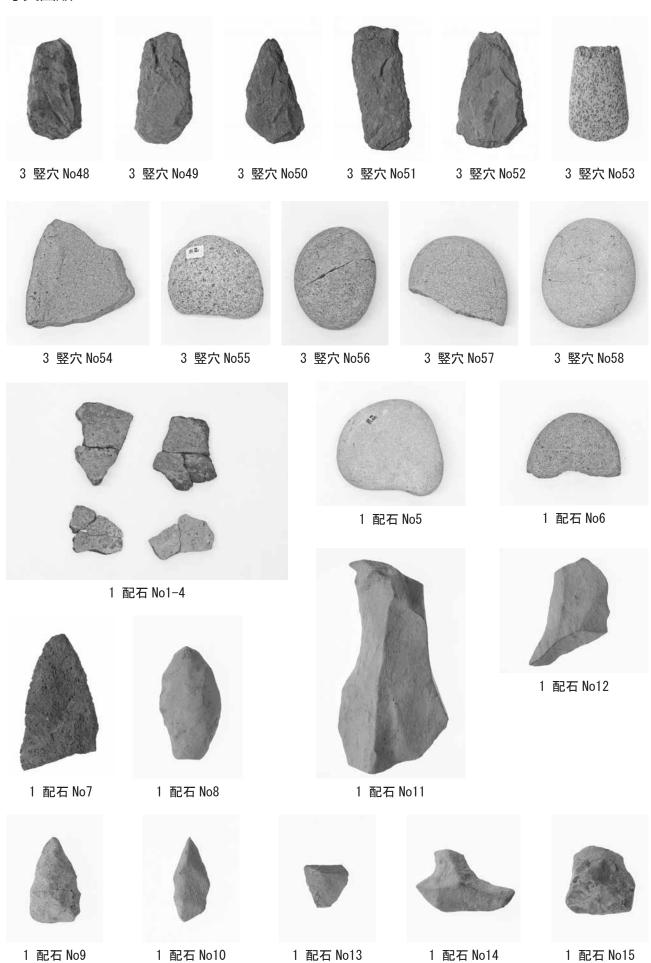
3 竪穴 No45



3 竪穴 No46



3 竪穴 No47





1 配石 No16



1 配石 No17



U16G-1 焼 No1

U16G-1 焼 No2



U16G-1 焼 No3



1 配石 No18



1 配石 No18



ピット出土土器



N13Gpit4 No1



019Gpit1 No1



P18Gpit4 No1



S10Gpit2 No1



遺構外出土土器(縄文早期)



遺構外出土土器(縄文前期後半1)



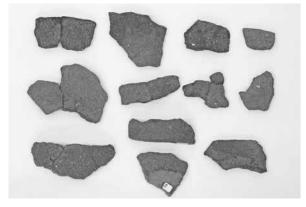
遺構外出土土器(縄文前期後半2)



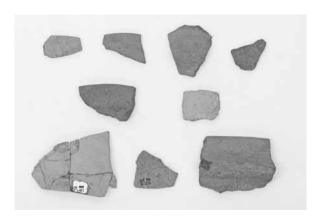
遺構外出土土器(縄文前期後半③)



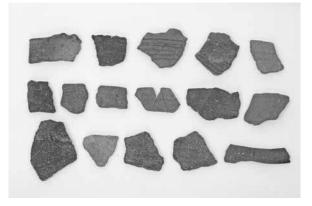
遺構外出土土器(縄文前期末・中期初頭①)



遺構外出土土器(縄文土器)



遺構外出土土師器(平安時代)



遺構外出土土器(縄文前期後半④)



遺構外出土土器(縄文中期初頭②)

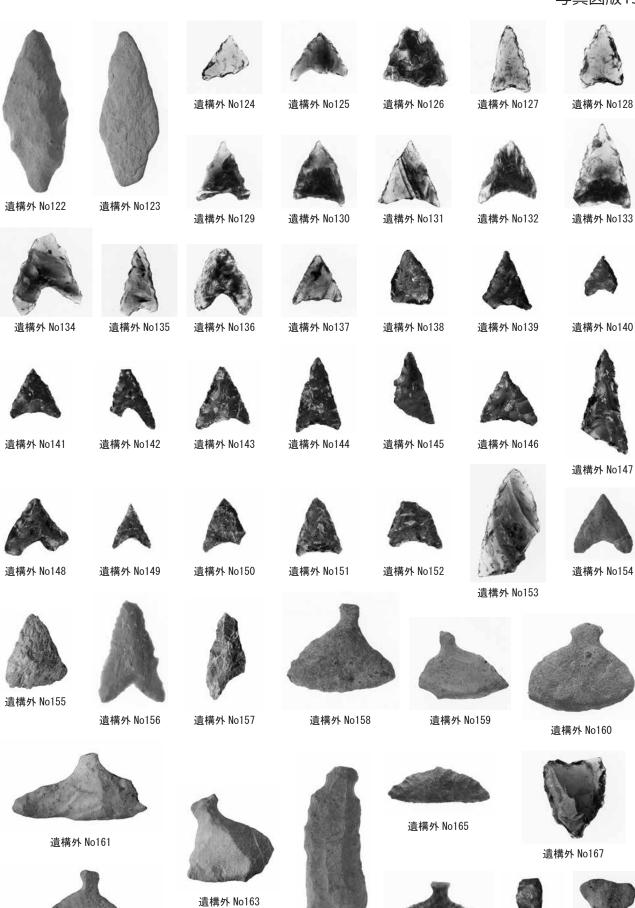


遺構外出土土器(異系統土器・縄文中期中葉)



遺構外 No120

遺構外 No121



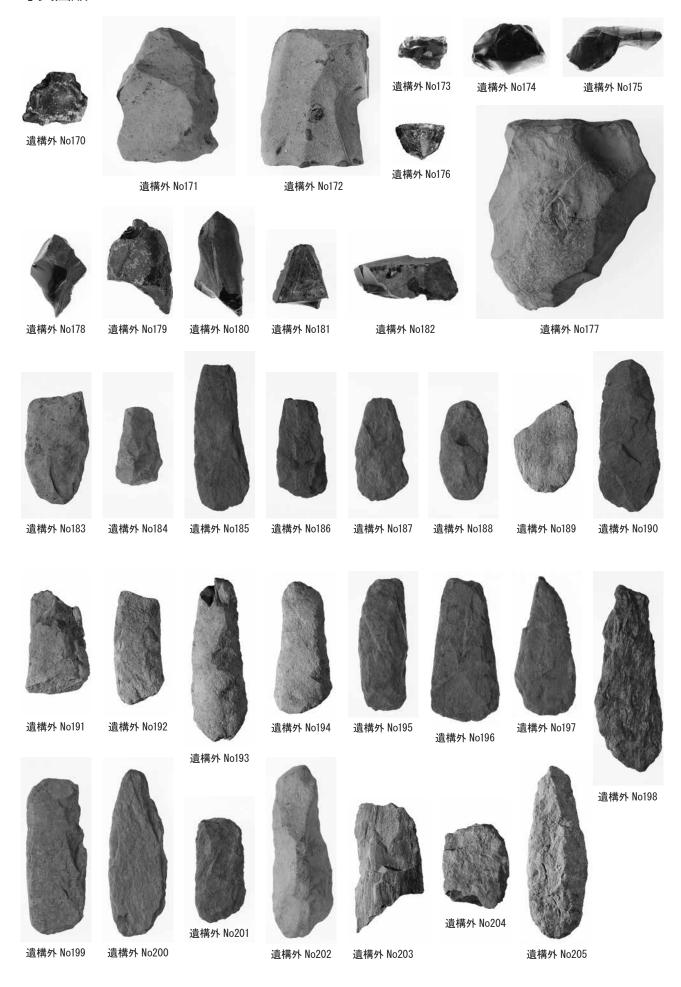
遺構外 No162

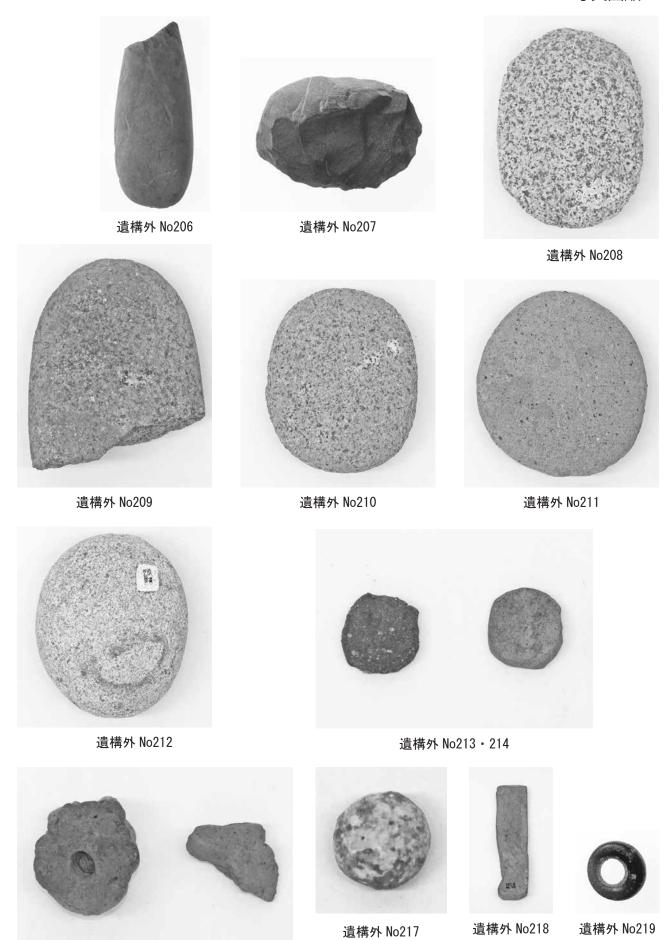
遺構外 No169

遺構外 No168

遺構外 No166

遺構外 No164





遺構外 No215・216

## 報告書抄録

ふりがな	ひらばやしいせき														
書 名	平林遺跡														
副 題	中部横断自動車道建設事業および(仮称)身延山 IC 道路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書														
シリーズ名	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書														
シリーズ番号	第 302 集														
著 者 名	正木季洋														
発 行 者	山梨県教育委員会、国土交通省、山梨県県土整備部														
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター														
所在地・電話	〒 400 - 1508 山梨県甲府市下曽根町 923 TEL 055 - 266 - 3016														
発行年月日	2015年3月20日														
ふりがな	ふりぇ	がな	コー	ード				調査							
所収遺跡名	所 在	E 地	市町村	遺 跡 番 号	北緯	東 経	調査期間	面積	調査原因						
ひらばやしい せ き	やまなしけ, こまぐんみ( わだちない		19365		35° 57′3	139° 01′54	平成25年8月1日 ~	7,909m²	中部横断自動車道建設事業・						
平林遺跡	山梨県南巨川 和田地内	摩郡身延町			0.5"	.3″	平成26年 1 月30日		(仮称) 身延山 IC 道路事業						
所収遺跡名	種別	主な時代	F	主な	遺構	=	主な遺物	特語	己事項						
平 林 遺 跡	集落跡	縄文		竪穴物	題穴状遺構 土器、石器 縄文時代 から中期 体とする										

要終

縄文時代草創期、早期、前期、中期、平安時代の遺構・遺物が確認されている。縄文時代前期後半から中期初頭が主体であり、竪穴状遺構、集石土坑、焼土遺構、ピットや、土器や石器といった遺構・遺物が検出されているが、各時期とも定住的な集落ではなく、一時的なキャンプサイトの様相を呈している。

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第302集

## 平林遺跡

一中部横断自動車道建設事業および(仮称)身延山 IC 道路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

印刷日 2015 (平成27) 年3月16日

発行日 2015 (平成27) 年3月20日

編 集 山梨県埋蔵文化財センター

〒 400-1508 山梨県甲府市下曽根町 923

TEL 055-266-3016 FAX 055-266-3882

発 行 山梨県教育委員会

国土交通省

山梨県県土整備部

印 刷 株式会社峡南堂印刷所